



TITLE:

クーシュヤールの占星術書写本の 校訂研究(Dissertation_全文)

AUTHOR(S):

矢野, 道雄

CITATION:

矢野, 道雄. クーシュヤールの占星術書写本の校訂研究. 京都大学, 1996,
博士(文学)

ISSUE DATE:

1996-09-24

URL:

<https://doi.org/10.11501/3118707>

RIGHT:

クーシュヤールの占星術書写本の校訂研究

矢野道雄

クーシュヤールの占星術書写本の校訂研究

矢野道雄

目次

緒言 iii

序論 v

アラビア語校訂テキストと英訳 1

付録 I 『明訳天文書』テキスト 263

付録 II 索引および訳語の対照 297

緒言

アラビア語で書かれた天文学と占星術の研究のために米国ブラウン大学
ピングリー教授のもとへ2度目に訪れたのは1981年のことであった。教授
からアラビア語写本の読み方を習っているうちに、プリンストン大学のケネ
ディ教授から、クーシュヤールの占星術書を研究することを勧められた。こ
の書は『明訳天文書』の原本として薮内清先生がはやくから注目しておられ、
ケネディ教授が薮内先生にさまざまな助言をしておられたことは薮内先生の
書物から知っていた。薮内先生の門下に入り、先生が開拓された道を踏襲し、
後進のために残しておかれた課題、とくに中国の周辺世界の天文学史に取り
組むことを使命としていたわたしは、ケネディ教授の言葉をたいへん有り難
く思いすぐに実行に移すことにした。

ピングリー教授から占星術のテクニカルタームや写本の読み方を教わり
ながら、教授が所有しておられた写本と、しばらく後にプリンストン大学で
手に入れた写本をもとにして校訂をはじめた。1年間の滞在の間に、ほぼす
べてを読み終えたが、アラビア語写本にも占星術文献にも慣れていなかった
ので、多くの不明な部分が残し、ケネディ教授の期待に応えられないのでは
ないかという危惧が付きまとっていた。

翌年帰国してノートを整理しなおしていたころ、ある日本の民間会社から
開発中のアラビア語のワードプロセッサのテストユーザーになることを依頼
されたので、当時の8ビットのコンピュータにテキストの一部を入力しはじ
めた。しかしそのプログラムは十分なものとは言えず、占星術史についての
わたしの知識も乏しかったので、途中で放棄した。

そこでまず占星術の基本的知識を身につけ、できるだけ多様な写本を読
んでおく必要があると思い、ブラウン大学から持ち帰った様々な占星術書の
写本を読み始めた。このときたまたま京都産業大学外国語学部言語学科の大
学院生であった山本啓二君がわたしの研究に関心を寄せ、それ以来長年にわ
たる彼との共同研究が始った。まずウマル・イブン・アル＝ファッルハーン
による *Tetrabiblos* のアラビア語訳の写本を読み終え、次に長い間かかってアル・
ピールーニーの『星学入門』(*Tafhīm*)の校訂と和訳を作成した。その間、
1990年には日本学術振興会の援助でバルセロナ大学のメルセ・ヴィラドリッ
ク教授を招いて、クーシュヤールの占星術写本の数学的にやや難解な部分の
共同研究を行った。

さらに1992年からロンドン大学のチャールズ・バーネット博士が共同研
究に加わった。山本、バーネット、わたしの3人が1992-3年に行ったアブー・
マアシャルの占星術入門書の簡略版の校訂研究の成果は1994年春にオラン
ダの E.J. Brill 社から出版された。

短期間でこの出版が可能になったのはちょうどそのころ開発が進んでい
た Arab $\mathrm{T}_{\mathrm{E}}\mathrm{X}$ のおかげである。これは有名な D.Knuth 教授の $\mathrm{T}_{\mathrm{E}}\mathrm{X}$ プログラ

ム上でアラビア文字が書けるように工夫されたものであり、K.Lagally 教授 (Stuttgart 大学) によるこのマクロ・プログラムがなければ今回のわたしの校訂も大幅に遅れていたであろう。

このプログラムのおかげでアラビア文字の入力やテキストの分析がずいぶん容易になった。またそれまでに文部省の科学研究費により、多くのアラビア語写本を入手していたので、いよいよ懸案のクーシュヤールの古星術写本の校訂を完成する準備が整った。

上に言及した方々の助言、援助、協力がなければこの研究が不可能であったことは言うまでもない。ここに厚くお礼申し上げたい。上記の山本君にはアラビア語テキストの校正に当たって多大の助けを得た。またコンピュータを利用するための十分な環境を与えていただいた京都産業大学、とくに計算機センターの安田豊さんにもお礼を申し上げます。さらに本論文に必要なプログラムをさがして電子メールで取り寄せたり、それらを改良したりしてくれた京都産業大学外国語学部大学院生柏野俊明君、『明訳天文書』テキストの校正をしていただいた Dr. Ma Li (馬麗) にも感謝したい。

最後になったが、アラビア語のてほどきをしていただいた矢島文夫先生に感謝する。

1995 年 12 月 21 日

矢野道雄

序 論

1 *Madkhal* とその著者

ここに校訂テキストと英訳を提出するアラビア語写本の原題は、用いた写本を見るかぎりでは、はっきり述べられているわけではない。一般に *al-Madkhal fī Šināʿat Aḥkām al-Nujūm*¹あるいは *Mujmal al-Uṣūl fī Aḥkām al-Nujūm* と呼ばれている。本序論では便宜上単に *Madkhal* と呼ぶことにする。

Madkhal の著者は序文で自分を Kūšyār ibn Labbān ibn Bāšahrī al-Jilīと呼んでいる。この名前は、著者クーシュヤールがラッバーンなる人物の息子、パーシャフリーの孫であり、ジーラーン (Jilān) 地方の出身であったことを示している。ジーラーン（ペルシア語ではギーラーン）はカスピ海の南側にある州名として現在も残っており、イランに属している²。写本によってはこの名前の前に ‘Abū al-Ḥasan’ を付加しているものもあり、かれにハサンという息子がいたことがわかる。さらにその前に ‘al-Kiyā al-Saʿd’ を付けている写本もある。Kiyā はペルシア語で ‘king, hero, master’ というような意味があるから、学者としての名声を得た後の称号であろう。かれの家系についてこれ以上の情報はない。

著者の年代は正確にはわからないが、*Madkhal* 1.8 にみられる 30 の恒星の表 (表 5 参照) はヤズダジルド暦 361 年³の始めを暦元としており、10 世紀後半から 11 世紀前半に活躍していたことは明らかである。いっぽうかれの天文学書 *al-Zīj al-Jāmiʿ*⁴ の恒星表の暦元はヤスダジルド暦 301 年 (西暦 932 年)⁵ であり、また惑星の遠地点の位置はヤズダジルド暦 331 年⁶ のものである。両者の間に横たわる 60 年または 30 年がそのまま両書の書かれた年代の差というわけではないが,⁷ クーシュヤールは若い頃に精密科学としての天文学を学び、晩年になって占星術に関心をもったと思われる。しかし有名なイブン・アン＝ナディーム (Ibn al-Nadīm) が 987 年頃に著し、995 年頃まで増補を続けた『書誌』(*Fihrist*) にはクーシュヤールの名前は見られないので、実際に有名になったのはおよそ A.D. 1000 年以後であろうと言われる⁸。

著者が序文で言うように、かれはこの *Madkhal* の前にすでに *al-Zīj al-Jāmiʿ* と *al-Zīj al-Bāliḡ* という二つの天文学書を著している。前者の写本はいくつか現存している⁹が、典型的な *Zīj* であり、天文表が大きな部分を占めている¹⁰。後者は断片しか現存していないが、前者の簡略版であると思われる。

しかしクーシュヤールを有名にしたのはかれの著した数学書 *Kitāb fī Uṣūl ḥisāb al-hind*¹¹である。この書はインドの数表記法と基本的計算法を教える初歩的な算術書であるが、この種のものとしては現存する最古のものであり、多くの数学史家の注目を浴びてきた。インド式計算法を西方に伝えた最初の人物の一人は有名なアル＝フワーリズミー (al-Khwārizmī, 9 世紀) であるが、かれの当該著作はラテン語訳でしか現存していない。

これらの著作の他に、アストロラーベに関する作品の写本も現存している¹²。クーシュヤール自身が言

^[1] アラビア文字のローマナイズは Hans Wehr の辞書のそれに倣う。ただし t, h, d の代わりにそれぞれ th, kh, dh を用いる。

^[2] 上岡他 [1988] 参照。 Madkhal 2.9.10 にもこの地名が見える。

^[3] クーシュヤールの al-Zīj al-Jāmiʿ (Leiden 写本 p.3) によると、「洪水」(ṭūfān) 紀元を始め、すなわちインドのカリユガの第 1 日 (−3101 年 2 月 18 日, JD=588466) からヤズダジルド暦の初日の「火曜日」まで 1,363,597 日が経過しているから、ヤズダジルド暦の初日のユリウス通日数 (JD) は 1952063 である。この日は西暦 (ユリウス暦)632 年 6 月 16 日 (火曜日) に当る。 Madkhal 2.11 の表で用いられている暦元の「火曜日」とはこの日のことである。

^[4] ヤズダジルド暦 361 年は西暦 992 年 3 月 18 日から始る。 Wüstenfeld-Mahlerische Vergleichungs-Tabellen, neu bearbeitet von Bertold Spuler, Deutsche Morgenländische Gesellschaft, Wiesbaden, 1961 参照。しかし、表 5 で明らかのように、クーシュヤールの与える黄経はプトレマイオスのそれに 13 度を加えただけであり、かれが述べる歳差の値 (1 年につき 54ʹʹ) によると、この黄経差は 866 2/3 年に相当する。プトレマイオスの星表は A.D. 137 年の 6 月のものであるから、クーシュヤールの星表の年代は A.D. 1004 年であったことになる。これはクーシュヤールが、この表が「満ヤズダジルド暦 360 年」 (=992 年) のものとするのと正確には一致しない。

^[5] 使用した写本は Istanbul Fatih 3418, Leiden Or. 8、および Berlin 5751。

^[6] Istanbul fol.83a。

^[7] Istanbul fol.45b, Leiden 8a。

^[8] イスラム暦では太陰年 30 年に 11 回の閏年を置く。すなわち、30 太陰年 = 30 × 12(= 360) 月 = 19 × 354 + 11 × 355 = 10631 日

^[9] Saidan, p.531。

^[10] GAS VI, pp. 246–248。

^[11] この書については Kennedy [1956] が予備的な調査を行っている。筆者は Berlin 5751, Leiden Or.8, Yeni Cami 784/3 の 3 種類の写本を手に入れ、最近フランクフルト大学の Dr.Benno van Dalen との共同研究を開始した。

^[12] Martin Levey and Marvin Petruck [1965] 参照。

^[13] Chester Beatty 5354 fols.162–187。

うように、「天体の学問」(ʿilm aḥkām al-nujūm) は数理天文学と、その応用としての占星術の二つの分野に分けられるが、かれはどちらかといえば数理天文学者に属し、その面で評価すべきで人物である。

Madkhal はプトレマイオスの占星術書 *Apotelesmatika* (通称 *Tetrabiblos*, 以下後者を用いる) をモデルにした占星術入門書であり、章によっては *Tetrabiblos* を座右に置いてそのまま写したとさえ思われるところがある。クーシュヤールが用いた *Tetrabiblos* については推測の域を出ないが、かれの時代にはすでに、アッバース朝の首都バグダードの建設にかかわったとされる占星術師ウマル・イブン・アル＝ファッルハーン (ʿUmar ibn al-Farrukhān) によるアラビア語訳¹³や、有名な天文学者アル＝バッテリーニー (al-Battānī, 858–929 頃) による要約¹⁴があり、これらか、それに類する作品を通じてかれはギリシアの占星術を学んでいた。またアル＝フワーリズミーやアブー・マアシャルなどの著作からインドの数学だけでなく、天文学や占星術にも通じていたと思われる。*Madkhal* 2.12.2 において、「古い天文学」¹⁵の説として言及する太陽の遠地点や最大中心差値はインドの天文学書で標準的に用いられるものである。

クーシュヤールは先人の名前を具体的に挙げることはしないが、プトレマイオスの名前だけは例外的にしばしば言及している¹⁶。それ以外では胎児の成長過程に関する医学的文脈で言及されるヒポクラテス¹⁷のみである。興味深いことにクーシュヤールは *Madkhal* 3.3.3 で、天文学者であり *Almagest* の著者として有名なプトレマイオスと、占星術学者のプトレマイオスは別人であると述べている。

クーシュヤールが本書を 4 部構成にしたのはもちろん *Tetrabiblos*¹⁸にならったものである。*Madkhal* がとくに *Tetrabiblos* に負っていると思われる部分は次の表のようにまとめることができる。

 表 1 *Madkhal* (M) と *Tetrabiblos* (T) の対応

M	T	M	T	M	T	M	T	M	T	M	T
1.1	I.1	1.13	I.17	2.1	**	3.1	**	3.13	IV.4	4.1	**
1.2	I.4	1.14	I.19	2.2	**	3.2	**	3.14	IV.5	4.2	**
1.3	I.5	1.15	I.18, II.3	2.3	**	3.3	III.2	3.15	IV.6	4.3	**
1.4	I.6	1.16	I.20,21	2.4	**	3.4	III.9	3.16	IV.7		
1.5	I.7	1.17	I.23	2.5	**	3.5	**	3.17	IV.8		
1.6	I.8	1.18	I.24	2.6	**	3.6	III.10	3.18	IV.9		
1.7	**	1.19	**	2.7	**	3.7	**	3.19	IV.10		
1.8	I.9	1.20	**	2.8	**	3.8	**	3.20	III.10		
1.9	I.11	1.21	**	2.9	II.6,7	3.9	**	3.21	III.10		
1.10	I.12	1.22	**	2.10	II.13	3.10	**				
1.11	**			2.11	**	3.11	**				
1.12	I.13,I.15			2.12	**	3.12	IV.2				

この表に見るように、クーシュヤールは *Tetrabiblos* に見られない多くのテーマや章を追加している。それらは、とくにアブー・マアシャル (Abū Maʿšār) やマーシャーアッラーフ (Māšāʿallāh) などペルシア系の先人によって占星術のテーマに取り込まれることになったものである。その典型的な例が、土星と木星の会合 (qirān) による占い (2.11) と世界周期 (dawr) の理論 (2.12) である。これらはペルシアにおいて独特の発展を遂げたものであり、これらの理論に基づいて歴史を周期として解釈する多くの文献があらわれた¹⁹。

クーシュヤールは当時の占星術を要領よくまとめただけであり、かれ自身のオリジナリティーはほとんどないとも言える。したがってアブー・マアシャルの作品によってイスラム占星術を知った中世ヨーロッ

^[13] 唯一の写本が Uppsala no. 203 として存在する。その一部について Yano et. al. [1991] で論じた。

^[14] 筆者が用いた写本は Escorial 969/2 である。

^[15] ‘al-zījāt al-qadīma’ (pl.)。

^[16] 写本 GF は B-T-L-M-Y-W-S と表記するのに対して、写本 BJV は B-T-L-Y-M-W-S とする。 1.16.8, 1.17.2–3, 3.3.3 参照。

^[17] B-Q-R-A-T と表記されている。 3.3 参照。

^[18] Tetrabiblos にはいくつかの伝承があるが、ここでは Loeb Classical Library の版によった。

^[19] これらの問題はイブン・ハルドゥーンの『歴史序説』においても論じられている。森本公誠訳 (岩波書店,1980 年), p.666f. 参照。

バの人々にとってはクーシュヤールの *Madkhal* は必要なく、アブー・マアシャルのような名声が西方に向かって広がることはなかった。

イスラム世界においても、クーシュヤールのおよそ1世紀前にはアブー・マアシャルが大部の占星術書 (*al-Madkhal al-Kabīr ilā ʿIlm Aḥkām al-Nujūm*, いわゆる *Great Introduction*)²⁰ を著し、またクーシュヤールとほぼ同時代の博学者アル＝ビールニー (al-Bīrūnī) が数学と年代学・天文学も含んだすぐれた占星術入門書 (*Tafhīm*)²¹ を著しているので、本来ならクーシュヤールの作品は忘れられてもしかたがないところであった。ところがむしろ逆であり、かれの *Madkhal* ほうがより広範な読者を得ていたことはことは、上記の2書に比べて、はるかに現存する写本が多い²²ということからもわかる。さらにこの書の名声はペルシア語、中国語、トルコ語に翻訳されることによって、東イスラム世界全般に広がっていった。

その理由はこの書が単に占星術の初歩知識の手軽な入門書であっただけでなく、その表現が簡潔にして明瞭で、その構成およびまとめ方がきわめて要領を得たものであったからであろうと思われる。たとえオリジナルティーを欠くにしても、まとまった書物として愛読されるための条件を十分に備えていたのである。

2 *Madkhal* の内容概観

Madkhal 全4巻のうち第1巻は占星術の基礎概念を説明するものであり、*Tetrabiblos* との対応箇所が最も顕著な巻である。

第1章では *Tetrabiblos* と同様に天体の学問を2種類に分け、占星術の目的と本書を著す動機を格調高い言葉で述べている。第1の学問は数理天文学であり、これは数学的に証明できるものである。第2の学問は第1の学問に基づいてはいるが、数理的な「証明」(burhān) を与えることはできない。しかしクーシュヤールはこれを一種の「経験」(tarjiba) 科学であるとみなし、「キヤース」²³ によって把握できるといっている。qiyās は科学者としてのクーシュヤールが多用する重要な概念である。この世の中には、たとえ論理的数理的に証明できなくでも、経験によってその有効性を類推 (qiyās) し、実生活に応用できる事象が多い。かれはこれを医学の例をとって説明している。たとえある薬の効果が論理的に証明できなくとも、それがあ病気に有効であることが経験的に認められていれば、これを使用すべきであるというのである。

このように占星術を経験科学として確立させようとするかれの自然科学者のな態度はさまざまな文脈で明瞭に読み取ることができる。その典型的な例が1.20.14である。一般に天球を12の「位」(buyūt)²⁴に分割した場合、分割点の手前5度以下のところにある惑星はすでに次の位に入っているとみなされるが、クーシュヤールはそのような見解は qiyās から外れるから、証明がないかぎり受け入れることはできないといっている。

第1巻の第2章以下は、後の巻で用られる占星術の基本用語の説明にあてられている。ほとんどすべての概念は *Tetrabiblos* の第1巻に見られるものである。ただしプトレマイオスは「位」についてはほとんど述べていないので、これに関連する19、20、22の各章は *Tetrabiblos* に負うところはない。また同様のことは第21章についても言える。この章のテーマは英語で lot, アラビア語で sahm(中国語では「箭」)と呼ばれるものである。*Tetrabiblos* では ‘lot of fortune’(「幸運箭」) だけしか述べられていないが、クーシュヤールは、イスラム占星術において大きく数の増えた lot のうち十数種類を取り入れている。

²⁰ Carullah Collection, MS 1508. Facimile ed. by F. Sezgin. Frankfurt, 1985 を使用した。

²¹ 矢野 [1993] 参照。

²² GASによると、知られている写本の数、*Great Introduction* の22、*Tafhīm* の15にたいして、*Madkhal* は40を越える。

²³ qiyās. この語はイスラム法学において、ハディース (ḥadīth: 言行録)、スンナ (sunna: 慣行)、イジュマー (ijmāʿ: 意見の一致) に次いで第4の權威をさし、「類推」を意味する。井筒俊彦 [1975] pp.18–19 参照。また *The Encyclopedia of Islam*, New Edition, Vol. V, E.J. Brill, 1986, pp.238–242 ‘kiyās’の項参照。ここで与えられている qiyās の基本的な意味は ‘reasoning by analogy’。また *Madkhal* 1.1.6 では「法則」(niẓām) と並列的に用いられており、ほぼ同じ意味であろうと思われる。じっさいほとんどの場合「規則性」‘regularity’ と訳すことができる。cf. *Madkhal* 0.1; 1.1.5; 1.15.8; 1.16.3; 1.16.4; 1.16.5; 1.20.14; 2.11.3. またクーシュヤールは ‘alā ḥaḍā al-qiyās’ という熟語を好んで用いているが、これも「この規則性に倣って」と訳すことが可能である。cf. *Madkhal* 1.18.2; 1.19.2; 1.19.4; 1.20.13; 2.1.1; 2.1.2; 2.12.12; 3.1.7; 3.1.11; 3.20.7; 3.20.15; 4.2.11; 4.2.46

²⁴ 地平線と子午線を基準にして天球を12に分割するもので、英語で「ハウス」(ラテン語の domus に由来する) と呼ばれる。

第2巻は天変地異のように個人を超えた現象を占うもので、「国家占星術」と呼ばれる分野に属する。プトレマイオスは国家占星術よりも個人占星術のほうに重きを置いていたので、この巻は *Tetrabiblos* との対応関係はあまり顕著ではない。ただしもっとも長い章である第9章は *Tetrabiblos* II.3 8に多くを負っている。また第10章も同II.13との関係が濃厚である。その他の章はアブー・マアシャルをはじめとすイスラム世界の先人の作品を土台にしていると思われる。

第3巻は「個人占星術」と呼ばれる分野に属し、再び *Tetrabiblos* との関係が濃厚になる。*Tetrabiblos* では3巻と4巻に相当する。この巻の最後の2章は tasyīr と呼ばれる天球上の弧に関するものである。これは人の寿命の計算にかかわる重要なテーマであり、プトレマイオスも *Tetrabiblos* III.10 でかなり詳しく述べている。ウマル・イブン・アル＝ファッルハーンによる *Tetrabiblos* のアラビア語訳にもその近似的な方法が見られるが、後にアル＝バッテリー・ヤル＝ビールニーによっていっそうの発展を遂げた。クーシュヤールも本来天文学者であるからこの問題をよく理解しており、アル＝バッテリーの方法を踏襲してわかりやすく解説している²⁵。

第4巻は「選択占星術」あるいは「開始占星術」と呼ばれる分野であり、人生のさまざまな行為を開始するさいの吉凶の条件について列挙するものである。その占いの対象は農業、商業、工業、旅行、建築、相続、養育、教育、病気の治療、結婚、出征、王の即位など多岐にわたり、文化史的にみて興味深い。*Tetrabiblos* にはこの分野の独立した章はない。類似の章はドロテオス (Dorotheus of Sidon) の書物のアラビア語訳²⁶にみられる。

3 *Madkhal* の天文学要素

Madkhal の数理天文学の要素は2.11(木星と土星の会合)、2.12(世界周期)、3.21(tasyīr) にはほぼ限られている。2.12と3.21についてはすでに論文として公表しているので²⁷、ここでは2.11について述べる。

底本としたGおよびFには表と具体的な数値をあげる部分が欠けているので、BJVにしたがうことにする。これらの写本が与える木星と土星の会合に関する定数は次の通りである。

(1) 平均会合周期： $\Delta f = 19^Y 314^d 13^h 11^m 22^s 40''' 24''''$ ²⁸(ここでYは「ペルシア年」すなわち365日ちょうどであり、端数をもたない。)

写本Vはさらに付加した部分で7249^d13^h11^m23^sという「秒」までの概数も与えている。これらの数値は表の値の差とも一致する。

(2) 平均会合弧： $\Delta \lambda = 242^\circ 25' 20'' 7''' 6''''$ ²⁹

これらの定数に基づいて作製された表(p.132–134)はヤズダジルド元年の最初の「火曜日」の正午すなわち、A.D.632年6月16日(JD=1,952,063)を基準(暦元)として、それを遡る4回の会合とそれ以後の46回の会合までの時間差と会合の位置(黄経)を示したものである。

表の第4回会合と第5回会合の値を単純に加えると7250^d13^h11^m23^sとなるから、第1回会合から第4回会合までの日数は単純なマイナス値ではなく、「数え」とみなすべきであり、与えられた絶対値をマイナス値とするためには1引いておかなければならない。したがって第4回会合の場合は、暦元から650日引くとユリウス通日(JD)で1,951,413日、すなわちA.D.630年9月5日になる。しかし正午よりも18^h11^m45^s前であるから、会合の瞬間は前日9月4日の17時48分15秒であったととなる。同様にして遡っていくと第1回の会合は暦元を遡ること22399日9時間45分53秒であるから、A.D.571年2月18日(水曜日)2時14分7秒であったことになる³⁰。

²⁵ この問題については Yano *et. al.* [1991] で詳しく論じた。なおこの論文でも校訂テキストと英訳を載せたが、今回はテキストをかなり改善した。

²⁶ Pingree [1976]。

²⁷ Yano [1984] と Yano *et. al.* [1991] 参照。

²⁸ この数値は写本JVによる。Bについては訳注参照。

²⁹ 写本Jによる。この数値は表の値の差と一致する。BVについては訳注参照。

³⁰ この年は預言者ムハンマドが生まれた年とみなされ、「宗教の会合」と呼ばれる。

また暦元以後は表の値をそのまま単純に加えればよく、たとえば最初の会合である第 5 回目は A.D. 650 年 7 月 29 日 6 時 59 分 39 秒であったことになる。こうして第 50 番目の A.D. 1543 年 9 月 11 日 0 時 31 分 38 秒における会合までが表になっているのである。

さらに BJV は「洪水」の紀元³¹よりも 43 日前にこの会合が起こったとみなし、「洪水」の後の第 50 回日の会合の時間を与えている。

これらは平均惑星の会合であり、真運動によるものではないから、上のような値が両惑星のどのような平均運動から導かれたものであるか推測することが可能である。

まずプトレマイオスの *Almagest* の平均運動表³²によると、

土星の平均運動/日 (\bar{v}_s) = 0; 2, 0, 33, 31, 28, 51°

木星の平均運動/日 (\bar{v}_j) = 0; 4, 59, 14, 26, 46, 31°

$$\Delta \bar{t} = \frac{360}{\bar{v}_j - \bar{v}_s} \approx 19^Y 318^d 2^h 32^m$$

となり、*Madkhal* の値とはかなり異なる。

またクーシュヤール自身が *Zij* で用いている平均惑星の運動³³

$$\bar{v}_s = 0; 2, 0, 35, 50, 48, 3^\circ$$

$$\bar{v}_j = 0; 4, 59, 16, 54, 54, 57^\circ$$

から会合周期を求めると、

$$\Delta \bar{t} = \frac{360}{\bar{v}_j - \bar{v}_s} \approx 19^Y 318^d 0^h 14^m$$

となり、プトレマイスとは近いが、*Madkhal* とは異なる。

いっぽうインドの天文学では定数をユガ (4,320,000 年) またはカルパ (4,320,000.000 年) における惑星の対恒星回転数 (R) として与えるので、いくつかの代表的な学派の両惑星の回転数 (R_j , R_s) によって平均会合周期 ($\Delta \bar{t} = \frac{D}{R_j - R_s}$) を求めると次のようになる。

	アールヤ学派	アールグラートリカ学派	ブラーフマ学派	サウラ学派
D	1,577,917,500	1,577,917,800	1,577,916,450,000	1,577,917,828
R_s	146,564	146,564	146,567.298	146,568
R_j	364,224	364,220	364,226.455	364,220
$\Delta \bar{t}$	$19^Y 314^d 11^h 2^m 38^s$	$19^Y 314^d 14^h 16^m 28^s$	$19^Y 314^d 11^h 36^m 7^s$	$19^Y 314^d 17^h 28^m 30^s$

アブー・マアシャルは『千年周期の書』でインド起源の定数を用いて

$$D = 131,493,240, \quad R_s = 12,214, \quad R_j = 30,352$$

としているので,³⁴

$$\Delta \bar{t} = 19^Y 314^d 14^h 23^m 37^s$$

となる³⁵。

Madkhal の場合も、 h (時) 以下の単位はわずかに異なるが、インド系の会合周期にきわめて近いので、アブー・マアシャル同様インドの天文学に基づいていると思われる。

すでに述べたように、クーシュヤールは 2.12 でもインドの定数を用いているから、ここでもプトレマイオスではなくインドの天文学にしたがったのであろう。しかし *Madkhal* の表と定数を述べる部分は写本 GF には欠けるので、後にインド系の天文学を知っているだけかによって挿入され、これが写本 BJV に伝えられたという可能性もある。

³¹すでにのべたようにこれはインドのカリ・ユガの第 -日目であり、-3101 年 2 月 18 日金曜日にあたる。クーシュヤールは *Zij* においてもこの紀元に言及している。

³²Toomer [1984], p. 429(土星) と p. 432(木星) 参照。

³³*Zij al-jāmiʿ*, Berlin Ms. Or. quart.101; p. 47. この値は Dr. van Dalen が同 *Zij* の表からも確認してくれた。

³⁴Pingree [1968], p.32 および矢野 [1993], p.62 参照。

³⁵Kennedy [1964] 参照。

4 テキストの校訂について

4.1 使用した写本

アラビア語テキストの校訂に当たって次の 8 種類の写本のコピー³⁶を使用した。すでに述べたように *GAS* によるとおよそ 4 0 種類の写本が現存しているので、できるだけ集めるよう努めたが、欧米の図書館所蔵から取り寄せることができたもの以外は、Pingree 教授所蔵のコピーに頼った³⁷。

B: Berlin 5884 (ff. 1b–34b)

F: Fatih 3426 (ff. 1b–73b)

G: Garrett (Princeton) 969 (ff. 1b–44b incomplete)

H: Hamidiye 829/3 (ff. 151b–180b)

J: Yeni Cami 1193/2 (ff. 53b–82a)³⁸

L: London (B. M.) add. 7490/1 (ff. 1b–43a)

V: Vatican 1398/1 (ff. 1b–44b)

Y: Yahuda (Princeton) 2799 (ff. 1b–40a)

これらの写本の年代と特徴は次のとおりである。年代は *GAS*, VII, pp. 182–83 による。

B : 976H. 明瞭な字体で書かれ、すべての表をそなえたすぐれた写本である。ただし 3.20 の最後のホロスコープ図を欠く。読みは正確であるが、底本として用いた G との異読は量においても質においても他の写本よりもはるかに大きい。マージンにいくつかの書き込みがあり、解釈の助けになった。

F : 907H. ヌクタ (子音判別記号) が少なく、読みづらい写本であるが、G に最も近く、しかも表以外は欠ける部分がないので、G に欠ける最後の部分はこれを底本とした。G との関係が深いことは、他の写本と比べて G に対する異読が半分ほどしかないことから明らかであるが、テキストの順序についても G と F のみが一致する部分がある³⁹。わたしが使用した F 写本は Pingree 教授所有のマイクロフィルムのコピーであるが、このフィルムでは fol.33b と fol.34a が欠けている。

G : ヒジュラ 7 世紀に属し、現存する写本の中で二番目に古い。読みは正確で、母音記号とシャッダがかなり導入されているので最も読みやすく、かつ妥当な解釈を許す写本である。ていねいに読み直した形跡があり、正しい読みの方をマージンに書き込んでいることがある。残念ながら、写本は第 3 巻第 2 0 章の途中 (44b) までしか残っていない⁴⁰。かなり古い時代に紛失したものらしく、その後別の書き手が残りの部分を追加しようと試みているが、不完全であるばかりでなく字体が乱雑であり、校訂に利用できるものではない。

本校訂ではこの G 写本のオリジナル部分を底本として用い、欠ける部分については F を基本にした。

H : 1176H. G にたいする異読、および単独の異読が多く、とくに haplology による不注意な欠落が多い。単独の読みのうちで採用しなければならないものはなかったので、脚注に異読をあげることはしなかった。

J : 年代不明。読みやすい写本である。第 2 巻の qirān の表と 3 巻末の表以外の表を欠く。G との異読はかなり多い。fol.68ab のマージンにかなりの書き込みがある。別の手で書かれているが、そのなかにはテキストの一部として必要なものもある。

³⁶収集した写本はすべてマイクロフィルムなどによる複写であるが、以後「コピー」という言葉を用いない。

³⁷*GAS* に記録されているもののうち最も古いのは Fatih 3148/2 でヒジュラ 545 年に属するが、完全ではないということである。

³⁸Sezgin, *GAS* VII, p.183 では ff. 52a–83b となっている。

³⁹たとえば 2.12.9–12

⁴⁰その欠けた部分にあったはずの図と表を含むフォリオ 1 枚は 36b と 37a の間に挟まれている。

L : 1054H. きれいな読みやすい字体で書かれているので便利ではあるが, haplology による欠落が H に次いで多く, 単独の異読も多い. 表のための空白は残していても表自体はない. この写本もおおいに利用したが, 最終的に脚注を減らすために, 異読のリストからは削除した.

V : ヒジュラ 8 世紀. 字体は乱雑できわめて読みにくい写本であるが, 欠落はほとんどなく, 読みも正確である. 筆記者はかなり丁寧に読み直したらしく, マージンには同一の手で正しい訂正が書き込まれている. 奇妙なことに 1.8 の 30 恒星の順序が他と大きく異なっている (英訳註参照).

Y : 当初は利用していたが, あまりにも底本と異なるので, 無視せざるを得なくなった. ただし表の数値は明瞭なので助けになった. なおこの写本は GAS では言及されていない.

なおこれらのほかに, 部分的ではあるが, ペルシア語写本 (Bodl. Or. 392) も参照した.

4.2 校訂の過程

1981 年にブラウン大学で Pingree 教授より渡された写本は FJH の三種である. これらをしばらく読みすすめた後, プリンストン大学図書館で G と Y を手に入れ, これら 5 種類の写本によって校訂を開始した. しかしまだ写本に慣れておらず, 読みの不明な部分がかなり残った. 1984 年に発表した, 第 2 巻第 12 章についての論文と, この章の前半部分の校訂 [Yano, 1984] はこの段階のものである.

その後文部省科学研究費によって, あらたに写本 BLV を入手した. これらの助けによってほぼ全ての部分が完全に読めることがわかったので, あらためてテキストと異読をコンピュータに入力することにした. 最初は G を底本にしながら BHJLV の異読を脚注に入れ, 第 1 段階を終えたが, コンピュータによって異読の性格を分析しているうちに, H の価値がそれほど大きくないということがわかったので, その異読を削除することにした.

こうして第 2 段階の校訂本を作ったが, そうした後で F を再検討すると, これがもっとも底本 G に近く, すぐれた読みを提供し, 無意味な異読が少ないということがわかった. そこで, 脚注の量を減らすために, L を棄て, F を取り入れることにした. G に欠ける部分は, B と V だけででも十分に補うことができたが, F によっていっそう G に近いであろうテキストにすることができた. こうしてできたのが, 今回提出する第 3 段階の校訂本である.

4.3 異読の量的比較

最終的に使用した 5 種類の写本の異読はほぼすべて脚注に記した. この脚注に略号 BFGJV が単独または他との組み合わせで出現する回数は表 2 の通りである. できるかぎり G に沿ってテキストを作成したのだから G が単独で現れる回数が少ないのは当然である. 多少不自然な読みも採用すればこの数は半分以下になるだろう. また残りの 4 写本のうち F が単独に提供する異読が他の半数以下であることから, 少なくとも量的には F が G に最も近いことも明らかである. 第 2 欄には二つの写本が共通の異読を提供する回数をあげたが, J と V の共通性が著しいことがわかる. 同様に第 3 欄より BJV に共通する異読が多い. これは G と F の親近性が大きいことの裏返しでもある. 第 4 欄では BFJV が多いが, これを裏返すとそのぶんだけ G 単独の読みを採用したことになる. 上にのべたようにこの数値はさらに大きくなりうる.

表 2

B	540	BF	48	BFG	1	BFGJ	0
F	222	BG	3	BFJ	44	BFGV	0
G	57	BJ	90	BFV	24	BFJV	75
J	669	BV	76	BGJ	0	BGJV	1
V	513	FG	5	BGV	1	FGJV	8
		FJ	41	BJV	75		
		FV	46	FGJ	4		
		GJ	7	FGV	7		
		GV	3	FJV	29		
		JV	137	GJV	1		

4.4 校訂の原則

- 巻 (maqāla) と章 (bāb) の構成については写本による相違はない. 写本には句読点是用いられていないが, 「節」 (faṣl) という語によって章がさらに細分されている場合が多い. その細分の仕方は必ずしも同一ではない. この校訂本では G で ‘faṣl’ が用いられている場合はこれにしたがって節を分け, 番号を付した. しかし「節」としてあえて細分する必要が無いと判断した場合もある. 逆に ‘faṣl’ が用いられていなくても, 読みやすくするために, 節として番号を導入したものもある. 写本によっては文字の色を変えたり⁴¹, 上に線を引くなどして節または文の切れ目を示しているものもあり, これらも参考にした.

- 写本 G は他の写本よりかなり多くの場合シャッダ記号を付しているが, もちろん常にというわけではない. 文法上必要な場合は断りなくシャッダを導入した. ただし脚注ではすべてのシャッダを削除した.

- 写本 G は文字の上に線を引いてハムザを示している場合が多いが, これも常にというわけではない. ハムザの表記には歴史的に様々な方法があったようであるが, 本校訂においてはできるだけ現代式に統一することにした. しかし写本 G の表記を生かした場合もある.

- 母音記号はどの写本にもほとんど記されていないが, G 写本では希に用いられている場合があり, 解釈の助けになった. しかし校訂本では母音は一切表記しなかった.

- ヌクタは文脈上明らかな場合は省略する写本が多い. その場合にはいちち異読として脚註にあげなかった. しかし異なったヌクタを付すことによって独自の読みを提供していると思われる場合にはこれを異読とした. ただし動詞の接頭辞の場合 (たとえば yakūnu と takūnu) は, 解釈上で問題が残るような場合のみ異読として記した.

- 本書には数詞と数字が多用されているが, 写本の数詞の表現は必ずしも文法通りではない. できるだけ文法に従った形を採用したが, 写本に attest できない形を取り入れることは避けた. また数表の数字の異読も網羅しなかった.

⁴¹ 筆者が現物を手にとって見ることはできたのは G のみであり, 他の写本は白黒フィルムであるから, 色の種類はわからないが, 文字の濃淡によって異なった色が用いられていることはわかる.

5 これまでの研究

ケーシュヤールの占星術書が日本で注目されたのは、それが明代に中国語に翻訳されていることが知られたからである。『明訳天文書』に見られる「閩識牙耳」が Kūshyār の音訳であることを最初に指摘したのは今井湊氏である⁴²。今井氏はさらに今井 [1958] でプトレマイオスの *Tetrabiblos* と『明訳天文書』の章のタイトルのみをを比較されたが、ケーシュヤールの原本を利用するまでにはいたらなかった。

『明訳天文書』そのものには今井氏に先んじて田坂興道氏が注目していた。氏は『明訳天文書』がいわゆる天文学書ではなく占星術書であることを指摘した⁴³。氏は別の文脈で、『元祕書監志』に見られる西域の文献名「麻塔合立」が *Madkhal* の音訳であろうと推定し、しかもそれがケーシュヤールの占星術書のタイトルでもありうることを指摘⁴⁴。しながら、『明訳天文書』に見られる「閩識牙耳」がまさにそのケーシュヤールに他ならないことには思い至らず、『明訳天文書』の原著者を「初代カリフであるアブー・バクル」に擬するに終わった。

アラビア語原典と『明訳天文書』とを最初に比較しようとしたのは薮内清教授であり、その結果は薮内 [1969], pp. 235–242 に「ケーシャルの占星術書」としてまとめられている。薮内教授は E.S. Kennedy 教授から送られたプリンストン写本（上記 G に同じ）の写真の一部を森本公誠師の助けによって読み、とくにその第 1 巻の章のタイトルを『明訳天文書』の第 1 類の表題を比較されたが、内容についての比較はほとんどなされなかった。ただ第 1 類第 8 章に見られる恒星の表については原本との比較がされている⁴⁵。その後 Yabuuti [1987] にも『明訳天文書』の恒星の表についての言及はあるが、薮内 [1969] より新しい情報はない。

海外でも *Madkhal* に関する研究は全く存在しない。わたしがはじめて *Madkhal* に関する論文 Yano [1984] を公表したときいちはやくこれに注目し、この論文を現代ペルシア語に翻訳したのが Bagheri [1990] である⁴⁶。その後わたしは Yano *et. al.* [1991] で *Madkhal* の数学的にもっとも難解な部分を解明した。

6 『明訳天文書』について

6.1 翻訳の背景

ケーシュヤールの *Madkhal* は明初に中国語に翻訳された。洪武 16 年 (西暦 1383 年)5 月の日付のある、訳の監督者翰林院の呉伯宗の序文⁴⁷によると、明の国立天文台である欽天監の靈臺郎で西域出身の学者海達児⁴⁸、阿荅兀丁、馬沙亦黑、馬哈麻⁴⁹などが前年の秋 9 月に翻訳を開始し、翌 16 年 2 月に翻訳を完成していた。これら西域人のうち馬沙亦黒の名前は『明史暦志回回暦法』⁵⁰の序文にも見られる。それだけでなく、『回回暦』の訳業の監督者も同じ翰林院の李神と呉伯宗であり、その編纂も全く同じ洪武 15 年秋に始っている。すなわち、数理天文学書である『回回暦』と、占星術書である『明訳天文書』は全く同じ時期に同じ人々の手によって中国語に翻訳されたのである。

⁴² 今井氏は私製のガリ版刷り雑誌『天官書』6 にこのことを発表されたが、この号の年代は不明である。

⁴³ 田坂 [1964], p.1600. なお田坂 [1964] は田坂氏の死後出版されたものであり、ここに収録されている論文の多くは戦前に書かれたものである。

⁴⁴ 田坂 [1964], p.1553.

⁴⁵ なお薮内教授が森本公誠師の協力を得て作成しておられた『明訳天文書』の研究ノートを借用したが、森本師の断片的筆写と薮内教授のメモが散見されるのみで、ほとんど役立てることはできなかった。

⁴⁶ テヘラン在住の Bagheri 氏からの私信によれば、氏はわたしのアラビア語校訂本を参考にしてペルシア語訳を研究する予定とのことである。

⁴⁷ 訳には 2 つの序文がある。ひとつは『譯天文書序』であり、伯宗によるもので、その後にある『天文書序』は西域出身の訳者によるものである。「閩識牙耳」の名は後者にみられる。

⁴⁸ 北京本は「海荅児」とする。

⁴⁹ 薮内 [1994] によると、馬沙亦黒と馬哈麻は馬徳魯丁の長子と次子、馬哈麻は Muḥammad の音訳であると思われる。別に「聖人馬合麻」という名前も序にみられるが、これは預言者 Muḥammad であろう。『回回暦』序に「西域默狄納国王馬哈麻」とあるのも「メディナ」(Madīna) の預言者 Muḥammad をさす。馬沙亦黒については羽田 [1958] 参照。

⁵⁰ 『回回暦』の原本が何であったかは、中国暦法史上できわめて興味深い問題であるが、いまのところ不明である。わたしはこの問題にも関心をもち、Dr. van Dalen とともに精査を開始した。

表 3 *Madkhal* と『明訳天文書』の対応

Part I On the Introduction and the Fundamentals	第一類 總説題目
1 On the Undertaking of this Book and What is necessary to describe from among the Introductory Matters	1 説撰此書為始之由
2 On the Natures of the Planets	2 説七曜性情
3 On the Benefic and Malefic Planets	3 説七曜吉凶
4 On the Masculine and Feminine Planets	4 説七曜所屬陰陽
5 On the Diurnal and Nocturnal Planets	5 説七曜所屬晝夜
6 On the Natures of the Planets according to their Remoteness from and Nearness to the Sun	6 説各星離太陽遠近性情
7 On the Easterliness and Westerliness of the Planets	7 説五星東出西入
8 On the Fixed Stars and their Complexions	8 説雜星性情
9 On the Tropical Signs, Fixed Signs, and Bicorporeal Signs	9 説十二宮分分為三等
10 On the Masculine and Feminine Signs, and the Diurnal and Nocturnal Signs	10 説十二宮分陰陽晝夜
11 On the Natures of the Signs	11 説十二宮分性情
12 On the Signs and the Degrees which aspect Each Other	12 説十二宮分度數相照
13 On the Houses of the Planets	13 説七曜所屬宮分
14 On the Exaltation of the Planets	14 説七曜廟旺宮分度數
15 On the Triplicities and their Lords	15 説三合宮分主星
16 On Terms *****	16 説每宮分度數分屬五星
17 On the Domain, the Joy, the <i>Dastūriya</i> , and the Dodecatemoria	17 説每宮分為三分
18 On Application, Separation, Reception, and Reflecting	18 説每星宮度位分
19 On the Powers of the Planets and their Rulership over Each Other	19 説七曜相照
20 On the Indications of the Places of the Sphere and the Positions of the Planets in them	20 説各星力氣
21 On Lots	21 説命宮等十二位分
22 On the Investigation of the Planet having Mastership over the Place among the Places of the Orb	22 説福德等箭
	23 説各宮度主星強旺
Part II On the Judgement the Things in the World	第二類 斷說世事吉凶
1 Introduction to this Part	1 總論題目
2 On General Conditions of Natures of Men	2 論上等第應驗
3 On Happenings on the Earth and in the Sky	7 説天地顯象之事
4 On Riots and Wars	3 説災禍征戰之事
5 On Diseases and Illnesses	4 説天災疫病
6 On Heat, Coldness, and Winds	5 説天時寒熱風雨
7 On Moistures and Rains	6 説陰雨濕潤
8 On Prices	9 説物價貴賤
9 On Eclipses	10 説日月交食
10 On the Indications of Conditions of the Sky	8 斷說天象
11 On Conjunctions	11 説土木二星同度相纏
12 On the Periods According to the Belief of the Ancients	12 説世運

Part III On the Judgement of the Nativities and the Transfer of their Years	説人命運并流年
1 Introduction to this Part	1 總論題目
2 On the Beginning of the Formation of an Embryo and the Description of his Conditions before Birth	2 説人生受胎未生之前事
3 On the Knowledge of the Degrees of the Ascendant at Birth	3 説安命宮度備細
4 On the Judgement of the Growth of the Native	4 説人生幼時皆有星辰照管
5 On the Figure of the Body. Complexion and Temperament of the Native	5 説人生相稟性
6 On Life Span	6 説人壽數短長
7 On Accidental Harms and Illnesses of the Body	7 説人内外病證
8 On the Conditions of the Soul	8 説人生性智識
9 On Mental Diseases	9 説人風證病患
10 On the Conditions of the Parents	10 論人父母
11 On the Description of Brotherhood	11 論人兄弟姉妹
12 On Property and Fortunes	12 説財帛福祿
13 On the Job and Work of the Native	13 説人生何藝立身
14 On Marriage	14 説婚姻
15 On Children	15 説男女
16 On Friends and Enemies	16 説朋友并讎人
17 On the Journey and Absence	17 説遷移
18 On the Condition of Death	18 説人壽終緣故
19 On the Division of the Time of the Native	19 説人生每一星主幾年
20 On the Native’s Yearly Transfer and the <i>Tasyīr</i> of the Basic and Transferic Indications	20 説流年并小限 付 星盤 小限流年度數表 *****
Part IV On Choices in General	説一切選擇
1 On Choices in General	1 總論選擇
2 On the Division of Choices according to the Arrangement proper to the Twelve Places	2 細分選擇条件
3 On the Conclusion of this Book	3 總結推用此書之理

実際『明訳天文書』と『回回曆』の序文を比べてみると、この他にも共通する点がある。たとえば『明訳天文書』で

爾來西域陰陽家，推測天象，至爲精密有驗。其緯度之法，又中國書之所未備

と、西方の天文学がとくに緯度の計算にすぐれ、中国の書物ではこの問題は不備であると述べているが、『回回曆』も、

西域推測天象最精，其五星緯度又中國所無

とほとんど同じ主旨のこのと述べている。

6.2 原文と訳の相違

『明訳天文書』の序文には、原文には「一切変更を加えていない」⁵¹と述べられているが、そのよりどころとなった写本がどのようなものであったかはわからない。わたしが利用したアラビア語写本とはかなり異なった部分があるので、ペルシア語訳からの翻訳であった可能性が高い⁵²。しかし内容の構成を見る限りではわたしが利用したペルシア語写本とも異なっている。

アラビア語テキストと『明訳天文書』との章の関係は表3の通りである。以下に両者の大きな違いを列挙する。

- 『明訳天文書』第1類第17門⁵³に対応する部分がアラビア語写本にはない。これは1宮(30°)を3等分した単位について述べたものである。アラビア語で *wajh*、西洋ではデカン (*decan*) と呼ばれる重要な単位であり、インドでもギリシア語からの音訳語 *dreṣkāna* を用いる。『明訳天文書』はアラビア語を直訳して「面」と呼んでいる。第17門はそれぞれのデカンを支配する惑星をいちいち述べているだけで、簡単に表の形で表わすことができるものである。ただこのデカンという単位はどういうわけか、*Madkhal* では余り重要な役割を果たしておらず、第1巻第19章で軽く触れられている程度である。したがってデカンの表に類するものが最初からアラビア語版にあったとは思えない。またペルシア語写本にもこの部分はない。
- 第2巻の章の順序がかなり異なっている。*Madkhal* の第3章にあたるものが『明訳天文書』では第7門に充てられている。これにともない第4章からひとつずつ章番号がずれている。さらに *Madkhal* の8章から10章までの順序も9章(8門)、10章(9門)、8章(10門)の順に並び変えられている。
- Madkhal* 2.9.4–19 は天地相関の見地から地理学的な地名を多数列挙するものであるが、この部分は『明訳天文書』では一切省略されている。訳者はどこにあるかわからない外国の地名を列挙することに意味を見出さなかったのであろう。
- Madkhal* 3.21 にあたる部分が『明訳天文書』には欠けている。この章は本書の中で最も数理的な性格が顕著であり、簡単に理解できるものではない。訳者たちには十分に理解できなかったか、あるいは入門書としては不適当であるとみなされたのでであろう。3.3.9–11に対応する部分が欠けているのも同じ理由であろう。
- 逆に『明訳天文書』にはあって原文には見られない部分⁵⁴がある。その多くは原文だけでは理解できないので説明を加えているものである。訳者はクーシュヤールの書物を訳しながら、当時の代表的な占星術書、たとえばアブー・マアシャルの占星術書などを参考にして付加したものであろう。
- 『明訳天文書』があげる例には、原文にはなくて訳書の年代に近いものがみられる。これについては次に述べる。

アラビア語写本にはかなり読みや例の違いがあるから、用いた8種類の写本のうちでどれがもっとも『明訳天文書』に近いかというのは興味深い問題であるが、決定的なことは言えない。ただ最も古いGは決して『明訳天文書』に近いとは言えないことは確かである。その例として1.15.6の「水の三角形」の支配惑星の相違をあげることができる。写本Gは「晝は金星、次に火星」「夜は火星、次に金星」とするのにたいして、BFJVは火星と金星を逆にしている。さらにVはその理由を説明している。この部分の『明訳天文書』はBFJVと同じである。

また1.21.3で述べられている lot of fortune の実例は3種類に分けられるが、それらのうち『明訳天文書』がBのみと一致することは注目していいだろう（英訳および訳注参照）。

⁵¹ 不敢有毫髮增損

⁵² ペルシア語訳との厳密な比較も望ましいが、この仕事は後進に譲りたい。

⁵³ 「類」は *maqāla* の、「門」は *bāb* の翻訳である。

⁵⁴ 付録のテキストで節番号の代りに*印をつけた部分。

6.3 『明訳天文書』のあげる例

『明訳天文書』のみにみられる例のうち、とくに興味深いのは、第3巻末の「星盤」のホロスコープである。アラビア語写本では、読者が適当な年代に合わせてホロスコープ図の中に惑星の位置を書き込むように、「惑星」(kawkab)とのみ書いてその位置を示していないのに対して、『明訳天文書』では同心正方形のうち2層をホロスコープにあて、2組みの惑星の位置を書き込んでいる。これらを「外側」と「内側」のホロスコープと呼ぶ。これらを現代の方法で計算した惑星の位置と比較すると右の表のようになる。外側のホロスコープの惑星位置のような組み合わせはちょうどこれにあてはまるような年代を見出すことはできないが、内側の場合は A.D.1245 年3月12日(ユリウス暦)のそれにきわめてよく合致することがわかる。太陽の位置をみても明らかのように、この日は春分に当たる。第3巻第20章で詳しく述べられるように、

ペルシアの占いでは春分の日はとくに重要である。ただし『明訳天文書』で太陽の位置を355度としているのは奇妙である。おそらく、ここは空欄あるいはゼロ記号が書かれていたが、外側のホロスコープの太陽の位置をそのまま写してしまったのであろう。これらは『明訳天文書』のもとになった写本にすでに書き込まれていたのであろう。次に述べる例および恒星の黄経の場合と同じように、訳者たちは自分で計算して新たな数値を入れることはしなかったと思われるからである。

この例と並んで興味深いのは第2類第12門「世運」にみられる例である。この部分のアラビア語写本の順序と実例は FG と BJV の二つのグループに分けられるが、『明訳天文書』はどちらとも異なり、「西域紀年六百一十五年」の例をがあげている。これはヤズダジルド紀元の615年すなわち西暦1247年にあたる。上にのべたのホロスコープの惑星の位置とほぼ同じ年代であり、同一人物が自分の時代にに合わせて書き換えたものであろう。

6.4 『明訳天文書』の恒星の表

惑星だけでなく、恒星も占星術の対象として用いられる場合がある。これもプトレマイオス以来の伝統である。クーシュヤールは30の恒星について、その名称、黄経、等級、緯度の南北、恒星がもつ惑星の性質、凶星⁵⁶か否かを述べている。表5はこれをまとめたものである。ここで与えられている黄経はプトレマイオスの星表のそれに13度を加えただけである⁵⁷。

『明訳天文書』にもこの部分はあり、表5のようにまとめることができる。この表で注目すべき点がいくつかある。まず、『明訳天文書』は *Madkhal* と同じく、歳差の値について

一年行五十四秒。十年行九分。六十六年行一度。観者依此推之⁵⁸

といっておきながら、翻訳の年またはそれに近い年の黄経ではなく、

是三百九十二年之前度数如此

⁵⁵ 惑星は Tuckerman [1964] による。羅候と計都はそれぞれ月の昇交点と降交点であり、これらの位置計算は渡辺 [1959] による。これらの位置が大きく外れていることについては問題が残る。

⁵⁶ qāti^c, 表では Q と略した。

⁵⁷ ただし、18 番目だけは異なっており、黄経は 4°15'30' でなければプトレマイオスと一致しないが、クーシュヤールが「これはそのようには述べられていないけれど、しし座の肩にある」と言うように、別の星をさしていると思われる。

⁵⁸ Yano [1984, 72] で述べたように、1°/年という歳差の値はインドの Govindasvāmin(9 世紀中頃)の与えるものと同じである。

表 5

<i>Madkhal</i> の 30 の恒星							<i>Almagest</i>
1	名称 ⁵⁹	宮 度 分	等級	緯度	惑星		宮 度 分
1	The Hand of the Dyed One	0 20 50	3	北	土	金	0 7 50
2	The Eye of the Bull (<i>al-dabarān</i>)	1 25 40	1	南	火		Q 1 12 40
3	The bright star of the Head of the Giant	1 12 40	2	北	火	水	Q 0 29 40
4	The side of a man carrying the Head of the Giant	1 17 50	2	北	火	水	Q 1 4 50
5	The Head of the Tyrant	2 10 0	cl	南	火	水	Q 1 27 0
6	The Right Shoulder of Orion	2 15 0	1	南	土	水	Q 2 2 0
7	The Left Shoulder of it	2 7 0	2	南	土	木	1 24 0
8	The Middle of the Belt	2 10 20	2	南	土	木	1 27 20
9	The Left Foot of Orion	2 2 50	1	南	木	土	1 19 50
10	^c <i>Uyūq</i> (Cappela)	2 8 0	1	北	火	水	1 25 0
11	The Shoulder of the Reins-Holder	2 15 50	2	北	火	水	2 2 50
12	The Southern Dog-Star (Sirius)	3 0 40	1	南	木	*火 ⁶⁰	2 17 40
13	The Northern Dog-Star	3 12 10	1	南	水	*火	2 29 10
14	The Head of the Foremost Twin	3 6 20	2	北	水		2 23 20
15	The Head of the Hindmost Twin	3 9 40	2	北	火		2 26 40
16	The Manger	3 23 20	cl	北	火	月	Q 2 10 20
17	The Shoulder of the Lion	4 15 10	2	北	土	*火	Q 4 2 10
18	The Heart of the Lion	4 16 10	1	北	火	*木	Q 4 2 30
19	The Overturned	5 7 30	1	北	土	金	4 24 30
20	The Armed Rising Star (Arcturus)	6 10 0	1	北	水	土	5 27 0
21	The bright star in the Crown	6 27 40	2	北	金	水	5 26 40
22	<i>al-Simāk al-^cAzal</i> (Spica)	6 9 40	1	南	金	*水	6 14 40
23	The Heart of the Scorpion	7 25 40	2	南	火	*木	Q 7 12 40
24	That which is following the Sting of the Scorpion	8 14 10	cl	南	太陽	火	Q 8 1 10
25	The Eye of the Archer	8 28 10	cl	北	土	水	Q 8 15 10
26	The Falling Vulture	9 0 20	1	北	金	水	8 17 20
27	The Flying Vulture	9 16 50	2	北	火	木	9 3 30
28	The Mouth of the Fish	10 20 0	1	南	土	水	10 7 0
29	The Tail of the Cock called <i>al-ridf</i>	10 22 10	2	北	金	水	10 9 10
30	The Shoulder of the Horse	11 15 10	2	北	火	水	Q 11 2 10

⁵⁹ 恒星名の英訳は Elwell-Sutton [1977] による。

⁶⁰ *印を付したものは「わずかに」(*yasir*) その惑星の性質をもつ。

表 5

『明訳天文書』の 30 星								プトレマイオス
	名称	宮	度	分	等級	緯度	性情	(<i>Almagest</i>)
1	人座椅子象上第十二星	0	20	7 ⁶¹	3	北	土 金	カシオペア 12
2	金牛象上第十四星	1	20	40 ⁶²	1	南	火	Ⅸ おうし 14
3	人提猩猩頭上第十二星	1	12	40	2	北	火 水	Ⅸ ペルセウス 12
4	人提猩猩象上第七星	1	17	50	2	北	火 水	Ⅸ ペルセウス 7
5	人掌拄杖象上第一星	2	10	0	6	南	火 水	Ⅸ オリオン 1
6	人掌拄杖象上第四星	2	15	0	1	南	土 水	Ⅸ オリオン 2
7	人掌拄杖象上第五星	2	7	5 ⁶³	2	南	土 木	オリオン 3
8	人掌拄杖象上第二十九星	2	10	20	1	南	土 木	オリオン 27
9	人掌拄杖象上第三十七星	2	2	3 ⁶⁴	1	南	木 土	オリオン 35
10	人掌馬牽胸象上第三星	2	8	0	1	北	火 水	ぎよしゃ 3
11	人掌馬牽胸象上第四星	2	15	50	2	北	火 水	ぎよしゃ 4
12	大犬象上第一星	3	0	40	1	南	木 微火	おおいぬ 1
13	小犬象上第二星	3	12	10	1	南	水 微火	こいぬ 2
14	兩童子並立象上第一星	3	6	20	2	北	水	ふたご 1
15	兩童子並立象上第二星	3	9	40	2	北	火	ふたご 2
16	大蟹象上第一星	3	23	20	6	北	火 月	Ⅸ かに 1
17	獅子象上第六星	4	15	10	2	北	土 微火	Ⅸ しし 6
18	獅子象上第八星	4	16	10	1	北	火 微木	Ⅸ しし 8
19	獅子象上第二十七星	5	7	30	1	北	土 金	しし 27
20	人呼叫象外第一星	6	10	0	1	北	水 土	うしかいの下 1
21	婦人有兩翅象上第十四星	6	9	40	1	南	金 微水	おとめ 14
22	缺椀象上第一星	6	27	40	1	南	金 水	かんむり 1
23	蝎子象上第八星	7	25	40	2	南	火 微木	Ⅸ さそり 8
24	蝎子象上第二十星	8	14	10	6	南	太陽 火	Ⅸ さそり 2
25	人彎弓騎馬象上第七星	8	28	10	6	北	土 水	Ⅸ いて 8
26	龜象上第一星	9	0	20	1	北	金 水	こと 1
27	飛禽象上第三星	9	16	50	2	北	火 木	わし 3
28	寶瓶象上第四十二星	10	20	0	1	南	土 水	みずがめ 42
29	鷄象上第五星	10	22	10	2	北	金 水	はくちょう 5
30	大馬象上第三星	11	15	10	2	北	火 水	Ⅸ ペガスス 3

⁶¹20°50′でなければならない。

⁶²25°40′でなければならない。

⁶³7°0′でなければならない。

⁶⁴2°50′でなければならない。

といて、392 年前の原典と同じ黄経を与えている点である。392 年間の歳差は、簡単に $54'' \times 392 = 6^\circ 9' 18''$

と求めることができるから、これを *Madkhal* の黄経に加えるだけで済んだはずであるが、もとの写本にあった数値に手を加えることを躊躇したのであろうか⁶⁵。

次に *Madkhal* ではそれぞれの星の固有名をあげるだけであるが、『明訳天文書』ではそれらがどの星座の何番目の星であるかを述べている。この星座はいうまでもなくプトレマイオスが *Almagest* の第 7 巻と 8 巻で表にしているものである。つまり『明訳天文書』の訳者たちは、*Madkhal* の訳出に際して、*Almagest* に由来する星表を利用していたのである。しかしその星表は *Almagest* の星表として現在伝えられているものと全く同じではなかった。このことは、第 6 番目以下 4 つの人掌拄杖象 (オリオン) 上の星の番号がプトレマイオスのそれより 2 大きいことをみれば明らかである。

また *Madkhal* では 21 番目がかんむり座の 1 等星 ($\lambda = 207^\circ 40'$) で 22 番目がかスピカ (α Vir, $\lambda = 189^\circ 40'$) であるが、『明訳天文書』ではこれらが入れ代わっている。おそらく黄経の小さいものを先に置こうとしたのであろう。なお等級に関して、*Madkhal* で「雲状」(saḥābī, 表中では cl. と略した) と呼ばれているものが 4 つあるが、これらは『明訳天文書』では「六等」と訳されている。

6.5 巻末の中国語テキストについて

『明訳天文書』は台湾商務印書館發行四部叢刊三編『明譯天文書』、及び北京天華館刊『天文寶書』の 2 種類が刊行されている。それほど大きな相異はないが、どちらかといえば前者のほうが正確な読みを提供している。ただ前者が全く段落を分けないのに対して、後者はかなり段落を多く分けて読みやすくしている。

しかしアラビア語原文と対照させることによってはじめて理解できる部分もかなりあるので、原文に導入した節番号を中国語訳にも取り入れ、あらたなテキストを提出することにした。

なおアラビア語と中国語テクニカルタームを対照させるために巻末の索引に語彙の対照を付した。中国語訳は直訳ではなく、アラビア語と品詞が一致するわけでもないが、比較的対応関係がはっきりしている名詞を中心に上げたものである。元明時代のペルシア語と中国語の対照は『華夷譯語』の「回回館譯語」にみられるが、この中の天文用語の多くはアラビア語であり、『明訳天文書』でも用いられている。

これらが、今後 *Madkhal* のペルシア語訳や『明訳天文書』を研究しようとする方々の助けになれば幸いである。

⁶⁵『回回曆』の朝鮮版である『世祖実録』「七政算」の最後にある恒星の表の中にはこの三十星と同じものがいくつか見られるが、それらの黄経は *Madkhal* および『明訳天文書』のそれよりおよそ 5 度 10 分大きい。上の歳差を踏襲していたとすれば、14 世紀半ばの恒星の位置であり、元朝の末期に相当する。

参考文献

- Abū Maʿṣar; *The Abbreviation of the Introduction to Astrology. together with Medieval Latin Translation of Adelard of Bath* (Ch. Burnett, K. Yamamoto, and M. Yano). E.J. Brill, 1994.
- Bagheri, M. ‘Tarjima Chīnī Kitāb Aḥkām Nujūm Kūshyār Gilānī’. *Reconsiliation with Mathematics*, ed. by P. Shahryari, Vol.XII, No.2, 1990, pp.161 189.
- Al-Bīrūnī; *The Book of Instruction in the Elements of the Art of Astrology*, reproduced from British Museum, MS.Or.8349 and with a translation [from the Persian version] by R.Ramsey Wright, London, 1934.
- Elwell-Sutton, L.P.; *The Horoscope of Asadullāh Mīrzā*, E.J.Brill, Leiden, 1977.
- Kennedy, E.S.; ‘Ramifications of the World-Year Concept in Islamic Astrology’. *ITHACA; Actes du dixième Congrès international d’histoire des sciences*, Paris, 1964. pp.23 45.
- Kennedy, E.S.; *A Survey of Islamic Astronomical Tables*, Transactions of the American Philosophical Society, Vol.46, Part 2, Philadelphia, 1956.
- Kennedy, E.S. & M.H.; *Geographical Coordinates of Localities from Islamic Sources*, Frankfurt am Main, 1987.
- Levey, M. and Petruck, M.; *Kūshyār ibn Labbān: Principles of Hindu Reckoning*, The University of Wisconsin Press, Madison and Milwaukee, 1965.
- Pingree, D.; *The Thousands of Abū Maʿshar*, The Warburg Institute. Lodnon. 1968.
- Pingree, D.; *Dorotheus Sidoni Carmen Astrologicvm*, Teubner, 1976.
- Pingree, D; *Jyotiḥśāstra*, A Histrory of Indian Literature, Vol.VI Fasc.4, Wiesbaden, 1981.
- Ptolemaios; *Tetrabiblos*, ed. and translated by F.E. Robbin, Loeb Classical Library 350, 1940.
- Saidan, A.S.; ‘Kūshyār ibn Labbān ibn Bāshahrī, Abū ’l-Ḥasan, al-Jīlī’, in the *Dictionary of Scientific Biography*, (Ed. Charles Gillispie), vol.7 (New York, 1973), pp.531-533.
- Sezgin, F.; *Geschichte des Arabischen Schrifttums (GAS)*, Band V (Mathematik), 1974, Band VI (Astronomie), 1978, and Band VII (Astrologie), 1979, Leiden.
- Toomer, G.J.; *Ptolemy's Almagest*, London, 1984.
- Tuckerman, B.; *Planetary, Lunar, and Solar Positions A.D. 2 to A.D. 1649*, The Amrican Philosophical Society, Philadelphia 1964.
- Yabuuti, K.; ‘The Influence of Islamic Astronomy in China’, *From Deferent to Equant: A Volume of Studies in the History of Science in the Ancient and Medieval Near East in Honor of E.S. Kennedy*, New York Academy of Science, 1987. pp.547 559.
- Yano, M.; ‘Kūshyār ibn Labbān’s Book on Astrology’, *Bulletion of the International Institute for Linguistic Sciences*, Kyoto Sangyo University. Vol.5, No.2 (1984). pp.67-89.

Yano, M. and Viladrich, M.; ‘Tasyīr Computation of Kūshyār ibn Labbān’. *Historia Scientiarum* No.41 (1991), pp.1-16.

井筒俊彦『イスラーム思想史』岩波書店、1975 年

今井湊「明訳天文書雑俎」『天官書』6 (年代不明). pp.193 199.

今井湊「Ptolemaios の Quadrapartium と明訳天文書四類」『天官書』26, 1958 年, pp.1 19.

上岡弘二・羽田亨一・家島彦一『ギーラーンの定期市 1986 年度予備調査報告 』 *IRANIAN STUDIES* 2, 東京外国語大学アジア・アフリカ研究所, 1988 年.

田坂興道『中国における回教の傳來とその弘通』二卷, 東洋文庫. 1969 年.

羽田亨「華夷譯語の編者馬沙亦黒」『羽田博士史学論文集』下巻, 東洋史研究会, 1958 年.

矢野道雄「アル・ピールーニー『星学入門』にみられるインド」, 西南アジア研究, No.38 (1993), pp.56 71.

薮内清『中国の天文暦法』平凡社, 1969.

薮内清「馬沙亦黒のこと」『しにか』1994 年6 月, pp.2 5.

山田慶児『授時暦の道』みすず書房, 1980 年.

渡辺敏夫『数理天文学』恒星社, 1959 年

أبو الحسن كوشيار بن لبّان بن باهري الجيلي

كتاب مدخل في علم النجوم

Kūšyār Ibn Labbān's
Introduction to Astrology

Edited and Translated
by
Michio YANO

G1a

بسم الله الرحمن الرحيم¹

[1] قال² أبو الحسن³ كوشيار بن لبان بن باشري الجيلي⁴ إني جمعت في هذا⁵ الكتاب من أصول صناعة الأحكام⁶ وجمعها والطرق⁷ إلى التصرف فيها واستعمالها ما ظننته كافيًا في معناه مغنيا في أكثر الأمور⁸ عما سواه وأخذت فيه أقرب طريق عرفتة إلى القياس وسلكت فيه أوضح مسلك علمته إلى الصواب⁹ إذ هي صناعة غير مبرهنة فالخاطر¹⁰ والظنوب فيها مجال وكلام الحشوية فيها بلا نهاية صواب ومجال

[2] جعلته¹¹ يشتمل¹² على أربع مقالات الأولى منها¹³ في المذحل والأصول والثاني في الحكم على أمور العالم والثالثة في الحكم على المواليد وتحويل سنيها والرابعة في عمل الاختيارات وسالت الله الهداية¹⁴

¹There are several variations in the benediction after الرحمن الرحيم

²BV add. الكيا السعد ; F add. الكيا السعيد

³J add. بن

⁴BF add. رحمه الله ; J add. رحمه الله إليه

⁵J add. المحتصر

⁶B add. النجوم

⁷BJ الطريق

⁸BFJV الأمر

⁹F إلى الصواب instead of بلصواب

¹⁰F om. ف

¹¹BFJV وجعلته

¹²V om.

¹³V om.

¹⁴BF الرشد والتوفيق والكفاية J : الرشد والهداية والتوفيق والكفاية V : الرشد
الهداية : instead of الهداية

In the name of God the merciful, the compassionate.

[1] Abū al-Ḥasan Kūšyār bn Labbān bn Bāšahrī al-Jīlī¹ said:

I have collected, in this book, from among the fundamentals of the art of judgements <of the stars>,² its totality. the ways to free disposal in it, and its usage, what I thought is sufficient in its meaning and what is enough to dispense others in most matters. I have taken in it the shortest way I know toward analogy (*qiyās*),³ and I have followed in it the clearest course I know toward correctness, since this is an art without proof, thus ideas and beliefs in it have free scope, and the discussion of those who speak nonsense in it is without proper limit and scope.

[2] I have made it contain four parts (*maqāla*). The first of them is on the introduction and the fundamentals, the second part is on the judgement of the matters in the world, the third part is on the judgement of the natives and the transfer of their years, and the fourth part is on the making of choices. I asked God for right guidance.

¹BFV place ‘al-Kiyā al-Sa‘ud’ before ‘Abū al-Ḥasan’. This appellation is also found in the ms. of Kūšyār’s book on the astrolabe, Chester Beatty 5354 fols. 162 187.

²B adds ‘of the stars’, but even without this modification *ʿnā’ al-aḥkām* ‘art of judgements’ means astrology.

³The word *qiyās*, frequently used in this book, has a very significant meaning. See, for example, 1.2.

المقالة الأولى في المدخل والأصول¹ اثنان² وعشرون باباً

أ³ في صدر الكتاب وما ينبغي ذكره من المقدمات

ب في طبائع الكواكب

ج في السعود والنحوس من الكواكب

د في المذكرة والمؤتة من الكواكب⁴

ه في النهارية والليلية من الكواكب

و في طبائع الكواكب بحسب بعدها وقربها من الشمس

ز في تشريق الكواكب وتغريبها

ح في الكواكب الثابتة ومزاجاتها

ط في البروج المنقلة والثابتة وذوات الجسدين

ي في البروج المذكرة والمؤتة والنهارية والليلية

يا في طبائع البروج

يب في البروج والأجزاء التي ينظر بعضها إلى بعض

يح في بيوت الكواكب

يد في شرف الكواكب

يه في المثلاث وأربابها

يو في الحدود

يز في الحيز والفرح والدستورية والاثنان⁵ عشريات

يج في الاتصال والانصراف والقبول والرد⁶

يط في قوى الكواكب واستعلاء بعضها على بعض

ك في دلالات بيوت الفلك⁷ ومواقع الكواكب منها

كا في السهام

كب في طلب المستولى على موضع من مواضع الفلك

G2a

¹ B add. وهي

² F اثنا

³ J gives numbers in Hindu-Arabic numerals.

⁴ G om. من الكواكب

⁵ BFV اثني

⁶ GJ om. والرد

⁷ BFV بيوت الفلك instead of البيوت

Part I On the Introduction and the Fundamentals, in Twenty-Two Chapters

1. On the Undertaking of this Book and What it is necessary to describe from among the Introductory Matters
2. On the Natures of the Planets
3. On the Benefic and Malefic Planets
4. On the Masculine and Feminine Planets
5. On the Diurnal and Nocturnal Planets
6. On the Natures of the Planets according to their Remoteness from and Nearness to the Sun
7. On the Easterliness and Westerliness of the Planets
8. On the Fixed Stars and their Complexions
9. On the Tropical Signs, Fixed Signs, and Bicorporal Signs
10. On the Masculine and Feminine Signs, and the Diurnal and Nocturnal Signs
11. On the Natures of the Signs
12. On the Signs and the Degrees which aspect Each Other
13. On the Houses of the Planets
14. On the Exaltation of the Planets
15. On the Triplicities and their Lords
16. On Terms
17. On the Domain, the Joy, the *Dastūrīya*, and the Dodecatemorion
18. On Application, Separation, Reception, and Reflecting
19. On the Powers of the Planets and their Rulership over Each Other
20. On the Indications of the Places of the Sphere and the Positions of the Planets in them
21. On Lots
22. On the Investigation of the Planet having Mastership over the Place among the Places of the Orb

الباب الأول في صدر الكتاب وما ينبغي ذكره من¹ المقدمات

[1] ² السبيل إلى علم أحكام النجوم شيئان³ أحدهما وهو الأقدم علم أفلاك الكواكب وحركاتها وحساب تقاويمها وأحوالها وهو علم أدرك بالآلات والرصد⁴ وعليه براهين هندسية ومن تفرّد به كان عالماً بأشرف العلوم وأصدقها بعد العلوم الدينية⁵ وقد تقدّم لنا في ذلك كتابان سميتهما الزيج الجامع والبالغ⁶

[2] والثاني⁷ علم الأفعال الصادرة عن الكواكب وقوّاتها وتأثيراتها فيما دون فلك القمر وهو علم أدرك بالتجربة والقياس ومضطرب⁸ إلى العلم الأول ولا سبيل للبرهان إليه⁹ ولا هو مدرك في كليته¹⁰ نعم ولا بأكثره لأنّ الشيء الذي يستعمل فيه هذا العلم أعني الهواء وأشخاص الإنسان¹¹ وجميع ما دون فلك القمر مطبوع على الانتقال والتغير فلا¹² يثبت على حال¹³ واحدة في أكثر الأمر ولا الإنسان بكامل القوّة في الحُدس بخواصّ¹⁴ الأحوال التي تكون في¹⁵ امتزاجات الكواكب فبلغ من الصعوبة وتعتّر الوقوف عليه إلى أن¹⁶ دفعه بعض الناس فظنّوا أنّه شيء لا يدركه¹⁷ أحديته

[3] فأكثر¹⁸ المتفردين¹⁹ بالعلم الأول ينكرون هذا العلم الثاني ويجحدون منفعة ويقولون هو شيء يقع²⁰ بالاتفاق وليس عليه برهان فنقول أمّا الاتفاق فإذا دام أو وقع²¹ في أكثر الأحوال فهو أحد البراهين وأمّا البرهان²² فليس كلّ ما لا يكون عليه البرهان يهجر

¹JV في

²V add. اعلم أن

³BFJV شيئين

⁴V بالصدر والآلات

⁵BJV om. بعد العلوم الدينية

⁶B add. بمعنا فهما بين الأعمال الحابية والجداول والهئية والبرهان على حساب الابواب

⁷G add. في

⁸F هو ; ومضطرب instead of ومفتقر

⁹J للبرهان إليه instead of إلى البرهان إليه ; F عليه

¹⁰BFJV بكليته

¹¹B وغيره ; V add. انسانية

¹²V ولا

¹³BFJV حالة

¹⁴B في الحُدس الخواص FJV ; في الخواص الحُدس

¹⁵BFJV من

¹⁶B إلى أن instead of إلا أن : J

¹⁷BFJ يدرك

¹⁸V وأكثر

¹⁹B المنفردين

²⁰B om.

²¹V ووقع

²²BF البراهين

Chapter One: On the Undertaking of this Book and What it is necessary to describe from among the Introductory Matters.

[1] The road to the science of the judgements of the stars is of two kinds; one of them which is older is the science of the spheres of stars, their motion, the computation of their positions, and their conditions. This is the science which is grasped by instruments and observation, and there are geometrical proofs for it. One who is specialized in it is versed in the noblest and the most reliable of the sciences next to religious sciences.¹ We have already two books concerning this <science> which we called *Zīj al-jāmi‘* and <*Zīj*> *al-bāliḡ*.²

[2] The second is the science of effects coming from the stars, their powers, and their influence on whatever is below the sphere of the Moon.³ This is the science which is grasped by experience (*tajriba*) and analogy (*qiyās*) and it is confused with⁴ the first science. There is no way for its verification, nor is it grasped at all in its totality, nor in its majority, because the thing for which this science is utilized, namely, weather, individual persons, and all that are below the sphere of the Moon are characterized by change and alternation, and in most matters they are never fixed in one condition. A man has no perfect capability in conjecture, especially of the conditions which are in the temperaments (*imtizāj*) of the stars, and he falls into difficulty. The study in it is so difficult that some people rejected it, thinking that it is a thing whose uniqueness he cannot grasp.

[3] Most people who specialize in the first science are ignorant of the second science. They reject its usefulness and claim that it is something which occurs by accident and that there is no proof of it. But we say: as far as accident is concerned, when it lasts long or occurs in the most circumstances, then it is one of the proofs. As for proof, not everything for which there is no proof is to be abandoned

¹‘next to religious sciences’ is omitted by BJV.

²Kūsyār refers to his own works on astronomical tables. See GAS VII, p. 182 3.

³This division of the world is based on Aristotelian cosmology.

⁴F: ‘it is in need of’ instead of ‘it is confused with’.

ويترك²³ الانتفاع به فليس²⁴ من الحزم بل ليس من العقل أن يترك الانتفاع بالسكنجيين في تسكين الصفراء حتى يقوم على فعله البرهان²⁵ لكن نستعمله ونتفع²⁶ به ونقتصر من برهانه على ما نرى من فعله دائما وفي²⁷ أكثر أحواله²⁸

[4] ونحن نرى ونحسن بأن الشمس تسخن واستمرت التجربة على أن القمر يرطب وفصول السنة تتغير وتختلف هواءها في الحر والبرد والأنداء والأمطار²⁹ بحسب اتصال الشمس بالكواكب واتصال الكواكب بها واتصال³⁰ بعضها ببعض³¹ وهذا عيان لا يمكن دفعه وإن لم يكن عليه برهان

[5] ومن المفتردين³² بالعلم الثاني من يأتي على³³ جزئياته بحجج على سبيل النظر³⁴ والجدال³⁵ ويظن³⁶ أنها برهان لجهله بطريقة البرهان وطبيعته فالذي ينبغي أن يعتقد³⁷ في هذا العلم إنه مدرك بالتجربة والقياس وإن منه ما استمرت عليه التجربة واتفقت عليه الأمم من أهل³⁸ الصناعة فليس لنا أن نرى فيه³⁹ رايًا بخلاف ذلك⁴⁰ ومنه ما اختلف في تجربته وقياسه فاتفقت⁴¹ أمة على شيء واتفقت⁴² أمة أخرى على خلاف ذلك

[6] قلنا إن نتبع الأقرب إلى القياس والنظام وما كان من اختلاف الأحاد فلا نعتد به ولا نلتفت⁴³ إليه فإذا كان الإنسان عارفا بطبائع الكواكب وقواها⁴⁴ قد أخذها من الأخبار المتواترة التي⁴⁵ تقدّمت كالعلم بقوة الشمس إنها⁴⁶ تسخن وبقوة القمر إنه يرطب وكذلك قوى سائر الكواكب

²³BJ فيترك

²⁴B instead of فليس

²⁵BV البرهان على فعله

²⁶J يستعمله وينتفع

²⁷BF أو في

²⁸BFJV الأمر

²⁹F om. و

³⁰B om. الكواكب بها واتصال

³¹J بعضا

³²B المنفردين

³³B om.

³⁴J العلم

³⁵B الجدال; G om. و

³⁶FGV om. و

³⁷B يدرك

³⁸JV add. هذه

³⁹F فيها

⁴⁰V كذلك

⁴¹F om. فاتفقت

⁴²G om. واتفقت

⁴³J يعتد به ولا يلتفت B; تعتد به ولا تلتفت

⁴⁴B add. الذي

⁴⁵F add. قد

⁴⁶V om. إنها

nor is its use to be neglected. By prudence, nay by intelligence, it should not be the case that the use of oxymel in soothing of gall be postponed until the proof of its effectiveness is established. Rather we should apply it and use it, while we limit its proof to whatever thing whose effect we see continuously and in most situations.

[4] We see and know well that the Sun makes warm, and the experience that the Moon makes humid has lasted long. The seasons of a year change and their weather differs in heat, coolness, moistures, and rains according to the application (*ittiṣāl*)⁵ of the Sun to planets, the application of planets to the Sun, and the application of one to another. Thus it is evident that it is not feasible to throw it away even if there be no proof in it.

[5] The man who specializes only in the second science is the man who enters into its details with evidences based on observation and discussion. He thinks that it is a proof because of his ignorance of the method of proof and its nature. That which is necessary to be believed⁶ in this science is grasped <only> by experience and analogy. A part of it is that on which experience has lasted long and on which some people of the art <of astrology> have agreed. Thus we have no right to see in it by a view contrary to it. A part of it is what is different in its experience and analogy. Thus some people agreed on one thing while other people agreed on what is contrary to it.

[6] We said⁷ that we follow what is nearest to analogy and regularity. We do not rely upon what are isolated differences, nor do we turn to them. When a man is conversant in the natures of the stars and their powers, he has taken them from successive informations which preceded him — like the knowledge about the Sun's power that it makes warm and about the Moon's power that it makes humid, and likewise <about> the powers of the other planets.

⁵For the technical meaning of 'application', see *Abbreviation* 3.13.

⁶B 'to be grasped' instead of 'to be believed'.

⁷Cf. Introduction of the *Madkhal*.

[7] وكان⁴⁷ قوى الحدس بما توجهه الامتزاجات التي تكون للكواكب بعضها مع بعض⁴⁸ أمكنه أن يخبر بكثير من الأحوال التي تكون قبل كونها ممّا⁴⁹ يتعلّق بأحوال الهواء في الحرّ والبرد والرياح والأنداء والأمطار وبأحوال الإنسان في سعادته ونحوسه وأخلاقه وفضائله ورذائله

[8] فأما آية⁵⁰ منفعة في هذا العلم فإنّ للإنسان فكرا و تمييزا⁵¹ يهديانه إلى وجه الاستعداد للحوادث⁵² التي تقدّمت معرفته بحدوثها كمن تقدّمت معرفته بهواء⁵³ بلاده⁵⁴ فيستعدّ للشتاء بما يدفع عنه البرد وللصيف⁵⁵ بما يرّد عنه الحرّ

[9] وإذا تقدّمت معرفته بحدوث علّة قابلها بضدّها بقدر ما له من القوّة المميزة في مولده وبقدر ما اكتسب من هذه الصناعة فإن كانت القوّة الحادثة أقوى من القوّة المقابلة لها حدثت العلّة بقدر فضل قوّتها وإن تكافأت القوّتان⁵⁶ حدثت صحّة واعتدال وإن كانت الغلبة للقوّة المقابلة حدثت العلّة بالضدّ بقدر فضل القوّة المقابلة

[10] فمن الحوادث ما يخصّ شخصا بعينه فيمكنه التحرّز منه⁵⁷ إن كان شرا وإنّ يستقبله بما يلائمه ويوافقّه إن كان خيرا ومنها ما هو داخل في الحكم⁵⁸ الكلّي فيكون كالمحتوم مثل تغيير⁵⁹ الهواء إلى فساد مفرط يحدث الوباء والعلل⁶⁰ في بعض الأنواع المستعدّة⁶¹ لقبول ذلك الفساد أو كتغيير دولة وظهور دولة يوجب⁶² خيرا عاما أو شرا عاما وذلك ما أردنا أن نصدر الكتاب به⁶³

G3b

⁴⁷B add. من موجب مولده أن يكون

⁴⁸BJ add. مطبوعا فيه

⁴⁹F بما

⁵⁰BF أي

⁵¹V add. بقدر ما يتعان في

⁵²V الحوادث

⁵³J بحدوث هواء

⁵⁴B بارد ; J بلده

⁵⁵J والصيف

⁵⁶J om.

⁵⁷F om. منه ; V add. و

⁵⁸J add. الكائن

مثل تغيير instead of وذلك مثل V : ذلك كتغيير J

⁶⁰J add. في الحكم الكلّي فيكون

⁶¹V المستعد

⁶²BFJ توجب

⁶³BJ به الكتاب

[7] The powers of conjecture in what is imposed by the temperaments which belong to each one of the planets have enabled him to know many conditions, before their occurrence, of those things which are dependent on the conditions of weather concerning heat, coldness, winds, moistures, and rains, and <to know> the conditions of a man concerning his goodness, his badness, his tempers, his virtues, and his vices.

[8] Concerning whatever is useful in this science, man has reflection and common sense which lead him in the direction of the preparation for the incidents whose knowledge precedes their occurrence, like a man who knows beforehand about the weather of his country and who can thus prepare for winter with what keeps coldness away from him, and for summer with what keeps heat away from him.

[9] When he knows beforehand the occurrence of an illness, he resists it with its opposite measures according to his power characteristic to his birth and according to what he gains from this art <of astrology>. Then if the influential power <of an illness> is stronger than the power resisting it, the illness occurs in accordance with the excess of its power. If the two powers (i.e., of an illness and that resisting it) balance each other, curing and moderation occur. If the victory is on the side of the power resisting the occurrence of the illness with the opposite measure, <curing and moderation occur> in accordance with the excess of the resisting power.

[10] Some of the incidents which are characteristic to the individual himself might be possible to be kept off if they are evil. He might receive them by whatever is appropriate and suitable if they are good. Some of them (i.e., the incidents) are within the judgement of generality and become almost inevitable, like the change of weather into excessive rottenness which causes an epidemic. The illnesses, in some cases, can be prevented by resisting this rottenness. Or like the change of dynasty and the appearance of a <new> dynasty which is found to be good in some years and bad in some years. This is the reason I want to publish this book.

الباب الثاني في طبائع الكواكب

الشمس تسخن وتجفف وتجفف تجفيفا يسيرا والقمر يرطب فهو يغير الأجسام إلى الرطوبة ويعقنها وزحل¹ يبرد ويجفف وتجففا يسيرا والمريخ² يجفف خاصة وقوة طبيعته محركة لفرط ييبسه والمشتري³ معتدل المزاج يسخن ويرطب⁴ وأسفانه أكثر والزهرة ترطب وتسخن⁵ أسفانا يسيرا وهي معتدلة المزاج وعطارد متقارب الأمر في التجفيف والترطيب والتسخين⁶ والتبريد بمزاج الكوكب الذي يتصل به والبرج الذي يكون⁷ فيه وصاحبه وهو هوائي مولد للرياح

الباب الثالث في السعود و النحوس من الكواكب

المشتري والزهرة مسعدان⁸ على الإطلاق لاعتدال مزاجهما ولما فيهما من الحرارة والرطوبة وزحل⁹ والمريخ منحسان¹⁰ على الإطلاق¹¹ لفرط مزاج زحل في البرد والمريخ في اليبس والشمس والقمر سعدان من التلث والتسديس نحسان من المقارنة والمقابلة والتربيع¹² وعطارد مشارك للسعود¹³ في سعادتها والنحوس في نحوستها عند اتصاله¹⁴ بها وهو على الانفراد على طبيعة البرج الذي هو¹⁵ فيه وصاحب البرج إن لم ينظر إليه كوكب ولم يتصل هو بكوكب

¹ B om. و

² BV om. و

³ B om. و

⁴ B يرطب ويسخن

⁵ B تسخن وترطب

⁶ J والتسخين والترطيب

⁷ B يكون instead of هو

⁸ BJV سعدان

⁹ B om. و

¹⁰ BJV منحسان

¹¹ BFJV om. على الإطلاق

¹² BFJV والتربيع والمقابلة

¹³ BFJV يشارك السعود

¹⁴ B om. عند اتصاله

¹⁵ V om.

Chapter Two: On the Natures of the Planets¹

The Sun warms and slightly dries. The Moon moistens and it changes bodies into humidity and putrefies them. Saturn cools and dries slightly. Mars dries much and its natural power is burning because of its excess of dryness. Jupiter is of a moderate nature and it warms and moistens and its heat is abundant. Venus moistens and heats slightly. It is of a moderate nature. Concerning dryness, humidity, warmth, and coldness, Mercury is close to the nature of the planet to which it applies,² the <zodiacal> sign in which it is, and its lord. It is airy and generates winds.

Chapter Three: On the Benefic and Malefic Planets³

Jupiter and Venus are absolutely lucky because of the moderateness of their nature, and because of heat and moisture in them. Saturn and Mars are absolutely unlucky because of the excess of Saturn's nature in coldness and Mars' nature in dryness. The Sun and Moon are benefic from trine and sextile and malefic from conjunction, opposition, and quartile. Mercury shares its beneficence with the benefics and its maleficence with the malefics in its application to them. In isolation, it is dependent on the nature of the sign in which it is as well as the lord of the sign if no planet is aspecting it and if it does not apply to a planet.

¹The topic and contents of this chapter are almost the same as those in *Tetrabiblos* I.4. The natures of the planets are summarized (those with an asterisk are 'slightly' so) as:

Sun	Moon	Saturn	Jupiter	Mars	Venus	Mercury
hot	humid	cold	humid	dry	humid	depending
dry*	putrefying	dry*	hot	burning	hot*	

²For 'application' see 1.18.

³*Tetrabiblos* I.5.

الباب الرابع في المذكر والمؤنث¹ من الكواكب

G4a القمر والزهرة مؤنثان لكثرة ما فيهما من الرطوبة والشمس وزحل والمشتري والمريخ مذكرة² وعطارد مشارك للنخسين³ جميعا إذ⁴ كان فاعلا لليبوسة والرطوبة⁵ بالسوية وقد تذكر⁶ وتؤنث بالقياس⁷ إلى الشمس وذلك إن المشرقة مذكرة والمغربة مؤنثة وقد تذكر وتؤنث بالقياس إلى الأفق وذلك إن الذي منها فيما بين الطالع والعاشر وفي الربع المقابل له مذكر وما كان منها في الربعين الباقيين مؤنث

الباب الخامس في النهارية والليلية من الكواكب

القمر والزهرة ليليان لما فيهما من الرطوبة والمشتري⁸ والشمس⁹ نهاريان لما فيهما من الحرارة¹⁰ وعطارد مشارك¹¹ في¹² الأمرين جميعا وهو في الشكل المشرق نهارى وفي الشكل المغرب ليلي وزحل والمريخ جوهريهما مفسد فلأن زحل مبرد نسبوه إلى حرارة النهار والمريخ يابس نسبوه إلى رطوبة الليل لأن كل واحد منهما في حيزه هذا يعتدل¹³ مزاجه وبالجمل¹⁴ المذكرة نهارية والمؤنثة ليلية إلا المريخ فإنه مذكر ليلي

¹B المؤنث والمذكر

وزحل instead of وزحل والمريخ مذكرة بما فيهما من الليبوسة والمشتري أيضا مذكرة²V ... مذكرة

³BF يشارك النخسين

⁴FJV إذا

⁵JV لليبوسة والرطوبة instead of لرطوبة ويبوسة

⁶B add. الكواكب

⁷J للقياس

⁸G om. و

⁹BJV والشمس والمشتري

¹⁰B om. from here on Mercury.

¹¹BFJV يشارك

¹²JV om.

¹³J معتدل

¹⁴BFJV add. فان

Chapter Four: On the Masculine and Feminine Planets¹

The Moon and Venus are feminine because of the abundance of moisture in them. The Sun, Saturn, Jupiter, and Mars are masculine. Mercury shares totally with the two malefics since it is equally effective of dryness and humidity. It may be masculine and feminine by the relative position with the Sun: if it is easterly² it is masculine, and if westerly it is feminine. It may be masculine and feminine by the position relative to the horizon: if it is between the ascendant and the tenth place and in the opposite quadrant, it is masculine; in the remaining two quadrants, it is feminine.

Chapter Five: On the Diurnal and Nocturnal Planets³

The Moon and Venus are nocturnal because of the coldness in them. Jupiter and the Sun are diurnal because of the heat in them. Mercury has both characters together. It is diurnal in the east and nocturnal in the west. The essence of Saturn and Mars is evil: Saturn is cooling and people related it to the heat of the day, and Mars is drying and people related it to the moisture in the night time, because if each one of them is in its domain⁴ its complexion is balanced. In general, the masculine planets are diurnal and the feminine planets are nocturnal, except Mars which is masculine and nocturnal.

¹ *Tetrabiblos* I.6. The topic of this chapter is summarized as:

Sun masculine	Moon feminine	Saturn masculine	Jupiter masculine	Mars masculine	Venus feminine	Mercury both
------------------	------------------	---------------------	----------------------	-------------------	-------------------	-----------------

²For easterliness and westerliness, see 1.7.

³ *Tetrabiblos* I.7. The topic of this chapter is summarized as:

Sun day	Moon night	Saturn day(heat)	Jupiter day	Mars night(moisture)	Venus night	Mercury both
------------	---------------	---------------------	----------------	-------------------------	----------------	-----------------

⁴Cf. 1.17.

الباب السادس في طبائع الكواكب بحسب بعدها وقربها¹ من الشمس

[1] القمر من مستهلّه² إلى تربيعة الأول للشمس فاعل للرطوبة³ خاصّة ومنه⁴ إلى الامتلاء⁵ فاعل للحرارة ومنه إلى تربيعة الثاني فاعل لليبوسة⁶ ومنه إلى مقارنته للشمس⁷ فاعل للبرودة⁸

[2] والكواكب الثلاثة العلوية⁹ من أول مقارنتها الشمس إلى وقوفها الأول ترطب أكثر ومن¹⁰ وقوفها الأول إلى مقابلتها الشمس تسخن أكثر¹¹ ومنه¹² إلى وقوفها الثاني طبيعتن¹³ اليبوسة ومنه¹⁴ إلى استسارهن طبيعتن البرودة¹⁵

[3] والزهرة وعطارد¹⁶ من أول مقارنتهما للشمس¹⁷ إلى وقوفهما الأول¹⁸ يرطبان أكثر ومنه¹⁹ إلى مقارنتهما لها²⁰ وهما راجعان يستخان أكثر ومنه إلى وقوفهما الثاني يحففان أكثر ومنه إلى مقارنتهما الشمس²¹ يبردان أكثر

[4] فإذا كان كوكب يبرد والآخر²² يسخن أو كوكب²³ يرطب وآخر يحفف حدث في الهواء أحوال محتلة بحسب امتزاجاتها وبحسب قوة كلّ واحد منها فهناك يتغير الحكم على شيء واحد من تلك الأحوال ويصعب تمييز هذه القوى بعضها من²⁴ بعض

¹JV قربها وبعدها

²BF مهلة

³J لرطوبة

⁴B hapl. om. from here to the next ومنه

⁵G add. الاستقبال

⁶J اليبوسة

⁷BJ للشمس and الشمس ; mss are not consistent between the use of

⁸J البرودة

⁹B add. الثلاثة V om. ; الثلاثة العلوية instead of الخمسة J ; الخمس فزحل ومشتري والمريخ

¹⁰J ومن instead of والكواكب العلوية من

¹¹B تسخن أكثر instead of طبيعتها الحرارة

¹²BF ومنه instead of ومنها V : ومن مقابلتها للشمس

¹³B instead of تجفف أكثر FV ; and skips to [3] ; مقامها الثاني طبيعتها

طبيعتن اليبوسة

¹⁴B ومن وقوفها الثاني FV ; ومن مقامها الثاني

¹⁵B instead of إلى مقارنتها للشمس يبرد أكثر FV : إلى استسارها طبيعتها البرودة

إلى ... البرودة

¹⁶J om. from here to the next منه

¹⁷G الشمس

¹⁸V add. وهما مستقيمان

¹⁹BFV منه instead of ومن وقوفتهما الأول

²⁰B من أول ... لها instead of ومن وقفهما الأول إلى مقارنتهما للشمس

²¹V om. and add. الشمس وهما مستقيمان

²²JV وآخر

²³FJV وكوكب

²⁴B عن

Chapter Six: On the Natures of the Planets according to their Remoteness from and Nearness to the Sun¹

[1] The Moon is especially effective of humidity from its new appearance to the first quarter with the Sun. From the first quarter to the fullness it is effective of heat. From this to the second quarter it is effective of dryness. From this to its conjunction with the Sun it is effective of coldness.

[2] The three superior planets² moisten very much from the beginning of their conjunction with the Sun to their first station. From their first station to their opposition with the Sun they heat very much. From their opposition to their second station their nature is dry. From their second station to their hiddenness³ their nature is cold.

[3] Venus and Mercury moisten very much from their first conjunction with the Sun to their first station.⁴ From it to the <second> conjunction with the Sun, while they are in retrogradation, they heat very much. From it to their second station they dry very much. From it to their conjunction with the Sun they cool very much.

[4] When one planet cools and the other heats, or one planet moistens and the other dries, there occur in the atmosphere different states according to their temperament and according to the power of each one of them. It is here that the wise people differ concerning each item of these conditions. It is difficult to distinguish these powers from each other.

¹The contents of this chapter are almost identical with those in *Tetrabiblos* I.8.

²B adds 'namely, Saturn, Jupiter, and Mars.'

³They are hidden under the Sun's rays.

⁴As JV add 'while they are in the direct motion', this conjunction is the outer conjunction.

الباب السابع في تشريق الكواكب وتغريبها

إذا طلع الكوكب¹ قبل طلوع الشمس فهو مشرق وإذا غرب بعد غروب الشمس فهو مغرب وخذ التشريق والتغريب للكواكب العلوية ستون جزءا² وللزهرة خمسة وأربعون جزءا³ ولعطارد خمسة وعشرون جزءا بالتقريب وهذان المقدارانها نهاية بعد هذين الكوكبين من⁴ الشمس

الباب الثامن في الكواكب الثابتة ومزاجتها

[1] الكواكب الثابتة كثيرة وكل واحد منها على مزاج كوكب أو كوكبين من المتحيرة وأظهرها فعلا هي التي في العظم الأول والثاني والتي⁵ في⁶ الثالث من أكثرها⁷ فإنها إذا اتفقت في حقيقة⁸ الطالع أو العاشر من طالع مولود⁹ أو ابتداء¹⁰ أمر من أمور¹¹ العظام أو اتفقت في حقيقة موضع النيرين أو موضع سهم سعادة¹² أعطت العطايا الجزيلة العظيمة¹³ من طبيعة الكوكب الذي هو¹⁴ على مزاجه¹⁵ من المتحيرة إلا أنها كثيرا ما يختم¹⁶ بالسوء إذا كانت نخوسا

[2] ومنها قواطع على طبيعة النخوس ومزاجهم يقطعن على الأعمار ويفسدن الأحوال والأمور إذا انتهى التسيير¹⁷ من ابتدائها إلى هذه الكواكب وإذا أعوزنا اتصال القمر أو صاحب الطالع بكوكب من كواكب الحاجة جعلناه يقارن كوكبا¹⁸ من هذه الكواكب على مزاج كوكب الحاجة¹⁹ من المتحيرة فيقوم مقامه

G5a

¹JV كوكب

²B passim; FV جزا passim

³V add. بالتقريب

⁴V عن

⁵B الذي

⁶F add. العظم

⁷G أكبرها J; أكثره

⁸BFJV add. درجة

⁹V من طالع مولود instead of من مولود إنسان

¹⁰J add. أو

¹¹BFJ الأمور

¹²J سهم سعادة instead of بينهما السعادة

¹³F om.

¹⁴BV هي

¹⁵B مزاج

¹⁶J تختمه

¹⁷JV add. إليها

¹⁸J كوكب

¹⁹J كوكب الحاجة instead of الكوكب لحاجته

Chapter Seven: On the Easterliness and Westerliness of the Planets¹

When a planet rises before the rising of the Sun, it is easterly. When it sets after the setting of the Sun, it is westerly. Take <as> the easterliness and westerliness for the superior planets sixty degrees and for Venus forty five degrees and for Mercury twenty-five degrees approximately. These quantities of the two <planets> are the limit of the distance of these two planets from the Sun.²

Chapter Eight: On the Fixed Stars and their Complexions³

[1] The fixed stars are many and each one of them is in accordance with the temperament of one or two of the planets. Of these the most conspicuous in effect are those which are of the first and second magnitude, and also the majority of those which are of the third magnitude. When they virtually coincide with <the degree of>⁴ the ascendant or the tenth place from the ascendant at the birth time or at the beginning of one of the important enterprises, or when they virtually coincide with the position of the two luminaries or the position of the lot of fortune,⁵ then they give abundant wonders according to the nature of the star which is based on the complexion of the planets. But there are many of them which are characterized by evil when they are malefic.

[2] Some of them are ‘cutters’⁶ which have the nature of the malefics, and their complexions are to cut life and to corrupt the circumstances and matters, when the *tasyīr*⁷ arrives, from their beginning, at these stars. When we need the application of the Moon or of the lord of the ascendant to one of the stars in question, we consider that one of these stars is united with the complexion of the planet in question and that it (fixed star) takes the place of the <planet>.

¹The topic of this chapter does not make an independent chapter in the *Tetrabiblos*.

²For the inner planets, this distance is the greatest elongation from the Sun.

³The similar topic is found in *Tetrabiblos* I.9. Ptolemy classifies the fixed stars in three categories, those in the zodiacal belt, those in the north, and those in the south. For details, see Introduction to the present edition.

⁴Supplied by BFJV.

⁵For the lot of fortune, see 1.21.2.

⁶*qāti*; this concept is not found in the *Tetrabiblos*.

⁷For *tasyīr* see 3.20 and 3.21.

[3] وقد أثبتت²⁰ من هذه الكواكب هاهنا²¹ ثلاثين كوكبا بمواضعها وعظمها وجهة عروضها ومزاجاتها وذكر القواطع منها فأما²² مواضعها فهي لأوّل سنة إحدى وستين وثلاثمائة²³ ليزدجرد ويزاد عليها²⁴ لما بعد ذلك في كلّ سنة أربع وخمسون²⁵ ثانية وفي كلّ عشر سنين تسع²⁶ دقائق²⁷

[4] الكواكب²⁸
(١) الحمل: ²⁹ الكفّ الخضيب في الحمل³⁰ ك ن من العظم الثالث شمالي مزاج زحل والزهرة
(٢) الثور: عين الثور ويسمى الدبران في الثور كه م³¹ من العظم الأول جنوبي مزاج المريخ³² قاطع
(٣) النير من رأس الغول في الثور يب م من العظم الثاني شمالي مزاج المريخ وعطارد قاطع
(٤) جنب³³ حامل رأس الغول في الثور يز ن³⁴ من العظم الثاني شمالي مزاج المريخ وعطارد قاطع
(٥) الجوزاء: رأس الجبار في الجوزاء ي ه³⁵ سحابي جنوبي مزاج المريخ وعطارد قاطع³⁶
(٦) منكب الجوزاء اليمنى³⁷ في الجوزاء ي ه من العظم الأول جنوبي مزاج زحل وعطارد قاطع
(٧) المنكب اليسرى منها³⁸ في الجوزاء ز ه من العظم الثاني جنوبي مزاج زحل والمشتري

²⁰ B ثبتنا

²¹ B om. ; V puts هاهنا after اثبتنا

²² B فأما instead of أما

²³ B ٣٦١

²⁴ B عليها

²⁵ B ٥٤

²⁶ B ط

²⁷ B add. وفي كل مائة سنة درجة ونصف

²⁸ J om.; V puts this in the following order: 20, 21, 26, 29, 1 (margin), 10 (margin), 4, 3, 11, 27, 30, 2, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 22, 23, 24, 5, 6, 7, 8, 9, 12, 13, 28.

²⁹ FV om. headings throughout. Numbering and semicolons are added by the present editor.

³⁰ B ه (zero) instead of الحمل. B uses numeral Hindu-Arabic numerals instead of abjad throughout this chapter.

³¹ G om. م

³² FV add. وعطارد

³³ B add. برشاوش

³⁴ G om. ن

³⁵ G om. ه ; B add. من العظم الأول

³⁶ F om. مزاج المريخ وعطارد قاطع

³⁷ BF اليمنى ; J الأيمن

³⁸ B om. اليسرى منها instead of الأيسر في ; المنكب الجوزاء اليسرى ; V منها

[3] I have determined the thirty stars from among these stars by their position, magnitude, direction of their latitude, their complexions, and the account of cutters among them.⁸ As for their positions, they belong to the beginning of the three hundred and sixty-first year of Yazdajird. For what is after this, fifty-four seconds in each year are added to it, that is, nine minutes in every ten years.⁹

[4] The stars.

(1) Aries: The Hand of the Dyed One,¹⁰ in Aries 20° 50', of the third magnitude, northern, the complexion of Saturn and Venus.

(2) Taurus: The Eye of the Bull which is called *al-dabarān*, in Taurus 25° 40', of the first magnitude, southern, the complexion of Mars. Cutter.

(3) The bright star of the Head of the Giant, in Taurus 12° 40', of the second magnitude, northern, the complexion of Mars and Mercury. Cutter.

(4) The Side <of Perseus>¹¹ carrying the Head of the Giant, in Taurus 17° 50', of the second magnitude, northern, the complexion of Mars and Mercury. Cutter.

(5) Gemini: The Head of the Tyrant, in Gemini 10° 0', clouded, southern, the complexion of Mars and Mercury. Cutter.

(6) The Right Shoulder of Orion, in Gemini 15° 0', of the first magnitude, southern, the complexion of Saturn and Mercury. Cutter.

(7) The Left Shoulder of it, in Gemini 7° 0', of the second magnitude, southern, the complexion of Saturn and Jupiter.

⁸I.e., whether they are cutters nor not.

⁹B adds: ' and for each hundred years one degree and half.' This is the rate of precession, namely, 54"/1 year = 9'/10 years = 1;30°/100 years (or 1° in 66 $\frac{2}{3}$ years).

Since Yazdajird 1 = A.D. 632, the year for the longitude of the fixed stars are given for the year A.D. 992, which seems to be the time of Kūšyār. But when he gives the longitudes of the fixed stars, he has simply added 13° to Ptolemy's longitude (except No.18, see below). According to his rate of precession, this corresponds to 866 $\frac{2}{3}$ years. Since the epoch of Ptolemy's star catalogue was AD.137, July 20, Kūšyār's epoch should have been 1004.

¹⁰For the translation of the fixed stars I used L.P. Elwell-Sutton, *The Horoscope of Asadullāh Mīrzā*, E.J. Brill, Leiden, 1977. See the table in the Introduction to this edition.

¹¹This is supplied by B.

- (٨) الوسط من المنطقة في الجوزاء ي ك من العظم الثاني جنوبي مزاج زحل والمشتري
 (٩) القدم اليسرى من الجوزاء ب ن⁴¹ من العظم الأول جنوبي⁴² مزاج المشتري وزحل⁴³
 (١٠) العيوق في الجوزاء ح ط من العظم الأول شمالي مزاج المريخ وعطارد
 (١١) منكب ذي العنان في الجوزاء يه ن من العظم الثاني شمالي مزاج المريخ وعطارد
 (١٢) السرطان: الشعرى اليمانية في السرطان ط م من العظم الأول جنوبي مزاج المشتري ويسير من المريخ
 (١٣) الشعرى الشامية في السرطان يب ي من العظم الأول جنوبي مزاج عطارد ويسير من المريخ
 (١٤) رأس التوأم⁴⁴ المقدم في السرطان و ك من العظم الثاني شمالي مزاج عطارد⁴⁵
 (١٥) رأس التوأم المؤخر في السرطان ط م من العظم الثاني شمالي مزاج المريخ⁴⁶
 (١٦) الملعف في السرطان ك ك سحابي شمالي مزاج المريخ والقمر⁴⁷ قاطع
 (١٧) الأسد: منكب الأسد في الأسد يه ي من العظم الثاني شمالي مزاج زحل ويسير من المريخ قاطع
 (١٨) قلب الأسد في الأسد⁴⁸ يو ي من العظم الأول شمالي مزاج المريخ ويسير من المشتري قاطع وأظن⁴⁹ مزاجه بالعكس⁵⁰ المشتري ويسير من المريخ والقاطع هو⁵¹ الذي في منكب الأسد⁵² إلا أنه هكذا قيل
 (١٩) السنبلة: الصرقة في السنبلة ز ل من العظم الأول شمالي مزاج زحل والزهرة
 (٢٠) الميزان: السماك الراح في الميزان ي ط من العظم الأول شمالي مزاج عطارد وزحل
 (٢١) النير من الإكليل في الميزان كز م من العظم الثاني شمالي مزاج الزهرة وعطارد
 (٢٢) السماك الأعزل في الميزان ط م من العظم الأول جنوبي مزاج الزهرة ويسير من عطارد
 (٢٣) العقرب: قلب العقرب في العقرب كه م من العظم الثاني جنوبي مزاج المريخ

³⁹BJ om. this star.

⁴⁰BFJ في

⁴¹J ب به

⁴²V الشمالي

⁴³V زحل والمشتري

⁴⁴B التوم ; also in (15).

⁴⁵V add. والقمر

⁴⁶V add. وعطارد

⁴⁷V add. وعطارد

⁴⁸J om. في الاسد

⁴⁹B add. أن

⁵⁰F أعني فراج ; B add. بعكس

⁵¹F om.

⁵²GJ om.

- (8) The Middle of the Belt, in Gemini 10° 20', of the second magnitude, southern, the complexion of Saturn and Jupiter.
- (9) The Left Foot of Orion, in Gemini 2° 50', of the first magnitude, southern, the complexion of Jupiter and Saturn.
- (10) The 'Uyūq (Cappela), in Gemini 8° 0', of the first magnitude, northern, the complexion of Mars and Mercury.
- (11) The Shoulder of the Reins-Holder, in Gemini 15° 50', of the second magnitude, northern, the complexion of Mars and Mercury.
- (12) Cancer: The Southern Dog-Star (Sirius), in Cancer 0° 40', of the first magnitude, southern, the complexion of Jupiter and a little of Mars.
- (13) The Northern Dog-Star, in Cancer 12° 10', of the first magnitude, southern, the complexion of Mercury and a little of Mars.
- (14) The Head of the Foremost Twin, in Cancer 6° 20', of the second magnitude, northern, the complexion of Mercury.
- (15) The Head of the Hindmost Twin, in Cancer 9° 40', of the second magnitude, northern, the complexion of Mars.
- (16) The Manger, in Cancer 23° 20', clouded, northern, the complexion of Mars and the Moon. Cutter.
- (17) Leo: The Shoulder of the Lion, in Leo 15° 10', of the second magnitude, northern, the complexion of Saturn and a little of Mars. Cutter.
- (18) The Heart of the Lion, in Leo 16° 10',¹² of the first magnitude, northern, the complexion of Mars and a little of Jupiter. Cutter. But I think its complexion is opposite, i.e., Jupiter and a little of Mars and cutter. It is in the shoulder of Leo although it was not said so.
- (19) Virgo: The Overturned, in Virgo 7° 30', of the first magnitude, northern, the complexion of Saturn and Venus.
- (20) Libra: The Armed Rising Star (Arcturus), in Libra 10° 0', of the first magnitude, northern, the complexion of Mercury and Saturn.
- (21) The bright star in the Crown, in Libra 27° 40', of the second magnitude, northern, the complexion of Venus and Mercury.
- (22) *al-Simāk al-'azal* (Spica), in Libra 9° 40', of the first magnitude, southern, the complexion of Venus and a little of Mercury.
- (23) Scorpio: The Heart of the Scorpio, in Scorpion 25° 40', of the second magnitude, southern, the complexion of Mars

¹²This should be 15°30'. Or this can be a different star as Kūšyār implies.

ويسير من المشتري قاطع

(٢٤) القوس: التالي لحمّة العقرب في القوس يد ⁵³ سحابي جنوبي مزاج الشمس والمريخ ⁵³ قاطع

(٢٥) عين الرامي في القوس كح ⁵⁴ سحابي شمالي مزاج زحل وعطارد قاطع

(٢٦) الجدي: النسر الواقع في الجدي ⁵⁵ من العظم الأول شمالي مزاج الزهرة وعطارد

(٢٧) النسر الطائر في الجدي يون ⁵⁶ من العظم الثاني شمالي مزاج المريخ والمشتري

(٢٨) الدلو: فم الحوت في الدلو ⁵⁷ من العظم الأول جنوبي مزاج زحل وعطارد

(٢٩) ذنب الدجاجة وتسمى الردف في الدلو ⁵⁸ كب ⁵⁹ ي من العظم الثاني الشمالي مزاج الزهرة وعطارد ⁶⁰

(٣٠) الحوت: منكب الفرس في الحوت يه ⁶¹ ي من العظم الثاني شمالي مزاج المريخ وعطارد قاطع

[5] ما كان من هذه الكواكب على مزاج كوكب أو كوكبين من ⁶² النخوس ولم نذكر

قطعة ينبغي أن يتوقى شدة إذا انتهت ⁶³ التسييرات إليه وما كان مجرة أقرب من ⁶⁴ سمت الرأس كان أظهر ⁶⁵ تأثيرا في ذلك الأفق

G6a

and a little of Jupiter. Cutter.

(24) Sagittarius: That which is following the Sting of the Scorpio, in Sagittarius 14° 10', clouded, southern, the complexion of the Sun and Mars. Cutter.

(25) The Eye of the Archer, in Sagittarius 28° 10', clouded, northern, the complexion of Saturn and Mercury. Cutter.

(26) Capricorn: The Falling Vulture, in Capricorn 0° 20', of the first magnitude, northern, the complexion of Venus and Mercury.

(27) The Flying Vulture, in Capricorn 16° 50', of the second magnitude, northern, the complexion of Mars and Jupiter.

(28) Aquarius: the Mouth of the Fish, in Aquarius 20° 0', of the first magnitude, southern, the complexion of Saturn and Mercury.

(29) The Tail of the Cock called *al-ridf*, in Aquarius 22° 10', of the second magnitude, northern, the complexion of Venus and Mercury.

(30) Pisces: The Shoulder of the Horse, in Pisces 15° 10', of the second magnitude, northern, the complexion of Mars and Mercury. Cutter.

[5] We do not record the misfortunes which are caused from these stars in accordance with the mixed nature of a planet or two planets. It is necessary to beware of the harm when the *tasyirs* arrive at it. The one whose course is nearer to the zenith is most obvious in its impression upon this horizon.

⁵³ J المريخ والشمس

⁵⁴ B om. من العظم الثاني

⁵⁵ FJ om. في الدلو

⁵⁶ B add. قاطع

⁵⁷ BFJ om. كوكب أو كوكبين من

⁵⁸ J انتهى

⁵⁹ JV إلى

⁶⁰ B أعظم

الباب التاسع في البروج المنقبة والثابتة وذوات الجسدين

- [1] الحمل والميزان برجا¹ الاعتدالين لأنّ الشمس إذا صارت في أولهما² استوى النهار والليل³ في جميع المساكن فالحمل هو الاعتدال الربيعي والميزان هو الاعتدال الخريفي
- [2] السرطان والجدي برجا الانقلابين لأنّ الشمس إذا صارت في أولهما عدلت من حالة إلى حالة⁴ أخرى في⁵ الشمال والجنوب والسرطان هو الانقلاب الصيفي والجدي هو الانقلاب الشتوي
- [3] وهذه البروج الأربعة منقبة وتتلوها الثوابت وهي الثور تالي الحمل والأسد تالي السرطان والعقرب تالي الميزان والدلو تالي⁶ الجدي ويتلو الثوابت ذوات الجسدين وهي الجوزاء تالي الثور والسنبلة تالي الأسد والقوس تالي العقرب والحوت تالي الدلو
- [4] فالحمل والسرطان والميزان والجدي منقبة والثور والأسد والعقرب والدلو ثابتة والجوزاء والسنبلة والقوس والحوت ذوات الجسدين
- [5] والحمل⁷ والثور والجوزاء ربيعي⁸ والسرطان والأسد والسنبلة صيفي⁹ والميزان والعقرب والقوس خريفي¹⁰ والجدي والدلو والحوت شتوي¹¹

¹برجي

²أول ما

³BJV الليل والنهار

⁴BJ من جهة إلى جهة FV ; عن جهة إلى جهة

⁵BFJV من

⁶J repeats الحمل ولأسد ... والدلو تالي

⁷J om. و

⁸BV ربيعية

⁹BV صيفية

¹⁰BV خريفية

¹¹BV شتوية

Chapter Nine: On the Tropical Signs, Fixed Signs, and Bicorporal Signs¹

[1] Aries and Libra are equinoctial signs because when the Sun is at the beginning of the two the day and night are equal in all the inhabited places. Aries is the vernal equinox and Libra is the autumnal equinox.

[2] Cancer and Capricorn are solstitial signs because when the Sun is at the beginning of the two it changes from one direction to another in respect to the north and the south. Cancer is the summer solstice and Capricorn is the winter solstice.

[3] These four signs are 'tropical signs', and they are followed by the (four) 'fixed signs', namely, Taurus follows Aries, Leo follows Cancer, Scorpio follows Libra, and Aquarius follows Capricorn. The 'bicorporal' signs follow the fixed signs, namely, Gemini follows Taurus, Virgo follows Leo, Sagittarius follows Scorpio, and Pisces follows Aquarius.

[4] Aries, Cancer, Libra, and Capricorn are tropical signs, Taurus, Leo, Scorpio, and Aquarius are fixed signs, and Gemini, Virgo, Sagittarius, and Pisces are bicorporal signs.

[5] Aries, Taurus, and Gemini are of spring, Cancer, Leo, and Virgo are of summer, Libra, Scorpio, and Sagittarius are of autumn, and Capricorn, Aquarius, and Pisces are of winter.

¹These are topics in *Tetrabiblos* I.11.

الباب العاشر في البروج المذكرة والمؤنثة والنهارية والليلية

البروج¹ مرتبة من الحمل² ذكر نهاري وأنثى ليلي³ لاقتران الذكر بالأنثى والنهار بالليل وبدؤوا بالتذكير والنهار لأنّ الذكر والنهار⁴ أولى بالقوة والتقديم⁵ فصارت ستة من⁶ البروج⁷ مذكرة نهارية وستة منها مؤنثة ليلية وقد يجعل التذكير والتأنيث من الطالع فيجعل الطالع ذكرا والثاني أنثى وعلى هذا الترتيب وقد يجعل التذكير والتأنيث للرباع فيجعل الربع الذي من الطالع إلى العاشر والربع المقابل له⁸ ذكرا والربعان الباقيان⁹ أنثى¹⁰

G6b

الباب الحادي عشر في طبائع البروج

البروج مرتبة من الحمل ناري وأرضي¹¹ وهوائي ومائي¹² وعلى هذا الترتيب فصارت ثلاثة من البروج نارية حارة يابسة على طبيعة الصفراء وهي الحمل والأسد والقوس وثلاثة أرضية باردة يابسة على طبيعة السوداء وهي الثور والسنبلة والجدي وثلاثة¹³ هوائية حارة رطبة على طبيعة الدم وهي الجوزاء والميزان والدلو وثلاث مائية باردة رطبة على طبيعة البلغم وهي السرطان والعقرب والحوت والناريات¹⁴ والهوائيات مذكرة نهارية والأرضيات والمائيات مؤنثة ليلية

¹ V om.

² B add. الى اخرها بهذا التمسك

³ J add. وذكر نهاري وأنثى ليلي

⁴ J add. النهار الذكر والنهار ذكر

⁵ B بالقوة والتقديم instead of بتقديم والقوة

⁶ V om.

⁷ V. بروج

⁸ V المقابل له instead of المقابلة

⁹ G والربعان الباقية V : والربعين الباقيين

¹⁰ FG أنثيين

¹¹ J om. و

¹² B add. وناري وأرضي ومائي وهوائي

¹³ J om. وثلاثة

¹⁴ BJV فالناريات

Chapter Ten: On the Masculine and Feminine Signs, and the Diurnal and Nocturnal Signs¹

The signs are arranged from Aries as masculine-diurnal and feminine-nocturnal, due to the union of the male with the female and the day with the night and they gave the precedence to the male and the day, because the male and the day go ahead in power and offering. Six signs are masculine-diurnal and six signs are feminine-nocturnal. Masculinity and femininity may be made from the ascendant:² the ascendant is made masculine and the second place feminine and so forth in this arrangement. Masculinity and femininity may be made according to quadrants: the quadrant from the ascendant to the tenth <place> and the quadrant opposite to it (i.e., from V to VII) are masculine and the remaining <two> quadrants are feminine.

Chapter Eleven: On the Natures of the Signs

The signs are arranged from Aries as fiery, earthy, airy, and watery and in this order. Three fiery signs are hot, dry, and of the nature of yellow bile. They are Aries, Leo, and Sagittarius. The earthy signs are cold, dry, and of the nature of black bile. They are Taurus, Virgo, and Capricorn. Three airy signs are hot, humid, and of the nature of blood. They are Gemini, Libra, and Aquarius. Three watery signs are cold, wet, and of the nature of phlegm. They are Cancer, Scorpio, and Pisces. The fiery signs and airy signs are masculine and diurnal, while the earthy signs and watery signs are feminine and nocturnal.³

¹The contents of this chapter are identical with those in *Tetrabiblos* I.12.

²This opinion is also reported in *Tetrabiblos* I.12.

³Although the topic of this chapter is familiar to Ptolemy, he does not offer a separate chapter on this topic. The contents can be summarized as:

fiery	♈	♈	♈	hot, dry	yellow bile
earthy	♉	♊	♋	cold, dry	black bile
airy	♌	♍	♎	hot, humid	blood
watery	♏	♐	♑	cold, wet	phlegm

الباب الثاني عشر في البروج والأجزاء التي ينظر بعضها إلى بعض

[1] البروج والأجزاء التي ينظر بعضها إلى بعض هي¹ التي بعد ما بينهما² ستة بروج مائة وثمانون³ جزءا وهي⁴ بعد المقابلة والتي بعد ما بينهما أربعة بروج مائة وعشرون جزءا وهي بعد التثليث والتي بعد ما بينهما ثلاثة بروج تسعون جزءا وهي⁵ بعد التربيع والتي بعد ما بينهما برجان ستون جزءا وهي بعد التسديس فالمقابلة⁶ هي المباينة والعداوة والتربيع كذلك إلا أنه دونه⁷ والتثليث هو الموافقة والمودة والتسديس كذلك إلا أنه دونه

G7a

[2] والأجزاء التي تقوم مقام هذه في النظر وليست بناظرة هي⁸ الأجزاء التي بعدها من إحدى نقطتي الاعتدالين بعد واحد⁹ وهي المتفقة في المطالع كأجزاء الحمل على التوالي مع أجزاء الحوت على غير التوالي وأيضا هي¹⁰ الأجزاء التي بعدها من إحدى نقطتي الانقلابين بعد واحد¹¹ وهي المتفقة في طول النهار كأجزاء السرطان على التوالي مع أجزاء الجوزاء على غير التوالي¹²

[3] المتساوية¹³ في المطالع¹⁴ أجزاء الحمل على التوالي وأجزاء¹⁵ الحوت على غير التوالي وأجزاء¹⁶ الثور على التوالي وأجزاء الدلو على غير التوالي وأجزاء الجوزاء على التوالي وأجزاء الجدى على غير التوالي وأجزاء¹⁷ الميزان على التوالي وأجزاء السنبلة على غير التوالي وأجزاء العقرب على التوالي وأجزاء¹⁸ الأسد على غير التوالي وأجزاء¹⁹ القوس على التوالي وأجزاء²⁰ السرطان على غير التوالي

[4] والمتساوية في طول النهار أجزاء السرطان على التوالي أجزاء الجوزاء على غير التوالي أجزاء²¹ الأسد على التوالي أجزاء الثور على غير التوالي أجزاء السنبلة على التوالي أجزاء الحمل على غير التوالي أجزاء الجدي على التوالي أجزاء القوس على غير التوالي أجزاء الدلو

¹ FJ وهي التي J skips from here to in the next line.

² G بينها

³ J ثمانين

⁴ BV وهو passim.

⁵ G وهو

⁶ B والمقابلة

⁷ JV دونه

⁸ J om.

⁹ F بعدا واحدا

¹⁰ B om.

¹¹ F واحدا

¹² V add. and puts [5] here.. وقد اوضعناهما في الجدول لسهل الوقوف على ذلك

¹³ BJ فالتفقة

¹⁴ B add. هي

¹⁵ BJ instead of و in this context in [3] and [4]. FV om. و in this context.

¹⁶ FV om. و in this context. F puts punctuation marks.

¹⁷ G om. و

¹⁸ G om. و

¹⁹ G om. و

²⁰ G om. و

²¹ BJ put و in this context.

Chapter Twelve: On the Signs and the Degrees Which aspect Each Other¹

[1] The signs and degrees which aspect each other: whenever the distance between the two (planets) is six signs, <namely,> one hundred and eighty degrees, this is the distance of opposition. Whenever the distance between the two (planets) is four signs, <namely,> one hundred and twenty degrees, this is the distance of trine. Whenever the distance between the two (planets) is three signs, <namely,> ninety degrees, this is the distance of quartile. Whenever the distance between the two (planets) is two signs, <namely,> sixty degrees, this is the distance of sextile. Opposition is contradictory and hostile, and quartile is likewise but less so. Trine is harmonious and friendly, and sextile is likewise but less so.

[2] There are degrees which take their place in aspect but without aspecting. They are those degrees which are of equal distance from one of the two equinoxes, like the degrees of Aries in the progressive order and the degrees of Pisces in the regressive order. And also those degrees whose distance from one of the two solstices are equal. They are equal in the length of day, like the degrees of Cancer in the progressive order and the degrees of Gemini in the regressive order.

[3] <The degrees which are> equal in ascension: the degrees of Aries in the progressive order and the degrees of Pisces in the regressive order; the degrees of Taurus in the progressive order and the degrees of Aquarius in the regressive order; the degrees of Gemini in the progressive order and the degrees of Capricorn in the regressive order; the degrees of Libra in the progressive order and the degrees of Virgo in the regressive order; the degrees of Scorpio in the progressive order and the degrees of Leo in the regressive order; the degrees of Sagittarius in the progressive order and the degrees of Cancer in the regressive order.

[4] <The degrees which are> equal in the length of day: the degrees of Cancer in the progressive order are the degrees of Gemini in the regressive order; the degrees of Leo in the progressive order are the degrees of Taurus in the regressive order; the degrees of Virgo in the progressive order are the degrees of Aries in the regressive order; the degrees of Capricorn in the progressive order are the degrees of Sagittarius in the regressive order; the degrees of Aquarius

¹The contents of [1] and [2] are from *Tetrabiblos* I.13, [3] and [5] from *Tetrabiblos* I.14, [4] from *Tetrabiblos* I. 15.

على التوالي أجزاء العقرب على غير التوالي أجزاء الحوت على التوالي أجزاء الميزان على غير التوالي

[5] والأجزاء التي من أول الحمل إلى آخر السنبلة يقال لها العالية لأنّ النهار يزيد على الليل والتي²² من أول الميزان إلى آخر الحوت يقال لها²³ المنخفضة لأنّ الليل يزيد²⁴ على النهار²⁵

جدول الدرجات التي تعطي حكم الاتصال					
البروج المتفقة في طول النهار		الدرج		البروج المتفقة في المطالع	
الإمرة المطيعة				متفقة في الطريقة	
جوزاء	سرطان	كط كح كز كو كه	ا ب ج د هـ	حوت	حمل
ثور	أسد	كد كج كب كا ك	و ز ح ط ي	دلو	ثور
جوزاء	سنبلة	يط يخ يز يو يه	يا يب يح يد يه	جدي	جوزاء
قوس	جدي	يد يج يب يا ي	يو يز يح يط ك	سنبلة	ميزان
عقرب	دلو	ط ح ز و هـ	كا كب كج كد كه	أسد	عقرب
ميزان	حوت	د ج ب ا هـ	كو كز كح كط	سرطان	قوس

²²F om.
²³B add. الهابطة
²⁴B add. فيها
²⁵FJ om. the table. G inserts the table between 6b and 7a. I have followed B which is the neatest.

in the progressive order are the degrees of Scorpio in the regressive order; the degrees of Pisces in the progressive order are the degrees of Libra in the regressive order.

[5] The degrees which are from the beginning of Aries to the end of Virgo are called ‘high’² because the day exceeds the night, while those which are from the beginning of Libra to the end of Pisces are called ‘low’³ because the night exceeds the day.

Table of degrees which offers understanding of the correspondence					
signs agreeing in ascension		degrees		signs agreeing in day-length	
common in course				commanding / obedient ⁴	
Aries	Pisces	1	29	Cancer	Gemini
		2	28		
		3	27		
		4	26		
		5	25		
Taurus	Aquarius	6	24	Leo	Taurus
		7	23		
		8	22		
		9	21		
		10	20		
Gemini	Capricorn	11	19	Virgo	Aries
		12	18		
		13	17		
		14	16		
		15	15		
Libra	Virgo	16	14	Capricorn	Sagittarius
		17	13		
		18	12		
		19	11		
		20	10		
Scorpio	Leo	21	9	Aquarius	Scorpio
		22	8		
		23	7		
		24	6		
		25	5		
Sagittarius	Cancer	26	4	Pisces	Libra
		27	3		
		28	2		
		29	1		
		30	0		

²‘commanding’ in Robbins’ translation of *Tetrabiblos* I.14 (p. 75). The words, ‘commanding’ (*imra*) and ‘obedient’ (*maṭṭi*) are found in the table.
³‘obedient’, in *Tetrabiblos* I.14 (p. 75).
⁴Actually the six signs above are ‘commanding’ and the six below are ‘obedient’.

الباب الثالث عشر في البيوت الكواكب

G7b

[1] السرطان والأسد موافقان للقمر والشمس في أحوالهما وهما مع ذلك أقرب البروج التي هذه حالها من¹ سمت الرأس فجعل السرطان بيتا للقمر والأسد² بيتا للشمس وجعل بيتا زحل³ مقابلة⁴ بيتي النيرين لمخالفته لهما بالطبع ثم للمشتري الذي دونه في الفلك بيتان على⁵ جنبتي بيتي زحل ثم⁶ للمريخ الذي دونه بيتان عن جنبتي بيتي المشتري ثم للزهرة بيتان عن جنبتي بيتي المريخ ثم لعطارد بيتان عن جنبتي بيتي الزهرة

[2] فوق بيتا المشتري على تليث بيتي النيرين وبيتا الزهرة على تسديس بيتي النيرين وبيتا زحل على مقابلة بيتي النيرين وبيتا المريخ على تربيع بيتي النيرين⁷ ولأن البيت موضع الأمن والصحة والسلامة قالوا⁸ إن مقابلة البيت موضع الوبال

الباب الرابع عشر في شرف الكواكب

[1] اجتمعت الأمم على أن شرف الشمس في تسع عشرة⁹ درجة من الحمل وشرف القمر في ثلاث درجات من الثور وشرف زحل في إحدى وعشرين درجة من الميزان وشرف المشتري في خمس عشرة¹⁰ درجة من السرطان وشرف المريخ في ثمان وعشرين¹¹ درجة من الجدي وشرف الزهرة في سبع وعشرين درجة من الحوت وشرف عطارد في خمس عشرة¹² درجة من السنبلة¹³ وشرف الرأس في ثلاث درجات¹⁴ من الجوزاء وشرف الذنب في درجتين¹⁵ من القوس

[2] والبرج كله شرف الكوكب إلا أن قوته فيه ما دام دون هذه الدرجات بمقدار¹⁶ جرمه¹⁷ سائرا إليها ولأن الشرف موضع العز والعلو قالوا إن مقابلته موضع الهبوط والذل¹⁸

¹J instead of التي هذه حالها من

²V وجعل الاسد

³V add. في

⁴B مقابت

⁵BJ عن

⁶J om. from here to the first بيتي جنبتي بيتي in the next line.

⁷B بيتي النيرين instead of بيتيهما

⁸V وقالوا

⁹FJ تسعة عشر ; BFV in abjad throughout this chapter. V om. درجة throughout.

¹⁰J عشر

¹¹BV ثمانية وعشرين ; F عشرون

¹²J خمسة عشر ; F عشر

¹³F om. from here to the end of [1].

¹⁴B om.

¹⁵B ثلاث درجات ; J د

¹⁶J add. نصف

¹⁷JV add. وهو

¹⁸B الهبوط هو السقوط وهو موضع الآفات والنكبة والغم ; F add. الذل والهبوط

والتحيرة والشرف الرأس في برج القوس ثلاث درجة وشرف الذنب في الجوزاء ثلاث درجة وهبوطها في مقابلة الشرف

Chapter Thirteen: On the Houses of the Planets¹

[1] Cancer and Leo correspond to the Moon and the Sun <respectively> in their conditions. The two <signs> are therefore closest among the signs to the zenith. Cancer was made the house of the Moon and Leo the house of the Sun. The two houses of Saturn were put in opposition to the two houses of the two luminaries because they are contradictory to them in nature. Then to Jupiter which is below it in the sphere belong the two houses on both sides of the two houses of Saturn. Then to Mars which is below it belong the two houses on both sides of the two houses of Jupiter. Then to Venus belong the two houses which are next to the two houses of Mars. Then to Mercury belong the two houses which are next to the two houses of Venus.

[2] Thus the two houses of Jupiter are situated in trine to the two luminaries and the two houses of Venus are in sextile to the two houses of the two luminaries. The two houses of Saturn are in opposition to the two houses of the two luminaries. The two houses of Mars are in quartile to the two houses of the two luminaries. Because <its own> house is the place of peace, health, and welfare, people say that the opposite house is the place of detriment.

Chapter Fourteen: On the Exaltation of the Planets²

[1] People agree that the exaltation of the Sun is in the nineteen degrees of Aries; the exaltation of the Moon is in the three degrees of Taurus; the exaltation of Saturn is in the twenty-one degrees of Libra; the exaltation of Jupiter is in the fifteen degrees of Cancer; the exaltation of Mars in the twenty-eight degrees of Capricorn; the exaltation of Venus is in the twenty-seven degrees of Pisces; the exaltation of Mercury is in the fifteen degrees of Virgo; the exaltation of the Head <of Dragon> is in the three degrees of Gemini; the exaltation of the Tail <of Dragon> is in the two³ degrees of Sagittarius.

[2] The whole sign is the exaltation of the planet, but its power is in it <only> as long as <it is> within the number of degrees that make up its ‘body’⁴. The exaltation is the place of greatness. They say that the opposite place is dejection and weakness.⁵

¹Cf. *Tetrabiblos* I.17.

²Cf. *Tetrabiblos* I.19. This chapter can be summarized in the form of a table:

	Sun	Moon	Saturn	Jupiter	Mars	Venus	Mercury	Head	Tail
Exalt.	♌ 19°	♉ 3°	♎ 21°	♊ 15°	♑ 28°	♋ 27°	♍ 15°	♊ 3°	♏ 2°
Deject.	♈ 19°	♌ 3°	♌ 21°	♑ 15°	♏ 28°	♍ 27°	♋ 15°	♏ 3°	♊ 2°

³According to BFJ, Gemini 3°, which is standard.

⁴For ‘body’ see 1.18.1. The Chinese translation gives detailed examples.

⁵F’s addition : ‘The dejection is the fall and it is the place of harms, disasters, sorrow, and

الباب الخامس عشر في المثلاث وأربابها

G8a

[1] البروج الاثنى عشر تنقسم إلى أربع مثلاث متساويات الأضلاع كلّ مثلثة على طبيعة نارية وأرضية وهوائية¹ ومائية والمغمورة من الأرض مقسومة بأربعة أقسام أمّا في العرض فمن خطّ الاستواء إلى عرض ستّة وستين جزءاً² وأمّا في الطول فمن أقصى عمارة المغرب إلى أقصى عمارة المشرق وهو³ مائة وثمانون درجة من دور الفلك [2] وابتداء العمارة قد يؤخذ من الجزائر الخالدات وهي جزائر واغلة⁴ في البحر⁵ كانت في قديم الدهر معمورة⁶ وقد يؤخذ من ساحل البحر بالمغرب⁷ وبين هذا الرأي وبين⁸ الرأي الأوّل عشر درجات من دور الفلك [3] فمنتصف العمارة عرض ثلاث وثلثين درجة وطول تسعين درجة⁹ فالمواضع¹⁰ التي عرضها أقلّ من ثلاث وثلثين¹¹ إن كان الطول¹² أقلّ من تسعين فالموضع من الربع الغربي الجنوبي وإن كان الطول أكثر من تسعين فالموضع من الربع¹³ الشرقي الجنوبي والمواضع التي عرضها أكثر من ثلاث وثلثين¹⁴ إن كان الطول أقلّ من تسعين فالموضع من الربع الغربي الشمالي وإن كان الطول أكثر من تسعين فالموضع من الربع الشرقي الشمالي [4] فأول المثلاث¹⁵ الناريات وهي الحمل والأسد والقوس وأربابها في الطوالع¹⁶ النهارية الشمس ثمّ المشتري وفي الطوالع¹⁷ الليلية المشتري ثمّ الشمس وشريكهما بالنهار والليل زحل وهذه المثلثة للربع الشرقي الشمالي [5] والمثلثة الثانية الأرضيات وهي الثور والسنبلة والجدي وأربابها بالنهار الزهرة ثمّ القمر وبالليل القمر ثمّ الزهرة وشريكهما بالليل والنهار¹⁸ المريخ¹⁹ وهذه المثلثة للربع الشرقي الجنوبي

¹ هوائية وأرضية

² JV add. بالتقريب

³ JV وهي

⁴ J داخلة

⁵ V add. المغرب

⁶ BFJV عامرة

⁷ J om.

⁸ BFJV om. بين

⁹ BFV om. درجة

¹⁰ JV والمواضع

¹¹ B add. جزاء

¹² B طولها

¹³ J hapl. om. from here to the next من الربع

¹⁴ G puts in margin from here to الشمالي

¹⁵ BJ المثلثة

¹⁶ V طوالع

¹⁷ V طوالع

¹⁸ FJV بالنهار والليل

¹⁹ B add. الا في السنبلة خاصة فإن شريكهما عطارد

Chapter Fifteen: On the Triplicities and their Lords ¹

[1] Twelve signs are divided into four equilateral triangles. Each one of the triplicities is of the nature of fire, earth, air, and water. The inhabited world of the earth is divided into four parts. In latitude it is from the equator to sixty-six degrees <to the north>; in longitude it is from the western limit of the inhabited world to the eastern limit of the inhabited world and one hundred and eighty degrees of the circle of a sphere.

[2] The beginning of the inhabitation is taken sometimes from the Canary Islands which are far in the Ocean and were populous in ancient times, while sometimes it is taken from the coast of the Ocean in the west. Between this view and the first view is ten degrees of the <circle of> sphere.

[3] The middle <in latitude> of the inhabitation is thirty-three degrees and <that in> longitude is ninety degrees. Of the places of which the latitude is less than thirty-three degrees, if the longitude is less than ninety degrees it is south-west, and if it is greater than ninety degrees it is south-east. Of the places of which the latitude is more than thirty-three degrees, if the longitude is less than ninety degrees it is north-west, and if it is greater than ninety degrees it is north-east.

[4] The first of the triplicities, which is fiery, are Aries, Leo, and Sagittarius and their lord by day is the Sun and thereafter Jupiter, and by night Jupiter and thereafter the Sun, and their participant by day and night is Saturn, and this triplicity belongs to the north-east quarter.

[5] The second triplicity, which is earthy, are Taurus, Virgo, and Capricorn and their lord by day is Venus and thereafter the Moon, and by night the Moon and thereafter Venus, and their participant by night and day is Mars and this triplicity belongs to the south-east quarter.

confusion. The exaltation of the Head is in the three degrees of Sagittarius and the exaltation of the Tail is in the three degrees of Gemini. Their dejections are in the opposite places.'

¹This chapter is from *Tetrabiblos* I.18. The division of the earth into quarters is from *Tetrabiblos* II.3.

[6] والمثلثة الثالثة الهوائيات وهي الجوزاء والميزان والدلو وأربابها بالنهار زحل ثم عطارد وبالليل عطارد ثم زحل وشريكهما والليل والنهار²⁰ المشتري وهذه المثلثة للربع الغربي الجنوبي

[7] والمثلثة الرابعة المائيات وهي السرطان والعقرب والحوت وأربابها بالنهار الزهرة ثم المريخ²¹ وبالليل المريخ ثم الزهرة²² وشريكهما بالنهار والليل القمر وهذه المثلثة للربع الشمالي الغربي²³

[8] وليعلم أن الشركاء التي مع أرباب المثلثات لا أعرف لها وجها وقد أسقطها بطليموس²⁴ صاحب الأحكام إلا أن أكثر أهل هذه²⁵ الصناعة قديما أثبتوها وقدموا في المثلثة الأخيرة الزهرة على المريخ والصواب بحسب²⁶ القياس تقديم²⁷ المريخ وأجماع الأمم كلهم على تقديم الزهرة

[9] ومطلع الحمل والميزان في منتصف العمارة للحمل والشمس وزحل ومغيبهما للميزان والقمر والمريخ ومنتصف ما بين المطلع والمغيب من ناحية الجنوب للجدي والزهرة ومن ناحية الشمال للسرطان والمشتري وعطارد ومشارك لكل واحد من هذه الكواكب في تلك الجهة

V's addition:

على ما ذهب إليها بطليموس لأن الزهرة قد أخذت التقديم في المثلثة الأرضية ولأن المقدم في سائر المثلثات بالنهار صاحب البرج الثابت وهكذا في هذه المثلثة إذا قدم المريخ وبتليموس يعطى هذه المثلثة للمريخ ثم يقول يشاركه الزهرة بالنهار والقمر بالليل وكان قول بطليموس أميل إلى الصواب

²⁰BFJV بالنهار والليل

²¹BFV ثم الزهرة

²²BFV الزهرة ثم المريخ

²³BFJV الغربي الشمالي

²⁴BJV بطليموس

²⁵BFJ om. هذه

²⁶BFJV add. بعض

²⁷V puts from here to the end of [8] in the margin and the additional text follows. See the text at the end.

[6] The third triplicity, which is airy, are Gemini, Libra, and Aquarius and their lord by day is Saturn and thereafter Mercury, and by night Mercury and thereafter Saturn, and their participant by night and day is Jupiter, and this triplicity belongs to the south-west quarter.

[7] The fourth triplicity, which is watery, are Cancer, Scorpio, and Pisces and their lord by day is Venus and thereafter Mars,² and by night Mars and thereafter Venus³ and their participant by day and night is the Moon This triplicity belongs to the north-west quarter.⁴

[8] Let it be known that I personally do not recognize the participants who are with the lord of the triplicity, and Ptolemy, the authority of this knowledge, had omitted them. But most people of this science in ancient times determined them, and in the last triplicity they put Venus before Mars. The right way in accordance with analogy (*qiyās*) is putting Mars first, but all the people agreed on putting Venus first.

[9] The rising of Aries and Libra in the half of the inhabited world belongs to Aries, the Sun, and Saturn, while the setting of the two belongs to Libra, the Moon, and Mars. The half between rising and setting of the southern direction belongs to Capricorn and Venus, and that from the northern direction belongs to Cancer and Jupiter, and Mercury is participant of each one of the planets in this direction.⁵

V's addition:

<This is> according to what Ptolemy thought, because Venus has already taken the first position in the earthy triplicity and because in the other triplicities <the lord> is the lord of the fixed sign in day, and this is the case when Mars is put first. So Ptolemy gives this triplicity to Mars then he says that Venus assists it by day and the Moon by night. The saying of Ptolemy is more inclined to the right answer.

²BFJV (and Chinese tr.) 'Mars and thereafter Venus'.

³BFJV (and Chinese tr.) 'Venus and thereafter Mars'.

⁴The correspondence of the four triplicities, and their lords can be tabulated as:

No.	element	house	Lord (Assistant)			quarter
			day	night	day-night	
I	fire	♌ ♎ ♏	☉ (♌)	♃ (♏)	♄ (♎)	north-east
II	earth	♈ ♉ ♊	♁ (♈)	♁ (♉)	♂ (♊)	south-east
III	air	♊ ♋ ♌	♄ (♊)	♄ (♋)	♃ (♌)	south-west
IV	water	♋ ♌ ♏	♄ (♋)	♄ (♌)	♁ (♏)	north-west
IV'			♄ (♌)	♄ (♏)	♁ (♋)	

Note: IV' is 'according to Ptolemy' as V's addition suggests. cf. *Tetrabiblos* II.3

⁵The meaning of this passage is not clear.

الباب السادس عشر في الحدود

[1] الحدود هي¹ من² الأشياء المختلف فيها³ فلكلّ أمة حدود على لون⁴ وكلّهم أقاموا⁵ في قسمة⁶ الحدود للمشتري⁷ مقام الشمس والزهرة مقام القمر ولم يجعلوا لهما في الحدود نصيباً

[2] وكلّ⁸ واحد من أهل⁹ الصناعة تمسك بحدود أمة على شهرة منه وهي حدود بطليموس¹⁰ وحدود المصريين وحدود الهند وحدود الكلدانيين

[3] أمّا الحدود بطليموس¹¹ فليس¹² ينسبها¹³ بطليموس¹⁴ إلى نفسه وإتّما بقول وجدت حدوداً في آخر¹⁵ كتاب دارس يجوز¹⁶ أن يكون¹⁷ حدود المصريين تلك الحدود وأخبر من قياسها¹⁸ شيئاً لا يليق بالمحقّقين

[4] وأمّا حدود المصريين فاجتمعت عليها أهل الصناعة على غير ثقة بها وليس لها قياس ولا نظام

G9a [5] وأمّا حدود الهند والكلدانيين فلكلّ واحد منهما قياس¹⁹ لأنّ حدود الكلدانيين مبنية على المثلثات وأربابها وحدود الهند مبنية على المذّكر من البروج والكواكب ومؤثّها إلا أنّها مهجوران متروكان فمن استعمل أحدهما²⁰ وجد في نفسه نفرة لتفرده²¹ والخروج من²² الأجماع مع قلة ثقته بما تفرّد به ومن بعد أن لا سبيل للتحقيق إلى أحدهما²³ [6] فليظنّ أنّ تتبع الأجماع أولى²⁴ وهي حدود المصريين المستعملة في زماننا²⁵

¹ V om.

² J في

³ J om.

⁴ B نوع

⁵ B أقام

⁶ J خمسة

⁷ BFJ المشتري

⁸ F فكل

⁹ BV add. هذا

¹⁰ BJV بطليموس ; J hapl. om. from here to the next

¹¹ BJV بطليموس

¹² V لا

¹³ F ينسب ; V ينسبه

¹⁴ BGJV بطليموس

¹⁵ B om.

¹⁶ V ويجوز

¹⁷ B تكون

¹⁸ J قياسها

¹⁹ BJ قياسها ; For F's addition see the end of this chapter.

²⁰ B أحدهما instead of شيئ من

²¹ FG add. به

²² JV والخروج من instead of بالخروج عن

²³ BJ أحدهما

²⁴ For V's addition here, see the end of this chapter.

²⁵ F add. وهي but om. the rest leaving a space for the table.

Chapter Sixteen: On Terms¹

[1] The terms are among those things on which opinions are different. Each people have varieties of the terms. Concerning the assignment of the terms they all assigned the terms to Jupiter in place of the Sun and the terms to Venus in place of the Moon, giving no role to the two <luminaries>.

[2] Each one of the men of this art <of astrology> adheres to the terms of a people according to their reputation, namely, the terms of Ptolemy, the terms of the Egyptians, the terms of the Indians, and the terms of the Chaldeans.

[3] As for the terms of Ptolemy, Ptolemy does not ascribe it to himself, but he says “I found the terms at the end of a study book”.² He approves that the terms of the Egyptians are these terms, but he reported something about their regularity which is not discarded by investigators.

[4] As for the terms of the Egyptians, men of this art agreed on them without being confident in them, and there is neither regularity nor system in them.

[5] As for the terms of the Indians and of the Chaldeans, both of them have regularity because the terms of the Chaldeans are based on the triplicities and their lord, and the terms of the Indians are based on the masculinity and femininity of the signs and planets. But the two <systems> are entirely obsolete and neglected. Those who used one of them were frustrated because they found themselves isolated and deviating from the common view, having little confidence in what was an isolated view, and also because there was no way to verify either of the two.

[6] So let it be assumed that we first follow the common view: they are the terms of the Egyptians which are used in our time.

¹This chapter is from *Tetrabiblos* I.20 and I.21.

²*Tetrabiblos* 1.21.47.

السنبلة ²⁶	الأسد	السرطان	الجوزاء	الثور	الحمل
عطارد	و المشتري	ز المريخ	و عطارد	ح الزهرة	و المشتري
ي الزهرة	ه الزهرة	و الزهرة	و المشتري	و عطارد	و الزهرة
د المشتري	ز زحل	و عطارد	ه الزهرة	ح المشتري	ح عطارد
ز المريخ	و عطارد	ز المشتري	ز المريخ	ه زحل	ه المريخ
ب زحل	و المريخ	د زحل	و زحل	ج المريخ	ه زحل
الحوت	الدول	الجدي	القوس	العقرب	الميزان
يب الزهرة	ز عطارد	ز عطارد	يب المشتري	ز المريخ	و زحل
د المشتري	و الزهرة	ز المشتري	ه الزهرة	د الزهرة	ح عطارد
ج عطارد	ر المشتري	ح الزهرة	د عطارد	ح عطارد	ز المشتري
ط المريخ	ه المريخ	د زحل	ه زحل	ه المشتري	ز الزهرة
ب زحل	ه زحل	د المريخ	د المريخ	و زحل	ب المريخ

G9b

[7] فذلك ثلثمائة درجة وستون درجة²⁷ لزحل نز وللمشتري عط وللمريخ سو وللزهرة قب ولعطارد عو²⁸

F’s addition (see footnote 19):

فجعل الكلدانيّين أوّل كلّ برج لصاحب المثلثة النهارية ثمّ صاحب المثلثة الليلية ثمّ صاحب المثلثة النهارية الثانية ثمّ صاحب المثلثة الليلية ثمّ صاحب المثلثة الثالثة وجعلوا حظّ صاحب القسمة الأولى من البرج ثمانية أجزاء وصاحب القسمة الثانية في سبعة أجزاء وصاحب المثلثة ستّة أجزاء والرابعة خمسة ارتفاع

V’s addition (see footnote 24):

وأهل الصناعة قديما أجمعو على استعمال حدود المصريين وما يحاكى عن بطليموس هي حدود الأمة أيضا إلّا أن فيها تغيّرات وحدود المصريين على ما أجمع عليه أهل الصناعة هي هذا وهي مستعملة في زمانا

²⁶This table is from G which gives left to right order from Aries to Virgo and from Libra to Pisces, contrary to usual right to left direction.

²⁷B فذلك ... درجة instead of صورتها فصار

²⁸J add. وهذه صورة حدود and gives the table in words. FV om. the table.

Aries	Taurus	Gemini	Cancer	Leo	Virgo
6	8	6	7	6	7
Jupiter	Venus	Mercury	Mars	Jupiter	Mercury
6	6	6	6	5	10
Venus	Mercury	Jupiter	Venus	Venus	Venus
8	8	5	6	7	4
Mercury	Jupiter	Venus	Mercury	Saturn	Jupiter
5	5	7	7	6	7
Mars	Saturn	Mars	Jupiter	Mercury	Mars
5	3	6	4	6	2
Saturn	Mars	Saturn	Saturn	Mars	Saturn
Libra	Scorpio	Sagittarius	Capricorn	Aquarius	Pisces
6	7	12	7	7	12
Saturn	Mars	Jupiter	Mercury	Mercury	Venus
8	4	5	7	6	4
Mercury	Venus	Venus	Jupiter	Venus	Jupiter
7	8	4	8	7	3
Jupiter	Mercury	Mercury	Venus	Jupiter	Mercury
7	5	5	4	5	9
Venus	Jupiter	Saturn	Saturn	Mars	Mars
2	6	4	4	5	2
Mars	Saturn	Mars	Mars	Saturn	Saturn

[7] There are 360 degrees: for Saturn 57, for Jupiter 79, for Mars 66, for Venus 82, and for Mercury 76 (degrees).³

F’s addition:

Then the Chaldeans made the beginning of each sign belonging to the dirurnal lord of the triplicity, then the nocturnal lord of the triplicity, then the diurnal lord of the second <triplicity>, then the nocturnal lord of the <second> triplicity, then the lord of the third triplicity. They made the shares of the lord of the first division of the sign eight degrees, the the lord of the second division seven degrees, the lord of the third division six degrees, and the fourth <division> five ...⁴

V’s addition:

The men of the art <of astrology> in ancient times agreed on using the Egyptian terms, and that which is adapted by Ptolemy is the terms of people. But there are variations in them. The terms of the Egyptians, on which the men of the art <of astrology> agree, is used in our time.

³Cf. *Tetrabiblos* I.22.fn.1.

⁴The text is very corrupt, but it seems that the five numbers 8,7,6,5,4 are assigned to the five divisions. According to K. Yamamoto’s personal communication, the word ‘irtifā’ appears in Abū Ma’sar’s *Great Conjunction* in the same context, but the meaning is not clear.

الباب السابع عشر في الحيز والفرح والدستورية واثنى عشريات

- [1] أما الحيز فهو إن يكون الكوكب الذكر² النهاري بالنهار فوق الأرض وبالليل تحتها³ والكوكب⁴ الأنثى⁵ الليلي⁶ بالليل فوق الأرض وبالنهار⁷ تحتها⁸
- [2] وأما الفرحة فهو⁹ إن يكون عطارد في الطالع والقمر في الثالث والزهرة في الخامس والمريخ في السادس والشمس في التاسع والمشتري في الحادي عشر وزحل في الثاني عشر
- [3] وأما الدستورية فهو إن يكون الكوكب في أحد بيته وبعده من أحد النيران البعد الذي بين بيت النير وبين¹⁰ بيت الكوكب والجهة تلك الجهة كالزهرة في الميزان والشمس في الأسد والقمر في القوس والزهرة أيضا في الثور والقمر في السرطان والشمس¹¹ في الحوت وبطليموس¹² يسمى هذا الوجه المواجهة والإنارة
- [4] والدستورية عند الجمهور أن يكون الكوكب في بيته أو شرفه في الودت¹³ وينظر إليه كوكب من¹⁴ بيته أو شرفه من¹⁵ الودت كالزهرة في الميزان في الطالع وزحل في الجدي أو زحل في الميزان والمريخ في الجدي والكوكب إذا كان بهذه الصور الثلاث التي هي الحيز والفرح والدستورية كان أظهر فعلا وأقوى تأثيرا
- [5] وأما الاثنا عشرية¹⁶ فهو¹⁷ إن ينظر إلى درجات الكوكب في¹⁸ برجه¹⁹ فيؤخذ لكل درجة اثنا عشر درجة ولكل دقيقة اثنا عشر دقيقة فما²⁰ بلغ يلقى من برج الكوكب

¹G اثنا

²J المذكر

³F تحت الأرض

⁴V الكواكب

⁵B om.

⁶J om.

⁷J وبالليل

⁸B add. فانه بالضدة

⁹J om.

¹⁰F om.

¹¹BG أو الشمس

¹²BJV بطليموس

¹³B om. الودت ; J hapl. om. from here to the next

¹⁴BF في

¹⁵F في

¹⁶F عشريات

¹⁷V add. درجة

¹⁸BFJ من

¹⁹B add. الذي هو فيه

²⁰V وما

Chapter Seventeen: On the Domain, the Joy, the *Dastūrīya*, and the Dodecatemorion

[1] As for the domain, it is if a masculine diurnal planet is above the earth by day and below it by night, and if a feminine nocturnal planet is above the earth by night and below it by day.¹

[2] As for the joy, it is if Mercury is in the ascendant and the Moon is in the third place² and Venus in the fifth, Mars in the sixth, the Sun in the ninth, Jupiter in the eleventh, and Saturn in the twelfth.³

[3] As for the *dastūrīya*,⁴ it is when a planet is in one of its two houses and its distance from one of the two luminaries is the distance between the house of the luminary and the house of the planet in the same direction. For example, Venus is in Libra and the Sun is in Leo and the Moon is in Sagittarius; and again Venus is in Taurus and the Moon is in Cancer and the Sun is in Pisces. Ptolemy calls this method 'confrontation' and 'illumination' (*al-ināra*).⁵

[4] *Dastūrīya* among the common people: a planet is in its house or in its exaltation in a cardine and a planet is aspecting it from its house or in its exaltation from a cardine. For example, Venus is in Libra in the ascendant and Saturn is in Capricorn, or Saturn is in Libra and Mars is in Capricorn.⁶ When a planet is in one of the three configuration, i.e., domain, joy, or *dastūrīya*, it is most evident in effect and most powerful in influence.

[5] As for dodecatemoria, it is looking at the degrees of a planet in its sign (i.e., where the planet is). Then twelve degrees for each degree and twelve minutes for each minute are taken, and what is obtained from the degrees of the planet is diminished by thirty

¹Cf. Abū Ma'shar, *Abbreviation* 3.3.

²For the technical use of 'place', see 1.20.

³The wording of this sentence is exactly same as that of Abū Ma'shar, *Abbreviation* 1.121.

⁴For this Persian word, see *Tafhīm* 486. Wright explains it as 'position of authority'.

⁵Cf. *Tetrabiblos* I.23.

⁶In the first example, Venus is in one of its own houses (i.e., Libra), and its distance from the Sun, i.e., two signs, is equal to the Moon's distance from Libra. In the Second example, Venus is in in the other of its houses (Taurus) and its distance from the Sun in Pisces, which is two signs, is equal to the Moon's distance from Taurus.

by thirty degrees and then count the number <of signs by the times of the diminishment>, and here (i.e. where the counting is exhausted) is the dodecatemorian of this planet.⁷

[6] Example: The ascendant is twenty-six degrees and fifteen minutes of Sagittarius. We multiply these degrees and minutes by twelve and three hundred fifteen degrees are obtained. When we throw away thirty for Sagittarius and thirty for those signs which are after it, the dodecatemorian of the ascendant falls on the fifteen degrees of Libra.⁸

[7] In this way the dodecatemorian of houses and of planets is obtained. When a planet is in the dodecatemorian of <another> planet, it (the former) is in application with it (the latter). When it (a planet) is in the dodecatemorian of a house in the diagram of the horoscope, it is the same as when it is situated in this house. By the kindness and favour of God.⁹

[8] The signs and degrees facing the degrees are taken, and the degrees and minutes facing the minutes are taken. Then we add the resulting <number of signs> to the number of the sign of the planet, and what is obtained is the sign of the place of the docecatemoria of the planet.

ثلاثين ثلاثين²¹ درجة²² حيث تعدّ العدد فهناك اثنا عشرية ذلك²³ الكوكب²⁴
 [6] مثاله²⁵ الطالع القوس في ستّ وعشرين²⁶ درجة وخمس عشرة²⁷ دقيقة فضرينا هذه
 الدرجات والدقائق في اثنا عشر فبلغ ثلاثمائة وخمس عشرة²⁸ درجة فإذا ألقينا للقوس
 ثلاثين ولما بعده²⁹ من البروج ثلاثين³⁰ وقعت اثنا عشرية الطالع في الميزان³¹ في خمس
 عشرة³² درجة منه³³
 [7] وعلى هذا يعمل³⁴ اثنا عشرية³⁵ البيوت والكواكب³⁶ فالكوكب إذا كان في اثني³⁷
 عشرية كوكب فهو كالمّصل به وإذا كان في اثني³⁸ عشرية بيت من صورة الطالع فهو
 كالكاثن في ذلك البيت بحمد الله منه³⁹
 [8] يؤخذ ما يزاء الدرج من البروج والدرج وما يزاء الدقائق من الدرج والدقائق
 ونزاد المبالغ على علامة برج الكوكب فما بلغ فهو برج موضع اثني⁴⁰ عشرية الكوكب⁴¹

²¹GJV ثلاثون ثلاثون

²²B om.

²³FJV om.

²⁴F add. فإذا كان كوكب في إثني عشرة كوكب قام ذلك مقام الإتصال به وأذا كان

كوكب في إثني عشرية بيت كان كانه في ذلك البيت

²⁵V مثال ذلك

²⁶V وعشرون

²⁷B in abjad. V وخمسة عشر

²⁸FGV وخمسة عشر

²⁹V بعدها

³⁰BFJ add. ثلاثين

³¹B om. في الميزان

³²F خمسة عشر ; خمس عشر J ; خمسة عشرة F

³³B منه instead of منها V : من الميزان

³⁴J العمل

³⁵B add. سائر

³⁶F om. after this.

³⁷G اثنا

³⁸G اثنا

³⁹BJV om. بحمد الله منه ; BJ end this chapter here.

V add. وقد وضعت جدولا في هذه المعني لسهل تأخذه وهو إن

⁴⁰G اثنا

⁴¹V add. وهذه صورته

⁷For a similar definition of the dodecatemorian, see *Abbreviation* 4.32.

⁸Since the ascendant is in Sagittarius 26°15',

26°15' × 12 = 315°

315° = 10 × 30° + 15°.

Therefore the dodecatemorian of the ascendant is at the 15° of the 11th signs from Sagittarius, i.e., Libra.

⁹V adds 'I have put a table concerning this concept so that it would be easy for us to get it.'

جدول الاثنا عشریات ⁴²											
درج	بروج	درج	دقائق	درج	دقائق	درج	دقائق	درج	دقائق	درج	دقائق
۱	۵	۱	۵	۱	۵	۱	۵	۱	۵	۱	۵
۲	۵	۲	۵	۲	۵	۲	۵	۲	۵	۲	۵
۳	۵	۳	۵	۳	۵	۳	۵	۳	۵	۳	۵
۴	۵	۴	۵	۴	۵	۴	۵	۴	۵	۴	۵
۵	۵	۵	۵	۵	۵	۵	۵	۵	۵	۵	۵
۶	۵	۶	۵	۶	۵	۶	۵	۶	۵	۶	۵
۷	۵	۷	۵	۷	۵	۷	۵	۷	۵	۷	۵
۸	۵	۸	۵	۸	۵	۸	۵	۸	۵	۸	۵
۹	۵	۹	۵	۹	۵	۹	۵	۹	۵	۹	۵
۱۰	۵	۱۰	۵	۱۰	۵	۱۰	۵	۱۰	۵	۱۰	۵
۱۱	۵	۱۱	۵	۱۱	۵	۱۱	۵	۱۱	۵	۱۱	۵
۱۲	۵	۱۲	۵	۱۲	۵	۱۲	۵	۱۲	۵	۱۲	۵

Table of dodecatemoria								
degrees	signs	degrees	minutes	degrees	minutes	minutes	degrees	minutes
1	0	12	1	0	12	31	6	12
2	0	24	2	0	24	32	6	24
3	1	6	3	0	36	33	6	36
4	1	18	4	0	48	34	6	48
5	2	0	5	1	0	35	7	0
6	2	12	6	1	12	36	7	12
7	2	24	7	1	24	37	7	24
8	3	6	8	1	36	38	7	36
9	3	18	9	1	48	39	7	48
10	4	0	10	2	0	40	8	0
11	4	12	11	2	12	41	8	12
12	4	24	12	2	24	42	8	24
13	5	6	13	2	36	43	8	36
14	5	18	14	2	48	44	8	48
15	6	0	15	3	0	45	9	0
16	6	12	16	3	12	46	9	12
17	6	24	17	3	24	47	9	24
18	7	6	18	3	36	48	9	36
19	7	18	19	3	48	49	9	48
20	8	0	20	4	0	50	10	0
21	8	12	21	4	12	51	10	12
22	8	24	22	4	24	52	10	24
23	9	6	23	4	36	53	10	36
24	9	18	24	4	48	54	10	48
25	10	0	25	5	0	55	11	0
26	10	12	26	5	12	56	11	12
27	10	24	27	5	24	57	11	24
28	11	6	28	5	36	58	11	36
29	11	18	29	5	48	59	11	48
30	12	0	30	6	0	60	12	0

⁴²The same table is found in *Zīj al-jāmi'*, Leiden ms. 217.

الباب الثامن عشر في اتصال والانصراف والقبول والرد¹

[1] اتصال الكواكب بعضها ببعض² في الطول من ثمانية³ مواضع المقارنة والمقابلة والتريعين والتسديسين والتثليثين⁴ وقدر الدرجات التي هي أول الاتصال⁵ سمّوه الأجرام وهي⁶ للشمس خمس عشرة⁷ درجة⁸ وللقمر اثنا⁹ عشر درجة¹⁰ ولكل واحد من الكواكب¹¹ العلوية تسع درجات ولكل واحد من الزهرة وعطارد سبع درجات¹² وفي المريخ خلاف فاته¹³ يقال إن جرمه ثمان درجات

[2] فإذا دنا كوكب من كوكب¹⁴ يريد الاتصال به فإن كان¹⁵ البعد بينهما مثل نصف جرمي الكوكبين فهو أول اتصاله به¹⁶ فإذا صار بينهما مثل نصف جرم أقلهما جرما فهو في أقوى اتصاله¹⁷ فإذا تساوا بالدرجة والدقيقة فقد تم اتصاله¹⁸ فإذا جاوز¹⁹ بدقيقة واحدة فقد انصرف عنه إلا أنه في قوته وسلطانه ما لم يجاوزه بنصف²⁰ الجرمين أو يلقي كوكبا آخر يريد الاتصال به على الشريطة المذكورة وعلى هذا القياس²¹ سائر الاتصالات والانصرافات

[3] وأما الاتصال به العرض فلسنا نحتاج إليه إلا في المقارنات وابتداء الاتصال في هذا كابتدائه في الطول²² وانتهائه²³ على ما تقدّم²⁴ في اتصال²⁵ الطول من مقادير الأجرام ومما يعدّ من الاتصال ويقوم مقامه²⁶ كون الكوكبين في درجتى مطالعتهما متساويان أو في

¹F om. والرد ; G puts in margin.

²F بعض إلى بعض

³F من ثمان ; J فمن ثمان

⁴B التثليث والتسديسين

⁵B add. الكواكب بالكوكب ; J add. الكواكب بعضها ببعض

⁶BF وهو

⁷F خمسة عشر

⁸B in abjad throught this chapter.

⁹J اثني

¹⁰J om.

¹¹B om.

¹²F om. from here to the end of [1]

¹³B om. ف

¹⁴J add. وهو

¹⁵BFJ فإن كان instead of وكان

¹⁶BV om. به

¹⁷B اتصاله instead of الاتصال

¹⁸BFV add. به

¹⁹FJV جاوزه

²⁰B بنصف بمقدار نصف

²¹BJ يقاس

²²F om. from here to the end of [1]

²³B add. كانه

²⁴V بقاع

²⁵J add. الكواكب

²⁶B add. وليس به

Chapter Eighteen: On Application, Separation, Reception, and Returning¹

[1] The application of planets to each other in longitude is from eight places: conjunction, opposition, two quartiles, two sextiles, and two trines. The number of degrees from which application begins is called 'body' and they are fifteen degrees for the Sun, twelve degrees for the Moon, nine degrees for each one of the superior planets, and seven degrees for both Venus and Mercury. But there is a disagreement about Mars and it is said that its 'body' is eight degrees.²

[2] When a planet (A)³ approaches to <another> planet (B) wishing to apply to it, then if the distance between the two is the same as half of the <sum of> the two bodies, it is the beginning of its (A's) application to it (B). If <the distance> between the two is same as the body of the smaller of the two, then it is in the stronger <part> of its application. If <the longitudes of> the two <planets> are equal in degrees and minutes, then it has completed its application. If it has passed over by one minute, then it has 'separated' from it, but it is <still> in its power and authority until it passes over by the half of <the sum of> the two bodies or <until> it encounters another planet (C) which intends to go into application to it (B) on the condition which was described. The other applications and separations are on this analogy (*qiyās*).

[3] As for the application in latitude,⁴ we do not need it except in conjunction, where the beginning of the application <in latitude> is just like its beginning in longitude and its termination is just like its termination <in longitude>, according to what was said before concerning the application in longitude, by the amount of the bodies, and by what is taken into consideration about application. The existence of two planets, in the degrees which are equal in their ascension or in

¹The topics of this chapter are discussed more in detail by Abū Ma'sar in his *Abbreviation*, chapter 3. The English equivalents of the technical terms in the present translation are mostly borrowed from those of the *Abbreviation*. See also *Tetrabiblos* I.24.

²The degrees of 'body' of planets can be tabulated as:

Sun	Moon	Saturn	Jupiter	Mars	Venus	Mercury
15	12	9	9	9	7	7

As Kūšyār says, there is an opinion that Mars' body is 8 degrees.

³I have supplied A, B, C to facilitate understanding.

⁴See *Abbreviation* 3.15

درجتين متفقتين في طول النهار كما قد²⁷ تقدّم في الباب²⁸ الثاني عشر

[4] ونوع آخر من الاتصال يسمّى النقل وهو إن ينصرف كوكب عن أحد الكوكبين²⁹ ويتّصل بالآخر منهما³⁰ فينقل ذلك الكوكب³¹ نور أحدهما إلى الآخر كالمريخ في الحمل والمشتري في السنبلة والزهرة في الجوزاء ينصرف عن المريخ ويتّصل بالمشتري فالزهرة³² تنقل نور المريخ إلى المشتري فيقوم مقام اتصال المريخ بالمشتري [5] ونوع آخر من الاتصال يسمّى الجمع وهو إن يكون الكوكبان يتّصلان³³ جميعا بكوكب آخر فذلك الكوكب يجمع نورهما كالمريخ في الحمل والمشتري في السنبلة وهما يتّصلان بزحل في الجوزاء وزحل³⁴ يجمع نورهما³⁵ فيقوم مقام الاتصال من³⁶ المريخ بالمشتري

[6] وفي الاتصال القبول والردّ فالقبول إن يتّصل³⁷ الكوكب بالكوكب من بيت القابل أعني المتّصل به أو من شرفه أو من مثلثته وحده³⁸ جميعا فهو مقبول من الكوكب القابل³⁹ وإن اتّصل به من حظوظ نفسه كما قلنا وهو مقبول⁴⁰ من الكوكب القابل أيضا⁴¹ إلا أنّه دون القبول الأوّل وإذا كان الكوكب في هذه الحظوظ التي قلنا وإن لم⁴² يتّصل بكوكب فهو مقبول في موضعه⁴³ وإذا لم يكن في شيء من حظوظه كان غريباً⁴⁴ [7] والردّ إن اتّصل الكوكب بكوكب راجع أو المحترق فإن الراجع والمحترق لا يمكنه قبول المتّصل⁴⁵ به فيرده فإن كان الراجع في حظ من حظوظه أو في وتد من الأوتاد فذلك الردّ⁴⁶ ردّ محمود وإن كان الراجع⁴⁷ غريباً في موضعه أو في المواضع الزائلة والساقطة عن الأوتاد فالردّ فاسد

²⁷ BJV om.

²⁸ V الكتاب

²⁹ BF instead of الكوكبين كوكب

³⁰ BJV om. ; F instead of بكوكب آخر ; منها

³¹ B om. ذلك الكوكب

³² F instead of فالزهرة فهي ; V om.

³³ B يكون الكوكبان يتّصلان instead of يتّصل الكوكبان

³⁴ BJ فزحل

³⁵ BJ نورهما instead of نور المريخ والمشتري

³⁶ F om. ; BJV instead of اتصال

³⁷ J وفي الاتصال القبول والردّ فالقبول إن يتّصل وإذا اتّصل

³⁸ B أو من مثلثته وحده أو مثله

³⁹ BFJV om. فهو مقبول من الكوكب القابل

⁴⁰ BFV put أيضا here.

⁴¹ FV om. من الكوكب القابل أيضا

⁴² B في هذه ... وإن لم instead of في حظوظ نفسية ولم : V في حظ من حظوظه ولم

⁴³ J بموضعه

⁴⁴ B كان غريباً instead of فهو غريب

⁴⁵ BFV المتّصل

⁴⁶ J om. from here to فاسد at the end.

⁴⁷ BF om.

G12a

the degrees which are in agreement in the length of daylight as we have said in the twelfth chapter,⁵ takes its place.

[4] Another kind of application is called 'translation' (*naql*).⁶ It is when a planet (A) separates from one (B) of the two planets and applies to the other (C) of the two, and this planet (A) transfers the light of one of the two to the other. Example: Mars (B) is in Aries and Jupiter (C) is in Virgo, and Venus (A) in Gemini separates from Mars and applies to Jupiter, and Venus transfers the light of Mars to Jupiter and the application of Mars to Jupiter takes place.

[5] Another kind of application is called 'collection' (*jam*).⁷ It is when two planets (A,B) together apply to another planet (C) and this planet (C) 'collects' the light of the two. Example: Mars is in Aries and Jupiter is in Virgo and the two apply to Saturn in Gemini, then Saturn 'collects' the light of the two, and the application of Mars to Jupiter takes place.

[6] Among applications are 'Reception' and 'Returning'. 'Reception'⁸ is if a planet (A) applies to a planet (B) from the house of the receiver (B), I mean, <the house of the planet (B)> to which it applies, or from its (B's) exaltation, or from its triplicity or from its term entirely, then it (A) is received by the receiving planet (B). If it (A) applies to it (B) from its own shares as we have said, this (A) is received by the receiving planet (B), although it is inferior to the first reception. When the planet (A) is in those shares which we have said, and if it does not apply to a planet which is received in its place, and when it is in none of its shares, it is 'alien'.⁹

[7] 'Returning'¹⁰ is when a planet (A) applies to a planet (B) which is in retrogradation or which is combust, then it (B) cannot receive the application of it and returns it. If it (B) is in retrogradation in one of the shares or in one of the cardines, then this returning is favorable returning. If the returning is western in its position or in the cadent or in the succedent from the cardines, then the returning is a rotten returning.

⁵ See the table in chapter 12.

⁶ See *Abbreviation* 3.23.

⁷ See *Abbreviation* 3.25.

⁸ See *Abbreviation* 3.52.

⁹ *garīb*, the sign which has no share.

¹⁰ See *Abbreviation* 3.35.

الباب التاسع عشر في قوى الكواكب واستعلاء بعضها على بعض

[1] قوى¹ الكواكب منها ما هي ذاتية ومنها ما هي عرضية ومنها ما هي سعاديّة²

[2] فالقوة الذاتية إن يكون الكوكب في الحظّ من حظوظه³ وأقواها البيت ثمّ الشرف ثمّ المثثة ثمّ الحدّ ثمّ الوجه هذا بالقول المطلق فأما إذا كان طلبنا من حديث⁴ السلطان والرفعة فالشرف حينئذ⁵ أقوى في تلك الطلبة⁶ من البيت وعلى هذا القياس⁷ لأنّ الكوكب⁸ في بيته⁹ كالرجل في حصنه ومأمنه وفي شرفه كالرجل في عزّه وشرفه¹⁰ ومملكته وسلطانه وفي مثلته كالرجل فيما بين حرسه وأنصاره¹¹ وأعوانه وفي حدّه كالرجل فيما بين أقاربه وعشيرته وفي وجهه كالرجل في ضيعته وفي فرحه كالرجل في مواضع¹² متزهاته ومسرّاته¹³ وفي حيّزه كالرجل فيما بين معارفه وأصدقائه

[3] ومن القوة الذاتية أيضا صعوده في فلك أوجه وهو إن يكون بينه وبين أوجه على التوالي تسعون درجة فما دونها وإن يكون سريع السير مستقيما وإن يكون مشرقا وإن يكون صاعدا في الشمال بالعرض

[4] والقوة العرضيّة إن يكون الكواكب¹⁴ في وتد من الأوتاد أو ما¹⁵ يليه¹⁶ وأقواها الطالع ثمّ العاشر ثمّ السابع ثمّ الرابع ثمّ الحادي عشر ثمّ الخامس ثمّ التاسع ثمّ الثالث ثمّ الثاني¹⁷ ثمّ الثامن ولا يعتدّ بالسادس¹⁸ والثاني عشر وهذا أيضا بالقول المطلق لأنّه إذا كان طلبنا الاتّصال بالسلطان وما أشبه ذلك كان العاشر في تلك الطلبة أقوى من الطالع وعلى هذا القياس

[5] وإن يكون الكوكب في حيّزه وإن يكون في فرحه والسعادة إن يتصل الكوكب

¹B قوة

²FGJV سعادة

³B حظوظ نفسه

⁴B حيث

⁵B حينئذ instead of ح

⁶J أقوى في تلك الطلبة instead of في تلك الطلبة أقوى

⁷B om. وعلى هذا القياس

⁸BJ add. إذا كان

⁹J add. فهو

¹⁰BFV om. وشرفه

¹¹B om. وأنصاره

¹²B om. ; F في مواضع instead of فيما بين

¹³J corrupt from here to وهو أوجه ومسرّاته V ; أوجه وهو في متزهاته ومواضع مسرّاته

¹⁴BJ om.

¹⁵J وما

¹⁶B يلي الأوتاد

¹⁷B om. ثمّ الثاني

¹⁸J كالسادس

Chapter Nineteen: On the Powers of the Planets and the Rulership over Each Other

[1] The powers of the planets <of which there are three kinds>: <1> the essential, <2> the accidental, and <3> the beneficial.

[2] The essential power is if a planet is in one of its shares. The most powerful of the shares is the house, then the exaltation, then the triplicity, then the term, and then the decan. This is speaking generally. When we query the problem of authority and rank then the exaltation is more influential in this query than the house, and likewise <for the other queries>. It is because when a planet is in its own house, it is like a man in his castle and in his place of security; when it is in its exaltation, it is like a man in his power, honor, kingship, and rulership; when it is in its triplicity, it is like a man among his guards, helpers, and participants; when it is in its term, it is like a man among his relatives and his kinfolk; when it is in its decan, it is like a man in his village; when it is in its 'joy' (*farah*), it is like a man in his recreation ground and gaiety; when it is in its 'domain' (*hayyiz*), it is like a man among his acquaintances and friends.

[3] Also among the essential powers is <the planet's> ascent in the orb of its apogee (i.e. eccentric circle). This is when there are ninety degrees or less than that between it (the planet) and its apogee in the direct order, on the condition that <1> the motion is swift and progressive, <2> <the planet is> easterly, <3> and ascending to the north in latitude.

[4] The accidental power is if the planets are in one of the cardines or its succedents. The most powerful of them is the ascendant, then the tenth place, then the seventh, then the fourth, then the eleventh, then the fifth, then the ninth, then the third, then the second, and then the eighth. The sixth and the twelfth are not considered <as powerful>. Again this is speaking generally, because when we query the connection with authority or what is similar to it, the tenth place is more powerful in this query than the ascendant, and in this way <in the other queries>.

[5] If a planet is in its domain and if it is in its joy and beneficence and if the planet applies

بكوكب¹⁹ سعد أو يتصل به سعد اتصلا مع القبول وإن²⁰ يكون محيطا²¹ به في برجه أو من²² ثانية وثاني عشرة كواكب مسعدة قوية بالذات والعرض فالكوكب الذي يجتمع له أكثر هذه القوى أعطى صاحبه الملك العظيم أو²³ النبوة القوية²⁴ وإذا كان بالضد من ذلك أعطى صاحبه الخسة والذالة حتى يخرج من حد الإنسانية إلى البهيمية الذي²⁵ لا وزن لها²⁶

[6] فإذا كان النظر في قوة²⁷ الأبدان وسلامتها والقوى النفسانية التي هي العقل والتميز وجودة الرأي وبالجمل السعادات التي من داخل فليكن طلبنا²⁸ القوى²⁹ الذاتية وإذا كان النظر في الرفعة والسلطان³⁰ والجاه والذكر³¹ فليكن طلبنا للقوى³² العرضية وإذا كان النظر في المال واليسار³⁴ وحسن الحال وبالجمل السعادات التي من خارج فليكن³⁵ طلبنا لوجوه السعادات التي قلنا

[7] وأما الاستعلاء الكواكب بعضها على بعض فهو إن يكون كوكب في العاشر من كوكب وفي³⁶ الحادي عشر أيضا³⁷ إلا أنه دون العاشر أو يكون بعد كوكب من درجة فلك تدويره أقل من بعد الكوكب³⁸ الآخر ومعرفة ذلك من الزيجات

¹⁹ B om. الكوكب بكوكب ; FV om. بكوكب

²⁰ V أو إن

²¹ FJ يحيط B أو يحيط instead of يكون محيطا

²² F في ; J om.

²³ V و

²⁴ F om. العظيم أو النبوة القوية

²⁵ BJ التي

²⁶ J فيها

²⁷ B قوى

²⁸ J add. من

²⁹ B للقوى ; FV القوة

³⁰ BJV والسلطنة

³¹ F om. والجاه والذكر

³² BFV للقوى ; J من القوى

³³ B وإن

³⁴ F واليسار

³⁵ J فيكون

³⁶ B أو من J ; أو في

³⁷ B om.

³⁸ J الفلك

to <another> benefic planet or the latter applies to it (the former) with reception, and if <the benefic planet is> surrounding it in its sign or from the second or the twelfth sign, then the planets are made benefic and powerful in essence and by accident. The planet which collects the most of these powers gives its possessor¹ a big kingdom or powerful prophetship. When it is contrary to this, it gives its possessor meanness and lowness until it drives him out of the realm of his people to the state of a beast who has no significance.

[6] When we seek the power of the body, its health, and the spiritual powers which are intelligence, judgement, liberality of view and, in general, whatever is good of internal qualities, then we look at the essential powers. When we seek high rank, authority, honour, and reputation, then we look at the accidental powers. When we seek property, prosperity, good condition, and in general, whatever is good of external qualities, then we look at the decans of the benefic planets about which we have said.

[7] As for the superiority of planets over each other, it is when a planet (A) is in the tenth <sign> from <another> planet (B) and also in the eleventh, except that it (A) is not in the tenth place or the distance of the planet (A) from the degree of the orb of its epicycle is less than the distance of the other planet (B). This knowledge is <obtained> from *Zījēs*.

¹ 'its possessor' (*ṣāḥib-hu*) is the person who pertains to the planet.

Chapter Twenty: On the Indications of the Places of the Sphere and the Positions of the Planets in them¹

[1] The ascendant indicates the power by which one brings forth, completes, and perfects an intended object and an undertaken matter. It is said to be the place of life and soul.

[2] The second place indicates his growth, his power, his expansion of things which are in conformity with him. It is said to be the place of property, living, support, reception of conditions and things.

[3] The third place indicates things which are fitting, suitable, and helpful to him. It is said to be the place of brothers, sisters, relatives, sons in law, short trips, and movements from one place to the other.

[4] The fourth place indicates the origin from which the beginning is brought forth. It is said to be the place of fathers, grandfathers, chiefs of members of the house, kings, estates, and the end of things.

[5] The fifth place indicates independence of status. It is said to be the place of children, messengers, news, gifts, crops of landed estates, landed property, food, and drink.

[6] The sixth place indicates his damages, illnesses, obstacles which attack him. It is said to be the place of damages, illnesses, slaves, and female slaves.

[7] The seventh place indicates what opposes him in power and what associates with him and antagonizes him. It is said to be the place of opponents, wives, husbands, and partners.

[8] The eighth place indicates his destruction and his failure. It is said to be the place of fear, death, inheritance, and property of wives, affliction, and sadness.

¹Ptolemy pays little attention to the twelve places beginning with the ascendant. For the topic of this chapter, see Abū Ma'shar's *Abbreviation* 1.106–120, and Al-Birūnī's *Tafhīm*, section 462.

G13a

الباب عشرون في دلالة بيوت¹ الفلك ومواقع الكواكب² منها³

[1] الطالع يدلّ على القوّة⁴ التي بها يكون ويتمّ⁵ ويكمل⁶ الشخص الموجود والأمر المبتداء به وهو الذي يقال له بيت الحياة⁷ والنفس

[2] والبيت⁸ الثاني يدلّ على نمائه وقوّته واستمداده للأشياء⁹ الموافقة له وهو الذي يقال له بيت المال والمعاش والأعوان¹⁰ والمستقبل من الأحوال والأمور

[3] والبيت الثالث يدلّ على الأشياء الموافقة¹¹ الملائمة المعاضدة له¹² وهو الذي يقال له بيت الإخوة والأخوات والأقرباء والأصهار والأسفار القريبة والتحويل من مكان إلى مكان

[4] والبيت الرابع يدلّ على الأصل الذي تولد منه ذلك المبتداء وهو الذي يقال له بيت الآباء والأجداد ومشائخ أهل البيت والأملاك والعقار وعواقب الأمور

[5] والبيت الخامس يدلّ على تصاريفه في¹³ الأحوال وهو الذي¹⁴ يقال له بيت الأولاد والرسل والأخبار والهدايا وغلة الضياع والأملاك والأكل والشرب¹⁵

[6] والبيت السادس يدلّ على آفاته وعمله وعوارض تعرّض له وهو الذي يقال له بيت الآفات والأمراض¹⁶ والعبيد والأماء¹⁷

[7] والبيت السابع يدلّ على ما يقابله في القوّة ويشاركه ويضاده¹⁸ وهو الذي يقال له بيت الأضداد¹⁹ والنساء والأزواج والشركاء

[8] والبيت الثامن يدلّ²⁰ على دثوره²¹ وبطلانه وهو الذي يقال له بيت الخوف والموت²² والمواريث وأموال النساء والغم والحزن

¹J om.

²F وموقع الكوكب

³V فيها

⁴V add. النفس

⁵BJV om. ; F om. يكون ويتمّ

⁶J om.

⁷B حياة

⁸J om. و before البيت throughout this chapter.

⁹F الأشياء

¹⁰B om. والأعوان

¹¹BFJV om.

¹²B المعاضدة له instead of المعاضدة

¹³V om.

¹⁴V om. وهو الذي

¹⁵B add. واللباس

¹⁶BV الآفات والأمراض instead of المرض والآفات

¹⁷J add. والغنقوالدواب وذوات الظلف

¹⁸J ويضادده

¹⁹J puts الأضداد after والشركاء

²⁰J om.

²¹J دنوه

²²F om.

[9] والبيت التاسع يدلّ على انتقاله في الأحوال واستبداله بالمكان²³ وهو الذي يقال له بيت السفر والدين والنبوة والرأي والتمييز²⁴

[10] والبيت العاشر يدلّ على غلبته وقوّته وهو الذي يقال له بيت السلطان والأعمال والأمهات²⁵

[11] والبيت الحادي عشر يدلّ على مصادقاته وأنسه واستعداده وهو الذي يقال له بيت الرجاء والسعادة والأصدقاء والإخوان

G13b [12] والبيت الثاني عشر يدلّ على مخالفاته وما يعانده²⁶ ويؤذيه وهو الذي يقال له بيت الأعداء والمخالفين والشقاء²⁷ والغموم والسجن والسبي والسفلة والدواب²⁸

[13] وقد ذكرنا قوى هذه البيوت في الباب التاسع عشر وإذا كان²⁹ الرابع بيت الآباء كان السابع بيت الجدّ و³⁰ السادس بيت الغم³¹ وعلى هذا القياس

[14] فأما مواقع الكواكب من هذه البيوت فإنهم أجمعوا على أنّ الكوكب إذا كان بينه وبين درجات البيت على التوالي أكثر من خمس درج³² فهو في البيت الثاني عشر من ذلك البيت وإذا كان أقلّ من خمس درج³³ فهو في ذلك البيت³⁴ وهذا رأي يوجه التجربة فقط وإلا فهو بعيد عن القياس ولا أعرف له³⁵ وجها يعتدّ به³⁶ غير التجربة³⁷

²³ J في المكان

²⁴ J add. والعلم

²⁵ G om. والأمهات; V add. الجذاب

²⁶ BJ يؤذيه

²⁷ BFJV والمحافين والشقاء instead of والمحافين

²⁸ J add. الحافر

²⁹ J add. بيت

³⁰ J add. البيت

³¹ F add. والعاشر بيت الأم

³² BJV درجات

³³ BJV درجات

³⁴ J add. وهي هذه القياس سائر البيوت V add. وألى هي القياس سائر البيوت اثني عشر

الاثني عشر

³⁵ JV لها

³⁶ FJ om. يعتد به

³⁷ B الحياة

[9] The ninth place indicates his change in conditions and exchange of places. It is said to be the place of travelling, religion, prophecy, opinion, and judgement.

[10] The tenth place indicates his victory and his power. It is said to be the place of authority, activities, and mothers.

[11] The eleventh place indicates his friendship, his sociability, and his willingness. It is said to be the place of hope, happiness, friends, and neighbors.

[12] The twelfth place indicates his contradiction and what contradicts him and what harms him. It is said to be the place of enemies, opponents, misfortunes, griefs, imprisonment, captivity, meanness, and riding animals.

[13] We have described the powers of these places in the nineteenth chapter. If the place is the fourth it is the place of fathers, <if it is> seventh, the place of diligence, <if it is> sixth, the place of sadness and so on by this analogy.

[14] As for the position of planets in these places, people agree that if <the distance> between a planet and the degrees of the place in the direction <of signs> is more than five degrees it is in the twelfth sign from this place, and if it is less than five degrees it is in this place. Proof is needed for this opinion, otherwise it is far from regularity (*qiyyās*). I have no reason to accept it without testing.

الباب الحادي والعشرون في السهام

[1] السهم دليل مستخرج من دليلين يدلّان على شيء واحد¹ كالبيوت الاثني عشر ونستعملها في مواضعها ويكون أحد الدلائل² على الغرض المطلوب والسهام على هذا السبيل كثيرة إلا أنّ القوى الذي لا نستغنى عنه³ هو سهم السعادة الدالّ⁴ على المال والسعادات والسهم الغيب الدالّ على الرأي والدين والأخبار بالأشياء⁵ قبل كونها [2] فسهم السعادة يؤخذ بالنهار من الشمس إلى القمر وبالليل من القمر إلى الشمس ويلقى من الطالع والعمل⁶ فيه إن نؤخذ ما بين الشمس والقمر بالنهار على التوالي وبالليل على غير⁷ التوالي ونزاد عليه درجات الطالع ويلقى من⁸ الطالع ثلاثون⁹ فحيث نعدّ العدد فهناك¹⁰ سهم السعادة¹¹ [3] مثال ذلك الطالع للحمل عشر¹² درجات والشمس في القوس خمس عشرة درجة¹³ والقمر في الدلو عشر درجات¹⁴ فيبين الشمس والقمر على التوالي خمس¹⁵ وخمسون درجة ونزاد عليها¹⁶ درجة¹⁷ الطالع فيبلغ¹⁸ خمساً وستين درجة فيلقى للحمل ثلاثون¹⁹ درجة²⁰ وللثور ثلاثون²¹ درجة²² ويبقى²³ خمس درجات من²⁴ الجوزاء وهو موضع سهم السعادة في هذا المثال

¹BV om. from here to مواضعها ; J om. from here to المطلوب

²F الدليلين

³J om. عنه

⁴F الدالة

⁵B add. والكائنات و

⁶J om. والعمل

⁷BV خلاف

⁸BFJV add. برج

⁹BF ثلاثين ; ثلاثين ثلاثين

¹⁰F مودع ; العدد فهناك instead of فثم

¹¹V add. وعلى هذه العمل السهام

¹²F in abjad in this context.

¹³B القوس عشرين درجة ; J : ك درجة F ; الأسد عشرين درجت

¹⁴B خمس عشر درجة ; J : يه درجة F ; الميزان خمس عشر درجة

¹⁵V خمسة

¹⁶V زدنا عليه

¹⁷F درجات

¹⁸JV فبلغ

¹⁹FV ثلاثين

²⁰BFJV om.

²¹FV ثلاثين

²²BFJV om.

²³V om. و

²⁴V درجات من instead of درج من F ; في

Chapter Twenty One: On Lots¹

[1] The lot is the indication extracted from the two indicators which indicate one thing just as the twelve places do and we use it instead of them. One of the indicators is on the inquired object. The lots based on this method are of many kinds, but the influence which we cannot dispense with is the lot of fortune which is the indicator of property and happiness, and the lot of the absent which is the indicator of opinion, religion, and foretelling of things before their existence.

[2] The lot of fortune² is taken from the Sun to the Moon by day and from the Moon to the Sun by night, and <the degrees> are cast out from the ascendant. Its computation: when we take the <distance> between the Sun and the Moon by day in the direct direction and by night in the opposite direction, we add to it the degrees of the ascendant, and thirty <degrees> are cast out from the ascendant <as far as possible>. and then we count the number <of the degrees>, then the lot of fortune is found there.

[3] Example of it: The ascendant is ten degrees in Aries, the Sun is fifteen degrees in Sagittarius, and the Moon is ten degrees in Aquarius. Then there are fifty-five degrees between the the Sun and the Moon in the direct direction and we add to it the degrees of the ascendant, then sixty-five degrees are obtained. Then we throw away thirty degrees for Aries and thirty degrees for Taurus, and what remains is five degrees of Gemini. This is the place of the lot of fortune in this example.³

¹The lots are not mentioned by Ptolemy, although the scribe of G ascribes some theory to Ptolemy according to the information from Abū Ma'sar, as he puts in the gloss on [11] (see below). For Abū Ma'sar's lots, see *Abbreviation* Chapter 6 and the list of lots on page 170. The full variety of lots are found in Al-Bīrūnī's *Tafhīm* 475–480. He lists 97 kinds of lots, and adds $11 + 8 + 24 + 18 = 61$ other lots.

²Cf. *Abbreviation* 6.3; *Tafhīm* 475.

³Aquarius 10° – Sagittarius $15^\circ = 55^\circ$.

Aries $10^\circ + 55^\circ =$ Aries $65^\circ =$ Gemini 5° .

BFJ give different examples, but the result is the same:

B (and Chinese tr.): Ascendant in Aries 10° , Sun in Leo 20° , Moon in Libra 15° .

FJ: Ascendant in Aries 10° , Sun in Sagittarius 20° , Moon in Aquarius 15° .

G14a

- [4] والبعد بين الطالع وسهم²⁵ السعادة على التوالي أما بالنهار فكالبعد²⁶ بين الشمس والقمر وأما بالليل فكالبعد بين القمر والشمس
- [5] سهم الغيب يؤخذ ما بين القمر والشمس بالنهار على التوالي وبالليل²⁷ خلاف التوالي²⁸ ويلقى من الطالع كما²⁹ تقدّم³⁰ في سهم السعادة
- [6] وأما³¹ سائر السهام فإن³² أخذ بالنهار³³ من صاحب ذلك البيت إلى البيت³⁴ على التوالي ويلقى³⁵ من الطالع كفي³⁶ إلا أنّ سهم الآباء أخذوا أيضا³⁷ بالنهار من الشمس إلى زحل على التوالي³⁸ وبالليل مخالفا على خلاف التوالي³⁹
- [7] وسهم الأمّ بالنهار⁴⁰ من الزهرة إلى القمر على التوالي وبالليل مخالفا⁴¹
- [8] وسهم العبيد والأماء بنهار والليل جميعا⁴² من عطارد إلى القمر على التوالي
- [9] وسهم تزويج الرجال بالنهار والليل من الشمس إلى الزهرة على التوالي⁴³ وللنساء على خلاف⁴⁴ التوالي ويلقى من الطالع كلهما⁴⁵
- [10] وأما سائر السهام مثل سهم المال وسهم الإخوة وسهم الولد وسهم المرض⁴⁶ وسهم

²⁵ G om. من الطالع و J ; الطالع و

²⁶ V om. ف

²⁷ B add. على

²⁸ F من القمر إلى الشمس وبالليل JV ; خلاف التوالي instead of على خلاف ذلك

نؤخذ ... التوالي instead of من الشمس إلى القمر

²⁹ B على ما

³⁰ V add. ذكره

³¹ BV فأما

³² BJ فإن instead of فإنه إذا V ; فإذا

³³ BFJV add. والليل

³⁴ J om. إلى البيت

³⁵ G القى

³⁶ Hereafter V's variants are too many to be noted.

³⁷ B أخذوا أيضا instead of أيضا J ; أيضا and om. أخذوه

³⁸ B om. على التوالي

³⁹ F مخالفا على خلاف التوالي instead of من زحل إلى الشمس B ; ذلك

⁴⁰ B puts بالنهار after التوالي

⁴¹ BFJ على خلاف التوالي

⁴² BFJ om.

⁴³ BFJ om. إلى التوالي

⁴⁴ B : من الزهرة إلى الشمس على التوالي F : بالنهار والليل من الزهرة إلى القمر على

ألى خلاف instead of من الزهرة إلى القمر على J

⁴⁵ BFJ من الطالع كلهما instead of كلهما من الطالع

⁴⁶ B om. سهم المرض

[4] The distance between the ascendant and the lot of fortune is in the direct direction. By day, it is same as the distance between the Sun and the Moon; by night, it is same as the distance between the Moon and the Sun.

[5] The lot of the absent:⁴ <The distance> between the Moon and the Sun by day in the direction <of signs> and by night in the opposite direction is taken, and it is cast out from the ascendant as was the preceding case with the lot of fortune.

[6] As for the rest of the lots, it is taken from the lord of the place to the place <itself> by day <and by night> in the direction <of signs>, and what is sufficient is cast out from the ascendant, except the lot of fathers⁵ which is taken, again, by day from the Sun to Saturn in the direction <of signs> and by night it is opposite, <namely> in the opposite direction.

[7] The lot of mothers⁶ by day is from Venus to the Moon in the direction <of signs> and by night in the opposite <direction>.

[8] The lot of slaves and female slaves both by day and by night is from Mercury to the Moon in the direction <of signs>.

[9] The lot of marriage⁷ of men by day and by night is from the Sun to Venus in the direction <of signs>, and <the lot of marriage> of women is in the opposite <direction>, and it is cast out from the ascendant in both cases.

[10] As for the rest of the lots, such as the lot of wealth, the lot of brothers, the lot of children, the lot of illnesses, the lot of

⁴ Cf. *Abbreviation* 6.3.

⁵ Cf. *Abbreviation* 6.17.

⁶ Cf. *Abbreviation* 6.51.

⁷ Cf. *Abbreviation* 6.31 (men) and 32 (women).

السفر وسهم العمل وسهم الأصدقاء وسهم الأعداء⁴⁷ فعلى ما قلنا⁴⁸ من صاحب البيت الدالّ على ذلك الشيء بالنهار والليل جميعا⁴⁹ إلى⁵⁰ البيت⁵¹ ويلقى⁵² من الطالع كما قلنا⁵³ في سهم السعادة⁵⁴

[11] وسهم الموت يؤخذ بالليل والنهار جميعا من درجة القمر إلى درجة بيت الثامن ويزاد على درجة زحل فما بلغ هناك سهم الموت

الباب الثاني والعشرون في طلب المستولى على موضع من مواضع⁵⁵ الفلك

[1] إذا طلبنا المستولى على بيت من بيوت الفلك نظرنا إلى أرباب الحظوظ في ذلك البيت فأكثرها حظًا فيه أولاهما به⁵⁶ ولا ضير أن يجعل في هذا الموضع⁵⁷ لصاحب البيت أربع شهادات ولصاحب الشرف ثلاثة⁵⁸ ولصاحب المثثة الأول⁵⁹ اثنان⁶⁰ ولثانية واحدة⁶¹ ولصاحب الحدّ واحدة

G14b [2] ولمن⁶² هو⁶³ في حطة⁶⁴ ضعف ذلك كصاحب⁶⁵ البيت إذا كان في بيته فله ثمان شهادات ثمّ تجمع هذه الشهادات كلّها⁶⁶ فأكثرها شهادة أولاهما بالبيت وتدييره⁶⁷ والذي يقرب منه في الشهادة يشاركه⁶⁸ والكوكب الراجع مع شهادة كثيرة لا يحوز بالمستولى عن⁶⁹ قول المتقدمين

⁴⁷B الأصدقاء وسهم الأعداء instead of الإعرقاع

⁴⁸J فعلى ما قلنا instead of قلنا ; B add. يؤخذ

⁴⁹BFJ om.

⁵⁰BJ add. ذلك

⁵¹F add. بالتوالي

⁵²J add. كلما

⁵³B كما تقدم and ends this chapter. F puts [11] before [10].

⁵⁴J ends this chapter here.

⁵⁵J على موضع من مواضع instead of بيت من بيوت

⁵⁶B والأهابة ; أولى به

⁵⁷JV المواضع

⁵⁸JV add. شهادات

⁵⁹FGV الأولى

⁶⁰BFV اثنين

⁶¹B واحد , also in the next case.

⁶²B أو لمن

⁶³BV om.

⁶⁴F add. ذلك

⁶⁵BV add. ذلك ; V ضعف ذلك كصاحب instead of ضعف فصاحب

⁶⁶BFJV om. كلما

⁶⁷J om. و

⁶⁸BJV om. from here to المتقدمين

⁶⁹F على

the journey, the lot of jobs, the lot of friends, and the lot of enemies,⁸ they are, according to what we have said, from the lord of the place indicating this matter to the place <itself>, both by day and by night, and it is cast out from the ascendant just as we have said concerning the lot of fortune.

[11] The lot of death is taken both by night and by day from the degree of the Moon to the degree of the eighth place and it is added to the degree of Saturn and what results here is the lot of death.⁹

Chapter Twenty Two: On the Investigation of the Planet having Mastership over the Place among the Places of the Orb

[1] When we search the <planet> mastering over a house among the houses of the <zodiacal> circle,¹⁰ we pay attention to the possessors of the shares in this house, and the richest of them in shares in this <house> is the foremost of them in it (i.e., mastership). It is not wrong to regard that the lord of the house has four witnesses in this place; the lord of the exaltation has three witnesses; the first lord of the triplicity has two, and the second <the lord of the triplicity> has one, and the lord of the term has one.¹¹

[2] Some <lord> has twice as many witnesses, like the lord of the house who, when he is in his own place, has eight witnesses.¹² Then all these witnesses are added together, and the richest of them in witnesses is the foremost of them (i.e., planets) in this house and its organization.¹³ The one which is next to it in respect to the witnesses assists it. A retrograding planet, <even though> rich in witnesses, is not entitled to be mastering according to the saying of the ancients.

⁸All these lots are found in the *Abbreviation*: lot of wealth: 6.14; brothers: 6.15–16; children: 6.22; illnesses: 6.28; journey: 6.42–43; jobs: 6.21; friends: 6.53; enemies: 6.54–55.

⁹G adds in margin: “The opinion of Ptolemy concerning the lot of fortune and of the absent based on the record of Abū Ma’sar was reported in this book. As for Abū Rayḥān (al-Bīrūnī), he has recorded in his *Tafhīm* that Ptolemy has used only the lot of fortune and nothing else. Abū Ma’sar said that the lot of the absent by day is the *haylāj* just like the lot of fortune is by day, and that the lot of the absent in the night ascendants is stronger in influence than the lot of fortune in the night ascendants. The opinion of Ptolemy about the lot of fortune and of the absent is that the lot of fortune is taken from the Sun to the Moon, and the lot of the absent is taken from the Moon to the Sun, and <the result> is taken from the ascendant.” Cf. *Tafhīm* 476.

¹⁰Thus ‘houses’ (*buyūt*) in the present context is to be understood as ‘signs’.

¹¹For the lord of the house, the exaltation, the triplicity, and the term, see 1.13, 1.14, 1.15, and 1.16 and the tables, respectively.

¹²For example, since Mars has already four witnesses in Aries, if Mars is located in Aries, it obtains eight witnesses.

¹³*tadbīr*: this word seems to be a general expression of exaltation, triplicity, and term.

[3] فإن تساوي في الشهادة كوكبان فصاحب البيت أولى بالتقديم والكوكب الحال في البيت مع قليل⁷⁰ شهادة⁷¹ أخذ المستحقين بالاستيلاء على البيت⁷²

[4] مثال ذلك الحمل عشر درجات⁷³ والمريخ صاحب البيت له أربع شهادات والشمس صاحب الشرف لها⁷⁴ ثلاث شهادات وهي⁷⁵ صاحب⁷⁶ المثلثة الأولى بالنهار فلها⁷⁷ شهادتان أخريان⁷⁸ والمشتري صاحب المثلثة الثاني⁷⁹ بالنهار له شهادة واحدة والزهرة صاحبة⁸⁰ الحد لها شهادة واحدة⁸¹ فأولاها بهذا البيت الشمس لأن لها خمس شهادات ويشاركها⁸² المريخ لأن له⁸³ أربع شهادات وعلى هذا قياس⁸⁴ في طلب⁸⁵ المستولى على البيوت⁸⁶ ونختم المقالة الأولى بهذا الباب⁸⁷ وسأل الله التوفيق والله أعلم

⁷⁰ J om.

⁷¹ J الشهادة

⁷² B add. والكوكب الراجع لا يستحق الاستيلاء عند المتقدمين

J add. والكوكب الراجع شهادة كثيرة لا يجوز بالاستولى على قول المتقدمين

⁷³ J add. من الحمل

⁷⁴ FJ له

⁷⁵ F أيضا ; V add. وهو

⁷⁶ BJ صاحبه

⁷⁷ F instead of فلما له ; BJV om. ف

⁷⁸ J آخرتان

⁷⁹ FGV الثانية ; F puts له here.

⁸⁰ V صاحب

⁸¹ J om.

⁸² F ويشاركها J ;

⁸³ B لها

⁸⁴ F يقاس

⁸⁵ J في طلب instead of يعمل على ما يره علينا من هذا الباب

⁸⁶ J om. المستولى على البيوت

⁸⁷ J instead of بهذا الباب : V add. والله اعلم واحكم ; FJV end this chapter here.

[3] If two planets are equal in witnesses, then the lord of the place is the foremost in the offering. The planet which is located in the house, <even> with few witnesses, can claim the mastership over the house.

[4] Examples of it is Aries ten degrees: Mars, the lord of the house, has four witnesses; the Sun, the lord of the exaltation, has three witnesses; it is <also> the first lord of the triplicity by day and thus it has two more witnesses; Jupiter, the second lord of the triplicity by day, has one witness; Venus, the lord of the term, has one witness. Thus the foremost of them in this place is the Sun, because it has five witnesses. Mars assists the Sun because it has four witnesses.¹⁴ This method is applied in the search of the mastering planet over the places. We conclude the first *maqāla* with this book.

¹⁴This example can be tabulated as:

	number of witnesses					total
	lord of house	lord of exaltation	lord of triplicity(1)	lord of triplicity(2)	lord of term	
Mars	○	3	2	1	1	4
Sun		○	○			5
Jupiter				○		1
Venus					○	1

المقالة الثانية في الحكم على أمور العالم اثني عشر بابا

- ¹ في مقدّمة لهذه المقالة
 ب في جمل من ² طبقات الناس
 ج في أحداث الأرض والجوّ
 د في الفتن والحروب
 هـ في الأوباء والأمراض ³
 و في الحرّ والبرد والرياح
 ز في الأنداء والأمطار
 ح في الأسعار
 ط في الكسوفات
 ي في دلالات ⁴ علامات ⁵ الجوّ ⁶
 يا في القرانات ⁷
 يب في الأدوار على مذهب القدماء

G15a

Part II On the Judgement of the Things in the World in Twelve Chapters

1. Introduction to this Part
2. On General Conditions of Natures of Men
3. On the Happenings on the Earth and in the Sky
4. On Riots and Wars
5. On Diseases and Illnesses
6. On Heat, Coldness, and Winds
7. On Moistures and Rains
8. On Prices
9. On Eclipses
10. On the Indications of Conditions of the Sky
11. On Conjunctions
12. On the Periods according to the Belief of the Ancients

¹G gives numbers in words.

²BFJV add. حال

³G interchanges chapter-headings 6 and 7 but the main text is in this order.

⁴BFG دلالة

⁵F علامة ; J om.

⁶V add. دواب والنوقات والحواي طباعها

⁷G interchanges chapter-headings 11 and 12 but the main text is in this order.

الباب الأول في مقدّمة لهذه المقالة

[1] أحوال العالم العلوي تدلّ¹ على مثلها في العالم السفلي الشرف على الشرف والمهبط على المهبط والصعود على الصعود والانحدار² على الانحدار والصعود على السعادة والراجع على الرجوع والانتقاص وعلى هذا القياس³ سائر الأحوال في الكواكب⁴ فإنّها كثيرة يطول⁵ الكلام في إحصائها وتعيديها

[2] الصور التي في العالم السفلي مطيعة للصور⁶ الفلكيّة العقارب لصورة العقرب⁷ والحيتان لصورة الشجاع والسباع البريّة لصورة الأسد وعلى هذا القياس⁸ ولذلك رسمها أصحاب الطلسمات عند حلول الكواكب فيها لما أراد وأعمله

[3] إذا كان طالع السنة برجا ثابتا حكم للسنة كلّما عليه وإن⁹ كان ذا جسدتين حكم للنصف الأخير من السنة على طالع حلول الشمس الميزان¹⁰ وإن كان¹¹ منقلبا حكم لكل¹² فصل من طالع حلول الشمس البرج المنقلبة لذلك الفصل¹³ الحمل للفصل¹⁴ الربيعي والسرطان للفصل¹⁵ الصيفي والميزان للفصل الخريفي¹⁶ والجدي للفصل الشتوي¹⁷ والحكم في ذلك كلّ على طريقة واحدة

[4] الملل والدول ليس لها ابتداء معلوم يحكم عليه فيجعل طالع¹⁸ السنة التي ظهرت فيها تلك الملة والدولة طالعها وكواكبها ويحكم¹⁹ على أحوال الخلفاء والسلاطين فيها من طوابع مواليدهم أو من طوابع جلوسهم في المملكة أو من طالع²⁰ دخولهم البلد والولاية²¹

¹ يدل BJ

والمنحدر BFJV

يقاس BFV

في V om. في الكواكب BFJ om.

ويطول B

الصور V

العقارب لصورة العقرب instead of كالعقارب للعقرب B

يقاس V

كلما منه وإذا J

للميزان V

برجا J add. وإذا كان F

لكل instead of على كل BFJ

لذلك الفصل BFJ om.

للفصل V om.

الفصل V here and elsewhere.

للفصل الخريفي instead of للخريفي B

للفصول الشتوي instead of للشتوي B

فيجعل طالع B om.

ونحكم V

طوابع BFJV

والولاية instead of للولاية BFJV

Chapter One: Introduction to this Part

[1] The conditions of the higher world indicate their corresponding things in the lower world: the exaltation <in the higher world indicates> the high rank <in the lower world>, the dejection <in the higher world indicates> the decline <in the lower world>, the ascent <in the higher world indicates> the rising <in the lower world>, the descent <in the higher world indicates> the fall <in the lower world>, the benefics <in the higher world indicate> the happiness <in the lower world>, the retrogradation <in the higher world indicates> the return and decrease <in the lower world>. The other conditions in the stars are in this analogy. They are numerous and the discussion in their enumeration and counting would become lengthy.

[2] The figures which are in the lower world are obedient to the figures belonging to the <zodiacal> circle. The scorpions <on the earth> are obedient to the figure of Scorpio, snakes <on the earth> are obedient to the figure of Hydra, the wild lions <on the earth> are obedient to the figure of Leo, and so on. Because of this, the makers of talisman depicted them at <the time of> the planets' arrival in them for what they wanted and operated.

[3] When the ascendant of the year is a fixed sign, the judgement for the whole year is according to it. When it is a bicorporal sign, the judgement for the second half of the year is according to the ascendant of the arrival of the Sun at Libra. When it is a tropical sign, the judgement for each season is from the ascendant of the arrival of the Sun at the tropical sign. Because of this division, Aries belongs to the spring season, Cancer to the summer season, Libra to the autumnal season, and Capricorn to the winter season. Judgement about all these is <made> in one and the same way.

[4] One may judge the religions and the dynasties of which the beginning is not known. Then the ascendant of the year when this religion and dynasty became manifest is their ascendant. The planets of it (i.e., the ascendant) are the planets of them (i.e., religion and dynasty). One may judge the conditions of Caliphs and authorities in them (i.e., dynasty and religion) from the ascendants of their birthday, or from the ascendants of their sitting on the throne of the kingdom, or from the ascendants of their entering into the city and rulership,

إن لم يكن شيء²² مما تقدّم²³ معلوما
 [5] معضع القمر عند اجتماعه مع الشمس²⁴ وعند استقباله إياها وعند تربيعه لها²⁵ يقال
 لها المراكز
 [6] السعد الراجع والمحترق يضعف عن السعادة والنحس المقبول في موضعه يكفّ عن
 الشر
 [7] الأوتاد تدلّ على قوّة الأمر وظهوره وتماه وما يلي الأوتاد تدلّ على ما يرجى كونه
 وهو في الظهور والقوّة متوسط والزائل والساقط²⁶ يدلّ على ما فات وعلى الخمول والخفاء

الباب الثاني في جمل من أحوال¹ طبقات الناس

[1] معلوم أنّ تحويل سنة العالم هو حلول الشمس أوّل ثانية من² الحمل وطالع ذلك الوقت
 طالع السنة وطالع التحويل وطالع³ حلول الشمس أوائل البروج المنقلبة طالع ذلك الفصل
 وقد قدّمنا في⁴ المقدّمة أنّ طالع السنة إن⁵ كان برجاً ثابتاً⁶ حكم للسنة كلّها منه وإن كان ذا
 جسدين فللنصف الأخير⁷ من الميزان وإن كان منقلباً فلكلّ فصل من طالع
 [2] معظم أحوال السنة يكون على طبيعة أقوى كوكب في صورة طالع السنة ويحكم⁸
 للرعيّة من الطالع والمستولى عليه وهو⁹ السالحده ومن القمر ويحكم للسلطان من الشمس
 بالنهار والقمر بالليل¹⁰ ومن وسط السماء¹¹ وصاحبه بالنهار والليل¹² ويحكم للكتاب
 والوزراء¹³ والمتصرّفين من عطارد ولأهل الورع والصلاح والديانة من المشتري ولأهل
 البيوتات¹⁴ والمشايخ القديمة¹⁵ من زحل وللجند وجملة¹⁶ السلاح من المريخ وللنساء

²²F شيئاً

²³V مما تقدم فيما يقدم

²⁴BFJ مع الشمس instead of للشمس

²⁵B om. لها

²⁶B والزائل والساقط instead of والزائل والساقط

¹FV حال ; J om.

²J om.

³BV om. التحويل وطالع

⁴J om.

⁵V إذا

⁶J add. كان

⁷B add. منها

⁸F om. و

⁹V om. و

¹⁰V من الليل

¹¹B والقمر ... السماء instead of ومن القمر بالسماء

¹²V(in margin) وبالليل

¹³J للكتاب والوزراء instead of للوزراء والكتاب

¹⁴J add. القديمة

¹⁵V والمشايخ القديمة instead of والبيوتات القديمة

¹⁶V om.

provided that nothing is at hand by which to know <the time> beforehand.

[5] The place of the Moon at its conjunction with the Sun and at its opposition with it and at its quadrature with it are called its central positions (*marākiz*).

[6] The benefic <planet> in retrogradation and in combustion is weakened in its beneficence, and the malefic planet received in its place ceases to give harms.

[7] The cardines indicate the power of a matter, its appearance and its completion. The succedents indicate what one hopes to exist, and it is moderate in appearance and power. The falls, that is, the cadents indicate what has passed away, obscurity, and hiddenness.

Chapter Two: On General Conditions of Natures of Men

[1] It is known that the transfer (*tahwīl*) of the year of the world is the arrival of the Sun at the initial second¹ of Aries, and that the ascendant of this time is the ascendant of the year and the ascendant of the transfer. The ascendant at the Sun's arrival at the initial points of the tropical signs² is the ascendant of the <respective> season. We have described in the preceding <chapter>³ that if the ascendant of the year is a fixed sign, the judgement for the whole year is according to it; if it is a bicorporal sign, the judgement for the second half of the year is from Libra; and if it is a tropical sign, the judgement for each season is from its ascendant.⁴

[2] The majority of the conditions of the year are based on the nature of the most powerful planet in the figure of the horoscope of the year. One should judge for citizens from the ascendant, from the planet ruling over it, i.e., the lord of the year (*sālkhudāh*), and from the Moon; one should judge for the authority from the Sun by day, from the Moon by night, and from the midheaven and its lord by day and night; one should judge for scribes, ministers, and governors, from Mercury; for the people of piety, peace, and religion, from Jupiter; for the people of a noble family and elder masters, from Saturn; for the army and all weapons, from Mars; on women

¹'second' (*thāniya*) here is, of course, a sexagesimal time unit and 1/60 of a minute (*daqīqa*).

²I.e., two equinoxes and two solstices.

³See 2.1.3.

⁴Cf. 2.1.3.

والمؤتئين من الزهرة وللفيوح¹⁷ وأصحاب البرد والرسل والأخبار من القمر
 [3] وينظر لكل واحد من أنواع الناس إلى كوكبه وينظر¹⁸ لصحة الأبدان والأنفس
 G16a والأمن والسلامة من القوة الذاتية¹⁹ وللجاه والقدر والذكر²⁰ من القوة العرضية والحال
 المال²¹ والسعادات من السعادة والنحوسة ينظر لحال أموال الرعية²² وربهم في تجارتهم
 من الثاني وصاحبه وسهم السعادة وصاحبه ومما زجتهما²³ لصاحب الطالع وقبول بعضها من
 بعض
 [4] ويتفقد²⁴ حلول الشمس أوائل البروج المنقلبة فإن نظر رب الشرف إلى موضع
 شرفه دلّ على علو أحوال الناس ورفعته وكثرة خيراتهم في ذلك الفصل
 [5] صاحب سهم السعادة وسهم الغيب وأرباب مثلثاتها²⁵ إذا كانت في الأمكنة الجياد
 ونظر بعضها إلى بعض نظر مودة دلّت على كل خير فإن كان²⁶ بالضدّ من ذلك فعلى الضدّ
 [6] سهم الغيب يدلّ على همة السلطان ورأيه وتديره فإذا صلح السهم صلحت²⁷ هذه
 الأحوال من السلطان وإذا فسد²⁸ السهم فسدت هذه الأحوال منه إذا وجد²⁹ في بيت
 الشرف كوكب أو كوكبان أو كواكب³⁰ ولها فيه حظّ كثرت أسفار الناس في تلك السنة
 [7] الإقليم الأول لرحل والثاني³¹ للشمس الثالث³² لعطارد الرابع للمشتري الخامس
 للزهرة السادس للقمر السابع للمريخ وإذا³³ صلح الكوكب³⁴ صلح حال إقليمه³⁵ وإذا فسد
 فسد³⁶ حال إقليمه
 [8] المريخ إذا ناظر الشمس أو صاحب بيتها من البروج النارية نظر عداوة³⁷ أتى الملك
 ما يكره من جهة المشرق ومن البروج الهوائية من جهة المغرب ومن البروج الأرضية من
 جهة الجنوب ومن البروج المائية من جهة الشمال

¹⁷J وللفيوح

¹⁸V فينظر

¹⁹V om. from here to العرضية

²⁰B والذكر والقدر

²¹B الأموال

²²V لحال أموال الرعية instead of انظر الحال مثال أمور

²³G زجتهما

²⁴BV om. و J om. ويتفقد

²⁵F مثلثاتها

²⁶BJ فإن كان instead of وإن كان

²⁷J صلح

²⁸V فسدت

²⁹V وجدت

³⁰J om. أو كوكبان أو كواكب

³¹B abjad in this context.

³²FJ add. و in this enumeration.

³³V فإذا

³⁴V الكوكب instead of حال كوكب

³⁵B hapl. om. from here to the next إقليم

³⁶V فسدت

³⁷J أدواة

and females, from Venus; for messengers and possessors of mail, messages, and news, from the Moon.

[3] For each kind of men one should look at his planet; for his health of body and mind, safety, and peace, <one should judge> from the essential power <of the planet>; for his honor, dignity, and reputation, from the accidental power;⁵ for the condition of properties and happinesses, from the benefic and malefic <planets>; for the condition of properties of citizens and their profits in business, from the second place, its lord, the lot of Fortune, its lord, and from whatever drives these two to the lord of the ascendant and the reception of each other.

[4] One should look at the Sun's arrival at the first points of the tropical signs, and if the lord of the exaltation aspects the place of its exaltation, it indicates the greatness of the conditions of the people and the abundance of their goodness in this season.

[5] The lord of the lot of fortune, the lot of the absent, and the rulers of the triplicities of the two — when these are in the places of perfection and aspect each other with friendly aspect, they indicate every goodness; when it (the situation) is opposite from this, they indicate the opposite.

[6] The lot of the absent indicates the intention of the authority, his view, and his management: when the lot is good, then the conditions due to the authority are good; when the lot is bad, the conditions due to him are bad. When a planet or two planets or more planets are found in the house of their exaltation and they have many shares in it, the travelling of the people is frequent in this year.

[7] The first clime belongs to Saturn, the second to the Sun, the third to Mercury, the fourth to Jupiter, the fifth to Venus, the sixth to the Moon, and the seventh to Mars. When the planets are good, the condition of the clime is good. When they are corrupted, the condition of the clime is bad.

[8] When Mars aspects the Sun or the lord of the Sun's house⁶ from the fiery signs with an aspect of enmity, a king who is hated comes from the eastern direction; <when it aspects> from the airy signs he (the king) comes from the western direction; <when it aspects> from the earthy signs, he comes from the southern direction; and <when it aspects> from the watery signs he comes from the northern direction.

⁵For the distinction of essential and accidental power, see 1.19.

⁶I.e., the sign where the Sun is.

G16b [9] تسير درجة الطالع التحويل وكواكبه إلى السعود والنحوس لكل³⁸ تسع³⁹ وخمسين⁴⁰ دقيقة وثمانين ثواني يوما⁴¹ ويحكم عليه بما يحدث من جنس السعد أو النحس⁴² الذي ينتهي إليه

[10] قد تقدم⁴³ في المقدمة أنّ الملك والدول ليس لها ابتداء معلوم فيسير⁴⁴ طالع السنة التي ظهر فيها الدولة وصاحبه⁴⁵ والشمس والقمر إلى النحوس والقواطع⁴⁶ على أنّ لكل⁴⁷ سنة درجة مطلعية فإذا انتهى⁴⁸ إلى أحد القواطع مات ملكها أو رئيس فيها⁴⁹ والأقوى في الأصل من الأدلاء التي قلنا أظهر فعلا في ذلك وأقوى⁵⁰

[11] أي كوكب كان في برج الانتهاء من طالع الدولة عند تحويل السنة دلّ على⁵¹ موت كبير منها على طبيعه⁵² الكوكب إن كان زحل فشيخ من شيوخها وإن كان المشتري فوزير أو قاض⁵³ أو عالم وإن كان المريخ فقائد وإن كانت⁵⁴ الشمس فملك وإن كانت الزهرة فأمرأه وإن كان عطارد فكتب وإن كان القمر فكبير من أهل بيت الملك

³⁸J add. يوم

³⁹JV تسعة

⁴⁰B in abjad.

⁴¹JV om. يوما

⁴²V والنحس

⁴³B تقدمه

⁴⁴J ويسير

⁴⁵B صاحبها

⁴⁶BJV om. و

⁴⁷G كل

⁴⁸B add. التسير

⁴⁹J منها

⁵⁰J add. تأثيرا

⁵¹V om.

⁵²B add. ذلك

⁵³V قاضى

⁵⁴BV hapl. om. from here to the next كانت

[9] The degree of the ascendant⁷ at the transfer and its planets are moved to the benefic and malefic <stars — at the rate of> fifty-nine minutes and eight seconds in a day.⁸ One should judge for him (the native) on what happens from the genre of the benefic or malefic <star> at which it (the degree) arrives.

[10] In the previous chapter the king and dynasty whose beginning is not known was mentioned.⁹ Then the ascendant of the year when the dynasty and its ruler appeared, the Sun, and the Moon are moved to the malefics and the ‘cutters’ (*qawāti*) <at the rate of> one rising degree¹⁰ in every year. When it arrives at one of the ‘cutters’, then the king of the <dynasty> or the leader in it will die. The most powerful <planet> from among the indicators in the base <nativity> which we have mentioned, is the one which is most manifest in its effect and most powerful.

[11] Whichever planet is in the sign of the *intihā*’ from the ascendant of the dynasty at the transfer of the year indicates the death of the important persons of it in accordance with the nature of the planet: when it is Saturn, the chief of the chiefs; when it is Jupiter, the minister or judge or scholar; when it is Mars, the commander; when it is the Sun, the king; when it is Venus, his princes; when it is Mercury, the scribe; when it is the Moon, the people in the house of the king.

⁷For the details of ‘the degree of ascendant’ which plays a role similar to a star, see 3.20 and 3.21 on *tasyīr*.

⁸This rate, 59’8” per day, is the mean daily motion of the Sun, and mentioned in 3.20 as the fifth *tasyīr*.

⁹Cf. 2.1.4.

¹⁰I.e., time degree measured on the equator.

الباب الثالث في أحداث الجوّ والأرض¹

[1] المَرَيخ في عاشر طالع التحويل أو عاشر طالع² الأرباع أو عاشر طالع³ الاجتماع والاستقبال⁴ يحدث النيران والشهب في⁵ الجوّ وإن⁶ كان البرج هوائياً كان أوكد في الدلالة فإن⁷ قابله أو قارنه⁸ عطارد كان أوكد فإن⁹ كان القمر منحوساً به¹⁰ كان أوكد

[2]¹¹ زحل في رابع¹² أحد طوابع الابتدآت التي قلنا يدلّ على الزلازل والخسوف وإن¹³ كان البرج أرضياً¹⁴ كان أوكد في الدلالة فإن قارنه أو قابله عطارد كان أوكد فإن كان القمر منحوساً به كان أوكد

[3] كلّ واحد من المَرَيخ وزحل إذا كان صاعداً في فلك أوجه كان أقوى فيما يحدث بهما ذكرنا¹⁵ أمّا المَرَيخ ففي أحداث الشهب¹⁶ وأمّا زحل ففي أحداث الزلازل

[4] المَرَيخ في وتد الأرض والبرج أرضي والسعود ساقطة عنه وعطارد متصل به يدلّ على الزلازل وظهور النيران من¹⁷ الأرض وكثرة الرجفات وفساد المعادن

[5] عاشر طالع التحويل أو الأرباع أو¹⁸ الاجتماعات والاستقبالات إذا كان هوائياً وفيه النحوس أو القمر فيه¹⁹ وهو منحوس دلّ على أحداث تعرض²⁰ في الهواء مثل كواكب ذوات²¹ الأذنان وظهور الشهب وانقضاء الكواكب رابع أحد²² طوابع هذه الابتدآت إذا كان أرضياً²³ وفيه النحوس أو القمر فيه²⁴ وهو منحوس دلّ على الزلازل والخسوف

¹G الأرض والجوّ

²B طوابع

³BJV طوابع

⁴BFV استقباله J ; اجتماعات واستقبالات

⁵V om.

⁶BV فإن

⁷V om.

⁸BFJV قابله أو قارنه instead of قارنه أو قابله

⁹V وإن

¹⁰B به ; V om. به منحوساً

¹¹J hapl. om. from here to the end of [2].

¹²B رابع instead of الرابع من

¹³BV فإن

¹⁴V أرضية

¹⁵BFJV om. بهما ذكرنا

¹⁶B add. والنيران

¹⁷J في

¹⁸F و

¹⁹V om.

²⁰J يعرض

²¹J ذات ; V om.

²²B om. الكواكب رابع أحد

²³V أرضية

²⁴V om.

Chapter Three: On the Happenings on the Earth and in the Sky

[1] When Mars is in the tenth place of the horoscope at the transfer or in the tenth place of the horoscope at the <beginning of> the quarter years or in the tenth place of the horoscope at the new moon and full moon, it causes conflagrations and meteors in the sky. If the sign is airy it is more certain in indication. If Mercury is in opposition to it or in conjunction with it, it is <still> more certain. If the Moon is made unfortunate by it (Mars),¹ it is <still> more certain.

[2] Saturn, in the fourth place of one of the horoscopes at the beginnings which we have said, indicates earthquakes and a lunar eclipse. If the sign is earthy it is more certain in indication. If Mercury is in opposition to it or in conjunction with it, it is <still> more certain. If the Moon is made unfortunate by it (Saturn), it is <still> more certain.

[3] When each one of Mars and Saturn is ascending in the orb of its apogee, it is more powerful concerning what happens in what we have said. As for Mars it concerns the occurrence of meteors, and as for Saturn it concerns the occurrence of earthquakes.

[4] Mars, <when it is> in the cardine of the earth (i.e., fourth place) and the sign is earthy, while the benefic planets are falling from it, and Mercury is applying to it, indicates earthquakes, appearance of conflagrations from the earth, abundance of quakes, and pollution of minerals.

[5] When the tenth place of the horoscope at the transfer or at the <beginning of> the quarter years or at new moon or at full moon is airy, and if the malefic planets or the Moon is in it and it (the Moon) is made unfortunate, then the malefic planet indicates the happenings which appear in the sky, like comets and appearance of meteors and storms of stars. When the fourth place of one of the horoscopes of these beginnings is earthy and the malefic planet or the Moon is in it and the Moon is made unfortunate, it indicates earthquakes and a lunar eclipse.

¹Supplied by Chinese tr.

الباب الرابع في الفتن والحروب

[1] مقابلة المريخ وزحل عند التحويل يدلّ على الفتن والحروب لا¹ سيّما إذا² كان من الأوتاد والوقت في ذلك بلوغ المريخ إلى الوند بالتسير³ أو البعد بين أحدهما والوند أو بين الوند وأحدهما على التوالي أو بلغ⁴ طالع التحويل إلى أحدهما أو إلى⁵ تربيعه⁶ ومقابلته هذه كلّها على أنّ لكلّ تسع⁷ وخمسين⁸ دقيقة وثمان⁹ ثواني يوما

[2] كون المريخ تحت الشعاع عند تحويل السنة أو الأرباع أو الاجتماعات والاستقبالات يدلّ على الفتن والحروب في ذلك الفصل لا سيّما إن¹⁰ كان في الوند والبرج منقلب

[3] إذا كان التحويل نهرا والمريخ¹¹ في تربيع الشمس أو مقابلتها¹² وهو في برج منقلب دلّ على خروج خارجي على الملك

[4] المريخ إذا كان صاحب السنة ورجع في¹³ مكان فاسد¹⁴ أو غريب ولم ينظر إليه شيء من السعود هيج الأعداء على السلطان وأثار الحروب

G17b [5] إذا كان نظر المريخ إلى سهم السعادة وسهم الغيب نظر عداوة دلّ على القتل وكثرة اللصوص والفتن والحروب

[6] يستدلّ على أمر الحروب¹⁵ بسهمين يؤخذ أحدهما بالنهار والليل من درجة الشمس إلى درجة المغرب¹⁶ ويلقى من الطالع ويؤخذ الآخر بالنهار والليل من المريخ إلى القمر ويلقى من موضع الشمس وإذا¹⁷ كان المريخ مع أحد هذين السهمين عند تحويل السنة أو¹⁸ الأرباع أو¹⁹ الاجتماعات والاستقبالات دلّ على الفتن والحروب لا سيّما إن²⁰ كان المريخ في البرج النارية

[7] يستدلّ على أمر الحروب والفتن أيضا برج الانتهاء من طالع مولد سلطان البلد

¹ J om. لا

² BJ إن

³ B بالتسير إلى الوند

⁴ F add. تسير

⁵ J om.

⁶ J add. إلى

⁷ J تسعة

⁸ B abjad in this context.

⁹ FG ثمان

¹⁰ FV إذا

¹¹ V أو المريخ

¹² J أو مقابلتها instead of ويقابلها

¹³ F add. ودخل

¹⁴ V om.

¹⁵ J add. والفتن

¹⁶ B الغارب

¹⁷ JV فإذا

¹⁸ J و

¹⁹ J و

²⁰ BV إذا

Chapter Four: On Riots and Wars

[1] The opposition of Mars and Saturn at the transfer indicates riots and wars, especially when it (opposition) is <at one of> the cardines. The time concerning this is <the time of> Mars' arrival at the cardine by the *tasyīr*,¹ or the <time> distance between one of the two and the cardine, or between the cardine and one of the two in the direct direction, or <the time of> the arrival of the ascendant of the transfer at one of the two, or at its quartile and its opposition these are all at the rate of fifty-nine minutes and eight seconds per day.

[2] Mars's being under the rays <of the Sun> at the transfer of the year or at the <transfer of> the quarter years or new moons and full moons indicates riots and wars in this part <of the year>, especially when it (Mars) is in a cardine and the sign is tropical.

[3] When the transfer is by day and Mars is at quartile to the Sun or at opposition to it and when it is in a tropical sign, it indicates raid of foreigners on the king.

[4] When Mars is the lord of the year and in retrogradation in a corrupt place or alien and none of the benefic planets aspect it, there are disturbance of enemies to the authority and actions of wars.

[5] When Mars aspects the lot of fortune and the lot of the absent with a hostile aspect, it indicates killings and the abundance of thieves, riots, and wars.

[6] One is informed of the matter of wars by the two lots. One of them is taken by day and night from the degree of the Sun to the degree of the descendant and it is cast out from the ascendant. Another <lot> is taken by day and night from Mars to the Moon and it is cast out from the place of the Sun. When Mars is with one of these two lots at the transfer of the year or at the <transfer of> the quarter years or at new moons and full moons, it indicates riots and wars, especially when Mars is in a fiery sign.

[7] One is informed of the matter of wars and riots again: the sign of *intihā'* from the ascendant at the birth of the authority of the country

¹For *tasyīr* motion, see 2.2, 3.20, and 3.21. In the present case the motion is equal to the mean solar motion.

ووسط سمائه أو من طالع²¹ جلوسه في المملكة ووسط سمائه أو من طالع دخوله البلد والولاية²² ووسط سمائه²³ فإن²⁴ كان منحوسا من الوتد بالمريخ²⁵ دلّ على الفتن والحروب²⁶ والاضطراب والله أعلم

الباب الخامس في الوباء والأمراض

[1] طالع التحويل وطالع الاجتماع والاستقبال الذي¹ قبل التحويل² وصاحبها وقمر الموضعين هي ما يستدلّ بها³ على حال السنة في الوباء والسلامة فسلامة أكثرها تدلّ⁴ على السلامة ونحوستها⁵ على الوباء والأمراض⁶ وكذلك طوابع الأرباع وطوابع الاجتماعات والاستقبالات التي قبل الربع⁷

[2] اتّصال صاحب طالع⁸ التحويل أو⁹ الربع¹⁰ أو صاحب طالع¹¹ الاجتماع أو¹² الامتلاء¹³ الذي قبل التحويل أو الربع¹⁴ بصاحب السادس مع نحوسة القمر يدلّ على الوباء والأمراض فإن كان الاتّصال بصاحب الثامن مع نحوسة القمر دلّ على الموت الكثير وجنس المرض من طبيعة الكوكب الناحس

[3] زحل يدلّ على أمراض مزمنة وسلّ ونزلات وذوبان¹⁵ والحمى النافض وأوجاع الطحال وعلل الأرحام¹⁶ والاستسقاء وبالجملة العلل التي تكون من البرد

²¹V hapl. om. from here to the next من طالع

²²BFV والولاية instead of للولاية

²³V add. أو من طالع جلوسه في مملكته

²⁴BV فإذا

²⁵BFJV من الوتد بالمريخ instead of بالمريخ من الوتد

²⁶J الحروب والفتن ; BFJV om. hereafter.

¹J التي

²J add. وطالع الاجتماع والاستقبال

³BV به

⁴BJV يدل

⁵BF add. يدل ; J add. تدل

⁶J الأمراض والوباء

⁷B الأرباع

⁸BFJV om.

⁹B add. صاحب

¹⁰J أو الربع instead of والأرباع

¹¹B om.

¹²BJ و

¹³J الاستقبال ; V الامتلاء

¹⁴J الأرباع

¹⁵FB السل والنزلات والذوبان

¹⁶J وعلل الأرحام instead of وعلى الأرحام

and its midheaven, or from the ascendant at his sitting on the throne in the kingdom and its midheaven. or from the ascendant at his entering the city and rulership and its midheaven — if it is made unfortunate by Mars from a cardine, it indicates riots and wars and disorder. God knows best.

Chapter Five: On Disease and Illnesses

[1] The ascendant of the transfer and the ascendant of the new moon and full moon which precede the transfer, the lord of the two <ascendants>, and the Moon — these are the places by which one is informed of the condition of the year concerning disease and health. The peaceful condition of the majority of them indicates health, while their bad condition indicates disease and illnesses. The ascendants of the quarter years and the ascendants of the new moons and full moons which precede the quarter years are likewise.

[2] The application of the lord of the ascendant of the transfer or of the quarter year or the lord of the ascendant of the new moon and full moon which precede the transfer or the quarter year to the lord of the sixth place with the corruption of the Moon indicates disease and illnesses. If the application is to the lord of the eighth place with the corruption of the Moon, it indicates many deaths. The varieties of diseases are in accordance with the nature of the planets giving harms.

[3] Saturn indicates chronic diseases, consumption, catarrhs, dissolution, shaking fever, pains of the spleen, illness of flesh, dropsy, and, in general, the diseases which are caused by coldness.

- G18a [4] المشتري يدلّ على الذبحة¹⁷ وذوات الرئة والسكتة والتشنج والصداع وعلل¹⁸ القلب وبالجملّة العلل التي تكون عن ريح مفرطة
- [5] المريخ يدلّ على حمّيات دائمة وشطر الغبّ وأوجاع الكبد والمعدة وقذف الدّم وأسقاط الأجنّة وبالجملّة العلل¹⁹ التي تكون من أفرط الحرارة
- [6] الزهرة تدلّ على علل المقعدة والكلّي²⁰ وعلى الأورام التي تسعى وعلى النواصير²¹ ومضرة الأدوية وبالجملّة العلل التي تكون من كثرة الرطوبة وفسادها
- [7] عطارد يدلّ على الجنون وذهاب العقل والوسواس²² السوداوي والسقوط والصرع²³ وعلل²⁴ السعال والقذف وبالجملّة العلل التي تكون من كثرة اليبس أو فساد²⁵
- [8] الشمس يشبه فعلهما في ذلك²⁷ فعل المريخ والقمر يشبه فعله فعل الزهرة
- [9] إذا²⁸ نظر زحل إلى سهم السعادة وسهم الغيب نظر عداوة دلّ على الموت الكثير من أمراض رجليّة²⁹

الباب السادس في الحرّ والبرد والرياح

- [1] انصراف القمر عن كوكب واتّصاله بكوكب¹ بيته في مقابلة بيت² الكوكب الأوّل يقال له³ فتح الباب وذلك كانصرافه عن أحد الكوكبين⁴ المريخ والزهرة واتّصاله بالآخر وكانصرافه من أحد⁵ الكوكبين⁶ المشتري وعطارد واتّصاله بالآخر وكانصرافه من⁷ أحد⁸

¹⁷ B add. والأورام

¹⁸ J وعلى

¹⁹ F om.

²⁰ JV(margin) والكلية

²¹ B وعلى النواصير instead of البواسير

²² J add. و

²³ J في الصرع

²⁴ B om. علل

²⁵ BF عن

²⁶ JV فساد

²⁷ J om. في ذلك

²⁸ B فإذا

²⁹ J زحليه ; V رجليه

¹ BV add. آخر

² B om.

³ J om.

⁴ BJ الكوكبي

⁵ B عن أحد FJ : من أحد instead of بأحد

⁶ BJ الكوكبي

⁷ BFJ عن

⁸ BV om.

[4] Jupiter indicates diphtheria, pneumonia, apoplexy, contraction of a muscle, headache, heart disease, and, in general, diseases which are caused by excessive wind.

[5] Mars indicates lasting fevers which occur every other day, pains of the liver and stomach, discharge of the blood, miscarriage, and, in general, the diseases which are caused by excessive heat.

[6] Venus indicates diseases of the buttocks and kidneys, pains which move quickly, fistula, the harm of medicine, and, in general, the diseases which are caused by excessive moisture and its curruption.

[7] Mercury indicates insanity, loss of sense, melancholic black bile, and <fear of> falling,² epilepsy, cough and vomiting, and, in general, the diseases which are caused by the excessive dryness and corruption.

[8] The Sun's influence resembles Mars' influence, and the Moon's influence resembles Venus' influence.

[9] When Saturn aspects the lot of fortune and the lot of the absent with a hostile aspect, it indicates many deaths from human diseases.³

Chapter Six: On Heat, Coldness, and Winds

[1] The separation of the Moon from a planet and its application to <another> planet whose house is in opposition to the house of the first planet: this is called 'the opening of the door'. This is like the Moon's separation from one of the two planets, Mars and Venus, and its application to the other; also like its separation from one of the two planets, Jupiter and Mercury, and its application to the other; also like its separation from one

² Supplied according to the Chinese translation.

³ As the Chinese translation indicates, 'human diseases' (*amrād rajlīya* means calamities caused by men).

الكوكبين⁹ الشمس وزحل واتّصّاه¹⁰ بالآخر وانصرفه¹¹ عن زحل بحسب¹² لأنّ الجدي في مقابلة السرطان

[2] البروج الهوائية والشمس وعطارد والمشتري من بروج الرياح وكواكبها

[3] زحل في¹³ تحويل السنة¹⁴ في المثلثة النارية ينقص من الحرّ والمريخ فيها يزيد في الحرّ زحل في المثلثة الأرضية يزيد في البرد والمريخ فيها ينقص من البرد زحل في المثلثة الهوائية ينقص من الحرّ والمريخ فيها يزيد في الحرّة زحل في المثلثة المائية يزيد في البرد والمريخ فيها ينقص من البرد

G118b

[4] الاجتماع كوكبين أو ثلاثة¹⁵ من كواكب الرياح في البروج الهوائية يدلّ على الرياح

[5] إذا نظر المريخ إلى البروج الهوائية أو كان حالاً فيها¹⁶ عند تحويل السنة أو الأرباع أو الاجتماعات أو الاستقبالات دلّ¹⁷ على رياح شديدة مع حمرة ونيران فإن¹⁸ كان زحل كذلك¹⁹ دلّ²⁰ على رياح باردة بهدر²¹ وإن كان المشتري كذلك دلّ على رياح صالحة إلّا أنّها أقوى من رياح زحل فإن²² كانت الزهرة كذلك²³ دلّت على رياح طيبة فيها نراده²⁴ وإن كان عطارد كذلك دلّ على رياح لطيفة وجهة الرياح²⁵ جهة عرض الكوكب

[6] إذا حلّت الشمس²⁶ الجوزاء تنفق²⁷ حلول القمر القوس فهي أكثر الأمر تهت²⁸ في

تلك²⁹ الأيام ريح يستدلّ بها³⁰ على رياح السنة في أذاها وطيبها ومنفعتها ومضرّتها

[7] زحل في البروج الهوائية والمائية يحدث برداً وضباباً³¹ وجليداً وسحباً مظلماً والمريخ فيها يحدث حرّاً وسموماً محرّقا ونقصان المياه ويبس العيون المشتري فيها يحدث في الهواء

⁹BFJ الكوكبي

¹⁰B om. واتّصّاه

¹¹BFJ وانصرفه instead of وكانصرفه

¹²F بحسب ; فيحسب

¹³B عند

¹⁴B om.

¹⁵J add. كوكب

¹⁶F فيه

¹⁷J يدل

¹⁸J وإن

¹⁹J om. كذلك

²⁰F يدل

²¹B بهدو

²²BJ وإن

²³F om. كذلك

²⁴GJ نراوه ; نداوه

²⁵B الريح

²⁶B add. في

²⁷FJV يتفق

²⁸B يهب

²⁹V ذلك

³⁰J به

³¹F أو ضباباً

of the two planets, the Sun and Saturn and its application to the other. We take into consideration the Moon's separation from Saturn <too>, since Capricorn⁴ is in opposition to Cancer.

[2] The airy signs, the Sun, Mercury, and Jupiter — they are signs and planets of winds.

[3] Saturn at the transfer of the year in the fiery triplicity decreases heat, and Mars in it increases heat. Saturn in the earthy triplicity increases coldness, and Mars in it decreases coldness. Saturn in the airy triplicity decreases heat, and Mars in it increases heat. Saturn in the watery triplicity increases coldness, and Mars in it decreases coldness.

[4] The gathering of two or three planets of winds in the airy signs indicates winds.

[5] When Mars aspects the airy signs or it enters them at the transfer of the year or <the transfer of> quarter years or new moons or full moons, it indicates strong winds together with red <sky> and conflagration. If the same is the case with Saturn, it indicates cold winds in which makes a raging sound. When the same is the case with Jupiter, it indicates good winds, but they are stronger than the winds of Saturn. If the same is the case with Venus, it indicates pleasant winds which we like. If the same is the case with Mercury, it indicates soft winds. The direction of winds is the direction of planet's latitude.

[6] When the Sun arrives at Gemini we observe the Moon's arrival at Sagittarius: the winds which mostly blow in such days indicate the winds of the <whole> year concerning its harm and goodness and its advantage and disadvantage.

[7] Saturn in airy signs and in watery signs causes coldness, fog, ice, and dark cloud. Mars in them causes heat, burning, hot winds, shortage of water, and dryness of springs. Jupiter in them causes

⁴The houses of the pairs Mars/Venus, Jupiter/Mercury, Sun/Saturn are in opposition. Saturn's house (Capricorn) is in opposition to the Moon's house (Cancer).

رياحا طيبًا³² رطبة³³ الزهرة فيها تحدث رياحا طيبة هادية³⁴ عطاردا فيها يحدث رياحا³⁵ معتدلة سريعة الانقلاب

[8] المَرِيخ إذا كان مشرقًا عند حلول الشمس برج السرطان دلّ على شدة الحرّ والزهرة إذا كانت³⁶ مشرقة عند حلول الشمس برج الجدي دلت على شدة البرد³⁷

[9] إذا انصرف القمر عن مجاهدة زحل في³⁸ البروج³⁹ الأرضية دلّ على شدة البرد ووقوع الثلج⁴⁰ في أوانه وإذا⁴¹ انصرف عن مقابلة⁴² المَرِيخ والمَرِيخ في برج ناري دلّ على شدة الحرّ في أوانه

G19b [10] إذا كان فتح الباب عند⁴³ كون القمر في أحد⁴⁴ المراكز الأربعة كان ما يدلّ عليه⁴⁵ أمّا إن⁴⁶ كان من المَرِيخ والزهرة فالأنداء والأمطار وأمّا⁴⁷ إن كان من زحل والشمس فالحرّ في وقت حرّ⁴⁸ والبرد في وقت⁴⁹ البرد وأمّا⁵⁰ إن كان من القمر وزحل فالبرد والمطر في أوانه وفي غير أوانه انكسار الحرّ وطيب الهواء وأمّا⁵¹ إن يكون⁵² من المشتري وعطاردا فالرياح والمراكز الأربعة قد⁵³ ذكرناها في المقدمة

³² BFJ طيبة instead of طيبا

³³ B add. سريعة الانقلاب

³⁴ V add. و

³⁵ J رياح

³⁶ J كانت instead of كان مغربة

³⁷ V add. ووقوع الثلج في أوانة

³⁸ J add. النيران

³⁹ BJV البرج

⁴⁰ J الثلوج

⁴¹ BV om. و

⁴² JV مقارنة ; G نقارنت but corrects to مقابلة in margin.

⁴³ J عن

⁴⁴ B om. ; F إحدى

⁴⁵ F add. أوكد

⁴⁶ V إذا

⁴⁷ BV om. وأما

⁴⁸ B الحر

⁴⁹ BJ أوان ; FV أوان

⁵⁰ B om. وأما

⁵¹ B om. وأما

⁵² BFJV كان

⁵³ J فقد

gentle and moistened winds in the sky. Venus in them causes gentle and peaceful winds. Mercury in them causes moderate winds which change quickly.

[8] When Mars is easterly at the Sun's arrival at the sign of Cancer it indicates excessive heat. When Venus is easterly at the Sun's arrival at the sign of Capricorn it indicates excessive coldness.

[9] When the Moon separates from the body of Saturn in the sign of Capricorn it indicates excessive coldness and falling of snow in its time. When it separates from the opposition to Mars which is in the fiery sign, it indicates excessive heat in its time.

[10] When the opening of the door is at the Moon's existence in one of the four places⁵ what it indicates are these: if it (i.e., opening) is from Mars and Venus, then moisture and rains; if it is from Saturn and the Sun, then heat at the time of heat and coldness at the time of coldness; if it is from the Moon and Saturn, then coldness and rain at its time, and decrease of heat and mildness of air at other times; if it is from Jupiter and Mercury, then winds. The four central positions are what we have said in the introduction <of this Part>⁶

⁵I.e., new moon, full moon, and two quadratures, called 'central places' in 2.1.5

⁶This is referring to 2.1.5.

الباب السابع في الأنداء والأمطار

- [1] برج الأمطار هي المائيات والأسد والدلو وكواكبها القمر والزهرة وعطارد
 [2] وصاحب طالع السنة أو صاحب طالع الفصل من السنة أو صاحب طالع الاجتماع والاستقبال إذا كان من كواكب الأمطار وهو في برج من بروج الأمطار ونظر إليه الكوكبان الآخريان دلّ على الأمطار الكثيرة في أوانه فإن كان ذلك القمر كانت سيولا¹ وأمطارا² عاقمة شاملة وإن كانت الزهرة كانت أمطارا وضبابا³ وظلمة وإن كان عطارد كانت غيوما ورياحا وأمطارا⁴ قليلة وفي غير أوان المطر كانت ظلمة ورياحا⁵ وغبارا⁶ مع قلة الأمطار
 [3] عطارد خاصة إذا انتقل من برج إلى برج أحدث في الهواء حركة بحسب ذلك الزمان وهو إذا أبطأ⁷ حيث كان هيج غيما وعلّة⁸ في الجو وإن⁹ كان عند ذلك القمر أو¹⁰ الزهرة في بروج الأمطار كان التغير¹¹ أشدّ والمطر¹² في أوان المطر أدوم
 [4] القمر إذا اتّصل بالزهرة من بيت عطارد هيج غيما ومطرا ولا سيّما إن¹³ كان عطارد مع الزهرة
 [5] حلول كواكب الأمطار في بروج¹⁴ الأمطار يدلّ على الأمطار الكثيرة في أوانه وعلى الرياح والظلمة والغبار في غير أوان المطر
 [6] القمر في أحد المراكز الأربعة المذكورة في المقدمة وهناك فتح الباب دليل¹⁵ على الأمطار والرياح¹⁶ أما¹⁷ إن كان فتح الباب من المشتري وعطارد فالرياح وإن كان من المريخ والزهرة فالأنداء والأمطار وإن كان من القمر وزحل¹⁸ فالبرد والثلج¹⁹

¹F سيول

وأمطار V: سيول وأمطار BFJ

أمطار وضباب BFJ

غيوم ورياح وأمطار BFJ

الرياح والظلمة V

وغبار V: ورياح وغبار BFJ

سيرا J add.

وغلبة V: وظلمة BJ

فإن BV

و J

في الهواء BJ add.

والأمطار FV

إذا V

برج J

يدل V

والرياح instead of أو الرياح BJ

زحل والقمر V om.

زحل والقمر V

وإن كان من الشمس وزحل فعلى حسب الوقت V add.

Chapter Seven: On Moistures and Rains

[1] The signs of rains are watery signs¹ and Leo and Aquarius. The planets of rains are the Moon, Venus, and Mercury.

[2] When the lord of the ascendant of the year or the lord of the ascendant of the season of the year or the lord of the ascendant of the new moon and full moon is one of the planets of rains and they are in the sign of rains, and the other two planets are aspecting it, then it (the lord) indicates abundant rains in the time <of rain>. If it (the lord) is the Moon, there are floods and rains widely and excessively. If it is Venus, there are rains, fogs, and darkness. If it is Mercury, there are few clouds, winds, and rains <in proper time>, and in other times, there are darkness, winds, and dust with few rains.

[3] Mercury, especially when it moves from one sign to another, causes the movement in the sky. When it moves slowly in any case it agitates fogs and darkness in the sky, and if the Moon or Venus is in the signs of rains in this <occasion> there are violent changes, and the rain in proper time is long lasting.

[4] When the Moon applies to Venus from the house of Mercury, it agitates fog and rain, especially if Mercury is with Venus.

[5] The arrival of the planets of rains in the signs of rains indicates abundant rains in the time <of rain> and <it indicates> winds, darkness, and dusts in the time other than that of rain.

[6] When the Moon is in one of the four places which were explained in the introduction <of this Part>, and there is the opening of the door,² then there are indications of rains and winds; if the opening the door is from Jupiter and Mercury, there are winds; if it is from Mars and Venus, there are moisture and rains; if it is from the Moon and Saturn, there are coldness and snows.

¹I.e., Cancer, Scorpio, and Pisces.

²See 2.6.

[7] صاحب طالع الاجتماع والاستقبال وصاحب السابع إن كان بينهما نظر أو ²⁰ اتصال أو نقل أو جمع وهناك فتح الباب دلّ على المطر في ذلك الفصل إن كان أوان المطر وعلى الرياح إن كان أوان الرياح ²¹ وعلى الحرّ إن كان في ²² أوان الحرّ وعلى البرد إن كان أوان البرد

[8] تغريب الزهرة في أوان المطر دليل على كثرة الأمطار فإن كانت ²³ في البروج المطيرة ²⁴ ونظر إليها بعض كواكب الأمطار زاد في الأمطار وإن نقصت هذه الشواهد نقص من الأمطار

[9] إذا اجتمعت أكثر الكواكب في الحوت ومثلثاته ²⁵ كثرت المياه حتى أضرت بالعالم [10] للقمر في زيادة المياه دلالات فمنها ²⁶ إن يكون زائدا في المسير وإن يكون قريبا من الاجتماع والامتلاء ²⁷ وإن يكون صاعدا في فلك أوجه وذلك بعد تريعه الأول للشمس ²⁸ إلى المقابلة وبعد تريعه الثاني لها إلى ²⁹ الاجتماع فإذا اتفق ³⁰ بعض هذه الحالات عند تحويل السنة أو تحويل فصولها أو ³¹ الاجتماعات أو ³² الاستقبالات والقمر فيما بين الطالع إلى وسط السماء أو فيما بين الغارب إلى وتد الأرض دلّ على زيادة المياه في تلك السنة أو الفصل من السنة أو الاجتماع أو الاستقبال وإن كان القمر بالضدّ من ذلك دلّ على الضدّ

[11] إذا كان صاحب سنة العالم المريخ وكانت ³³ الكواكب دافعة إليه من بروج المياه والمريخ في وسط السماء أو فيما بين الطالع ووسط السماء في برج مائي دلّ على إفراط زيادة المياه وأخبث ذلك إن يكون راجعا ³⁴ ومنحوسا وكذلك إذا كان زحل بهذه الصفة وهو هابط في فلك أوجه والمشتري والزهرة والقمر إذا كانت ³⁵ بهذه الصفة دلّ على مثل ذلك ³⁶ إلا أنّه دونه وأقلّ ضررا

²⁰ J و

²¹ BJ الريخ

²² BJV om.

²³ J كان; B add. الزهرة

²⁴ V المطر

²⁵ F ومثلثاتها

²⁶ BFJ om. ف

²⁷ V أو استقبال

²⁸ V الشمس

²⁹ V في

³⁰ BJV اتفقت

³¹ J و

³² J و

³³ J وكان

³⁴ B add. ومحترقا

³⁵ F كان

³⁶ F مثل ذلك مثله instead of

[7] When there is an aspect or application or translation or collection³ among the lord of the ascendant of the new moon and full moon and the lord of the seventh place (i.e., descendant), and there is the opening of the door, then it indicates rain in its season if the time is that of rains; it indicates winds if the time is that of winds; it indicates heat if the time is that of heat; and it indicates coldness if the time is that of coldness.

[8] Venus' westerliness at the time of rain indicates abundant rains; if it is in the sign of rains while one of the planets of rains aspects it, it increases rains; if these evidences are diminished, then it decreases rains.

[9] When the majority of planets gather in Aquarius and in its triplicities, there are so many rains that it damages the world.

[10] The Moon has indications of the increase of water: among them are <1> if it is increasing speed, <2> if it is near a new moon and full moon, and <3> if it is ascending in the orb of its apogee — this is from its first quadrature with the Sun to full moon and from its second quadrature with it to new moon —; if one of these conditions is at the time of the transfer of the year or at the transfer of the seasons or new moons or full moons, and the Moon is between the ascendant and the midheaven or between the descendant and the cardine of the earth (i.e., the fourth place), then it indicates waters in that year or the season of the year or the new moon or full moon. If the Moon is different from these, it indicates the opposite.

[11] When the lord of the year of the world is Mars and planets are 'pushing'⁴ to it from the signs of water, and Mars is in the midheaven or it is between the ascendant and the midheaven in a watery sign, then it indicates excessive increase of water and this becomes worse when it is in retrogradation and made unfortunate. Likewise is when Saturn is in this class, i.e., when it is descending in the orb of its apogee. When Jupiter and Venus and the Moon are in this class they indicate the same except that they are less than it (Saturn) and weaker in harms.

³For 'application', 'translation', and 'collection', see 1.18.

⁴For 'pushing', see *Abbreviation* 3.34.

الباب الثامن في الأسعار

[1] دلائل¹ الخصب والجذب² هي طالع الاجتماع أو³ الاستقبال⁴ الذي قبل التحويل وقبل⁵ فصول السنة وصاحبه والقمر وكذلك طالع كل⁶ اجتماع واستقبال⁷ إلا أن الذي قبل التحويل أو قبل فصول السنة أقوى

[2] البروج الأرضية تدل على المأكولات مما ينبت من الأرض والمائيات على نبات الماء والناريات على الذهب⁸ والفضة والجواهر والموائيات على الرقيق والإماء والبقر والغنم⁹

[3] زحل يدل على العقاقير وعلى¹⁰ كل شيء أسود¹¹ المشتري¹² على الخنطة والشعير والأرز¹³ والحبوب التي يغتذى¹⁴ بها¹⁵ والحلاوة والقطن وتشاركه الزهرة في كل¹⁶ ذلك وهي تتفرد بالدلالة على الفضة والحلي والعطر¹⁷ والرقيق والأماء المربخ يدل¹⁸ على الحبوب¹⁹ الحريفة والحديد والسلاح عطارد يدل²⁰ على الذهب والأشياء المنقوشة والمصبغات التي ليست بمشعبة²¹ الصبغ والقمر يشارك الزهرة والشمس²² تشارك عطارد فأني كوكب قوي وصعد في أفلاكه وفي الأفق أعني في صورة الطالع عز وغلا ما يدل عليه وأني كوكب ضعف وانحدر في أفلاكه وفي الأفق هان ما يدل عليه

[4] إذا كان المشتري في الطالع أعني²³ طالع الاجتماع أو²⁴ الاستقبال الذي²⁵ قلنا من

¹J دليل

²B جذب

³FV و

⁴J الاستقبال والاجتماع

⁵V أو قبل

⁶V om. طالع كل

⁷B add. والقمر

⁸V ذهب

⁹BFJV والغنم والبقر

¹⁰F om.

¹¹J وعلى كل شيء أسود instead of وكل الأسود

¹²JV add. يدل

¹³J والأرز والشعير

¹⁴BJ يتعدى

¹⁵J به

¹⁶B جميع

¹⁷V وعلى العطر

¹⁸F om.

¹⁹B الأشياء

²⁰F om.

²¹F بمشبع

²²V om. والشمس

²³BV om.

²⁴BV و

²⁵J التي

Chapter Eight: On Prices

[1] The indicators of fertility and barrenness are <1> the ascendant at the new moon or full moon which precedes the transfer <of the year> and which precedes the <transfer of> the seasons of the year, <2> its lord, and <3> the Moon. Likewise is the ascendant at each new moon and full moon, but that which precedes the transfer <of the year> or the season of the year is more powerful.

[2] The earthy signs indicate the foods <which are obtained> from whatever grows from the earth; the watery signs indicate plants and water; the fiery signs indicate silver and gold and precious stones; the airy signs indicate slaves, female slaves, cattle, and sheep.

[3] Saturn indicates drugs and everything which is black. Jupiter indicates wheat, barley, rice, grain which we eat, sweets, and cotton. Venus shares with it (Jupiter) every one of them, and on its own possesses the indications of silver, jewelry, perfume, slaves, and female slaves. Mars indicates pungent grain, iron, and weapon. Mercury indicates gold, the painted and dyed things which are no more of the colours of dyes. The Moon shares with Venus, and the Sun shares with Mercury. Whichever planet is powerful and ascending in its orbs and in the horizon, namely, in the figure of horoscope, makes higher and more expensive what it indicates. Whichever planet is weak and descending in its orbs and in the horizon makes cheaper what it indicates.

[4] When Jupiter is in the ascendant, namely, the ascendant at the new moon or full moon which we mentioned

قبل²⁶ مزاعمة واتّصل صاحب الطالع بالمشتري أو الزهرة وصاحب الرابع سليم من المناحس وصاحب الثاني يسعد صاحب الطالع فهي سنة الخصب أو الفصل من السنة أو الفصل من الشهر²⁷ وإن²⁸ كان بالضد²⁹ من ذلك فبالضد³⁰

[5] إذا اتّصل القمر بعد³¹ الاجتماع أو الاستقبال بزحل وزحل³² صاعد في فلك أوجه أو فلك تدويره وذلك³³ بعد المقام الثاني إلى حدود³⁴ مائة وعشرين يوما دلّ على الغلاء وأقوى لذلك عنه³⁵ إذا كان³⁶ عطارد مازجا لزحل والشيء الذي يغلوا³⁷ هو من جوهر البرج الذي فيه زحل من الأرضية والمائية والنارية والهوائية

[6] صاحب طالع السنة إذا كان في أحد الأوتاد وهو زائد في المسير³⁸ دلّ على الزيادة في السعر³⁹ تلك السنة وكذلك إن كان⁴⁰ في الأوتاد كواكب⁴¹ زائدة في المسير وإن⁴² كان ذلك⁴³ في الطالع دلّ⁴⁴ على زائدة السعر في⁴⁵ أولها إلى ربعها وإن كان في وسط السماء فمن الربع إلى النصف وإن كان في السابع فمن النصف إلى الثلاثة الأرباع وإن كان في الرابع فمن الثلاثة الأرباع إلى آخر السنة

[7] القمر أو صاحب الاجتماع والاستقبال⁴⁶ أقواهما إن كان في الطالع أو العاشر أو الحادي عشر أو الخامس وهو مقبول في موضعه زائد⁴⁷ في المسير⁴⁸ أو كان في شرفه أو⁴⁹

²⁶B add. من قبل. وله فيه. J om.

²⁷F الشهر من الفصل

²⁸V فإن

²⁹J om. ب

³⁰V فبالضد instead of دل على الضد

³¹J عند

³²J om. وزحل

³³B add. من

³⁴V om.

³⁵FJV om. عنه

³⁶B لذلك عنه إذا كان instead of ذلك إن يلون

³⁷BF يغلو

³⁸V السير

³⁹FJ add. في

⁴⁰BF إن كان instead of إن كانت V : إذا كانت J : إذا كان BF

⁴¹V الكواكب

⁴²BFJ فإن

⁴³B om.

⁴⁴J يدل

⁴⁵BJ من

⁴⁶V أو استقبال

⁴⁷J زائدة

⁴⁸V السير

⁴⁹B أو كان في شرفه and om. و

previously, it has dignity (*muzā'ima*).¹ <If> the lord of the ascendant applies to Jupiter or Venus and the lord of the fourth place is free from the malefics, and when the lord of the second place is good to the lord of the ascendant, then the year or the season of the year or the part of the month is fertile. If they are opposite, the case is opposite.

[5] When the Moon applies to Saturn after a new moon or full moon, and Saturn is ascending in the orb of its apogee or the orb of its epicycle — this is from the second station to the limit of hundred and twenty² days — it (Moon) indicates high price. This is stronger when Mercury is mixed with Saturn. The things which are expensive are <known> from the nature of the sign in which Saturn is — one of the earthy, watery, fiery, and airy signs.

[6] When the lord of the ascendant of the year is in one of the cardines and when it is increasing in motion, it indicates the increase of price in this year. This is the case if planets which are increasing in motion are in cardines. If it (the lord) is in the ascendant, it indicates the increase of price from the beginning of the year to the first quarter of it; if it is in the midheaven, from the first quarter of the year to the middle; if it is in the seventh place (descendant), from the middle to the third quarter of the year; and if it is in the fourth place, from the third quarter to the end of the year.

[7] The Moon or the lord of a new moon and a full moon is powerful if they are in the ascendant or in the tenth place or the eleventh place or the fifth place, and when it is received in its place and increasing in motion or when it is in its exaltation or

¹Cf. *Abbreviation* 1.3, 3.3, and 3.49.

²This is the number of days required for Saturn to stay in the second station.

اتّصل بكوكب حاله كذلك دلّ على زائدة⁵⁰ السعر فإن⁵¹ كان في السابع أو الرابع أو⁵² اتّصل بكوكب فيهما⁵³ لم يزد السعر ولكنّ طلب إذا كان⁵⁴ مقبولا في موضعه⁵⁵ وإن لم يكن مقبولا⁵⁶ لم يطلب وإن كان في التاسع والثالث وهو مقبول نقص السعر⁵⁷ وزاد النفاق وإن لم يكن مقبولا نقص السعر وكسد وبالجملة الطلب والنفاق بالمقبول والعزّ والغلاء بجودة الموضع والضدّ في كلّ واحد منها⁵⁸ هو الضدّ في السعر

[8] في جملة⁵⁹ الأسعار⁶⁰ إنّ⁶¹ المشتري يدلّ على الرخص لا سيّما إذا⁶² كان ضعيف⁶³ القوة⁶⁴ والحال وزحل يدلّ على الغلاء لا سيّما إذا⁶⁵ كان قويا جيد الحال فالقوة⁶⁶ التي من الصعود والكون في الأوتاد يدلّ على العزّ والغلاء والكون في الحظوظ والقبول يدلّ على الطلب والنفاق⁶⁷

[9] المستولون⁶⁸ على أوتاد طالع السنة أو طالع فصول السنة إذا كانت قوية وهي إن تكون⁶⁹ صاعدة في أفلاكها وفي الأوتاد وفي حظوظها عزّ وغلاء ما يدلّ عليه⁷⁰ ذلك الكوكب فإن كان مع قوّته سريع السير⁷¹ تناهي في غلاته وإن كان بطيء السير ثبت السعر على حاله⁷² وإن كان ناقص السير نقص السعر

⁵⁰ B add. في

⁵¹ B وإن

⁵² B و

⁵³ BJ add. مقبول في موضعه

⁵⁴ B لم ... طلب F puts طلب إذا كان instead of طلب وإن لم يكن J ; يطلب وإن لم يكن

after في موضعه

⁵⁵ J om. في موضعه V om. ; إذا كان ... موضعه

⁵⁶ B om. وإن لم يكن مقبولا

⁵⁷ BFJV hapl. om. from here to the next السعر

⁵⁸ FJV منهما

⁵⁹ F om. في جملة

⁶⁰ J في جملة الأسعار instead of صاحب جملة في الأشعار

⁶¹ V om. في جملة الأسعار إن

⁶² BJ إن

⁶³ F ضعيفا

⁶⁴ J om. القوة و

⁶⁵ B إن

⁶⁶ V والقوة

⁶⁷ V النفاق والطلب

⁶⁸ B المستولون instead of الكوكب المستولية V : المستولى

⁶⁹ B om. وهي إن تكون

⁷⁰ V repeats يدلّ عليه

⁷¹ B om. سريع السير

⁷² B حاله

when it is applying to a planet. Such conditions of it (the Moon) indicate the rise of price. If it is in the seventh or fourth place or is applying to a planet in these two, then it does not increase price but <it increases> demand, when it is recieved in its place. If it is not received, there is no demand; if it (Moon) is in the ninth and third place and it is received, then price decreases and trade increases: if there is no reception then price increases and trade becomes dull. In general there are demand and trade by reception, and high price and expensiveness by non-reception of the place. If the opposite is the case with each one of them, then the price is opposite.

[8] Concerning generality of prices: Jupiter indicates cheapness, especially when it is weak in power and condition. Saturn indicate high price, especially when it is very powerful in condition and the power is from its ascending. Its position in the cardines indicates high rise and expensiveness. Its position in the shares and reception indicates demand and trade.

[9] When the <planets> mastering the cardines, in the horoscope of the year or in the horoscope of <one of> the seasons of the year, are powerful, namely, if they are ascending in their orbs, in the cardines, and in their shares, there are high price and expensiveness of what the planet indicates. If, with its power, it is swift in motion, it puts an end to the expensiveness. If it is slow in motion, the price is fixed in its <normal> state. If motion is decreasing, the price decreases.

الباب التاسع في الكسوفات

[1] المطلوب من¹ الكسوفات سبعة أشياء وهي² في أي البلدان يؤثر³ بـ⁴ وكم مقدار زمان تأثيره⁵ ومتى الوقت في معظم تأثيره⁶ وأي كوكب يدبر⁷ أمر الكسوف⁸ وفي أي جنس من الأجناس يدبر⁹ والتأثير من أي جنس يكون¹⁰ ز¹¹ والزيادة والنقصان الجزئية¹² في الأحداث

[2] أما البلدان فإن الكسوف يؤثر في البلدان التي طالعها برج الكسوف أو مثلثات ذلك البرج وهذا شيء لا يكاد يعلم ولا يوقف عليه لأن طوابع بناء المدن¹³ غير معلومة لنا

[3] فإذا أحدث كسوف نظرنا إلى برج الكسوف من أي¹⁴ مثلثة هو وتلك المثلثة لأي ربع هي¹⁵ من أرباع الأرض والبلدان المعروفة في ذلك الربع ما هي فنقول¹⁶ الحادث في ذلك الربع¹⁷ على طريق الجمل¹⁸ ثم نفصلها بأن ننظر¹⁹ إلى البلدان المنسوبة إلى برج برج قديما في الكتب فنقول إن الحادث في إحدى²⁰ تلك البلدان وكذلك نقول في البرج²¹ الذي هو طالع الكسوف

[4] فالمثلثة النارية وهي الحمل والأسد والقوس للربع الذي بين المشرق والشمال وبلدانها أرض الترك ونواحي الشاش وفرغانة وخوارزم وبحر طبرستان وبلاد بلغار والخرز والروس وأرمينية

[5] والمثلثة الأرضية وهي الثور والسنبلة والجدي للربع²² الذي بين المشرق والجنوب وبلدانها بلاد الهند وجزائر البحار على اختلاف أسمائها وأرض السند ومكران وقطعة من خراسان²³ وفارس وكرمان وأرض هجر وعمان وبادية²⁴ العرب²⁵ وأرض اليمن

¹ في

²BFJV om. numbering.

³G om.

⁴FJV من الأجناس يدبر and om. B يؤثر

⁵BJV الجزئية

⁶V البلدان; here begins F's missing fol.33b.

⁷B أية

⁸BJV om.

⁹B add. إن

¹⁰J add. ما هي

¹¹B الأجمال

¹²J ينظر: أن ننظر

¹³J om.

¹⁴V بروج

¹⁵V الربع passim.

¹⁶B خوارسان

¹⁷B وبلاد

¹⁸V عرب

Chapter Nine: On Eclipses

[1] What are searched for concerning eclipses are of seven kinds. They are (1) in which countries <the eclipse> happens, (2) what is the amount of the time of its influence, (3) when is the time concerning the maximum of its influence, (4) which planet is in charge of the eclipse, (5) of which genres it takes in charge, (6) from which genres does the influence occur, and (7) the partial increase and decrease of the happenings.

[2] As for the countries, an eclipse gives influence to the countries for which the ascendant is the sign of the eclipse or the triplicity of this sign. This is the thing which one can hardly understand and comprehend, because the ascendant of the founding of cities is not known to us.

[3] When an eclipse occurs, we see, concerning the sign of the eclipse, to which triplicity it belongs, to which quarter of the earth this triplicity belongs, and which countries are known in this quarter. Then we tell the influence in this quarter in a general way, then we classify them according to what we see about the countries which are related to such and such sign since ancient times in books, and then we tell the influence in one of these countries. Likewise we tell about the sign which is the ascendant of the eclipse.

[4] The fiery triplicity, which is Aries, Leo, and Sagittarius¹ belongs to the quarter which is between east and north. Its countries are: the land of the Turks and two sides of Šāš, Farḡāna, and Khwārizm, and the river of Ṭabaristān, the country of Bulḡār, Khazar, Rūs, and Armenia.²

[5] The earthy triplicity which is Taurus, Virgo, and Capricorn belongs to the quarter which is between east and south. Its countries are: the country of the Indians, Islands of the sea with all their different names, the land of Sind, Makrān, a part of Khurāsān, Fārs, Karmān, the land of Hajar, Umān, the Desert of the Arabs, and the land of Yemen.

¹The division of the world and enumeration of cities and countries is the topic of *Tetrabiblos* II.3.

²For geographical names and locations, see Kennedy & Kennedy [1987].

- [6] والمثلثة الهوائية وهي الجوزاء والميزان والدلو للربع الذي بين الجنوب والمغرب¹⁹ وبلدانها بلاد²⁰ سودان الحذم وسواحل البحر المغربي والبحر²¹ الشامي والبلاد التي تسمى باسم عامّ المغرب
- [7] والمثلثة المائية وهي السرطان والعقرب والحوت للربع الذي بين المغرب²² والشمال وبلدانها بلاد أندلس²³ والجلالقة وبرجان وأفرنجة ورومية الكبرى والصقابة
- [8] وأما²⁴ البلدان المنسوبة إلى برج برج فإن الحمل له بابل وهو العراق وأذربيجان وناحية أرمينية وفارس وفلسطين والرمل وبلاد الشام
- [9] والثور له همدان والماهان ماه²⁵ الكوفة وماه البصرة وأكراد وناحية السواد إلى الجبال ونواحي طرسوس
- [10] والجوزاء له الديلم وجيلان ومصر وبرقة وجرجان وموقان²⁶ والقيراوان²⁷ وإسكندرية²⁸
- [11] والسرطان له أرمينية الصغرى والصين إلى شرقي خراسان²⁹ ومرو ومرو والرو³⁰ وبلاد إفريقية والروم الخارجة³¹ إلى خلف دروب الثغور
- [12] والأسد له السفد³² وطوس وما يليها ونيسابور ومن بلاد الترك³³ إلى نهاية العمران وأرض³⁴ أنطاكية وأرمينية الداخلة وباب الأبواب
- [13] والسنبلة لها³⁵ الجزائر وبلاد الموصل وبلاد³⁶ الجرامقة وبلاد الساحل التي هي ثغور المصيصة
- [14] والميزان له كرمان وسجستان وكابل وطخارستان وبلخ وهراة وناحية المغرب
- G22a وصعيد مصر إلى تخوم³⁷ الحبشة

¹⁹B والغرب V; المغرب والجنوب B

²⁰V وبلدانها بلاد instead of

²¹V المغربي والبحر instead of

²²J المشرق

²³B الأندرس

²⁴J فأما

²⁵J وماهان وماه V; والماهين ونها وندماه J

²⁶B add. وقزوين

²⁷BV وقيراوان G; وقيراوان

²⁸BJV والاسكندرية B add. وزنجان

²⁹B خورستان

³⁰J والروذ

³¹V الخارج

³²V سفد

³³V ترك

³⁴G وأرضي

³⁵V له V add. أرض

³⁶J om.

³⁷B add. بلاد

[6] The airy triplicity which is Gemini, Libra, and Aquarius belongs to the quarter which is between south and west. Its countries are: the land of Sūdān, Ḥadham, the seashores of the western sea, the Syrian sea, the country which is called by dialects of the west.

[7] The watery triplicity which is Cancer, Scorpio, and Pisces belongs to the quarter which is between west and north. Its countries are: the country of Andalus, Jalāliqa, Burjān, Afrinja, the greater Byzantine, and Ṣaqālība.

[8] As for the countries which are related to each sign: to Aries belong Babylonia which is Irāq, Adharbayjān, the boundary of Armenia, Persia, Palestine, Ramla, and the cities of Syria.

[9] To Taurus belong Hamadān, Māhān, water of Kūfa, water of Baṣra, the <country of> Kurds, the boundary of Suwād to the mountains and the two sides of Ṭarsūs.

[10] To Gemini belong Daylam, Jīlān,³ Egypt, Barqa, Jurjān, Mūqān, Qayrāwān, and Alexandria.

[11] To Cancer belong Lesser Armenia, China to the east of Khurāsān, Marw, Marr, al-Rūd, the cities of Ifrīqiya, Byzantium which extends to the frontier(?) of the path of the harbours.

[12] To Leo belong Sogdiana, Ṭūs and what follows it, Nīsābūr, and from the cities of the Turks to the end of the inhabited world, the land of Antiokia and the inner Armenia, and Bāb al-Abwāb.

[13] To Virgo belong Jazā'ira, the cities of Mawṣūl, the cities of Jarāmaqa, the cities of the sea coast which are the harbors of Maṣīṣ.

[14] To Libra belong Kirmān, Sijistān, Kābul, Ṭukhāristān, Balkh, Herat, the region of the west, and Upper Egypt toward the boundaries of Ethiopia.

³This is Kūṣyār's birth place.

[15] ³⁸ والعقرب له أرض الحجاز وبادية ³⁹ العرب ونواحيها إلى اليمن وإلى طنجة وقومس والري
 [16] والقوس له بغداد ⁴⁰ وإصفهان ⁴¹ والصيمرة ⁴² وبلاد الروس والجبالية ⁴³ وبلاد اليمن
 [17] والجدي له بلاد الهند ⁴⁴ والحبشة ومكران والسند إلى المولتان ⁴⁵ وإلى عمان والأهواز وبلاد الكابل ⁴⁶ والغور
 [18] والدلو له الكوفة والسواد ونواحيها وبلاد القبط وغربي أرض السند وظهر الحجاز إلى نجد
 [19] والحوت له رمال البربر وبلاد الحزر والسرير إلى نواحي بلاد حزر ⁴⁷
 [20] فهذه هي ⁴⁸ البلدان المنسوبة إلى هذه البروج ⁴⁹ مدونة في الكتب فمن تقدمته التجربة في بلد من البلدان ومشاكلته لبرج من البروج كان الحكم ⁵⁰ على ذلك البلد من ذلك البرج ⁵¹ أوثق
 [21] وأما مقدار الزمان في تأثير الكسوف فإننا ننظر إلى ساعات ⁵² الكسوف من ابتداءه إلى انجلائه ونأخذ لكل ساعة مستوية من كسوف الشمس سنة ومن كسوف القمر شهرا فما كان فهو مقدار زمان تأثير الكسوف
 [22] وأما الوقت في معظم التأثير فإن نسبة الساعات الزمانية التي ⁵³ بين موضع الكسوف وطالع الكسوف إلى اثنا عشر كنسبته ما بين بدء الكسوف وبين ⁵⁴ معظم تأثيره إلى مقدار الزمان كله فنضرب الساعات الزمانية التي بين موضع الكسوف وطالع الكسوف ⁵⁵ في كل الزمان الذي للكسوف ونقسمه على اثني عشر فما حصل فهو الزمان من ابتداء الكسوف إلى معظم ما يكون فيه

³⁸ G om. و

³⁹ F's missing folio 34a ends.

⁴⁰ B add. وبلاد الروس

⁴¹ V وصفاهان

⁴² B الضمير V; الصيرة J; الضميرة B

⁴³ G الجبالكة

⁴⁴ B om.

⁴⁵ B المثلثان F; الموليان

⁴⁶ G كابل

⁴⁷ F طبرستان وناحيته الشمال من أرض V for Pisces: بلاد حزر instead of ملاز حرد

See note to translation. جرجان ورمال البربر وبلاد الحزر والسرير إلى نواحي بلاد حزر

⁴⁸ B om.

⁴⁹ J هذه البروج instead of برج V; برج J

⁵⁰ F بلحكم J; كانت بلحكم

⁵¹ J om. من ذلك البرج

⁵² J hapl. om. from here to the next ساعات

⁵³ FV om.

⁵⁴ J بدء الكسوف وبين instead of الكسوف

⁵⁵ J om.

[15] To Scorpio belong the land of al-Hijāz, the Desert of the Arabs, its border to Yemen and to Tanja, Qūmis, and Rayy.⁴

[16] To Sagittarius belong Baghdād, Iṣfahān, Ṣaymara, cities of al-Rūs, al-Jibāliya, and the cities of Yemen.

[17] To Capricorn belong the cities of India, Ethiopia, Makrān, Sind toward Mūltān and toward Omān, al-Ahwāz, and the cities of Kābul and Ghūr.

[18] To Aquarius belong Kūfa, al-Sawād and its regions, the cities of the Copts, the west of the land of Sind, and the back of al-Hijāz toward Najd.

[19] To Pisces belong the desert of Barbar, the cities of al-Ḥazar, al-Sarīr toward the sides of the cities of al-Ḥazar.

[20] These countries which are related to those signs are recorded in books, and from the previous experiences concerning one of the countries and its similarity to one of the signs, the judgement on the country from the sign becomes more reliable.

[21] The amount of the time concerning the influence of an eclipse: we look at the hours of <the duration of> the eclipse from the beginning to the clearance, and we take one year from each equinoctial hour of a solar eclipse, and one month from that of a lunar eclipse.⁵ What results is the amount of the time of the influence of the eclipse.

[22] The time concerning the maximum of its influence: the relation of the seasonal hours which are between the place of the eclipse and the ascendant of the eclipse to twelve is the relation of <the hours> which are between the beginning of the eclipse and the maximum of its influence to the amount of the time of its totality. Thus we multiply the seasonal hours which are between the eclipse and the ascendant of the eclipse by the time of the totality of the eclipse and we divide the <product> by twelve. What results is the time from the beginning of the eclipse to the maximum <influence> in it.⁶

⁴The wording of this section is very close to that of Abū Ma'sar's *Abbreviation* 1.56.

⁵The same idea is found in *Tetrabiblos* II.6.

⁶The idea is that the time interval (T), in seasonal hours, from the place of an eclipse to that of the ascendant is proportional to the time interval (t) from the beginning to the maximum of its influence. Let the duration of the total eclipse be D , then the relation given is:

$$T : 12 = t : D$$

Therefore, $t = \frac{T \times D}{12}$.

According to the Chinese translation, the time obtained is converted into the numbers of years and months in the case of solar eclipses and lunar eclipses respectively.

[23] وأما الكواكب المدبرة⁵⁶ للكسوف فهو المستولى على برج الكسوف وطالع⁵⁷ الكسوف فإن تساوت فيه كواكب فالمقدم صاحب برج الكسوفات⁵⁸ فأبى كوكب كان⁵⁹ له ذلك فهو المدبر للكسوف⁶⁰ ويشاركه الكوكب الذي يقرب منه في الشهادة والكوكب الثابت الذي في درجة الكسوف⁶¹ أو في درجة طالع الكسوف أو في درجة وسط سماء⁶² طالع⁶³ الكسوف والمشرق القريب التشريق والمقيم من الكواكب العلوية فعلي هذا⁶⁴ النظر ربما كان⁶⁵ المدبر للكسوف⁶⁶ كوكبا واحدا وربما كان كوكبين⁶⁷ وثلاثة من المتحركة⁶⁸ والثابتة

[24] وأما الجنس الذي يؤثر فيه الكسوف فيستدل⁶⁹ بالبرج الذي فيه مدبر الكسوف وصورة ذلك البرج وللصورة⁷⁰ التي فيها⁷¹ الكواكب الثابتة من الصور الثمانية والأربعين [25] فإن كان من⁷² البرج الذي⁷³ على صورة الناس كالجوزاء والسنبلة والميزان والدلو والنصف الأول من القوس كان ذلك⁷⁴ الحادث في الإنسان وإن كان في البروج التي هي ذوات الأطلاق كالحمل والثور والجدي كان الحادث في البقر والغنم⁷⁵ وإن كان في بروج نبات⁷⁶ المائية⁷⁷ كالسرطان والحوت⁷⁸ كان ذلك⁷⁹ الحادث في حيوان الماء⁸⁰ وعلى هذا إن كان في بروج الهوام كالعقرب أو كان في بروج السباع البرية⁸¹ كالأسد⁸² وكذلك ننظر⁸³

⁵⁶BJ الكواكب المدبرة instead of الكوكب المدبر

⁵⁷V أو طالع

⁵⁸BJ الكسوف

⁵⁹F om.

⁶⁰G الكسوف

⁶¹J hapl. om. from here to الكسوف before المشرق

⁶²BV من وسط السماء ; B add.

⁶³F om.

⁶⁴V هاذ

⁶⁵J يكون

⁶⁶V الكسوف

⁶⁷V كوكبان

⁶⁸J المتحركة

⁶⁹B add. عليه

⁷⁰BJ صورة V ; والصورة

⁷¹V فيه

⁷²BFJV في

⁷³FJ التي V : البروج التي

⁷⁴B om.

⁷⁵FJV والغنم والبقر

⁷⁶B om.

⁷⁷FV الماء

⁷⁸B om. كالسرطان والحوت

⁷⁹BFJV om.

⁸⁰B add. ونبات

⁸¹FJ البري

⁸²B add. كان الحادث في ذلك الجنس

⁸³B تنظر

[23] The stars which are the rulers of an eclipse: it is the planet mastering over the sign of the eclipse and the ascendant of the eclipse. If several planets are in the same place, the one which is ahead is the lord of the eclipse. Whichever is the planet which has this (lordship) is the ruler of the eclipse. The planet which is near to it in witness helps it. The fixed star which is in the degree of the eclipse or in the degree of the ascendant of the eclipse or in the degree of the midheaven of the horoscope of the eclipse, and the superior planet which is easterly, nearly easterly, and progressive are effective of this aspect. Sometimes <only> one planet becomes the ruler of the eclipse, and sometimes two planets or three planets, and fixed stars.

[24] The genre to which eclipses give influence: one seeks information <1> in the sign in which the ruler of the eclipse is, <2> the figure of this sign, and <3> the figure in which the fixed stars are, from among the figures of the forty eight stars.⁷

[25] If <the eclipse is> in the sign which has the figure of a human being, like Gemini, Virgo, Libra, Aquarius, and the first half of Sagittarius, then the influence is in human beings. If it is in the signs which have cloven hoofs like Aries, Taurus, and Capricorn, the influence is in cattle and sheep (small animal). If it is in the signs of watery creatures like Cancer and Pisces, the influence is in the creatures of water. The same is the case, if it is in the signs of reptiles like Scorpio, or in the signs of wild beasts like Leo. Likewise we see

⁷I.e., forty eight constellations of Ptolemy's star catalogue. The following discussion is similar to that in *Tetrabiblos* II.7.

للكواكب⁸⁴ الثابتة من الصور الثمانية والأربعين

[26] وأيضاً إن كان المدبر⁸⁵ في البروج الأرضية كان الحادث⁸⁶ فيما ينبت من الأرض وإن كان في البروج الهوائية كان الحادث في الإنسان وفي⁸⁷ البقر والغنم أيضاً وإن كان في البرج⁸⁸ المائية كان الحادث في نبات الماء وهيوانه وإن⁸⁹ كان في البروج النارية كان الحادث في الذهب والفضة ومعادن الجواهر⁹⁰

[27] وأيضاً إن كان المدبر في الصورة التي تدلّ على الحيوان البري وعرضه في الشمال دلّ على الزلازل والخسوفات فإن كان في هذه الصورة وعرضه⁹¹ في الجنوب دلّ على الأمطار والسيول العظيمة

[28] وأيضاً إن كان المدبر في برج الاعتدال الربيعي كان الحادث⁹² في ثمار الشجر عند خروجها والنبات والأشياء التي تدرك وتنتفع⁹³ بها في الفصل⁹⁴ الربيعي وإن كان في الانقلاب الصيفي كان في الثمار والنبات والأشياء التي تدرك وتنتفع بها في الفصل الصيفي⁹⁵ وإن كان في⁹⁶ الاعتدال الحريفي كان في الثمار والنبات⁹⁷ والأشياء التي تدرك وتنتفع بها في الفصل الحريفي وإن كان في المنقلب الشتوي كان في الثمار والنبات والأشياء التي تدرك وتنتفع بها في الفصل الشتوي⁹⁸

[29] وأيضاً فإن⁹⁹ كان المدبر في برج الاعتدالين كان ما يحدث في المياكل وبيوت العبادات وإن كان في برج¹⁰⁰ الانقلابين كان ما يحدث¹⁰¹ تغيير¹⁰² العبادات

⁸⁴JV الكوكب

⁸⁵BJ add. للكسوف

⁸⁶J hapl. om. from here to the next الحادث

⁸⁷V om. في

⁸⁸V البروج

⁸⁹G om. إن

⁹⁰B ومعادن الجواهر instead of وجواهر المعدنية

⁹¹J om. و

⁹²B كان الحادث instead of دل على إن الحادث يكون

⁹³BJV وينتفع passim.

⁹⁴V om. from here to الصيفي

⁹⁵J الفصل الصيفي instead of الحريفي

⁹⁶B add. وإن كان في ; J hapl. om. from here to the next

⁹⁷B om. الثمار والنبات

⁹⁸J om. والأشياء التي تدرك وتنتفع بها في الفصل الشتوي

⁹⁹BV om. ف passim.

¹⁰⁰JV برج

¹⁰¹B add. من

¹⁰²J بغير

for the fixed stars from the forty eight figures.

[26] Again if the ruler is in the earthy signs the influence is in whatever grows from the earth. If it is in the airy signs the influence is in human beings, cattle, and small cattle. Again if <the ruler is> in the watery sign the influence is in the plants of water and its animals. If it is in the fiery signs the influence is in gold, silver, and the mine of precious stones.

[27] Again if the ruler is in the figure which indicates desert animals and its latitude is in the north, it indicates earthquake and darkness. Again if <the ruler is> in this figure and its latitude is in the south, it indicates water and big flood.

[28] Again if the ruler is in the sign of the vernal equinox the influence is in the fruits of trees at their sprouting and the plants and the things which you get and use in the spring season. If it is in the summer solstice <the influence is> in the fruits and plants and the things which you get and use in the summer season. If it is in the autumnal equinox <the influence is> in the fruits and plants and the things which you get and use in the autumn season. If it is in the winter solstice <the influence is> in the fruits and plants and the things which you get and use in the winter season.

[29] Again if the ruler is in the two equinoctial signs what happens are in temples and the houses of worship. If it is in the two solstitial signs what happens are the change of worship.

[30] وأيضا فإن¹⁰³ كان المدبر في البروج الثابتة دلّ على الأحداث التي تكون في الأبنية وإن كان في البروج ذوات الجسدين دلّ على الأحداث¹⁰⁴ في الناس وفي الملوك وإن كان في البروج المنقلبة دلّ على الأحداث في الرعية والصغار من الناس

[31] وأيضا إن¹⁰⁵ كان المدبر في كسوف الشمس مغربا وفي خسوف¹⁰⁶ القمر مشرقا فإن الأحداث تكون¹⁰⁷ في الأقل من¹⁰⁸ ذلك الجنس وإن كانت¹⁰⁹ على المقابلة كان¹¹⁰ في حدود النصف من ذلك الجنس فإن¹¹¹ كان في كسوف الشمس مشرقا وفي خسوف¹¹² القمر مغربا كان الأحداث في الأكثر¹¹³ من ذلك الجنس¹¹⁴

[32] فأما جنس ذلك¹¹⁵ الحادث فمن¹¹⁶ طبيعة الكوكب المدبر وهو الفاعل للحادث فإن كانت كواكب¹¹⁷ مدبرة فمن امتزاج بعضها ببعض¹¹⁸ ونذكر طبائع الكواكب على إنها¹¹⁹ منفردة في فعلها¹²⁰ حتى إذا امتزجت طبائع بعضها ببعض ميزناها بالفكر¹²¹ الصافي والخطر¹²² الذي

[33] زحل¹²³ إذا كان¹²⁴ صاحب التدبير وحده فهو بالجملة¹²⁵ سبب فساد يكون عن برد وأما فعلة الجزئي¹²⁶ الخاص¹²⁷ فإنه إذا كان الحادث في الناس فهو الأمراض الطويلة

¹⁰³ J om. ف

دل على الأحداث instead of كان دليل على الأحداث التي تكون¹⁰⁴ B

فإن¹⁰⁵ B

كسوف¹⁰⁶ F

يكون¹⁰⁷ V

في الأقل من instead of في الأول من V : في أقل ذلك¹⁰⁸ BJ om. ; F

كان¹⁰⁹ B

ذلك¹¹⁰ B add.

وإن¹¹¹ BJV

كسوف¹¹² F

الأول¹¹³ J

جنس الحادث¹¹⁴ J add.

فأما جنس ذلك instead of والجنس¹¹⁵ B om. ; V

فمن instead of فهو على¹¹⁶ V

فإن كانت كواكب instead of وإن كوكب¹¹⁷ V

امتزجت طبائع¹¹⁸ V om. from here to

على إنها¹¹⁹ J om.

في فعلها instead of بالفعل¹²⁰ J

بالذكر¹²¹ J

but الجيد¹²² B in margin.

فزحل¹²³ BF

زحل إذا كان instead of إذا كان زحل¹²⁴ V

بالجملة instead of في الجملة¹²⁵ J

الجزئي¹²⁶ G

الجزئي الخاص instead of الجزئي الخاص به¹²⁷ B

[30] Again if the ruler is in the fixed signs it indicates the influences which happen in buildings. If it is in the bicorporal signs it indicates the influences in people and kings. If it is in tropical signs it indicates the influences in citizens and inferior people.

[31] Again if the ruler is westerly at a solar eclipse and easterly at a lunar eclipse, then the influences are less than this genre. If it is at a full moon <the influence is> within the limit of this genre. If <the ruler is> easterly at a solar eclipse and westerly in a lunar eclipse the influences are more than this genre.

[32] The genre of this influence: whatever is the nature of the ruling planet is effective in the influence. If there are several ruling planets, <the influence is> whatever is the mixture of each other. We have recorded <in what follows> the natures of the planets individually concerning their effect, so that we can judge the mixture of the natures of each other by clear insight and intelligent view.⁸

[33] When Saturn is the lord of the rulership and its term, then in general it is the cause of corruption which happens from coldness. Concerning its partial and particular effects; if the influence is in human beings, it is chronic diseases,

⁸The following classification according to the ruling planet is found in *Tetrabiblos* II.8.

والسلّ والذوبان والتأذي بالرطوبات¹²⁸ وانصباب الفضول¹²⁹ وحميات الربيع والحيرة وضيق القلب والخوف والحرن وإذا¹³⁰ كان في البهائم المستعملة كانت الآفة فيها قتلها وعلا¹³¹ تعرض فيها وأما حال الهواء فيعرض فيها¹³² برد شديد مع جمد وضباب ورداه¹³³ الهواء حتى¹³⁴ يحدث الوباء من¹³⁵ تكاثف الغيوم والظلمة والرنق¹³⁶ والدمق ويتولد¹³⁷ من ذلك هوأم¹³⁸ مودية¹³⁹ وأما في الأنهار فزيادة مفرطة ورداة المياه وفي البحار غرق السفن وصعوبة ركوب¹⁴⁰ الماء وأما في النبات¹⁴¹ التي تنبت من الأرض¹⁴² فيعرض فيها عوز وقلة وفساد لا سيما في التي¹⁴³ يحتاج إليها الناس ضرورة ووجه الفساد الدود والجراد وكثرة الأمطار وشدة البرد

[34] المشتري إذا كان صاحب التدبير وحدّه فهو¹⁴⁴ بالجملة ينمى الأشياء وفعلة الخاص¹⁴⁵ أما¹⁴⁶ في الناس فرفعة المراتب وحسن الأحوال¹⁴⁷ والأمن وأما في الأسعار فالخصب وكثرة¹⁴⁸ الأشياء التي يغتدي بها الناس مع سهولة وجودها ورخصها وأما في الدواب المستعملة فالكثرة والزيادة والانتفاع بها وأما في الهواء فالاعتدال والصحة والطيب¹⁴⁹ وأما في المياه والأنهار¹⁵⁰ فالاعتدال

[35] المريح إذا كان صاحب التدبير وحدّه فهو بالجملة سبب الفساد الذي يكون عن¹⁵¹

¹²⁸ J برطوبات

¹²⁹ B الفضولات

¹³⁰ B وإن

¹³¹ FJ الآفة فيها قتلها وعلا instead of علل B ; وعلل

¹³² BFJV فيه

¹³³ J وردأت

¹³⁴ B add. إنه

¹³⁵ V om.

¹³⁶ BJV om. والرنق

¹³⁷ B فيتولد

¹³⁸ J add. كثيرة

¹³⁹ J's variants from here to the end of [35] are too many to be noted here.

¹⁴⁰ B add. البحر و

¹⁴¹ BFV الثمار

¹⁴² B add. بكتيتها وأجناسها والنواعها

¹⁴³ B في التي instead of الذي

¹⁴⁴ J فإنه

¹⁴⁵ V add. به

¹⁴⁶ J وفعلة الخاص أما instead of وأما أفعالها الخاصة فإنه إذا كان الحادث

¹⁴⁷ FGV السلامة ; J add. الحال

¹⁴⁸ J وأما في الأسعاد فالخصب وكثرة ويمن instead of

¹⁴⁹ F والطيبة

¹⁵⁰ V الأنهار والمياه

¹⁵¹ V من

tuberculosis, dissolution and injury by moistures, diarrhoeia, quartan fevers, confusion, depression of heart, fear, stubbornness. When it is in useful animals the harms in them destroy them and diseases occur to them. Concerning the condition of the air, severe coldness occurs in it with ice and fog. The air brings about it (coldness) until it brings out epidemics from the consolidation of mist, darkness, cloud, and snow-storm, and killing reptiles are born by them. Concerning rivers: excessive increase and ruin of water, ship wreck in the sea, and difficulty of going by water. Concerning plants which are grown from the earth: poverty, shortage, and corruption spread over them and especially over those things which people need as necessities. Worms and locusts spread, and there are much rains and severe coldness.

[34] When Jupiter is the lord of rulership and its term, then in general it makes things flourish. Particular effects — concerning people: the rise of rank, good conditions, and health; concerning prices: fertility and abundance of things which people obtain easily, their excellence, their cheapness; concerning useful animals: abundance, increase, and utilization of them; concerning air: moderateness, soundness, and goodness; concerning water and rivers: moderateness.

[35] When Mars is the lord of rulership and its term, then in general it is the cause of the corruption which is caused by

الليس وأفعاله الجزئية أما في الناس فيحدث فيهم حروب وقتن وموت¹⁵² فجأة¹⁵³ وأمراض تكون مع¹⁵⁴ حميات الغب وقذف الدم وكثرة اللصوص وقطع¹⁵⁵ الطريق وأما في الهواء فالحر الشديد والرياح الحارة وقلة الأمطار وظهور النيران والشهب وأما في البحر فغرق السفن بفترة¹⁵⁶ عن رياح مختلفة مضطربة وأما في المياه فنقصانها وجفاف العيون وأما في الثمار والنبات فعلة وفاسد عن الحر أو رياح حارة مفسدة

[36] الزهرة إذا كانت صاحبة التدبير وحدها فهي بالجملة¹⁵⁷ تحدث شيئا بها يحدث المشتري وفعلها الخاص¹⁵⁸ التمتع بالنساء وكثرة التزويج والأولاد وكثرة¹⁵⁹ السرور والتمتع [37] عطارد إذا كان صاحب التدبير وحده¹⁶⁰ فهو بالجملة¹⁶¹ إذا مزج كوكبا شكل طبائعه وأما فعله الخاص¹⁶² فتحريكه الأشياء¹⁶³ أكثر من سائر الكواكب وفعله في الناس الحدة¹⁶⁴ واللفظ¹⁶⁵ في الحيل¹⁶⁶ وهو صاحب قطع الطريق والسرقات وسبب الأمراض اليابسة والحميات التي تتوب في كل يوم والسعال والسل والقذف وله الكهانة والنبوة إذا وقع في الطالع أو في التاسع أو في¹⁶⁷ العاشر أو الحادي عشر وهو في¹⁶⁸ أكثر قواه الذاتية والعرضية والتاسع في هذا الباب أقوى وليس مزاجه وسرعة وحركته¹⁶⁹ يحدث في الهواء خاصة رياحا مضطربة ورعودا وبروقا وصواعق¹⁷⁰ وزلازل وفسادا¹⁷¹ في الحيوان والنبات المستعملة المحتاجة إليها

[38] أما¹⁷² الزيادة والنقصان الجزئي¹⁷³ في الأحداث فإنها¹⁷⁴ تعرف من الاجتماعات

¹⁵²G الموت

¹⁵³B الفجأة

¹⁵⁴B من

¹⁵⁵B وتناع

¹⁵⁶B بغيته ; V om.

¹⁵⁷J بالجملة instead of في الجملة

¹⁵⁸B add. بها

¹⁵⁹B والأولاد وكثرة instead of والتوالد وظهور

¹⁶⁰BJ om.

¹⁶¹B om. بالجملة

¹⁶²B add. به

¹⁶³BJ للأشياء

¹⁶⁴BF فالحدة ; J om. ; V unreadable.

¹⁶⁵J الحدة واللفظ instead of فهو حاد جدا أقوى لطيف

¹⁶⁶V في الحيل instead of في الحيل

¹⁶⁷J om.

¹⁶⁸V على

¹⁶⁹GJ om. و

¹⁷⁰B om.

¹⁷¹J وفساد

¹⁷²J add. في

¹⁷³B الجزوي ; G الجزوي

¹⁷⁴B فأنما

dryness. Particular effects — concerning human beings: wars, riots, sudden death, and diseases which occur with fever every other day, discharge of blood, and the abundance of robbers and highway robbery; concerning air: violent heat and hot winds, few rains, appearance of conflagrations and meteors; concerning sea: sudden sinking of ships by various and disordered winds; concerning water: its shortage, and dryness of eyes; concerning fruits and plants: their disease and rotteness by heat or hot and foul winds.

[36] When Venus is the lord of rulership and its term, then in general it causes things similar to those which Jupiter causes. Its particular effects are: discharge <of menstruation> in women, abundance of marrying and children, much joy and amusement.

[37] When Mercury is the lord of rulership and its term, then in general when it mixes with a planet it takes over the planets' effects. Concerning the particular effects: the movement of many things by the motion of the planets. Its effects in people are keenness and subtle tricks, and it is the lord of highway robbery and stealing, the cause of drying and feverish diseases which take place every day, cough, tuberculosis, and exhaustion. To it belong divination and prophecy. When it falls in the ascendant or in the ninth or tenth or eleventh place, it concerns the abundance of its essential and accidental powers. The ninth in this group is the strongest. Because of the dryness of its nature and the swiftness of its motion there occur, especially in the air, violent winds, thunders, lightnings, thunderbolts, earthquakes, corruption in useful animals and plants which are needed.

[38] Concerning the partial increase and decrease in the happenings: they are known from the new moons

G24b

والاستقبالات الواقعة في برج الكسوف أو طالع الكسوف أو موضع الكوكب المدبر¹⁷⁵ للكسوف¹⁷⁶ إذا سعدت بالكوكب المدبر إن كان سعدا أو نحست به إن كان نحسا ومن تشريق الكوكب المدبر أو¹⁷⁷ تغريبه أو وقوفه أو مقابله وكان¹⁷⁸ ناظرا¹⁷⁹ إلى طالع الاجتماع أو الاستقبال وطالع الاجتماع والاستقبال¹⁸⁰ واقع على ما قلنا أو ناظر¹⁸¹ إلى برج الكسوف أو طالع الكسوف فإنه إذا كان مشرقا¹⁸² أو واقفا كان عنه¹⁸³ زيادة¹⁸⁴ الأحداث وإذا¹⁸⁵ كان راجعا أو مقابلا للشمس كان عنه النقصان [39] وقوع الكسوف في أوتاد¹⁸⁶ طالع المولود¹⁸⁷ يضرّ بذلك الود كمن¹⁸⁸ يقع في طالع فيضرّ بيده أو في العاشر¹⁸⁹ فيضرّ بأحوال سلطانه وعلى هذا¹⁹⁰ الودان الباقيان¹⁹¹ [40] وقوع الكسوف في موضع النيرين من مولد أو في مقابلهما¹⁹² يضرّ بالمولود وأما¹⁹³ كسوف الشمس ففي موضع الشمس¹⁹⁴ من المولد أو¹⁹⁵ مقابله وأما كسوف القمر ففي¹⁹⁶ موضع القمر من المولد أو¹⁹⁷ مقابله¹⁹⁸

¹⁷⁵ V الكواكب المدبرة

¹⁷⁶ V om. from here to أو نحست به إن

¹⁷⁷ B و

¹⁷⁸ V أو كان

¹⁷⁹ FJ وكانت ناظرة

¹⁸⁰ J om. وطالع الاجتماع والاستقبال

¹⁸¹ J أو ناظر instead of إذا كانت أرباب حظوظه ناظر

¹⁸² B شرقيا

¹⁸³ J om. كانت أنه V ; عنه

¹⁸⁴ J add. في

¹⁸⁵ V وإن

¹⁸⁶ V add. من

¹⁸⁷ J مولد

¹⁸⁸ J فمن

¹⁸⁹ J add. طالع

¹⁹⁰ J add. في

¹⁹¹ F فيما يخص بهما V add. ; الودتين الباقيين

¹⁹² J مقابله

¹⁹³ F om. و

¹⁹⁴ J om. ففي موضع الشمس

¹⁹⁵ B add. في

¹⁹⁶ F om. ف

¹⁹⁷ B add. في

¹⁹⁸ V add. اتصل أحد النيرين بعد انصرافه من الكسوف بكوكب يضرّ بذلك الكوكب

وربما عليه ذلك الكوكب من أحباس الناس

and full moons situated in the sign of the eclipse, or from the ascendant of the eclipse, or from the position of the planet ruling the eclipse. When they are friendly to the ruling planet if this is benefic, or when they are hostile to it if this is malefic <there is an decrease of the effects>⁹. <They are known> from the easterliness of the ruling planet or its westernliness or its station or its opposition, while <the planet> is aspecting the ascendant of a new moon or full moon, and the ascendant of a new moon or full moon is situated in whichever places we have mentioned, or <the planet> is aspecting the sign of the eclipse or the ascendant of the eclipse. When it is easterly or stationary there is an increase of occurrences from it; when it is in retrogradation or in opposition to the Sun there is a decrease from it.

[39] The occurrence of an eclipse in the cardines of the horoscope of the native gives harm according to the cardine; for example, the eclipse which occurs in the ascendant gives harm to his body, or one in the tenth place gives harm to the condition of his master. This is the case with the other two cardines.

[40] The occurrence of an eclipse in the place of the two luminaries at the birth or in their opposite place gives harm to the native. Concerning the eclipse of the Sun, it is in the place of the Sun at the birth or at its opposite place. Concerning the eclipse of the Moon, it is in the place of the Moon at the birth or at its opposite place.

⁹Supplied by the Chinese translation.

الباب العاشر في دلالات¹ علامات² الجو

[1] ذوات الأذنان والبوقات والجواء³ طبائعها يقوم مقام طبيعة المريخ وعطارد من الحروب⁴ والأحراق⁵ والزلازل والأعراض التي تعرض عنها ويستدل على المواضع التي يحدث فيها الأحداث بمواضعها من البروج وبالمواضع التي ينتهي هذا الأحداث إلى وسط سمائها⁶ فإذا ظهرت هذه الأشياء مشرقة كان الحادث عنها سريعا وإن⁷ كانت مغربة كان الحادث عنها بطيئا والشمس إذا طلعت أو غابت وهي⁸ لا يسترها شيء، دلّت على الصحو وإن كان⁹ دائرتها مختلفة الألوان أو مائلة إلى الحمرة النارية وكان شعاع الشمس ممتدا طويلا دلّت على رياح شديدة فإن طلعت سودا¹⁰ أو مائلة إلى الخضرة أو غابت مع سحب أو كانت¹¹ حولها هالة دلّت على هواء شات¹² ومطر¹³

[2] يتفقد موضع¹⁴ القمر قبل الاجتماع بثلاثة أيام أو قبل الاستقبال أو قبل انتصاف الضوء فإن ظهر رقيقا صافيا ولم يكن حوله شيء، دلّ على صحو فإن¹⁵ كان أحمر أو كانت¹⁶ دائرته تتحرك¹⁷ دلّ على هبوب الرياح وإن كان أسود أو أخضر¹⁸ غريطا دلّ على هواء شات¹⁹ وأمطار

[3] الكوكب²⁰ الثابتة النيرة إذا رأيناها أعظم ممّا جرت العادة به²¹ دلّ على هبوب الرياح انقضاء²² الكواكب وجزئها إن كانت من جهة²³ واحدة دلّ على هبوب الرياح من

G25a

¹BFJ دلالة²V om.³F في والخوابي ; B add.⁴B الحرب⁵V add. والحر⁶B om. ها⁷J وإذا⁸BFJV add. صافية⁹BFJV add. صحو وإن كانت¹⁰V سودا¹¹B كان¹²FGJ شاتي¹³V والأمطار¹⁴J تتفقد مواضع¹⁵BJV وإن¹⁶B وكانت J ; أو كان G ; ظهرت B¹⁷G يتحرك¹⁸V أسودا أو أخدرا¹⁹FJ شاتي passim.²⁰V om.²¹B جرت العادة به instead of يجب إن يكون²²J add. من²³B إن كانت من جهة instead of في جهة

Chapter Ten: On the Indications of Conditions of the Sky¹

[1] The natures of comets and heavy showers in the atmosphere take the place of the natures of Mars and Mercury concerning wars, fires, earthquakes, and accidents which are caused by them. One is informed of the regions in which these happenings occur, by their places of the signs and by the places to which these happenings reach toward the midheaven. When these things appear in the east, the happening from them is immediate; when they are in the west, the happening from them is later. When the Sun rises or sets² with nothing to cover it, it indicates cloudlessness; if its disk changes colours or turns to fiery red, and the rays of the Sun are spreading long, it indicates violent winds; if it rises with a black colour or sets with clouds or if there is a halo around it, it indicates wind and rain in winter.³

[2] The position of the Moon three days before a new moon or before a full moon or before a half moon is to be examined: if it looks gentle and clear while nothing is around it, it indicates cloudlessness; if it is red or its disk trembles, it indicates strong winds; if it is black or green and coarse, it indicates wind and rain in winter.

[3] When we see a bright fixed star bigger than usual, it indicates strong winds.⁴ If the shooting of stars and their part is from one direction it indicates winds from

¹This topic is discussed in *Tetrabiblos* II.13.²BFJV add 'and it is clear'.³Cf. *Tetrabiblos* II.13, page 213.⁴Cf. *Tetrabiblos* II.13, page 217.

تلك الجهة وإن كانت من²⁴ جهات دل²⁵ على رياح غير منتظمة
[4] قوس قزح إذا ظهرت²⁶ في وقت صحو دلّت²⁷ على هواء شات²⁸ وإذا²⁹ ظهرت في
وقت³⁰ هواء شات دلّت على صحو

الباب حادي عشر في القرانات

[1] إنّ لأكثر أهل هذه¹ الصناعة في الحكم العامّ² طريقة أخرى وهي من³ قران المشتري
وزحل⁴ والفرس أحكمهم فيه اعتقادا وأشدّهم به⁵ تمسكا⁶ لاجتماع الخير والشرّ على زعمهم
من اقتران هذين الكوكبين وهم يسيّرون كلّ واحد من المشتري وزحل⁷ بوسط مسيرة ثمّ
يدعون على هذا البناء إتيهما يقتربان في كلّ مثلثة اثني عشر قرانا وفي بعض الأوقات ثلاثة
عشر قرانا⁸ ما بين كلّ قرانين عشرون⁹ سنة بالتقريب ويؤرّخون به التقاويم من القران
الكائن¹⁰ في أول المثلثة إلى الكائن¹¹ في أول¹² مثلثة أخرى
[2] ولو صحّت لنا هذه الطريقة لكنا نكفي مؤنا كثيرة من الاهتمام بتعادل الكواكب
وتقاويمها وإذا كان الاعتماد على مواضعهما¹³ المقومة لم يضبط عدد قرانهما في المثلثات ولا
عدد الأيام والسنين التي¹⁴ بين القرانات¹⁵ ولا يكاد يتحصّل لنا طالع الوقت في قران هذين
الكوكبين لبطؤ سيّرهما وصعوبة¹⁶ الوقوف على أحوالهما المتعلّقة بالرصد بالتحقيق¹⁷
[3] فجعلوا طالع السنة التي يتّفق فيها القران طالع القران وحكموا على موجبات القران

G25b

²⁴B في

²⁵V جهات دل instead of جهات محتلفة دلّت

²⁶B ظهر

²⁷BG دل

²⁸V شاتي passim.

²⁹B وإن

³⁰B om.

¹B om.

²FGJ العامي

³J om.

⁴B الزحل والمشتري

⁵F om.

⁶J به ; V om. تمسكا به

⁷B om. من المشتري وزحل ; V instead of منهما ; من المشتري وزحل

⁸V om. وفي بعض الأوقات ثلاثة عشر قرانا

⁹J عشرين

¹⁰B om.

¹¹B مثلثة ما إلى القران الكائن

¹²BJ om.

¹³B مواضعهما and corrects as مواضعها G ; مواضعها

¹⁴F om.

¹⁵J القرانين

¹⁶B ولعسر

¹⁷B بالتحقيق instead of والتحقيق

this direction. If it is from several directions it indicates winds without order.

[4] When a rainbow appears when there are no clouds it indicates air and rains in the winter. If it appears in the time of the winter air it indicates cloudlessness.

Chapter Eleven: On Conjunctions⁵

[1] Many people of this art have another method in general judgement. It is by means of the conjunction of Jupiter and Saturn. The Persians are the wisest of them in their conviction, and the most devoted to bringing together happiness and misfortune through it, according to their claim, from the conjunctions of these two planets. They set in motion each one of Jupiter and Saturn by the mean motion and they lay down the following scheme — the two <planets> make twelve conjunctions in each triplicity and sometimes thirteen conjunctions; what is between two conjunctions is roughly twenty years. They fix chronology by it from the conjunction occurring in the beginning of a triplicity to the conjunction occurring in the beginning of another triplicity.

[2] If this method were correct for us, we could spare much trouble of worrying about the equation of planets and their correction. When there is dependence on the corrected positions of the two <planets>, the number of the conjunctions of the two <planets> in the triplicities could not be grasped, neither could the days and years which are between conjunctions, nor the ascendant of the time of the conjunction of the two planets be obtained, because of the slowness of their motion, and because of the difficulty of inquiring into their conditions which are dependent on precise observation.

[3] Thus they made the ascendant of the year in which the conjunction occurs the ascendant of the conjunction, and they judged on what are caused by the conjunction

⁵This topic is a new development of Persian-Arabic astrology.

من ذلك الطالع كما يحكم على سائر الحداثات من طوالع مبادئها فإذا انصفنا¹⁸ أنفسنا علمنا أن ذلك طالع مستعار إلا أننا نتبع القوم في رأيهم ونجاملهم في العشرة ونساعدهم على مذهبهم ولا نبعد كل البعد إن¹⁹ لقران²⁰ كرتي فلك²¹ تدويرهما تأثيراً²² في العالم فنختار من كلامهم ما هو أقرب إلى الظن وأميل إلى القياس

[4] وإن²³ اتفق قران بوسط المسير نظرنا إلى²⁴ وقت القران من²⁵ المستولى على صاحبه وهو الأقرب إلى²⁶ ذروة فلك تدويره ومن²⁷ أولى بموضعه ذلك عند قرانهما²⁸ فهو المدبر لذلك القران فإن كان زحل دلّ على الضنك والضييق²⁹ والقحط وكثرة الغوم³⁰ والأحزان والحيرة في الأمور وإن كان المشتري دلّ على الخصب والخير والأمن والسعادة

[5] ثم ننظر³¹ إلى طالع القران الذي³² أنه طالع السنة³³ أي الكواكب فيه أغلب قوة وأكثر شهادة فحكمنا على ذلك القران بالحكم المجل من طبيعة ذلك الكوكب فإن كان زحل حكمنا بما قلنا من الحيرة والضييق وتعرس³⁴ الأمور وكثرة الغوم³⁵ وأحوال زحلية³⁶ وإن كان المشتري فبالأمن والخصب³⁷ وكثرة الخيرات وسهولة أمر المعاش وإن كان المريخ فبالجور والظلم³⁸ والتلصص وسفك الدماء والغارات والحريق وإن كانت الزهرة فبقوة أمر النساء والخصيان وكثرة اللغو والغناء والنكاح والتمتع³⁹ وإن كان عطارد فبقوة أمر الكتاب والتجار وأصحاب الصناعات والعييد والأماء وإن كانت الشمس فبقوة أمر السلاطين⁴⁰ والأشراف

¹⁸ BV add. من

¹⁹ J لأن

²⁰ V القران

²¹ BJ om. ; V فلكي

²² J تأثير

²³ BFJ V ; وإذا

²⁴ BJ om. ; FV في

²⁵ J و

²⁶ F إلى in margin. من G ; من F

²⁷ V add. هو

²⁸ BF om. عند قرانهما J om. ; ذلك عند قرانهما

²⁹ BFJV الضيق والذنك

³⁰ BFJV الموم

³¹ J ينظر

³² BFJV add. قلنا

³³ B add. التي يكون فيها القران

³⁴ B add. في

³⁵ BFJV الموم

³⁶ J والأحوال الرحلية

³⁷ JV بالخصب والأمن

³⁸ B فبالظلم والجور

³⁹ V add. بالنساء

⁴⁰ G in margin; JV السلاطين

from this ascendant, just as judgements are made on the other happenings from the ascendants of the beginning of these <happenings>. When we are true to ourselves we know that this ascendant is artificial, but we follow the people in their opinion, and we are polite to them in association and we support them concerning their belief, and we do not think it utterly impossible that the conjunction of the two spheres of the orb of the epicycle of the two has influence in the world. Thus we choose from their sayings what is closer to the idea and what is more inclined to regularity (*qiyās*).

[4] If a conjunction in mean motion happens to occur, we see, at the time of the conjunction, which <of the two> is mastering its lord, i.e., which is nearer to the highest point of the orb of its epicycle, and thus which is ruling in its place at the time of their conjunction. Now this is the ruler of this conjunction. If it is Saturn, it indicates distress, anxiety, want of rain, many griefs, sadness, and helplessness in businesses. If it is Jupiter, it indicates fertility, joy, peace, and happiness.

[5] Then we see, in the ascendant of the conjunction, i.e., the ascendant of the year, which of the planets is greatest in power and richest in witness, and we judge, on this conjunction, by the general knowledge of the nature of this planet. If it is Saturn, we judge, according to what we have said, helplessness, anxiety, difficulty in business, many griefs, and the conditions belonging to Saturn. If it is Jupiter, peace, fertility, many joys, easiness of things of life. If it is Mars, injustice, oppression, robbery, bloodshed, invasion, and fire. If it is Venus, power in the matter of women and eunuchs, many amusements, wealth, marriage, and enjoyment. If it is Mercury, power in the matter of scribes, traders, and masters of arts, slaves, and female slaves. If it is the Sun, power in the matter of authority and nobles

G26a

والمملوك⁴¹ والمتمين إليهم والمتعزين بهم⁴² وإن كان القمر فبقوة أمور⁴³ الرعية والخدم وصحة الأبدان⁴⁴ وقوتها وورود الأخبار⁴⁵ من النواحي

[6] فإذا امتزج الكوكبان حكما بحسب امتزاجهما كامتزاج الشمس والمشتري فيدلان على المملوك العادلة المنصفة المحسنة إلى الخدم والرعية⁴⁶ وامتزاج الشمس والمريخ فيدلان على جور المملوك وقلة انصافهم ورحمتهم على الرعية والضعفاء في مملكتهم وامتزاج الزهرة⁴⁷ والمريخ فيدلان على الفجر والزناء وامتزاج المريخ وعطارد فيدلان على السعادات والحيل والكذب⁴⁸ وامتزاج المشتري وأحد النحسين فيدلان على سوء سريرة⁴⁹ أهل النسك والقضاة ومن يظن فيهم الصلاح وامتزاج الزهرة والقمر فيدلان على كثرة التوالد⁵⁰ وكثرة الأخبار السارة وامتزاج القمر وعطارد فيدلان على⁵¹ الفصاحة والمناظرات وحدة الخواطر وجودة الفكر⁵² والذهن وامتزاج الزهرة وعطارد فيدلان على قول الأشعار وتعلم⁵³ الغناء والألحان ونقر⁵⁴ الأوتار⁵⁵ وعلى الجملة⁵⁶ عطارد إذا مازج كوكبا من الكواكب قوي دلالة⁵⁷ وأعانه على فعله وشاكره فيما يصدد عنه من التأثير

[7] ننظر⁵⁸ من هذه⁵⁹ الطالع في حال طبقات الناس كما تقدم ذكرنا له في الباب الثاني من هذه المقالة وعلى⁶⁰ تلك الطريقة فلا فرق بينهما إلا أن الحكم في هذا أعم دلالة وأطول زمانا وفي ذلك أخص دلالة وأقصر زمانا

[8] نريد⁶¹ طالع القران و برج القران لكل سنة برجا⁶² فيكون الطالع و برج القران دليلي السنة الأولى والثاني من طالع القران والثاني من برج القران دليلي السنة الثانية وعلى هذا

⁴¹BV والمملوك والأشراف

⁴²J عليهم

⁴³J أمور

⁴⁴B add. وقوتها and om. وسلامتها

⁴⁵F أخبار

⁴⁶B hapl. om. from here to the next الرعية

⁴⁷B repeats الزهرة

⁴⁸B والكذب والنميمة والحيل

⁴⁹JV سريرة

⁵⁰B add. والتناسل and om. the next وكثرة

⁵¹J hapl. om. from her to the next على

⁵²B om.

⁵³B وتعليم

⁵⁴B add. وتحريك

⁵⁵B add. والمزامير

⁵⁶B add. فإن

⁵⁷J دلالة

⁵⁸J ينظر

⁵⁹JV هذا

⁶⁰V om. و

⁶¹J تدير

⁶²FJ برج

and kings, and their relatives and those who are boasting of them. If it is the Moon, power in the matters of subjects, servants, health and soundness and power of body, coming of news from <all> directions.

[6] If two planets are mixed we judge according to their mixture.

<Examples:> The mixture of the Sun and Jupiter: they indicate kings who are fair, righteous, and kind to servants and subjects. The mixture of the Sun and Mars: they indicate oppression of kings, lack of their fairness and <lack> of mercy to subjects, and weakness in their rulership. The mixture of Venus and Mars: they indicate immorality and adultery. The mixture of Mars and Mercury: they indicate slanders, tricks, and lies. The mixture of Jupiter and one of the malefics: they indicate evil hearts of men of piety and justice and those who are believed to have righteousness. The mixture of Venus and the Moon: they indicate many births and much good news. The mixture of the Moon and Mercury: they indicate eloquence, quarrels, sharpness of thought, excellence of ideas and mind. The mixture of Venus and Mercury: they indicate saying of mottos, study of songs and melody, plucking of strings. In general when Mercury mixes with one of the planets, it makes its indication stronger and it (Mercury) helps in its (planet's) effectiveness and it (Mercury) participates in whatever influence it (planet) causes.

[7] We see, from this ascendant, the conditions of social class of men just as we recorded before in the second chapter of this book in that way. Then there is no difference between the two, except that the judgement in this <chapter> is more general in indication and longer in period while the indication in that <chapter> is more specific and shorter in period.

[8] We carefully note the ascendant of the conjunction and the sign of the conjunction — each year has one sign. Then the ascendant and the sign of the conjunction are the two indicators of the first year. The second place from the ascendant and the second sign from the sign of the conjunction are the two indicators of the second year. <For the rest,> in this

G26b

النسق والنظام ثم تتفقد في كل سنة برجى الانتهاء وصاحبهما ومخالطهما بالسعود والنحوس
 فنحكم⁶³ للسنة⁶⁴ بحسب ذلك وبحسب موجبات طالع السنة والساخذاه
 [9] وليعلم⁶⁵ أنّ في الحكم على ذلك حين يختلط بعض⁶⁶ الأدلاء⁶⁷ ببعض⁶⁸ ويمتزج
 السعود بالنحوس⁶⁹ فيحتاج⁷⁰ إلى خاطر ذكي وفطنة⁷¹ صافية وقرحة⁷² جيدة حتى تميز⁷³
 الأقوى من الأضعف فيحكم بحسب قوة الغالب منها إذا قوبل الشرّ بالخير⁷⁴ والقوة بالضعف
 والسعادة بالنخوسة⁷⁵ والشهادة بالغبرة فأما إذا كثرت⁷⁶ دلائل الخير أو⁷⁷ الشرّ وقلت دلائل
 الضدّ فالحكم على الظاهر والغالب منها سهل قريب
 [10] متى وجدنا في صورة طالع القران كوكبا في أكثر قواه الذاتية والعرضية يسعده
 أكثر الكواكب الآخر وتمازجه بالنظر أو⁷⁸ الاتصال وموضعه⁷⁹ في⁸⁰ التاسع والعاشر
 والحادي عشر والطالع أقوى وفي الثالث والثاني⁸¹ عشر والسادس أضعف حكمنا بظهور
 متغلب في ذلك القران من طبيعة الكوكب فإن⁸² كان في الأوتاد أو⁸³ ما يليها كان من أهل
 الدولة والملة⁸⁴ الحاضرة وإن كان في الثالث والتاسع والثاني عشر والسادس كان مبانيا⁸⁵ لتلك
 الدولة أو⁸⁶ الملة فإن كان ذلك زحل كان شيخا⁸⁷ بعيد الغور دقيق النظر من أهل البيوتات
 القديمة وإن كان المشتري كان من أهل الورع والصلاح أو متحلثا بهذه الحلية وإن كان

⁶³F فيحكم J ; والنظام

⁶⁴V السنة

⁶⁵V نعلم

⁶⁶V بعضي

⁶⁷B الأولية

⁶⁸JV بعضا

⁶⁹V add. دلائل الخير بدلائل الشر

⁷⁰BV om. ف

⁷¹JV وفكرة

⁷²B وفطنة صافية وقرحة instead of وقرحة صافية وفكرة

⁷³B غير ; V يميز

⁷⁴B الخير بالشر

⁷⁵BFJV om. والسعادة بالنخوسة

⁷⁶V om. منها سهل قريب

⁷⁷J و

⁷⁸FJ و

⁷⁹J om. هـ

⁸⁰F om.

⁸¹F الثالث والثاني instead of الثلاثة وفي الثاني

⁸²J om. ف

⁸³BFJV و

⁸⁴F أو الملة

⁸⁵BJV مبانا

⁸⁶V و

⁸⁷B add. كبيرا

manner and in this order. Thereafter we examine, in each year, the two signs of the *intihā*' and the lord of the two <signs>, and what is in association with the two concerning good fortune and misfortune. Then we judge for the year in accordance with this and in accordance with what is necessary, the ascendant of the year and the lord of the year (*sālkhudāh*).

[9] Let it be known that, in the judgement of this, when some of the indicators are mixed with others and the benefics mix with the malefics, then it requires intelligent thought, clear insight, and good talent in order to distinguish the powerful from the weak. Then one should judge according to the power of the predominant of them, when the unhappy one is received by the happy one, the strong one by the weak one, the fortunate one by the unfortunate one, one with witnesses by one without. When the indications of the happy one or the unhappy one are more and the indications of the opposite are less, then the judgement on the master and the ruler from them is easy and simple.

[10] When we find, in the figure of the horoscope of a conjunction, a planet which has the most essential and accidental powers, and most of other planets are friendly to it and mixing with it by aspect or application — its position is strongest in the ninth, the tenth, the eleventh, and the ascendant, and weakest in the third, twelfth, and sixth <places> — then we judge the appearance of the ruling conqueror in this conjunction, from the nature of the planet. Then if it (conjunction) is in the cardines or in the succedents, he is from a family of a dynasty and a settled religion. If it is in the third and ninth and twelfth, there is a building of that dynasty or religion. If it is Saturn, he is a head of a tribe (*šaiḥh*) with great depth and precise insight from a family of old houses. If it is Jupiter, he is from a family of piety and righteousness or adorned with these ornaments. If it is

المريخ كان ظلوماً⁸⁸ غشوماً قتلاً سقاً للدماء وإن كانت الزهرة كان متديناً عابداً عفيفاً وإن كان عطارد كان منطيقاً فصيحاً متنبياً صاحب آيات وعجائب وإن كان الشمس كان سلطاناً قوياً وإن كان القمر كان من أفناء⁸⁹ الناس⁹⁰

[11] والوقت في ذلك ما بين الطالع وموضع⁹¹ القران أو ما بين الطالع وموضع الكوكب على أن كل⁹² برج سنة وكل⁹³ درجة بحصتها وطالع⁹⁴ السنة التي ينظر⁹⁵ فيها أمر ذلك المتغلب وقوته وبرج الانتهاء من طالع القرانها⁹⁶ كالمبدأ والمولد⁹⁷ لذلك الأمر⁹⁸ [12]⁹⁹ وهذه¹⁰⁰ قرانات هذين الكوكبين بوسط مسيرهما في المثلثات المائية وإلى إنقضاء¹⁰¹ المثلثات الأربع¹⁰²

G27a

Mars, he is wrong, unjust, a killer, and a bloodshedder. If it is Venus, he is pious, a worshipper, and decent. If it is Mercury, he is eloquent, clear in language, a prophet, a possessor of miracles and wonders. If it is the Sun, he is an authority and powerful. If it is the Moon, he is a man who annihilates men.

[11] The time concerning this is what is between the ascendant and the place of the conjunction or what is between the ascendant and the place of the <ruling> planet, on the condition that each sign is one year and each degree is its part. The ascendant of the year in which are the command of this ruler and his power, and the sign of the *intihā'* from the ascendant of the conjunction of the two (i.e., Saturn and Jupiter) are like the starting point and the birth of this command.

[12] This <table> is conjunctions of the two planets in their mean motion in the watery triplicities and up to the end of the four triplicities.

⁸⁸ GB طلوما

⁸⁹ B أفناء

⁹⁰ J بالناس

⁹¹ J hapl. om. from here to the next وموضع

⁹² BJ لكل

⁹³ B ولكل

⁹⁴ V فطالع

⁹⁵ J تنظر

⁹⁶ V om. هما

⁹⁷ B والمولد أو instead of المولد

⁹⁸ G in margin from here to the end of [12].

⁹⁹ F om. [12] and ends this chapter here.

¹⁰⁰ B add. صورة

¹⁰¹ J om. المائية وإلى إنقضاء

¹⁰² G ends this chapter. B add. بالجدول ; J add. في الصفحتين التين تليان هذه الصفحة

قران زحل والمشرقي بوسط مسيرهما في المثلثة المائية									
عدد	أيام قبل نصف نهار يوم الثلاثاء ¹⁰³ ليزدجرد	ساعات	دقائق	ثوان	عدد	بروج	درج	دقائق	ثوان
ا	٢٢٤٠٠	ط	مه	نج	ا	ز	ح	ي	ج
ب	١٥١٥٠	ك	لد	ل	ب	ج	ب	له	كد
ج	٧٩٠١	ز	كج	ز	ج	يا	ه	ح	مد
د	٦٥١	يح	يا	مه	د	ز	ز	كو	د
ه	بعد منه	يح	نط	لح	ه	ج	ط	نا	كد
و	٦٥٩٨	ح	يا	ا	و	يا	يب	يو	مد
ز	٢١٠٩٨	كا	كب	كج	ز	ز	يد	مب	د
ح	٢٨٣٤٧	ي	لج	مو	ح	ج	يز	ز	كد
ط	٣٥٥٩٦	كج	مه	ط	ط	يا	يط	لب	مد
ي	٤٢٨٤٦	يب	نو	لا	ي	ز	كا	نبح	د
يا	٥٠٠٩٦	ب	¹⁰⁵ ز	¹⁰⁴ نه	يا	ج	كد	كج	كه
يب	٥٧٣٤٥	يه	يط	يز	يب	يا	كو	مح	مه
يج	٦٤٥٩٥	د	ل	لط	يج	ز	كط	يد	ه
قران زحل والمشرقي بوسط مسيرهما في المثلثة النارية									
عدد	أيام بعد نصف نهار يوم الثلاثاء ليزدجرد	ساعات	دقائق	ثوان	عدد	بروج	درج	دقائق	ثوان
يد	٧١٨٤٤	يز	مب	ا	ا	د	ا	¹⁰⁶ لط	كه
يه	٧٩٠٩٤	و	نج	كد	ب	ح	د	د	مه
يو	٨٦٣٤٣	ك	د	مز	ج	ح	و	ل	ه
يز	٩٣٥٩٣	ط	يو	ي	د	د	ح	نه	كه
يح	١٠٠٨٤٢	كب	كز	لج	ه	ح	يا	ك	مه
يط	١٠٨٠٩٢	يا	لح	نه	و	ح	يج	مو	و
ك	١١٥٣٤٢	ح	ن	يح	ز	د	يو	يا	كو
كا	١٢٢٥٩١	يد	ا	ما	ح	ح	يح	لو	مو
كب	١٢٩٨٤١	ج	يج	ج	ط	ح	كا	ب	و
كج	١٣٧٠٩٠	يو	كد	كه	ي	د	كج	كز	كو
كد	١٤٤٣٤٠	ه	له	مط	يا	¹⁰⁷ ح	كه	نب	مو
كه	١٥١٥٨٩	يح	مز	يا	يب	ح	كح	يح	و

ليزدجرد instead of أول ملك يزدجرد V: من تاريخ يزدجرد J¹

له B²

د B³

ه B⁴

ه B⁵

Tables added by BJV:

Conjunction of Saturn and Jupiter by their mean motion in the Watery Triplicity									
No.	Days before the noon of the Tuesday of Yazdajird	hours	min.	sec.	No.	signs	deg.	min.	sec.
1	22400	9	45	53	1	7	0	10	3
2	15150	20	34	30	2	3	2	35	24
3	7901	7	23	7	3	11	5	0	44
4	651	18	11	45	4	7	7	26	4
After it									
5	6598	18	59	38	5	3	9	51	24
6	13848	8	11	1	6	11	12	16	44
7	21098	21	22	23	7	7	14	42	4
8	28347	10	33	46	8	3	17	7	24
9	35596	23	45	9	9	11	19	32	44
10	42846	12	56	31	10	7	21	58	4
11	50096	2	7	55	11	3	24	23	25
12	57345	15	19	17	12	11	26	48	45
13	64595	4	30	39	13	7	29	14	5

Conjunction of Saturn and Jupiter by their mean motion in the Fiery Triplicity									
No.	Days after the noon of the Tuesday of Yazdajird	hours	min.	sec.	No.	signs	deg.	min.	sec.
14	71844	17	42	1	1	4	1	39	25
15	79094	6	53	24	2	0	4	4	45
16	86343	20	4	47	3	8	6	30	5
17	93593	9	16	10	4	4	8	55	25
18	100842	22	27	33	5	0	11	20	45
19	108092	11	38	55	6	8	13	46	6
20	115342	0	50	18	7	4	16	11	26
21	122591	14	1	41	8	0	18	36	46
22	129841	3	13	3	9	8	21	2	6
23	137090	16	24	25	10	4	23	27	26
24	144340	5	35	49	11	0	25	52	46
25	151589	18	47	11	12	8	28	18	6

قران زحل والمشرقي بوسط مسيرهما في المثلة الأرضية									
عدد	أيام بعد نصف نهار يوم الثلاثاء ليزدجرد	ساعات	دقائق	ثوان	عدد	بروج	درج	دقائق	ثوان
كو	١٥٨٨٣٩	ز	نح	لد	ا	هـ	ج	ب	كو
كز	١٦٦٠٨٨	كا	ط	نو	ب	ا	د	ح	مو
كح	١٧٣٣٣٨	ي	كا	يط	ج	ط	هـ	لد	ز
كط	١٨٠٥٨٧	كب	لب	مب	د	هـ	ز	نط	كز
ل	١٨٧٨٣٧	يب	مد	هـ	هـ	ا	ي	كد	مز
لك	١٩٥٠٨٧	ا	نه	كز	و	ط	يب	ن	ز
لب	٢٠٢٣٣٦	يه	و	ن	ز	هـ	يه	يه	كز
لج	٢٠٩٥٨٦	د	نح	يج	ح	ا	يز	م	مز
لد	٢١٦٨٣٥	يز	كط	له	ط	ط	ك	و	ز
له	٢٢٤٠٨٥	و	م	نح	ي	هـ	كب	لا	كز
لو	٢٣١٣٣٤	يط	نب	كا	يا	ا	كد	نو	مح
لز	٢٣٨٥٨٤	ط	د	ج	يب	ط	كز	كب	ح
لح	٢٤٥٨٣٣	كب	يه	و	يج	هـ	كط	مز	كح

قران زحل والمشرقي بوسط مسيرهما في المثلة الهوائية									
عدد	أيام بعد نصف نهار يوم الثلاثاء ليزدجرد	ساعات	دقائق	ثوان	عدد	بروج	درج	دقائق	ثوان
لط	٢٥٣٠٨٣	يا	كو	كط	ا	ب	ب	يب	مح
م	٢٦٠٣٣٣	هـ	لز	نا	ب	ي	د	لح	ح
ما	٢٦٧٥٨٢	يج	مط	يد	ج	و	ز	د	كح
مب	٢٧٤٨٣٢	د	هـ	لز	د	ب	ط	كح	مح
ج	٢٨٢٠٨١	يو	يب	هـ	هـ	ي	يا	ند	مح
مد	٢٨٩٣٣١	هـ	كب	كب	و	و	يد	بط	مح
مه	٢٩٦٥٨٠	نح	لد	مه	ز	ب	يو	مد	مط
مو	٣٠٣٨٣٠	و	مو	ح	ح	ي	يط	ي	ط
مز	٣١١٠٧٩	نح	نز	ل	ط	و	كا	له	كط
مح	٣١٨٣٢٩	ي	ح	نج	ي	ب	كد	هـ	مط
مط	٣٢٥٥٧٨	كب	ك	يو	يا	ي	كو	كو	ط
ن	٣٣٢٨٢٨	يب	لا	لح	يب	و	كح	لنا	كط

¹B لط²B له³B د⁴B ند

Conjunction of Saturn and Jupiter by their mean motion in the Earthy Triplicity									
No.	Days after the noon of the Tuesday of Yazdajird	hours	min.	sec.	No.	signs	deg.	min.	sec.
26	158839	7	58	34	1	5	0	43	26
27	166088	21	9	56	2	1	3	8	46
28	173338	10	21	19	3	9	5	34	7
29	180587	23	32	42	4	5	7	59	27
30	187837	12	44	5	5	1	10	24	47
31	195087	1	55	27	6	9	12	50	7
32	202336	15	6	50	7	5	15	15	27
33	209586	4	18	13	8	1	17	40	47
34	216835	17	29	35	9	9	20	6	7
35	224085	6	40	58	10	5	22	31	27
36	231334	19	52	21	11	1	24	56	48
37	238584	9	3	43	12	9	27	22	8
38	245833	22	15	6	13	5	29	47	28

Conjunction of Saturn and Jupiter by their mean motion in the Airy Triplicity									
No.	Days after the noon of the Tuesday of Yazdajird	hours	min.	sec.	No.	signs	deg.	min.	sec.
39	253083	11	26	29	1	2	2	12	48
40	260333	0	37	51	2	10	4	38	8
42	267582	13	49	14	3	6	7	3	28
42	274832	3	0	37	4	2	9	28	48
43	282081	16	12	0	5	10	11	54	8
44	289331	5	23	22	6	6	14	19	28
45	296580	18	34	45	7	2	16	44	49
46	303830	6	46	8	8	10	19	10	9
47	311079	18	57	30	9	6	21	35	29
48	318329	10	8	53	10	2	24	0	49
49	325578	23	20	16	11	10	26	26	9
50	332828	12	31	38	12	6	28	51	29

¹BJV's addition:

ما بين القرانين من الأيام تسع عشرة² سنة فارسية³ وثلاثمائة وأربعة عشر يوما وثلاثة
عشرة⁴ ساعة وإحدى عشر⁵ دقيقة واثنان⁶ وعشرون⁷ ثانية وأربعون⁸ ثالثة وأربعة
وعشرون⁹ رابعة وما بينهما من الدرج¹⁰ رمب¹¹ كه¹² ك ز و
وكان القران في برج الحمل¹³ ع¹⁴ مد¹⁵ كد يز مب على تسعمائة وثلاث وسبعين سنة
ومائة¹⁶ وثلاث وعشرين¹⁷ يوما وعشرين ساعة كو¹⁸ دقيقة مج لط لو من نصف نهار يوم
الجمعة يوم¹⁹ الطوفان ومن يوم خميس أول سنة²⁰ بزياد²¹ ثلاثة وأربعين يوما²²

V's further addition:

ويعدّ ذلك اليوم بزيادة سبعة آلاف ومائتين وتسعة وأربعين يوما وثلاثة عشر ساعة
وإحدى عشر دقيقة وثلاثة وعشرين ثانية ويتلو في الصّحة الثالثة بهذا جداول قرانات
الكوكبين بوسط مسيرهما ومن ابتداء المثلثة المائّة إلى الانقضاء المثلثات الأربع

¹Some numeral expressions are not grammatically correct, but I have refrained from putting unattested readings.

²J تسعة عشرة V تسعة عشر

³V om. from here to ساعة

⁴J عشر

⁵B وعشرون

⁶B om.

⁷J وعشرين

⁸J وأربعين

⁹J وعشرين

¹⁰JV الدرجة

¹¹J numbers in words.

¹²According to J: له خمسة وعشرين BV له

¹³JV om. من الحمل and puts في برج الحمل

¹⁴JV om.

¹⁵V numbers and units in words.

¹⁶J om. ومائة

¹⁷JV عشر instead of وعشرين

¹⁸V numbers and units in words.

¹⁹V يوم تاريخ instead of يوم

²⁰V السنة

²¹V بزيادة

²²J add. ولقد وضعت لك خمسين قرانا في هذا الجدول

<BJV's addition:>

What is between two conjunctions in days is nineteen Persian years, three hundred and fourteen days, thirteen hours, eleven minutes, twenty-two seconds, forty thirds, and twenty-four fourths.⁶ The distance between them are 242 degrees and 25 (minutes), 20 (seconds), 7 (thirds), 6 (fourths).⁷

There was a conjunction in the sign of Aries 0 (degree) 44 (minutes), 24 (seconds), 17 (thirds), and 42 (fourths) in nine hundred and seventy-three years, one hundred twenty-three days, twenty hours, 26 minutes, 43 (seconds), 39 (thirds), 36 (fourth)⁸ from the noon of Friday of <the era of> the Flood. And from Thursday of the first year by the increase of forty three days.⁹

<V's further addition:>

The day is counted by the increase of seven thousand two hundred and forty nine days, thirteen hours, eleven minutes, and twenty-three seconds¹⁰, and in truth the third <sexagesimal place> follows in this table of conjunctions of the two plantes in their mean motion and from the watery triplicity until the termination of the four triplicities.

⁶These numbers $\Delta\bar{t} = 19^Y P 314^d 13^h 11' 22'' 40''' 24''''$ are from JV.

B: $\Delta\bar{t} = 19^Y P 314^d 13^h 21' 20'' 40''' 24''''$.

⁷B gives 35 instead of 25 minutes. V omits the unit of minutes and gives 25 instead of 20 seconds.

⁸Aries $0^\circ 44' 24'' 17''' 42''''$ is the place of the 50th mean conjunction after the Flood which took place in $973^Y 123^d 20^h 26^m 43^s 39''' 36''''$.

J and V give different numbers for days — J: $973^Y 13^d$, V: $973^Y 113^d$.

⁹J adds 'We have provided for you fifty conjunctions in this table.'

¹⁰V gives here a round number : $\Delta\bar{t} = 19^Y P 314^d 13^h 11' 23''$.

الباب ثاني عشر في الأدوار على مذاهب¹ القدماء

[1] للقدماء² الأولين من أهل هذه الصناعة في الحكم على الحوادث العظام أصل وبناء³ يسمونه الأدوار والدور ثلاثمائة وستون⁴ سنة شمسية فيجعلوا السنة أربعة فصول
[2] ابتداء الفصل الأول من⁵ حيث تحلّ الشمس عشرين درجة وأربعة عشر دقيقة من الحوت وفي هذا الموضع تكون⁷ خاصّة الشمس تسعة⁸ بروج سواء⁹ بالزيجات القديمة ووسطها أحد عشر برجاً وثمانية عشر¹⁰ درجة وهناك غاية التعديل وزائد على الوسط وتبتدى الشمس في الصعود¹¹ من وسط فلکها إلى ما يلي الأوج¹²
[3] وابتداء الفصل الثاني من حيث تحلّ الشمس ثمانية عشر¹³ درجة من الجوزاء وفي هذا الموضع تكون الشمس في الأوج وخاصّتها صفراً¹⁴ ولا تعديل لها
[4] وابتداء الفصل الثالث من حيث تحلّ الشمس¹⁵ خمس عشرة¹⁶ درجة وست وأربعين¹⁷ دقيقة من السنبله وفي هذا الموضع تكون خاصّة الشمس ثلاثة بروج سواء¹⁸ بالزيجات القديمة¹⁹ ووسطها خمسة بروج وثمانية عشر²⁰ درجة²¹ والتعديل في النهاية وناقص من الوسط وتبتدى الشمس بالهبوط من²² وسط فلکها إلى ما يلي الخفيض²³
[5] وابتداء الفصل الرابع من حيث تحلّ الشمس ثمانية²⁴ عشرة درجة²⁵ من القوس وفي هذا الموضع تكون خاصّة الشمس ستة²⁶ بروج سواء ولا تعديل لها والشمس في الخفيض من فلکها

¹BJV مذهب

²V om.

³J instead of وبناء

⁴J in numeral symbols, passim.

⁵B om.

⁶J حصل

⁷BJV يكون

⁸BV تسع

⁹J سوى

¹⁰GFJV عشر

¹¹B و J add في الصعود instead of بالصعود

¹²J om. من الجوزاء

¹³FGJV عشر

¹⁴J صفر

¹⁵V hapl. om. الشمس from here to the next

¹⁶FGJV خمسة عشر

¹⁷J خمسة عشر درجة وستا وأربعين instead of عشرين درجة وأربعة عشر

¹⁸J om. ثمانية عشر درجة from here to

¹⁹BF om. بالزيجات القديمة ; V add. و

²⁰FGJV عشر

²¹G add. وهناك غاية التعديل ناقص

²²J الشمس بالهبوط من instead of بالشمس بالهبوط و

²³B om. ما يلي

²⁴FG ثمان

²⁵J عشر درج

²⁶J om.

Chapter Twelve: On the Periods according to the Views of the Ancients¹

[1] To the ancient people, who were the foremost of the people of this art concerning the judgement of big events, there was a foundation and basis which they called Periods. The Period consists of three hundred and sixty solar years. They regarded a year as consisting of four seasons.

[2] The beginning of the first season is from the time when the Sun enters twenty degrees and fourteen minutes of Pisces. In this place the anomaly of the Sun is nine signs exactly according to the old *Zijes*.² Its mean <longitude> is eleven signs and eighteen degrees³ and here is the maximum of the equation and <it is> additive to the mean. The Sun begins elevating from its mean <distance> of its orb toward the place which the apogee follows.

[3] The beginning of the second season is from the time when the Sun enters eighteen degrees of Gemini. In this place the Sun is at its apogee, and the anomaly is zero and there is no equation belonging to it.

[4] The beginning of the third season is from the time when the Sun enters fifteen degrees and forty six minutes of Virgo. In this place the anomaly of the Sun is exactly three signs according to the old *Zijes*, and its mean <longitude> is five signs and eighteen degrees. The equation is in the maximum and subtractive from the mean <longitude>. The Sun begins coming down from the mean <distance> of its orb toward the place which the perigee follows.

[5] The beginning of the fourth season is from the time when the Sun enters eighteen degrees of Sagittarius, and in this place the anomaly of the Sun is exactly six signs, and there is no equation belonging to it, and the Sun is in the perigee of its orb.⁴

¹The first part of this chapter (up to the end of [12]) was edited, translated, and discussed in Yano [1984].

²'Old *Zijes*' here seems to mean some astronomical tables of Indian origin.

³This means that the solar apogee is located at $348^\circ - 270^\circ = 78^\circ$, which is the standard value of Indian astronomy.

⁴The relation of the four seasons and the solar longitude can be tabulated as:

season	first	second	third	fourth
anomaly	270°	0°	90°	180°
equation	+2;14°	0°	-2;14°	0°
mean longitude	348°	78°	168°	258°
true longitude	350;14°	78°	165;46°	258°

G27b

[6] فالفصل الأول سبع²⁷ وثمانون درجة وثلاثة²⁸ أرباع درجة بالتقريب والأيام بعدتها وكذلك الفصل الثاني والفصل الثالث اثنان وتسعون²⁹ درجة وربع والأيام بعدتها وكذلك الفصل الرابع وعلى هذا سواء وضعوا الأدوار وفصولها إلا أن اليوم من فصول السنة سنة من فصول الدور³⁰

[7] ثم إنهم قيدوا قرانا كان قبل الطوفان بمائتي³¹ وست³² وسبعين³³ سنة شمسية وجعلوا أول تلك السنة على ما قد قلنا أول الدور وجعلوا والي الدور زحل مع برج السرطان وزحل حينئذ³⁵ في السرطان وفي هذا الدور كان الطوفان بعد انقضاء مائتين وست³⁶ وسبعين سنة وانتهى³⁷ التسيير الى برج السرطان إذا سیر من ابتداء الدور لكل سنة برج³⁸ وسیر الأدوار أيضا لكل دور برج³⁹ وكوكب⁴⁰ وكان والي الدور الثاني المشتري مع برج الأسد ووالي الدور الثالث المريخ مع برج السنبلة وعلى هذا الترتيب

[8]⁴¹ وكان من ابتداء الأدوار إلى عند حلول الشمس عشرين درجة وأربع عشرة⁴² دقيقة من الحوت في سنة إحدى وعشر⁴³ وثلاثمائة فارسية⁴⁴ ليزدزد⁴⁵ انقضت⁴⁶ أربعة آلاف وثلاثمائة وعشرون⁴⁷ سنة شمسية وانقضت⁴⁸ اثني عشر دورا لاثني عشر برجاً واثني عشر كوكبا وانتهى الدور إلى عطارد مع برج السرطان

[9] وجعلوا⁴⁹ الفصل الأول من كل دور للمريخ مع والي الدور والفصل الثاني للشمس والفصل الثالث لعطارد والفصل الرابع لزحل وطالع الدور طالع حلول الشمس الموضع الذي ذكرنا من الحوت في كل ابتداء دور وطالع السنة⁵⁰ طالع حلولها في⁵¹ ذلك الموضع

²⁷ FJV سبعة²⁸ F ثلاث²⁹ V وتسعين³⁰ V om.³¹ BJ om. ب³² FJV ستة³³ B om. وست وسبعين³⁴ BJ om.³⁵ B om.³⁶ FJV ستة³⁷ J وعاد³⁸ V برجا³⁹ J om. وسير الأدوار أيضا لكل دور برج⁴⁰ V برجا وكوكبا⁴¹ For the order of texts, see the footnote in the translation.⁴² FV وأربعة عشر⁴³ BGV وعشرين⁴⁴ BV om.⁴⁵ FJ om. ; V add. شهریار الآخر ملوک العجم و⁴⁶ F انقضی⁴⁷ F وعشرين⁴⁸ F اثنا⁴⁹ J وجعل⁵⁰ B السنة كل سنة instead of السنة⁵¹ FJ om.

[6] The first season consists of eighty-seven degrees and three quarters approximately,⁵ and the days are in this number, and likewise is the second season. The third season consists of ninety-two degrees and a quarter and the days are in this number,⁶ and likewise is the fourth season. Exactly in this manner they established the Periods and the Parts therein, while a day of a season of a year <corresponds to> a year of a Part of a Period.

[7] Then they deemed the conjunction as having taken place two hundred and seventy-six solar years before the Flood, and they regarded the beginning of that year as the beginning of the Period according to what I have said. They made the ruler of the <first> Period Saturn with the sign of Cancer, and <in fact> Saturn was then in Cancer. In this Period there was the Flood after the expiration of two hundred and seventy-six years. The *tasyir* reached the sign of Cancer since the motion in each year since the beginning of the Period was one sign.⁷ The motion of the Periods is again one sign and one planet for each Period. The ruler of the second Period was Jupiter⁸ with the sign of Leo, and the ruler of the third Period was Mars with the sign of Virgo, and so on in this arrangement.

[8]⁹ From the beginning of the Period to the entry of the Sun into twenty degrees and fourteen minutes of Pisces in the three hundred and eleventh Persian year of Yazdajird, there expired four thousand and three hundred and twenty solar years, <namely> there expired <exactly> twelve Periods belonging to twelve signs and twelve planets.¹⁰ The Period arrived at Mercury with the sign of Cancer.¹¹

[9] They thought the first Part of each Period belonged to Mars together with the ruler of the Period, the second Part to the Sun, the third Part to Mercury, and the fourth Part to Saturn.¹² The ascendant of the Period is the ascendant at the Sun's entry — <into> the place of Pisces which we mentioned¹³ — at each beginning of the Period. The ascendant of a year is the ascendant at its entry into this place

⁵ $18^\circ - \text{H } 20^\circ 14' = 87^\circ 46' \approx 87\frac{3}{4}^\circ \approx 87\frac{3}{4} \text{ days.}$ ⁶ $18^\circ - \text{mp } 15^\circ 46' = 92^\circ 14' \approx 92\frac{1}{4}^\circ \approx 92\frac{1}{4} \text{ days.}$ ⁷ Since 276 is divisible by 12, the sign after the expiration of 276 years is the same that of the first year of the Period.⁸ The order of the seven planets is that of concentric spheres.⁹ The order of our text is based on G and F. BJV's order is [9][10][11],[12'],[8]. G's order seems to be original. BJV have put [12'] first and then [8] as another example.¹⁰ The beginning of the Period was assumed to be 276 years before the Flood, i.e., -3377 (3378 B.C.). Thus 4320 years after the beginning of the Period falls in A.D. 943, which is Yazdajird 311 as Kūšyār says.¹¹ Since $12 = 5 \pmod{7}$, the fifth planet from Saturn in our order is Mercury.¹² Thus, not only the Period, but also each of the four Parts consisting one Period has a ruler.¹³ I.e., Pisces $20; 14^\circ$.

في كل سنة⁵²

[10] وتسير تلك الدرجة والدقيقة من الحوت بدرج السواء لكل درجة سنة شمسية⁵³ وتسمى درجة القسمة ويسير درجة طالع الدور بمطالع⁵⁴ ذلك⁵⁵ البلد لكل درجة سنة ومن طالع الدور لكل برج سنة فما كان من الدرجة فهو التسيير من درجة الطالع وما كان من البروج⁵⁶ فهو برج الانتهاء من الطالع⁵⁷

[11] وقد يجوز⁵⁸ أن يؤخذ⁵⁹ سنة من سني الدور برج وخمس دقائق حتى تنتهي⁶⁰ النوبة عند انتقضاء الدور إلى البرج الثاني كما جرت العادة به⁶¹ في غير ذلك وحسابه أن تقسم السنين⁶² الماضية⁶³ من الدور على اثني عشر⁶⁴ ويؤخذ لكل واحد من الأقسام⁶⁵ درجة واحدة وما لم يتم اثني عشر يضرب في خمسة⁶⁷ فيكون دقائق من درجة ونزاد⁶⁸ على أول برج الانتهاء للسنة القابلة

[12]⁶⁹ مثال ذلك مائتان وستة وسبعون⁷⁰ سنة تامة إذا قسم على اثني عشر حصل ثلاثة وعشرون فالانتهاء عند انقضاء هذا السنين في السرطان ثلاثة وعشرون درجة وعلى هذا القياس والله أعلم⁷¹

[13] وإذا كان والي الدور سعدا أو مسعودا قويا دلّ على السعادة في ذلك الدور وقوة⁷² الدول فيه وإن⁷³ كان والي نحسا أو منحوسا دلّ على سوء⁷⁴ الحال في ذلك الدور واضطراب الدول فيه والانتقال من فصل إلى فصل يدلّ على انتقال الدولة⁷⁵ من قوم إلى

⁵²B add. ابتداء

⁵³BFJ om.

⁵⁴J طالع الدور بمطالع instead of المطالع بمطالع

⁵⁵B om.

⁵⁶F البرج

⁵⁷B والأدوار

⁵⁸V بل يجب ; B add.

⁵⁹FJ يدبر ; BFJV add. لكل

⁶⁰J om.

⁶¹BV om به

⁶²BFJ السنين

⁶³V تامة ; السنين الماضية instead of سنون تامة

⁶⁴B add برجا

⁶⁵V أقسامها

⁶⁶J اثنا

⁶⁷BV add. دقائق

⁶⁸BFJV ونزاد instead of فيزاد

⁶⁹This example is from GF. For BJV see [12'] at the end of this chapter.

⁷⁰F مثال ذلك مائتي وستة وسبين

⁷¹F om. والله أعلم

⁷²J وقوم

⁷³BJV وإذا

⁷⁴G و instead of سوء

⁷⁵B دولة

in each year.

[10] That degree and minute are set in motion from Pisces in degrees only one degree in every solar year. This is called the degree of *qisma*. That degree of the ascendant of the Period is set in motion by the ascension of the city,¹⁴ <at the rate of> one degree in every year; and from the ascendant of the Period, one sign in every year. What comes out is the *tasyir* from the degree of the ascendant, and what comes out of the signs is the sign of the *intihā'* from the ascendant.

[11] It may be approved¹⁵ that a year, out of the years of a Period, takes a sign and five minutes, so that the turn arrives at the next sign at the termination of the Period,¹⁶ as is the common practice in the <cases> other than this. Its calculation: the years elapsed within a Period is divided by twelve, one degree is taken for each one of the divisions, and what does not fill twelve is multiplied by five, and <the product> is the fraction of degrees (i.e., minutes). We add <the result> to the beginning of the sign of the *intihā'* belonging to the next year.¹⁷

[12] Example:¹⁸ Two hundred and seventy-six years have expired. When divided by twelve, then the quotient is twenty-three. Then the *intihā'* at the expiration of these years in Cancer is twenty-three degrees. <The rest is> like this, and God knows best.¹⁹

[13] When the ruler of the Period is benefic or made benefic and powerful, it indicates happiness in this Period and power of the dynasty in it. If the ruler is malefic or made malefic, it indicates miserable condition in this Period and the trouble of the dynasty in it. The change from one Part to <another> Part indicates the change of dynasty from one people to

¹⁴I.e., oblique ascension.

¹⁵B adds 'nay necessary'.

¹⁶ $30; 5^\circ \times 360 = 30^\circ \pmod{360}$.

¹⁷Let the years expired within a Period be y , the quotient and the remainder after the division be Q and r , respectively, then, $\frac{y}{12} = Q + \frac{r}{12} = Q + \frac{5r}{60}$.

¹⁸This text and translation are based on FG. For the reading of BJV, see [12'] at the end of this chapter.

¹⁹When $y = 276$ in the formula above, then $Q = 23, r = 0$. Since the sign of this Period is Cancer, at expiration of 276 years, i.e., at the beginning of the 277th year, the place of the *intihā'* is Cancer 23° . The Chinese text gives an example of Yazdagird 615th (current), i.e., 4623 years (expired) since the epoch. Since $4623 = 12 \times 360 + 303$, 303 is put for y above. The result is Cancer $23^\circ 15'$.

قوم فإن⁷⁶ كان والي الدور كوكبا علوياً⁷⁷ كان انتقالها إلى قوم غرباء ورجال غير أولئك الرجال⁷⁸ وعادات وسير غير تلك العادة والسيرة⁷⁹

[14] وإن كان الوالي أعني⁸⁰ والي الدور كوكبا سفلياً⁸¹ كان انتقالها من بيت إلى بيت من أهل تلك الدولة وقتال وقتن فإن كان والي الدور مسعوداً في الأصل قوياً لم ينتقل⁸² الدولة بانتقال الفصول وثبتت في أهلها فإن كان والي الفصل حينئذ⁸³ مسعوداً قوياً زادت الدولة قوة وسعادة وإن كان منحوساً ضعيفاً اضطربت الدولة وانتحست حتى ينخشى عليها الزوال والانتقال وإن اتصلت قوة إلى⁸⁴ دورين⁸⁵ أو ثلاثة⁸⁶ وسلمت ولادة الفصول من المناحس المزعجة بقيت الدولة تلك المدة

[15] إذا كان والي الدور كوكبا علوياً⁸⁷ مع أحد بيتيه الملائم له أعني الذكر مع برج ذكر⁸⁸ والأنثى مع برج أنثى⁸⁹ أو شرفه دل على طول الأعمار وبقاء الآثار وطول مدة الملوك لا⁹⁰ سيما إذا كان الوالي زحل مع برج الدلو أو الميزان

[16] وإذا⁹¹ كان الوالي كوكبا سفلياً⁹² مع برج غير ملائم له والوالي ضعيف في غريبة أو احتراق أو مع نحس قصرت الأعمار ومدة⁹³ الملوك وبقاء الآثار

[17] إذا⁹⁴ والي الدور كوكبا علوياً⁹⁵ مع برج⁹⁶ الذي هو⁹⁷ بيته أو شرفه وسائر الكواكب العلوية أو أكثرها في بيت الوالي أو شرفه ناظر إليه⁹⁸ مقبولة من الوالي دل على ظهور ملك يملك الأقاليم كلها⁹⁹ أو أكثرها وذلك كما يلي الدور المريح مع برج الجدي وطالع

⁷⁶BJ وإذا

كوكب علوي⁷⁷J

بالرجال⁷⁸J

والسير والعادات J؛ والسير⁷⁹BV

⁸⁰BJV om.

وإن كان والي الدور كوكبا سفلياً instead of وإن كان كوكبا منقلبا J؛ كوكب سفلي⁸¹F

تنتقل instead of ينتقل and لم⁸²J om.

ح⁸³B

والي⁸⁴BV

الدورتين⁸⁵V

وثلاثة⁸⁶FGV

كوكب علوي⁸⁷FJ

البرج الذكر⁸⁸B

البرج الأنثى⁸⁹B

و⁹⁰BJV add.

فأما إذا⁹¹V

كوكبا سفلياً instead of كوكب سفلي FJ : برجا منقلبا⁹²B

ومدد⁹³G

كان⁹⁴BJV add.

كوكب ألوي⁹⁵FJ

من البروج⁹⁶V add.

الذي هو instead of يكون⁹⁷B

إليه⁹⁸BJ om.

لكلها⁹⁹V

another. If the ruler of the Period is a superior planet, the transfer of it (i.e., dynasty) is to the foreign people and the subjects are not those subjects of the dynasty, nor are the customs and conducts their custom and conduct.

[14] If the ruler, i.e., the ruler of the Period, is an inferior planet, the transfer of it (dynasty) is from a family to <another> family of the people of that dynasty and <there are> killings and riots. Then if the ruler of the Period is made fortunate in the base <horoscope> and powerful, the dynasty does not shift by the transfer of the seasons and it is stabilized in the family of the <dynasty>. Then if the ruler of the Part in it is made fortunate and powerful, the dynasty increases power and happiness. If it is made unfortunate and weak, the dynasty is disturbed and made unhappy until extinction and death threaten it. If the power is related to two Periods or three Periods and the rulers of the Parts are safe from the unpleasant harm, the dynasty continues in that period.

[15] When the ruler of the Period is a superior planet with one of its two houses which is suitable to it, namely, a masculine planet with a masculine sign and a feminine planet with a feminine sign or its exaltation, it indicates a long life, maintenance of influence, long duration of the monarch, especially when the ruler is Saturn with the sign Aquarius or Libra.

[16] When the ruler is an inferior planet with the sign which is not suitable to it and the ruler is weak or in absence or in combustion or with a malefic, it reduces life span, the duration of the monarch, and the maintenance of influence.

[17] When the ruler of the Period is a superior planet with the sign which is its house or its exaltation and one or more of the superior planets are in the house of the ruler or in its exaltation and aspecting it (the ruler) and is received by the ruler, it indicates the appearance of a king who rules all or most climes. This is just like the case when Mars rules the Period with the sign of Capricorn and the ascendant

الدور الحمل والمريخ في الجدي والمشتري وزحل¹⁰⁰ في العقرب أو كما يلي الدور زحل مع برج¹⁰¹ الدلو والطلوع الدلو وزحل¹⁰² فيه أو في الميزان والمريخ في الجدي والمشتري في الدلو أو في¹⁰³ الميزان

[18] إذا¹⁰⁴ والى الفصل هو والى الدور قويت الدولة في ذلك الفصل وذلك كما يكون والى الدور وزحل فيكون آخر الدولة أقوى من¹⁰⁵ أولها¹⁰⁶ لأن زحل يجتمع له ولاية الدور وولاية الفصل وإذا كان والى الدور المريخ كان أول الدولة أقوى من آخرها¹⁰⁷ لأن المريخ يجتمع له ولاية الدور وولاية الفصل¹⁰⁸

[19] إذا كان والى الدور ووالى¹⁰⁹ الفصل قويا وانتهى التسيير أو الانتهاء من طالع الدور أو من درجة القسمة إلى جسد المريخ أو شعاعه من التربع أو المقابلة والمريخ ولاية السنة دلّ على الخروج خارجي¹¹⁰ في تلك السنة¹¹¹ فيمكث عشر سنين أكثرها ثم يعود الملك إلى أهله

[20] وإذا انتهى التسيير أو الانتهاء أو القسمة¹¹² إلى شعاع المريخ في برج هوائي والمريخ والى السنة مع ولاية الدور وهو في برج هوائي أحدث النيران والشهب في الجو ويظهر فيه العلامات فإن كان مكان المريخ زحل وشعاعه في البروج المائية أحدث¹¹³ الطوفان¹¹⁴ والفرق وفي الأرضية¹¹⁵ الخسف والزلازل وفي الهوائية البرد والثلوج والرياح العواصف [21] إذا كان¹¹⁶ والى الدور زحل أو المريخ¹¹⁷ مع أحد بيتيهما وانتهى القسمة أو التسيير إلى شعاع نحس دلّ على حادثة شاملة لجميع¹¹⁸ الأقاليم فأما الحوادث التي تحصّل بلدة بلدة فهي¹¹⁹ كون الكسوف في البرج الذي¹²⁰ لتلك البلدة أعني طالع البلدة أو في موضع نيرها

¹⁰⁰ B وزحل والمشتري

¹⁰¹ J add. الدول

¹⁰² J فرحل

¹⁰³ BJV om.

¹⁰⁴ BFJV add. كان

¹⁰⁵ J add. في

¹⁰⁶ BJV أوله

¹⁰⁷ F آخره

¹⁰⁸ J لأن المريخ ... وولاية الفصل instead of لليلة المذكورة

¹⁰⁹ FGJV om. ووالى

¹¹⁰ V الخارجي

¹¹¹ BV في تلك السنة G add. in margin : في ذلك الوقت F : في ذلك الدور

¹¹² J om. أو القسمة

¹¹³ B دل على

¹¹⁴ BFJ الطوفانات

¹¹⁵ B add. على

¹¹⁶ FJ om.

¹¹⁷ GJ والمريخ

¹¹⁸ V بجميع

¹¹⁹ JV من فهو ; B add.

¹²⁰ B التي

of the Period is Aries, Mars is in Capricorn, and Jupiter and Saturn are in Scorpio; or just like the case when Saturn rules the Period with the sign Aquarius and the ascendant is Aquarius, Saturn is in it or in Libra, Mars is in Capricorn, and Jupiter is in Aquarius or in Libra.²⁰

[18] When the ruler of a Part is <also> the ruler of the Period, the dynasty is powerful in this Part. This is like the case when the ruler of the Period is Saturn: then another dynasty which is stronger than the first appears, because Saturn has both the rulership of the Period and that of the Part.²¹ When the ruler of the Period is Mars, the first dynasty is stronger than the second one, because Mars has both the rulership of the Period and that of the Part.

[19] When the ruler of the Period and the ruler of the Part are powerful and the *tasyir* or *intihā'* has arrived from the ascendant of the Period, or from the degree of the *qisma*, at the body of Mars or its rays by quartile or opposition, and Mars has the rulership of the year, it indicates exile in foreign country in this year and the king remains <there> for ten years or more, and thereafter he comes back to his family.

[20] When the *tasyir* or *intihā'* or *qisma* has arrived at Mars' rays in an airy sign and Mars is the ruler of the year with the ruler of the Period which is in an airy sign, there occur conflagrations and meteors appear in the sky and <ominous> symptoms appear in it. Then if Saturn takes the place of Mars and its rays are in watery signs, it causes flood and submergence; in earthy signs, eclipse and earthquake; in airy signs, coldness, snow, and violent winds.

[21] When the ruler of the Period is Saturn or Mars with one of their two houses and the *qisma* or *tasyir* has arrived at the rays of the malefic, then it indicates universal happenings to all the climes. As for the happenings which are allotted to city by city, they are the occurrence of eclipses in the sign which belongs to that city, namely, the sign of the ascendant of the city, or in the place of its light (i.e., in conjunction)

²⁰ Two examples are given here:

(1) Ruler: Mars with Capricorn

Ascendant of the Period: Aries

Mars in Capricorn — Mars' exaltation

Jupiter in Scorpio — Mars' house

Saturn in Scorpio — Mars' house

(2) Ruler: Saturn with Aquarius

Ascendant of the Period: Aquarius

Saturn in Aquarius/Libra — Saturn's house/exaltation

Mars in Capricorn — Mars' exaltation

Jupiter in Aquarius/Libra — aspecting the ascendant

²¹ According to 2.12.9, the Rulers of the Parts of a Period are I. Mars II. Sun III. Mercury IV. Saturn. Because Saturn is powerful in the fourth Parts, the dynasty belonging to the third Parts is defeated by the next dynasty. Likewise the dynasty of the first Period with the rulership Mars is stronger than the dynasty which follows it.

أو¹²¹ مقابلة أو تريبعة أو إن¹²² يكون الكسوف في شعاع نحس والنحس والي السنة والبرج الذي انتهت إليه السنة فاسد وفسد¹²³ صاحب السنة والقمر منحوس¹²⁴ في طالع¹²⁵ السنة

[22] أولى القران¹²⁶ بأن يكون أصلا ومولدا¹²⁷ لأمر العالم وما يظهر فيه من الدول والملك هو القران الذي يتفق عند رأس الدور أعني في السنة¹²⁸ يكون¹²⁹ انقضاء¹³⁰ الدور أو في¹³¹ السنة التي يكون¹³² ابتداء الدور¹³³

BJV's example:

[12'] مثالة¹³⁴ مائتان وست وسبعون¹³⁵ سنة تامّة إذا أخذ لكلّ سنة برج بلغ الانتهاء للسنة السابعة والسبعين والمائتين¹³⁶ إلى السرطان وإذا أخذ منها¹³⁷ لكلّ اثني عشر سنة¹³⁸ درجة حصل ثلاث وعشرون درجة فانتها¹³⁹ عند أول السنة السابعة والسبعين والمائتين في السرطان ثلاث وعشرون¹⁴⁰ درجة وعند انقضاء سني الدور يبلغ الانتهاء إلى الأسد فيصحّ التسيير وعلى هذا القياس يعمل¹⁴¹

¹²¹ B add. في

¹²² B instead of تريبعة وتريبعيته أو إن

¹²³ B om. فسد

¹²⁴ BJV منحوسان

¹²⁵ V الطالع

¹²⁶ B القرانات

¹²⁷ B ومبداء

¹²⁸ BFJV add. التي

¹²⁹ B add. فيها

¹³⁰ F and ends Part II here. and ابتداء ونحتم اكتمالة الثانية من هذا الكتاب بهذا

¹³¹ B om.

¹³² BF add. فيها

¹³³ BJV add. V add. وحد and ends Part II here. ونحتم المقالة الثانية بهذا الباب والحمد لله

B add. and ends Part II here. J further add. والله المحمود اعلى نعم

¹³⁴ This is BJV's example. J om. مثالة

¹³⁵ J وستة وسبعون V ; وستة وسبعين

¹³⁶ J فقسم على اثني عشر فحصل ثلاثة وعشرين فالانقضاءها عند انقضاء هذه السنين

instead of ... والسبعين والمائتين

¹³⁷ V منها

¹³⁸ V om.

¹³⁹ V درجة فانتها instead of فالانقضاء

¹⁴⁰ J ثلاثة وعشرون V ; وعشرين

¹⁴¹ J om. يعمل

or opposition or quadrature; or if the eclipse is in the rays of a malefic and the malefic is the ruler of the year; and the sign at which the year arrives is corrupting; and the lord of the year is corrupt; and the Moon is made malefic in the ascendant of the year.

[22] The foremost conjunction — in the beginning and the birth of the matters of the world, and in which the dynasty and king appear — is the conjunction which coincides with the beginning of the Period, namely, in the year in which there is the end of the Period or the year in which there is the beginning of the Period.²²

BJV's example:

[12'] Example: Two hundred and seventy-six years has expired. When one sign is taken in every year, the *intihā'* has arrived, in the two hundred and seventy-seventh year, at Cancer. When one degree is taken from them (i.e., degrees of Cancer) in every twelve years, twenty-three degrees are obtained, thus the *intihā'* has arrived, at the beginning of the two hundred and seventy-seventh year, at twenty-three degrees in Cancer. At the end of the years of the Period the *intihā'* arrives at Leo. Then the motion (*tasyīr*) is corrected and it is worked out in this way.²³

²² BJLV add 'We close the Third Book with this chapter. The God is certainly praised'.

²³ The BJV's difference from G is that the former have added the example of the motion of one sign in every year.

المقالة الثالثة في الحكم على المواليد وتحويل سنتها وهي¹ أحد وعشرون بابا

²أ في مقدّمة لهذه المقالة

ب في ابتداء خلقه الجنين وذكر أحواله قبل الولادة³

ج في معرفة درجة الطالع عند الولادة

د في تربية المولود

ه في صورة بدن المولود وحليته ومراحه

و في العمر

ز في الافات والعلل العارضة للبدن

ح في أحوال النفس

ط في الأفات النفسانية

ي في أحوال الوالدين

يا في ذكر الإخوة

يب في المال والسعادات

يج في صناعة المولود وعمله

يد في التزويج

يه في الأولاد

يو في الأصدقاء والأعداء

يز في السفر والغربة

يج في حال الموت

يط في قسمة الزمان المولود

ك في تحويل سني المواليد وتسيير الأدلة الأصلية والتحويلية

كا⁴ في حساب التسييرات⁵

G29b

Part III On the Judgement of the Nativities and the Transfer of their Years in Twenty-One Chapters

1. Introduction to this Part

2. On the Beginning of the Formation of an Embryo and the Description of his Conditions before Birth

3. On the Knowledge of the Degrees of the Ascendant at Birth

4. On the Knowledge of the Growth of the Native

5. On the Figure of the Body, Complexion and Temperament of the Native

6. On Life Span

7. On Accidental Harms and Illnesses of the Body

8. On the Conditions of the Soul

9. On Mental Diseases

10. On the Conditions of the Parents

11. On the Description of Brotherhood

12. On Property and Fortunes

13. On the Job and Work of the Native

14. On Marriage

15. On Children

16. On Friends and Enemies

17. On the Journey and Absence

18. On the Condition of Death

19. On the Division of the Time of the Native

20. On the Native's Yearly Transfer and the *Tasyīr* of the Basic and Transferic Indications

21. On the Calculation of *Tasyīrs*

¹F om. وهي

²G gives numbers in words.

³GJ om. قبل الولادة

⁴B om. this title.

⁵F add. الأصلية والتحويلية

الباب الأول في مقدّمة لهذه المقالة

[1] علم النجوم على الخير والشرّ فحيثما رأيت السعود فقل الخير وحيثما رأيت النحوس فقل الشرّ

[2] الثلاث والتسديس يدلّان على سهولة الأمر وطيبة¹ النفس والتربيع والمقابلة على العسر² وتعويق القبول التمام يدلّ على تمام الأمر والقبول الوسط على الوسط وغير³ المقبول⁴ على الرجاء والطمع فحسب⁵ لا يقطع الحكم على أمر بشهادة واحدة أبداً⁶

G30a

[3] أدلاء الشيء الواحد إذا اتّصل بعضها ببعض أو نظرت دلّت على قوّة ذلك⁷ الشيء وتماه وطول بقاءه وإذا كان بالصدّة⁸ دلّت على الصدّة السعد الراجع أو⁹ المحترق يضعف عن¹⁰ السعادة والنحس المقبول في موضعه يكفّ عن الشرّ

[4] الأوتاد تدلّ على قوّة الأمر وظهوره وتماه وما يلي الأوتاد على الرجاء وبعض التمام والزائل والساقط على الفوت¹¹

[5] المشرق يقوم مقام الأوتاد والمغرب يقوم¹² مقام ما يلي الأوتاد وداخل تحت الشعاع مقام الزائل وساقط المنصرف عنه القمر يدلّ على¹³ ما مضى من الأمور والمتّصل به على ما يستقبل وصاحب بيت القمر يدلّ¹⁴ على عواقب الأمور كما يدلّ صاحب البيت الرابع

[6] اتّصال الكوكب بالكوكب كالبادئ¹⁵ في طلب أمر منه والراغب إليه في ذلك¹⁶ كاتّصال صاحب الطالع بصاحب الثاني يدلّ على طلب المال والسعي فيه واتّصال صاحب الثاني بصاحب الطالع يدلّ على إتيان المال عفواً من غير كثير¹⁷ طلب

[7] إذا تولّت السعود مواضع الخوف جأت بالمكانه من ذوي السلامة وإذا تولّت النحوس مواضع السعادة¹⁸ جأت بالخيرات من¹⁹ ذوي الشرّ وعلى هذا القياس إذا تولّت

¹ وطيب B

² B add. المشقة

³ FV الغير

⁴ B القبول

⁵ J om.

⁶ F om.

⁷ B om.

⁸ BJV add. من ذلك

⁹ FV و

¹⁰ J على

¹¹ J والساقط والزائل القوة

¹² BFV om. ; J hapl. om. from المغرب to the next الأوتاد

¹³ V hapl. om. from here to the next يدلّ على

¹⁴ J om.

¹⁵ B كالذي

¹⁶ F تلك

¹⁷ BJV om.

¹⁸ B السعادات

¹⁹ J في

Chapter One: On the Preface of this Part

[1] The science of stars concerns happiness and misfortune. Wherever you see the benefic <planets>, you should foretell happiness; wherever you see the malefic <planets>, you should foretell misfortune.

[2] Trine and sextile indicate smoothness of things and goodness of spirit. Quartile and opposition indicate difficulty and hindrance. Complete reception indicates the completeness of matters, medium reception indicates half completeness, and no reception indicates expectation and ambition and nothing more. Judgement on a matter should never be done by <only> one witness.

[3] When <several> indicators of one matter apply or aspect each other, they indicate the power of this matter, its completion, and its long duration. When they are opposite they indicate the opposite. The benefic in retrogradation or in combustion weakens the beneficence, and the malefic which is received in its place is prevented from the harm.

[4] Cardines indicate power of a matter, its appearance, and its completion. Succedents indicate expectation and partial completeness. Cadents and fall indicate escape.

[5] The easterliness <of a planets> takes the place of cardines, and the westerliness takes the place of succedents. Entering under the rays takes the place of cadents. The Moon's departure from it (i.e., a planet)¹ indicates what have past among matters, and the application with it indicates what are coming <in future>. The Moon's house² indicates the end of matters just as the lord of the fourth place indicates.

[6] Application of a planet to <another> planet is like the beginning of searching a matter from it (i.e., another planet) and asking for the matter in it, just as the application of the lord of the ascendant to the lord of the second place indicates searching for fortune and effort in it. And <also as> the application of the lord of the second place to the lord of the ascendant indicates the arrival of fortune spontaneously without much searching.

[7] When the benefics occupy the place of fear³ they bring forth calamities to the possessor of blamelessness. When the malefics occupy the place of fortune they bring forth good things to the possessor of misfortune. This is also the case when

¹The Chinese translation explains thus.

²I.e., the sign in which the Moon is.

³Cf. 1.20.8.

النحوس مواضع الشر أو تولت السمود مواضع السعادة
 [8] ضرر الشمس في المقارنة من المريخ وفي المقابلة من زحل²⁰ وضرر القمر في المقابلة
 من المريخ²¹ وفي المقارنة من زحل²²
 [9] النحس المشرق²³ على الآفة والمغرب على العلة والآفة ما يحدث بغتة والعلة ما
 يحدث شيئاً بعد شيء
 [10] أغلظ²⁴ المناحس على النيرين إن يكن النحسان يطلعان قبل الطلوع الشمس وبعد
 طلوع القمر الشمس ينبوع القوة الحيوانية والقمر ينبوع القوة الطبيعية وزحل ينبوع القوة
 المسكة والمشتري ينبوع القوة النامية²⁵ والمريخ ينبوع القوة الغضبية²⁶ والزهرة ينبوع
 القوة الشهوانية وعطارد ينبوع القوة الذكرية الفكرية²⁷
 [11] إذا كان طالع الزوجة سابع طالع الزوج وطالع الملوك سادس طالع المالك وطالع
 المصحوب عاشر طالع صاحب دامت أيام أحدهما مع الآخر وعلى هذا القياس²⁸
 [12] إذا أوقع في مولد نحس مكان سعد في²⁹ مولد آخر دل على مكروه يلحق من في
 مولده السعد فمن في مولده النحس
 [13] حيثما قلنا صاحب بيت كذا فإننا نعني به المستولى عليه³⁰

الباب الثاني في ابتداء خلقه بالجنين³¹ وذكر أحواله قبل الولادة

[1] ابتداء خلقه³² الجنين يقال هو³³ حصول الماء في الرحم ويشبهه بالعجين³⁴ إذا ألصق³⁵
 بالتور³⁶ ويقال هو أول ما يتغير الماء عن³⁷ الحال الأول³⁸ فيشبهه بالبذر إذا طرح في

²⁰ B ومقابلة زحل

²¹ B مقارنة من زحل ; FJV مقارنة زحل

²² FV المقابلة من المريخ

²³ BJV add. يدل

²⁴ V add. أعظم

²⁵ G النامية ; J

²⁶ J الفضلية

²⁷ BFJV om.

²⁸ F om. وعلى هذا القياس

²⁹ BV من instead of. سعد في

³⁰ JV به المستولى عليه (به without V) في المواضع أولي الكواكب به

³¹ J add. وخلقته ; V om. ب

³² J om.

³³ V يقال له

³⁴ V om. ب

³⁵ B التصق

³⁶ V في التور

³⁷ B على

³⁸ V الحالة الأولي

the malefics occupy the place of harm, or the benefics the place of happiness.

[8] The Sun gives harms in conjunction with Mars and in opposition with Saturn. The Moon gives harms in conjunction with Saturn and in opposition with Mars.

[9] A malefic planet, when it is easterly, <indicates> harm; when it is westerly, <indicates> illness; the harm occurs suddenly, and the illness occurs one after another.

[10] An evil omen is rougher against the two luminaries if the two malefics rise before the rising of the Sun and after the rising of the Moon. The Sun issues animal power. The Moon issues natural power. Saturn issues restraining power. Jupiter issues growing power. Mars issues angering power. Venus issues libidinous power. Mercury issues recollecting and reflective power.

[11] When the ascendant of a wife is the lord of the seventh place of the ascendant of <her> husband, the ascendant of a subject is the sixth of the ascendant of <his> king, and the ascendant of a servant is the tenth of the ascendant of <his> master, the days of the one with the other last long. Like this <in other cases>.

[12] When a malefic attacks, at the birth <of a person>, the place of a benefic at the birth of the other, it indicates adversity which afflicts whatever goodness is in his birth, and whatever badness is in his birth.

[13] Wherever we say 'the lord of the house is such and such', we mean by it the ruling <planet> in it.

Chapter Two: On the Beginning of the Formation of an Embryo and the Description of his Conditions before Birth

[1] The beginning of the formation of an embryo is called 'the setting of the fluid in the womb'. It resembles a dough when it sticks to an oven, and it is called the first thing which changes the fluid from from first condition. Then it resembles a seed when it (seed) is cast onto

الأرض وبين هذين الوقتين زمان غير³⁹ معلوم إلا أن أكثرها⁴⁰ أربع⁴¹ وعشرون ساعة وهو دورة واحدة من دوران الفلك

[2] فأحوال⁴² التي يحصّ الإنسان من القوى النفسانية والأمزجة⁴³ الطبيعية هي بحسب ابتداء خلقتة وطالع ذلك الوقت وأجمعوا على أن كل شهر من شهور الجمل يتولاه كوكب من⁴⁴ السبعة وهو يدل⁴⁵ على طبيعة⁴⁶ حال الجنين في ذلك الشهر

[3] فالشهر⁴⁷ الأول يتولاه زحل ولا⁴⁸ يظهر في الماء تغير مفرط وبقرط يسميها نطفة فإن كان زحل في طالع⁴⁹ الابتداء أو في⁵⁰ ذاته قويا كان المولود فيها⁵¹ بعيد الغور مفكرا في الأمور وعواقبه⁵² صدوقا صادق المودة

[4] والشهر الثاني يتولاه المشتري فيظهر في النطفة حمرة ظاهرة قبلتها⁵³ من دم⁵⁴ الحيض⁵⁵ ويصير شبيها باللحم⁵⁶ الجامد ويعظم قليلا ويختلج فيها ريح حارة وبقرط يسميه ولدا فإن كان المشتري في طالع الابتداء وفي هذا الشهر قويا كان المولود خيرا فاضلا عالما

[5] والشهر الثالث يتولاه المريخ فيتميز⁵⁷ منه الأعضاء الرئيسية التي هي الدماغ والكبد والقلب⁵⁸ ويظهر لسائر الأعضاء رسوم خفية وبقرط يسميه جنينا فإن كان المريخ في طالع الابتداء وفي هذا الشهر قويا كان المولود شجاعا قويا مقداما جريا⁵⁹

³⁹ عسير J

⁴⁰ أكثره FJ

⁴¹ أربعة FV

⁴² والأحوال V ; وأحوال B

⁴³ B and instead of الأمزجة والأحوال

⁴⁴ B FJ add. الكواكب

⁴⁵ B om. ; FJ om. وهو يدل

⁴⁶ J طبيعة

⁴⁷ V om. ف

⁴⁸ V فلا

⁴⁹ V الطالع

⁵⁰ J om. أو

⁵¹ GV فيها

⁵² JV وعواقبها

⁵³ B قبلها ; JV يقابلها

⁵⁴ J الدم

⁵⁵ V أحيض

⁵⁶ J بالدم

⁵⁷ V يتم فيه

⁵⁸ BV والقلب والكبد

⁵⁹ BV جريا قويا مقداما

G31a

the earth. Between these two times the time <interval> is not known except that its maximum is twenty-four hours which is <the time of> one rotation out of the rotations of the sphere <of the heaven>.

[2] The conditions of the mental powers and natural dispositions which characterize man are dependent on the beginning of his formation and the ascendant of this time. They agree that each month of the total months is ruled by one of the seven planets. It indicates the nature of the condition of an embryo in this month.

[3] Saturn rules the first month. No remarkable change is manifest in the fluid, and Hippocrates calls it 'sperm' (*naṭafa*). If Saturn is in the ascendant of the beginning or powerful by its nature, the native in it is unfathomable and thoughtful in matter and its effects are honesty, sincerity, and love.

[4] Jupiter rules the second month. Clear redness appear in the sperm which the blood of menstruation covers and it becomes similar to a solid flesh and grows a little, and hot wind trembles in it. Hippocrates calls it *walad*. If Jupiter is in the ascendant of the beginning and powerful in this month, the native is excellent, outstanding, and learned.

[5] Mars rules the third month. The chief organs, namely, brain, heart, and chest are formed in this month, and for the rest of the organs hidden marks appear. Hippocrates calls it 'embryo' (*janīn*). If Mars is in the ascendant of the beginning and powerful in this month, the native is bold, strong, audacious, and reckless.

[6] والشهر الرابع يتولاه الشمس فيظهر رسوم سائر الأعضاء ويقوي ويصلب ويجري فيه الروح⁶⁰ ويتحرك وبقراط يسميه في هذه الحالة وفيها⁶¹ بعدها صبيا فإن كانت⁶² الشمس في طالع الابتداء وفي هذا الشهر قوية⁶³ كان المولود في طبع السلاطين عارفا بالسياسات والأمور⁶⁴ السلطانية

[7] والشهر الخامس تتولاه الزهرة فيتفصل الرسوم وتظهر الصورة⁶⁵ وينبت الشعر فإن كانت الزهرة في طالع الابتداء وفي هذا الشهر قوية كان المولود⁶⁶ عاقلا نظيفا⁶⁷ متزينا ذاهبة⁶⁸ وجمال

[8] والشهر السادس يتولاه عطارد فيفتح لسانه وتتم خلقته فإن كان عطارد في طالع الابتداء وفي⁶⁹ هذا الشهر قويا كان المولود أدبيا فصيحاً⁷⁰

[9] والشهر السابع يتولاه القمر فيشتد الصبي ويقوي فإن كان القمر في طالع الابتداء⁷¹ قويا كان المولود عالما بأمر الفلاحة والأرضين والمياه وتقديرها وإن ولد في هذا الشهر كان من⁷² حكمه إن يعيش لأن خلقته قد تمت واستوفت طبائع الكواكب وقواها

[10] والشهر الثامن يتولاه زحل ثانيا فصير الصبي كالجأمد ويثقل في الرحم ويضعف عن الحركة السريعة الخفيفة فإن ولد في هذا⁷³ الشهر لم يعيش للحال التي ذكرنا⁷⁴

[11] والشهر التاسع يتولاه المشتري ثانيا فيكسب الصبي قوة وصلاحا وحركة طبيعية⁷⁵ للخروج

G31b

⁶⁰ B الريخ⁶¹ B وما⁶² FGJ كان⁶³ F قويا⁶⁴ B والأمر⁶⁵ J الصور⁶⁶ BV add. حسنا⁶⁷ J add. حسنا⁶⁸ J هنية⁶⁹ BJV ففي⁷⁰ JV فصيحاً أدبيا⁷¹ BFJV add. في هذا الشهر⁷² V في⁷³ V هذه⁷⁴ B التي ذكرناه J ; الذي ذكرناه⁷⁵ J وصلاحا وحركة طبيعية instead of طبيعية وحركة

[6] The Sun rules the fourth month. The remaining marks of organs appear and they become strong and hard, and the breath flows in it and moves. Hippocrates calls it, in this state and thereafter, 'boy' (*ṣabī*). If the Sun is in the ascendant of the beginning and powerful in this month, the native is, in his nature, authoritative, conversant in administration in the governmental matters.

[7] Venus rules the fifth month. The body parts are divided and the figure becomes manifest and hairs grow. If Venus is in the ascendant of the beginning and powerful in this month, the native is intelligent, neat, beautiful, possessing a good shape and beauty.

[8] Mercury rules the sixth month. His tongue begins opening and his formation completes. If Mercury is in the ascendant of the beginning and powerful in this month, the native is moral and eloquent.

[9] The Moon rules the seventh month. The boy become strong and powerful. If the Moon is in the ascendant of the beginning and powerful, the native is conversant in the matters of rulership, earth, and water and their arrangement. If he is born in this month, some people judge that he can live, because his formation is already complete and the natures and powers of planets have fully contributed.

[10] Saturn rules the eighth month for the second time. The boy becomes like a solid and become heavy in the womb and he is deprived of swift and light motion. If the bay is born in this month he does not live because of the condition which we have said.

[11] Jupiter rules the ninth month for the second time. The boy gains power and goodness and natural movement for going out.

الباب الثالث في معرفة درجة الطالع عند الولادة

[1] وقت الولادة هو¹ مبداء عظيم للإنسان لأنه يكتسب حينئذ² أشياء لم يكن³ له قبل ذلك من⁴ سعادات العالم ومناحسة ويكتسب أيضا خواصا⁵ من المزاجات والقوى النفسانية والوقوف على ساعة خروجه إلى ضياء⁶ العالم ليس إلا بالأصطرلاب يؤخذ به ارتفاع الشمس بالنهار وارتفاع الكواكب⁷ بالليل أول ما يفارق الصبي أمه

[2] فأما الذي يؤخذ من وقت الولادة بآلات الساعات من الفنجانات⁸ وغيرها فكثيرا ما يعرض له من الميل والأعوجاج⁹ وأشهرها آلات¹⁰ الماء وقد يقع فيها التفاوت لاحتباس الماء واختلاف مسيله الذي يكون عن أدني بسبب¹¹ يعرض له فإذا فات الوقوف على وقت الولادة فقد فات ولا سبيل¹² إلى وجوده بالحقيقة¹³ إلا أن القوم احتيالوا في التقريب احتيالا سموه نموذارا

[3] وأكثر ما يستعمل نموذار نسب إلى بطليموس¹⁴ وليس هو صاحب المجسطي وإنما هو بطليموس آخر¹⁵ عارف بالعلوم الطبيعية وبالأحكام¹⁶ النجومية ويعرف¹⁷ بصاحب الأحكام وأكثر أهل الصناعة يظنون أنه صاحب المجسطي ونموذار آخر يعرف بنموذار مسقط الماء وقد ذكره بطليموس أيضا

[4] نموذار¹⁸ بطليموس نخمّن وقتا نتحقق أنه قبل الولادة أو بعدها¹⁹ بمحدود نصف ساعة ونقيّم الطالع والأوتاد²⁰ ونقوم الكواكب وجزء²¹ الاجتماع والاستقبال الذي قبل الولادة على أنه إن كان الاستقبال نهرا أخذنا جزء الشمس وإن كان ليلا أخذنا جزء القمر

¹B instead of هو أيضا FJV: أيضا B

²B instead of حينئذ ح

³BJ تكن

⁴J ومن

⁵V خواص

⁶B add. هو

⁷B instead of كوكب من الكواكب الثابتة

⁸BJ البنكانات V; البنكانات

⁹BJ والأعوجاج

¹⁰F آلات

¹¹B سبب

¹²J سبيله

¹³J في الحقيقة

¹⁴BJV بطليموس passim.; J hapl. om. to the next

¹⁵B add. كان V om.

¹⁶BV والأحكام

¹⁷V om. و

¹⁸B فنموذار

¹⁹B قبل الولادة أو بعدها instead of بعد الولادة أو قبلها

²⁰V add. لذلك الوقت

²¹B وجزء ونصح جزء

Chapter Three: On the Knowledge of the Degrees of the Ascendant at Birth

[1] The time of birth is an important beginning for a man because he gains, at this moment, something which did not exist for him before it — fortune and misfortune of this world. Also he gains the essences of characters and mental powers. The pursuit of the time of his exit to the light of the world can only be achieved by an astrolabe by which is taken the altitude of the Sun by day and the altitude of stars by night just when the boy was separated from his mother.

[2] As for the time of birth which is obtained by the time instruments of cups and others, there is much accidental divergence and deviation. The best known of them are water instruments, but there are differences in them because of stoppage of water and irregularities of the flowing, which is from the bottom, by accidental causes.¹ When one fails in the pursuit of the time of birth, then he will fail and there would be no way to find it correctly. But people made efforts in close approximation which they called 'indicator' (*namūdḥār*).

[3] The indicator best used is ascribed to Ptolemy.² He is not the author of the *Almagest* but another Ptolemy who was conversant in natural science and astral science and who was known as an author of science.³ Many people of <this> art believe him as the author of the *Almagest*. The other indicator is known as the 'indicator of conception'. Ptolemy described it too.

[4] The indicator of Ptolemy. We approximate the time <of birth>. We make sure that it is before or after the <true time of> birth within the limit of half an hour.⁴ We <first> determine the ascendant and cardines, and we arrange the planets, and the point of the new moon and the full moon which are before the birth⁵ in the <following way>: if a full moon is by day we take the position of the Sun; if it is by night we take the position of the Moon.

¹ *Tetrabiblos* 3.2.

² Cf. *Tafḥīm* 525.

³ Kūshyār thinks that the author of the *Almagest* is different from that of the *Tetrabiblos*. The *Almagest* which was available to him was mentioned in his *Zīj*.

⁴ Thus the approximation within the limit of ± 0.5 hour is presupposed.

⁵ The Chinese translation explains 'when it is the first half of a month it is the new moon, if it is the second half, it is the full moon.'

G32a

ثم نعرف الكواكب التي لها في ذلك البرج²² والجزء وحظ من البيت والشرف والمثلثة والحد
ثم²³ ننظر في طالع التحمين وتتعرف²⁴ درجات أي كوكب من تلك²⁵ الكواكب أقرب
إلى²⁶ درجات أحد أوتاد²⁷ طالع التحمين فنجعل درجات ذلك²⁸ الوتد مثل درجات ذلك²⁹
الكوكب

[5] وقد علمنا أن طالع الولادة أكثر درجا³⁰ من طالع التحمين أو أقل منه فنجعل³¹
درجات الوتد بحسب³² ذلك ونستخرج منه الطالع فإن كانت³³ عدة كواكب قريبة
الدرجات بعضها من بعض أخذنا الذي هو أكثر حظا وفي هذا النموذج شرائط وتأكيدات
يرجع كلهما إلى الجملة التي ذكرناها

[6] نموذجار³⁴ مسقط الماء نحتمن وقتا نتحقق³⁵ أنه قبل الولادة أو بعدها بحدود نصف
ساعة فنقيم³⁶ الطالع لذلك الوقت وموضع القمر فيه وليعلم أن الأصل في هذا النموذج هو
أن موضع القمر لوقت الولادة طالع مسقط الماء وموضع القمر لوقت مسقط الماء³⁷ طالع
الولادة وأن مكث المولود الذي هو³⁸ تسعة³⁹ أشهر في الرحم فيما بين الأزمان الثلاثة
بالتقريب أقلها⁴⁰ تسعة أحوار ونصف من أحوار القمر وأيامه مائتان⁴¹ وتسعة وخمسون⁴²
يوما وثلاثة عشر ساعة وثلاث⁴³ بالتقريب وأوسطه عشرة أحوار وأيامه مائتان وثلاثة
وسبعون يوما وخمس ساعات وخمسة عشرة⁴⁴ دقيقة وثمانية وثلاثون⁴⁵ ثانية⁴⁶ بالتقريب

²²B om. البرج و

²³BF instead of ثم

²⁴BFJ om. في طالع التحمين وتتعرف

²⁵JV هذه

²⁶B من

²⁷B add. من أحد أوتاد instead of حد الأوتاد

²⁸V تلك

²⁹FJV om.

³⁰JV درجات

³¹JV لنجعل

³²B بحسب instead of مثل

³³BJV كان

³⁴F om.

³⁵JV يتحقق

³⁶BJ ونقيم

³⁷B add. هو

³⁸V om.

³⁹BJ الذي لتسعة

⁴⁰BV أقله; J om.

⁴¹F مائتي passim.

⁴²B gives days in Hindu-Arabic numbers, and hours etc. in abjad.

⁴³V عشر ساعة وثلاث instead of عشرة ساعة

⁴⁴V به

⁴⁵V له

⁴⁶FJ om. numbers below the unit of seconds.

Then we find in this time the planets concerning their <1> sign and degree, <2> share of the house, <3> exaltation, <4> triplicity, and <5> term. Then we look into the approximate ascendant and we find the degrees of whichever planet that is nearest to the degrees of one of the cardines of the approximate ascendant, and we regard these degrees of the cardine as equal to the degrees of this planet.⁶

[5] We already know that the <true> ascendant of the birth is greater or less in degrees than the approximate ascendant, so we make the degrees of the cardine according to it (i.e., the nearest planet). We derive the ascendant from this <cardine>. If the number of the degrees of planets is close to each other, we take that <planet> which has more shares. In this indicator there are conditions and confirmations, all of which correspond to the generality which we have mentioned.

[6] The indicator of conception:⁷ we approximate the time <of birth>. We make sure that the time is before or after the birth within the limit of half an hour. We determine the ascendant of this time and the place of the Moon at the time. Let it be known that the bases in this indicator are that <1> the Moon's place at the time of birth is the ascendant of conception, <2> the Moon's place at the time of conception is the ascendant of the birth time. The stay of the native in the womb is nine months, and what is between the two times (i.e., conception and birth) is approximately of three kinds. The shortest of them is nine and a half rotations of the Moon,⁸ its days being approximately two hundred and fifty-nine days and thirteen hours. The medium of them is ten rotations, its days being approximately two hundred and seventy-three days and five hours and fifteen minutes and thirty-eight seconds.

⁶The Chinese translation gives two examples: (1) the most powerful planet is 20 degrees and one of the cardines is 25 degrees, (2) the most powerful planet is 25 degrees and one of the cardines is 20 degrees.

⁷Cf. *Tafhīm* 526.

⁸Three numbers given here are:

'medium duration': 10 sidereal months = $273^d 5^h 15^m 38^s \approx 273.2189$ days

'shortest duration': 9.5 sidereal months = $259^d 13^h$

'longest duration': 10.5 sidereal months = $286^d 21^h$.

وأكثره عشرة⁴⁷ أدوار ونصف وأيامه مائتان وستة وثمانون يوما وإحدى وعشرون ساعة بالتقريب

[7] فإذا⁴⁸ أخذنا ما بين الطالع والقمر إن كان القمر تحت الأرض نقسم⁴⁹ على مسير يوم القمر وهو ثلاثة عشر⁵⁰ درجة وإحدى عشر دقيقة بالتقريب⁵¹ ويزيد الحاصل من الأيام والساعات على المكث الأوسط كان ما بلغ المكث بالتقريب وإذا⁵² أخذنا ما بين القمر والطالع إن كان القمر فوق الأرض وقسم على مسير يوم القمر⁵³ ونقص⁵⁴ الحاصل من المكث الأوسط كان⁵⁵ بقي المكث بالتقريب

[8] فإذا حصل هذا المكث نقصناه من وقت الولادة الذي⁵⁶ بالتحمين فما بقي قومتنا عليه القمر ونظرنا إلى موضعه فإن كان من⁵⁷ البرج الذي هو⁵⁸ طالع الولادة وقريبا من درجات التحمين وإلا نظرنا في أي يوم يكون⁵⁹ كذلك أما بتقديم يوم أو⁶⁰ بتأخير يوم⁶¹ فننظر في ذلك اليوم إلى طلوع موضع القمر لوقت الولادة نهرا هو⁶² أم ليلا فإن كان نهرا قومتنا الشمس لنصف النهار⁶³ ونقصنا من مطالع موضع القمر⁶⁴ مطالع جزء الشمس فما بقي فهو الدائر من الفلك من⁶⁵ طلوع الشمس إلى طلوع موضع القمر⁶⁶ وإن كان ليلا قومتنا الشمس لنصف الليل⁶⁷ ونقصنا من مطالع موضع القمر مطالع⁶⁸ نظير جزء الشمس فما بقي فهو الدائر من الفلك من وقت غروب الشمس إلى طلوع موضع القمر فنعرف ساعات الدائر

⁴⁷ V أكثر عشر

⁴⁸ G إذ

⁴⁹ BJV ونقسم

⁵⁰ J عشرة

وذلك إذا حصلت الأيام بمحلول المسير V add. ثلاثة ... بالتقريب instead of يحياه B⁵¹

أو بالبسط ضربنا الباقي في أربعة وعشرين ونقسم على ما قسمنا فيحصل الساعات وكسورها

⁵² G إذ

⁵³ B مسير القمر ليوم

⁵⁴ J نقصنا

⁵⁵ BFJV add. ما

⁵⁶ J add. هو

⁵⁷ FJV في

⁵⁸ B الذي هو and om.

⁵⁹ B add. ذلك

⁶⁰ GJ أو instead of وأما

⁶¹ G بتأخيره

⁶² B هو instead of يكون

⁶³ B add. ذلك اليوم

⁶⁴ V add. لوقت الميلاد

⁶⁵ G مند

⁶⁶ BV add. لوقت الولادة

⁶⁷ F النهار

⁶⁸ G om. مطالع

The longest of them is ten and a half rotations, its days being approximately two hundred and eighty-six days and twenty-one hours.

[7] When we take what is between the ascendant and the Moon, if the Moon is below the earth, we divide it by the daily motion of the Moon, i.e., approximately thirteen degrees and eleven minutes, and the quotient consisting of days and hours is added to the medium duration of the stay. The result is approximately the duration of the stay. When we take what is between the Moon and the ascendant, if the Moon is above the earth, it is divided by the daily motion of the Moon, and the quotient is subtracted from the medium duration of the stay. The result is approximately the duration of the stay.⁹

[8]¹⁰ When this duration is obtained we subtract it from the time of the birth which is approximate, and we locate the Moon according to what remains, and we see its place, if it (the place) is the sign which is the ascendant of the birth and it is near the approximate degrees <of the ascendant>. Otherwise we consider in which day it is like this, <namely> whether it is the day before or the day after, and we will see, in that day, the rising of the Moon's place at the time of birth, which is day or night. If it is day we locate the Sun at noon and we subtract the ascension of the Sun's point from the ascension of the Moon's place. What remains is the rotation of the sphere from the sunrise to the rising of the Moon's place. If it is night we locate the Sun at midnight and we subtract the ascension of the point which is diametrically opposite to the Sun's point from the ascension of the Moon's place. What remains is the rotation of the sphere from the time of the sunset to the rising of the Moon's place. Then we know the hours of the rotation

⁹The approximate duration (p) of pregnancy is obtained from the longitude of the Moon (λ_m) and that of the ascendant (λ_h) at the approximate birth time, and the mean daily motion of the Moon (\bar{v}_m):

(1) when the Moon is below the horizon: $p = 10m + \frac{\lambda_m - \lambda_h}{\bar{v}_m}$

(2) when the Moon is above the horizon: $p = 10m - \frac{\lambda_h - \lambda_m}{\bar{v}_m}$

where $10m$ is given in the previous paragraph and $\bar{v}_m \approx 13^\circ 11'$. Since $m = \frac{360^\circ}{\bar{v}_m}$, the two extreme cases when $|\lambda_m - \lambda_h| = 180^\circ$ are

(1) $p = 10.5m$ (when the Moon is below the horizon and close to the descendant)

(2) $p = 9.5m$ (when the Moon is above the horizon and close to the descendant)

which are given in the preceding paragraph.

¹⁰The procedure in this paragraph is summarized as:

Since λ_h , p , and approximate time of birth (T_{b0}) are given, approximate time of conception $T_{c0} = T_{b0} - p$ is obtained.

The Moon's longitude at conception is $\lambda_m(T_{c0})$. If $\lambda_m(T_{c0}) \approx \lambda_h$, then $\lambda_m(T_{c0})$ is the ascendant of the birth. If $\lambda_m(T_{c0}) \neq \lambda_h$, we proceed to the next step: find the time (T_{c1}) when $\lambda_m(T_{c1}) = \lambda_h(T_{c1})$. The rest of the procedure is to rotate the sphere by certain time degrees in order to locate the Moon at the ascendant, since 'the Moon at the time of conception is the ascendant of the birth'.

ونقوم⁶⁹ القمر عليها فيكون موضع القمر حينئذ⁷⁰ طالع الولادة وموضع القمر لوقت الولادة طالع ابتداء الكون

[9] نموذار التسيير⁷¹ نترصد الحوادث التي تحدث فيما بين العمر⁷² من خير أو شر وننظر إلى أقربهما⁷³ موافقة للطالع المستخرج بأحد النموذارين فإن كان الحادث من بلوغ أحد الأوتاد إلى نحس أو سعد رجعنا عنه إلى الوند بمقدار الزمان الحادث أمّا إن كان وتد⁷⁴ العاشر أو الرابع فبمطالع الفلك المستقيم وأمّا إن كان وتد الطالع فبمطالع البلد وإن كان وتد السابع فبمطالع النظير لكل سنة درجة ولكل ستة أيام دقيقة

[10] وإن كان الحادث من بلوغ هيلاج إلى سعد أو نحس أخذنا عن الزمان المعلوم لكل سنة درجة ولكل ستة أيام دقيقة فما كان فهو المطالع المعدل⁷⁵ ثم نأخذ⁷⁶ ما بين الهيلاج والنحس بمطالع⁷⁷ الاستواء⁷⁸ والبلد ونحفظ كل⁷⁹ واحد منهما ونأخذ⁸⁰ الفضل بينهما ونسميه الفضل بين المطالعين ثم نأخذ الفضل⁸¹ بين المطالع المعدل وبين أحد⁸² المطالع الذي⁸³ فيما بين⁸⁴ الهيلاج والنحس أمّا إن كان الهيلاج فيما بين العاشر والطالع⁸⁵ فبمطالع⁸⁶ الاستواء وكذلك في الربع المقابلة⁸⁷ له وأمّا⁸⁸ إن كان الهيلاج فيما بين الطالع والرابع فبمطالع⁸⁹ البلد وإن كان الهيلاج⁹⁰ فيما بين السابع والعاشر فبمطالع⁹¹ النظير [11] فما حصل فهو تعديل المطالع ثم نضرب تعديل المطالع⁹² في ستة ونقسمه على⁹³

⁶⁹ JV يقوم

⁷⁰ B ح instead of حينئذ

⁷¹ B repeats نموذار التسيير ; J add. وهو إن

⁷² V القمر

⁷³ BV أقربها

⁷⁴ B الوند

⁷⁵ BFJ om.

⁷⁶ BJ تأخذ

⁷⁷ B add. خط

⁷⁸ BV add. ومطالع

⁷⁹ J لكل

⁸⁰ BV وتأخذ

⁸¹ J om.

⁸² B إحدى

⁸³ V التي

⁸⁴ J hapl. om from here to the next بين

⁸⁵ J الطالع والعاشر

⁸⁶ V خط في مطالع ; B add.

⁸⁷ B المقابل

⁸⁸ V om. وأمّا

⁸⁹ V في مطالع

⁹⁰ B om.

⁹¹ V في مطالع

⁹² V hapl. om. ثم نضرب تعديل المطالع

⁹³ B في

and we locate the Moon according to them and thus the place of the Moon at this moment becomes the ascendant of the birth, and the place of the Moon at the time of birth becomes the ascendant of the beginning of the existence.

[9] The indicator of the *tasyīr*.¹¹ We observe the phenomena which occur during the life span, either fortunate or unfortunate. We see the suitable and nearest of them to the ascendant which was derived from one of the two indicators. If the phenomenon is pertaining to the arrival of one of the cardines at a malefic or benefic, we go back from it to the cardine by the amount of the occurring time; if the cardine is the tenth place or the fourth place, then by the ascension of the right sphere; if the cardine is the ascendant, then by the ascension of the city;¹² if the cardine is the seventh place, then by the rising time of the diametrically opposite place — for each year one degree and for every six days one minute.

[10] If the phenomenon is pertaining to the arrival of the *haylāj*¹³ at the benefic or the malefic, we take, from the known time, a degree for each year and a minute for every six days. What results is the corrected ascension. Then we take what is between the *haylāj* and the malefic by the ascension of the right <sphere> and of the city, and preserve each one of the two, and we take the surplus between the two.¹⁴ We call this 'difference of the two ascensions'. Then we take the difference between the corrected ascension and one ascension which is between the *haylāj* and the malefic — if the *haylāj* is between the tenth place and the ascendant, then by the right ascension, and likewise is the quadrant which faces it; if the *haylāj* is between the ascendant and the fourth place, then by the ascension of the city; if the *haylāj* is between the seventh place and the tenth, then by the ascension of the diametrically opposite point.¹⁵

[11] What was obtained is the equation of ascension. Then we multiply the equation of ascension by six and divide it by

¹¹The topic is almost identical with that in 3.21.11–13. The aim of this chapter is to find the ascendant from a *tasyīr* arc. This *tasyīr* is the 'slowest one' (see 3.21.3), i.e., $1^\circ/\text{year} \approx 1'/6\text{days}$. Thus the first step is to convert the given *tasyīr* arc into time degrees (α_T).

¹²The 'ascension of the city' is the oblique ascension (ρ) of the locality in contrast to the right ascension (α). In this paragraph three special cases are explained where the *haylāj* (H) coincides with one of the cardinal points. It has arrived at some point (M) by the amount of *tasyīr* by diurnal rotation. See figure on page 235. The three cases are:

(1) $\alpha_H = \alpha_M - \alpha_T$ when H is the midheaven or lower culmination.

(2) $\rho_H = \rho_M - \alpha_T$ when H is the ascendant.

(3) $\rho_{(H+180^\circ)} = \rho_{(M+180^\circ)} - \alpha_T$ when H is the descendant.

¹³Cf. 3.6. This paragraph gives the general case where H is no more one of the cardines.

¹⁴Here $\Delta\omega = \omega_H - \omega_M$ was obtained, where $\omega_H = \alpha_H - \rho_H$ and $\omega_M = \alpha_M - \rho_M$.

¹⁵Here the difference of the two 'equations' ($\Delta\omega'$) was obtained and it was approximated to the distance of H from the cardine (cf. 3.21.5). The three cases are:

(1) $\Delta\omega' = (\alpha_H - \alpha_M) - \alpha_T$ (midheaven and lower culmination)

(2) $\Delta\omega' = (\rho_H - \rho_M) - \alpha_T$ (ascendant)

(3) $\Delta\omega' = (\rho_{(H+180^\circ)} - \rho_M) - \alpha_T$ (descendant)

الفضل بين المطالعين فما حصل فهو البعد المعدل من الود فنضربه في أجزاء الساعات موضع⁹⁴ الهلاج وننقصه من مطالع الهلاج⁹⁵ أما بالاستواء وأما بالبلد بحسب موقع الهلاج من الأرباع فما بقي فهو مطالع الود⁹⁶ من أوتاد الطالع فننظر إلى⁹⁷ أقرب الارتفاع إليه بالنهار أو الليل فنستخرج⁹⁸ منه⁹⁹ الطالع بالاستقصاء

الباب الرابع في تربية المولود

[1] المولود الذي لا يغتذي فهو الذي لا يعيش ثلاثة أيام والذي لا يتربى فهو الذي لا يستكمل أربع سنين

[2] إذا كان أحد النيران في أحد¹ الأوتاد وأحد النحسين معه أو يربعه أو يقابله² فإن المولود لا يغتذي وقد قلنا في المقدمة أن ضرر الشمس من مقارنة المريخ ومقابلة زحل³ وضرر القمر من مقارنة زحل⁴ ومقابلة المريخ

[3] إذا كان الطالع محصورا بين النحسين ولم ينظر إليه⁵ سعد والمستولى على موضع النير الذي له النوبة نحس أو منحوس فإن المولود لا يغتذي

[4] أدلاء التربية درجة الطالع وصاحب الطالع والنيران وسهم السعادة وأرباب المثلثات هذه كلها وأقوامها في ذلك كلها⁶ أرباب مثلثات الطالع والنير الذي له النوبة فإن كان أكثر ذلك في الأوتاد وما يليها وفي حظوظها ومسعود⁷ أو سليمة من المناحس حكم⁸ بتمام التربية وحسنها وسهولتها وإن كان بالضد من ذلك كله حكم بأن لا تربية له وإن كان فيما بين ذلك فبحسب ذلك⁹ الضعف يحكم على ضعف التربية والمنحسة¹⁰ على شدتها

[5] سعادة القمر يوم ثالث المولود وسابعه تدل¹¹ على غزارة اللبن وطيبة ونحوسة تدل¹² على قلته وانقطاعه

⁹⁴ مواضع ج

⁹⁵ V add. و

⁹⁶ B وتد

⁹⁷ BF om.

⁹⁸ B ونستخرج

⁹⁹ V om.

¹ FGV om.

² V مقابله

³ B مقابلة زحل ومقارنة المريخ

⁴ V om.

⁵ B om. إليه

⁶ BJV om. كلها

⁷ V مسعود

⁸ J يحكم

⁹ V add. من

¹⁰ B بالمنحسة

¹¹ JV يدل

¹² JV يدل

the difference of the two ascensions. What is obtained is the corrected distance from the cardine. Thus we multiply it by the horary magnitude of the place of the *haylāj* and we subtract it from the rising time of the *haylāj* in the case of right ascension. In the case of oblique ascension, it is in accordance with the place of the *haylāj* in the quadrants. What remains is the rising time of one of the cardines of the horoscope. Then we look at the nearest in altitude to it by day or by night. Thus we obtain by this <method> the ascendant in question.¹⁶

Chapter Four: On the Judgement of the Growth of the Native

[1] The native who cannot be nourished does not live three days, and who cannot grow does not complete four years.

[2] When one of the two luminaries is in one of the cardines and one of the two malefics is with it or ruling it or in opposition to it, then the native is not nourished. We said in the introduction <of the third Part>¹⁷ that the Sun gives harms in conjunction with Mars and in opposition with Saturn and that the Moon gives harms in conjunction with Saturn and in opposition with Mars.

[3] If the ascendant is enclosed by the two malefics, and the benefic does not aspect it, and the ruler of the place of the luminary to which the period (*nawba*)¹⁸ belongs is malefic or made malefic, then the native is not nourished.

[4] The indicators of growth are (1) the ascendant, (2) the lord of the ascendant, (3) the two luminaries, (4) the lot of fortune, (5) the lords of each one of the triplicities. The strongest of them concerning it is the lords of the triplicities of the ascendant and the luminary to which the time belongs. If the majority of them are in cardines or in succedents and in their shares, or if they are made benefic or uninjured by the malefic, <then> one judges the completeness, goodness, and safety of growth. If they are in the opposite <condition> from them all, one judges that he does not grow. If they are in between them, then <judgement is> according to them. The weakness gives judgements on the weakness of growth. The malefic gives judgements on his hardship.

[5] The goodness of the Moon on the third day and the seventh day of birth indicates abundance of milk and goodness, and the badness <of the Moon> indicates scarcity of milk and its stoppage.

¹⁶ The distance of H from M in hours: $h = \frac{\Delta\omega' \times 6}{\Delta\omega}$.

This is converted into distance (*d*) in degrees, when the horary magnitude (*m*, the length of one seasonal hour) is known, by: $d = h \times m$.

Then the right ascension of the ascendant is obtained by $\alpha_h = \alpha_H - d$, from which is found the longitude of the ascendant: $\lambda_h = f(\alpha_h)$.

¹⁷ See 3.1.8.

¹⁸ Cf. *Tafhīm* 459.

الباب الخامس في صورة بدن المولود وخليته ومزاجه

[1] يعرف ذلك من المستولى على الطالع والمستولى على موضع القمر وأقوى الكواكب وأكثرها حظاً في موضعه فأبى هذه¹ الثلاثة كان² أقوى وأكثر حظاً فهو أولى بالتدبير
[2] زحل إذا كان والي التدبير وهو مشرق كانت³ حلية المولود شبيهة⁴ بلون العسل محصب⁵ البدن السود⁶ الشعر متكاثف شعر الصدر متوسط العينين معتدلاً في العظم والغالب على مزاجه البرد والرطوبة فإن كان مغرباً كان حليته آدم⁷ مهزولاً صغير الجسم متوسط⁸ سبط الشعر خفيفة حسن⁹ التأليف أسود العينين الغالب على مزاجه اليبس
[3] المشتري إذا كان والي التدبير وهو مشرق كانت¹⁰ حليته أبيض اللون حسن الشعر متوسط¹¹ العينين حسن القامة والمقدار ذا وقار والغالب على مزاجه الحرارة والرطوبة فإن كان مغرباً كان المولود أبيض إلا أنه لا يكون حسن اللون سبط الشعر متوسط العينين صغير الجسم الغالب على مزاجه الرطوبة
[4] مريخ إذا كان والي التدبير وهو مشرق كانت حليته فيما بين البياض والحمرة حسن المقدار محصب¹² البدن أزرق العينين متوسط الشعر الغالب على مزاجه الحر¹³ واليبس فإن¹⁴ كان مغرباً كان أحمر اللون صغير مقدار البدن صغير العينين خفيف الشعر سبطاً أصهب الغالب على مزاجه اليبس
[5] الزهرة أفعالها بشبهة بفعال المشتري إلا أن الذي يحدث منها¹⁵ يكون أجمل ويكون¹⁶ قبوله أكثر وجماله بجمال النساء أشبه ويكون أحسن شكلاً¹⁷ أنعم بدناً ويحصها شهلة العينين
[6] عطارد إذا كان والي التدبير وهو مشرق كانت حليته شبيهة بلون العسل معتدلاً في عظم¹⁸ البدن حسن التأليف صغير العينين¹⁹ متوسط الشعر الغالب على مزاجه الحر وإن كان مغرباً كان فيما بين الأدمة والصفرة مهزولاً دقيق الصوت غير العينين حدقته شبيهة بحدقة المعز الغالب على مزاجه اليبس

¹B add. الكواكب

²B om.

³BJ كان

⁴B om. شبيهة V; شبيهة FJ om. البدن and add. المولود شبيهة

⁵J محصب

⁶BJV أسود

⁷BV كان حليته آدم instead of كانت آدم

⁸BFJV om.

⁹B add. الشعر

¹⁰J كان

¹¹B repeats متوسط F; متوسط

¹²JV محصب

¹³JV الحرارة

¹⁴V وإن

¹⁵BFJ عنها

¹⁶B om. يكون

¹⁷BJV add. و

¹⁸J في عظم instead of بعظم

¹⁹J العين

Chapter Five: On the Figure of the Body, Complexion and Temperament of the Native

[1] These are known from the ruler of the ascendant, the ruler of the Moon's place, and the planet which is most powerful and abundant in shares in its place. The one of these three which is most powerful and most abundant in shares is most suitable for the management <of these matters>.

[2] When Saturn is the governor of the management and easterly, the complexion of the native looks like the colour of honey; his body is fat; his hair is black; his hair of chest is thick; his eyes are medium; his bone is balanced. Dominant in his complexion are heat and moisture. If it is westerly, his complexion is feeble; his body is small; his long hair; thin; his figure is handsome; and his eyes are black. Dominant in his complexion is dryness.

[3] When Jupiter is the governor of the management and easterly, his complexion is of white colour; his hair is fair; his eyes are medium; his figure is good and large and has dignity. Dominant in his complexion are heat and moisture. If it is westerly, <the native> is white, but he is not of good complexion; long hair; his eyes are medium; and his body is small. Dominant in his complexion is moisture.

[4] When Mars is the governor of the management and easterly, his complexion is what is between white and red; his size is good; his body is fat; his eyes are blue; his hair is medium. Dominant in his complexion are heat and dryness. If it is westerly, <the native> is of a red complexion; the size of his body is short; his eyes are small; his hair is thin, lank and red brown. Dominant in his complexion is dryness.

[5] Venus' effects are like those of Jupiter, but those which are caused by Venus are more beautiful and his (native's) friendly receptions are many and his beauty is like that of a woman; his figure is handsome; his body is tender; bluish colour of eyes is added to them.

[6] When Mercury is the governor of the management and easterly, his complexion is like the colour of honey; the size of his body is medium; his figure is handsome; his eyes are small; his hair is medium. Dominant in his complexion is heat. If it is westerly, it is between feeble and yellow; his voice is weak; his eyes are hollow; his pupils are like that of goat. Dominant in his complexion is dryness.

[7] النيران يعتيان الكواكب أما الشمس فإنها تعين على الهيئة والجمال وخضب²⁰ البدن وأما القمر فعلى الاعتدال والقصف ورطوبة المزاج

[8] إذا كانت الكواكب مشرقة قريبة التشريق صيرت الأبدان عظاما وإذا وقفت وقوفها²¹ الأول صيرتها قوية جلدة²² وإذا كانت راجعة صيرتها معتدلة وإذا وقفت الوقوف²³ الثاني صيرتها ضعفة²⁴ وإذا استترت صيرتها خسيصة²⁵ تنالها الآفات الطوال صاحب طالعهم في ذرى أفلاك تدويرها²⁶ والقصار في الحضيض من أفلاك التدوير

الباب السادس في العمر

[1] يعلم ذلك من مواضع الهيلاجات والكواكب المستولية عليها ومن المواضع القاتلة¹ أما مواضع الهيلاجات فهي وسط السماء ثم الطالع ثم الحادي عشر ثم السابع ثم التاسع³ وحد الطالع كما قلنا في المقالة الأولى من خمس درجات فوق الأرض⁴ إلى خمس درجات قبل البيت الثاني وكذلك⁵ سائر البيوت

[2] الهيلاجات أربعة الشمس والقمر والطالع وسهم السعادة بالنهار والقمر والشمس والسهم وطالع بالليل والمستولى⁶ على موضع الهيلاج هو الوالي والمدبر إذا كان ناظر إليه وإذا كان⁷ الهيلاج أحد النيرين ولم يكن بموضعه والي⁸ أولى منه فهو الهيلاج وهو الوالي أيضا ومن الهيلاج والوالي⁹ جميعا يعرف العمر فإن كان هيلاج ولا¹⁰ والي له تركناه وطلبنا هيلاجا يكون له والي¹¹ فإن لم نجد¹² فالهيلاجية لدرجة الطالع ثانية¹³

[3] المواضع القاتلة¹⁴ درجة الغارب ومقارنة النحسين والنيرين وتربيعاتها ومقابلاتها

²⁰ JV وخضب

²¹ BF الوقوف JV; الوقوف

²² J add. وإذا كانت راجعة صيرتها قوية جلدة

²³ V وقوف

²⁴ B ضعيفة

²⁵ BJ سخيصة

²⁶ J التدوير

¹ V القابلة

² J فأما

³ BF(in margin) add. على هذا الترتيب V(in margin) add. على الترتيب

⁴ J add. و

⁵ B وكذا

⁶ J فالمستولى

⁷ F وإذا كان instead of فإن كان المستولى على موضع

⁸ BFJV om.

⁹ B وهو ... والوالي instead of فهو الوالي والهيلاج ومن الوالي والهيلاج

¹⁰ J om. و

¹¹ F والا V; والة

¹² B add. ذلك

¹³ B لدرجة الطالع ثانية instead of لدرجة الطالع

¹⁴ V القابلة

G34b

[7] The two luminaries help the <five> planets. As for the Sun it helps in figure and beauty and fat of body; as for the Moon it gives the effects of moderateness, slenderness and moisture of nature.

[8] When planets are easterly and near the easterliness they make the bodies large. When they stay at the first station they make them powerful and strong. When they are in retrogradation they make them moderate. When they stay at the second station they make them weak. When they go forward they make them miserable and give them illnesses — which are long lasting when the lord of their ascendant is in the apogee of the orbs of their epicycles, and which last a short time when it is in the perigee of the orbs of the epicycles.

Chapter Six: On Life Span

[1] This is known from the places of the *haylājes* and the planets governing them, and from the places of the killer (*qātīla*). As for the places of the *haylājes* they are the midheaven, then the ascendant, then the eleventh place, then the seventh place, then the ninth place, and <the degrees of> the term of the ascendant, as we have said in the first Part,¹ from the five degrees above the <eastern> horizon to the five degrees before the second house (i.e., place), and likewise is the rest of the houses.

[2] The *haylājes* are of four kinds: <in the order of> the Sun, the Moon, the ascendant, and the lot of fortune by day; the Moon, the Sun, the lot <of fortune>, and the ascendant by night. The governing planet of the place of the *haylāj* is the 'governor' (*wālin*) and the ruler (*mudabbir*) when it (ruler) is aspecting it (the place of *haylāj*). When the *haylāj* is one of the two luminaries and when there is no governor in its place which is more suitable than it, then the *haylāj* is also the governor. From both the *haylāj* and the governor the life span is known. If there is a *haylāj* which has no governor we neglect this (*haylāj*) and we seek <another> *haylāj* which has a governor; if we cannot find <the *haylāj*>, then again the *haylāj*ship (*haylājīya*) belongs to the degree of the ascendant.

[3] The places of the killer are <1> the degree of the descendant <2> <that of> the conjunction of the two malefics and the two luminaries, <3> <that of> their quartiles and oppositions,

¹ See 1.20.14.

ومواضع الكواكب الثابتة التي هي القواطع

[4] كثرة الهلجات وقوتها ونظر بعضها إلى بعض تدل¹⁵ على صحة المولود وذكائه وتيقظه¹⁶ وجوده¹⁷ ذهنه

[5] إذا كان الهيلاج أو الوالي فيما بين السابع والعاشر سيرناه إلى درجة الغارب بأن نأخذ¹⁸ من درجة الطالع إلى مقابلة الهيلاج بمطالع البلد فما كان فهو¹⁹ لكل درجة سنة ولكل دقيقة ستة أيام بالتقريب وهذا هو التسيير إلى خلاف التوالي وإذا كان الهيلاج أو الوالي في غير هذا الربع سير²⁰ إلى التوالي أبدا

[6] الهيلاج أو الوالي إذا كان²¹ فيما بين السابع والعاشر وسيرناه إلى درجة الغارب على خلاف التوالي²² سنون²³ من العمر فإن السعد المتصلة به تزيده والنحوس تنقصه وقدر الزيادة والنقصان إن ننظر إلى أجزاء ساعات السعد أو النحس في موضعه وننقص منها بقدر ساعات بعده من الطالع لكل ساعة من البعد نصف السدس أعني جزء من اثني عشر²⁴ وما بقي من أجزاء الساعات فهو الزيادة والنقصان

[7] إذا انتهى الهيلاج أو الوالي بالتسيير إلى نحس أعني المواضع القاتلة²⁵ في بعض السنين ثم انتحس ذلك الهيلاج أو الوالي بذلك النحس عند تحويل السنة أو فيما بين السنة والنحس في وتد من أوتاد طالع التحويل خيف عليه القطع فإن نظر إلى موضع القطع²⁶ سعد قوي في الأصل والتحويل²⁷ دفع ذلك القطع²⁸ وصار آفة أو علة متجاوزة وكذلك إن كان الهيلاج أو الوالي فاسدا في²⁹ الأصل صالح الحال من تحويل فإن³¹ كان صالح الحال في³² الأصل فاسدا في التحويل فإن ذلك عارض خفيف³³

¹⁵ J يدل

¹⁶ B وفطنته

¹⁷ J و وجوده ; V add و

¹⁸ V أخذ

¹⁹ B om. هو

²⁰ BV سيرناه

²¹ BF إذا كان : J om. الهيلاج أو الوالي إذا كان instead of والهيلاج والوالي الذي

²² BJV add. وحصلت

²³ V السنون

²⁴ B add. جزأ

²⁵ V القابلة

²⁶ J hapl. om. فإن نظر إلى موضع القطع

²⁷ V أو تحويل

²⁸ FV om.

²⁹ F om.

³⁰ BFJV من

³¹ FJV فأما إن

³² FGJV من

³³ B خفيف instead of يسير ضعيف

and <4> the places of the fixed stars which are 'cutters' (*qawāti*).

[4] The abundance of the *haylājes* and their power and the aspect one to the other — these indicate the health of the native, his intelligence, his caution, and the generosity of his mind.

[5] When the *haylāj* or the governor is between the seventh place and the tenth place and we move it toward the degree of the descendant so that we take, from the degree of the ascendant to the opposite point of the *haylāj* by the ascension of the city, then what results is one year for each degree and six days for each minute approximately. This is the movement in the opposite <direction> from the succession <of signs>. When the *haylāj* or the governor is in the other quadrant it always moves in the <direction of> the succession.

[6] When the *haylāj* or the governor is between the seventh place and the tenth place and we move it toward the degree of the descendant in the opposite <direction> from the succession <of signs>, <the result is> the years of life. Then the benefic planets in application to it increase it and the malefics decrease it. The amount of the increase and decrease: we see the time degrees of the benefic or malefic in its place and we diminish them by the amount of the hours of its distance from the ascendant — for each hour of distance the half of the sixth, i.e., the twelfth part, and what remains of the time degrees is the increase and decrease.²

[7] When the *haylāj* or the governor arrives, by the *tasyīr*, at the malefic, namely, at the places of the 'killer' in one of the years, and this *haylāj* or the governor becomes unfortunate by this malefic at the transfer of the year or amidst the year, and the malefic is in one of the cardines of the horoscope of the transfer, <then> the cutting frightens him (the native). Then if the benefic which is strong in the base nativity aspects the place of the cutting, it pushes back this cutting, and harm and illness are overcome. Likewise if the (*haylāj*) or the governor in the base nativity is weak, the condition is improved by the transfer <of the year>; if the condition is good in the base nativity, it becomes weak in the transfer and this disturbance becomes trivial.

²Let A be the basic length of life in time degrees, ρ_d and ρ_g be the time degrees in oblique ascension of the descendant and the governor respectively, δ be the amount of increase and decrease due to the aspects of the planets, and h be the time difference in hours of the planet from the ascendant, then the corrected length of life A' is obtained by the following process:

$$A = \rho_d - \rho_g \rightarrow \delta = A - \frac{h}{12} \cdot A \rightarrow A' = A \pm \delta$$

It is evident that when the planet is in the ascendant, i.e., when $h = 0$, its effect is full and when it is in the descendant, i.e., when $h = 12$, the effect is null.

The Chinese translation gives an example of obtaining A from the ascendant ($\lambda_h = 42^\circ$) and the governor ($\lambda_g = 252^\circ$), and gives $\rho_h = 23;54^\circ$, $\rho_{g+180^\circ} = 54;37^\circ$; thus $A = 30;43^\circ$, which corresponds to '30 years 8 months 18 days'. These two oblique ascensions are incompatible, because from the first we get $\phi \approx 43;43^\circ$, while from the second $\phi \approx 33;14^\circ$ as the geographical latitude.

[8] صاحب الثامن أحد المناحس التي³⁴ تخشى³⁵ غائلته لا سيما إن كان نحسا أو منحوسا في الأصل

[9] ولأكثر أهل هذه³⁶ الصناعة في هذا الباب طريقة أخرى وذلك إنهم يجعلون الشمس هيلجا فوق الأرض وتحتها إذا كانت في ربع مذكر أو برج مذكر إلا البيت الثاني عشر والسادس والثالث ويجعلون القمر هيلجا فوق الأرض وتحتها إذا كان في ربع مؤنث أو برج مؤنث إلا البيت الثاني عشر والسادس والتاسع والترتيب³⁷ بالنهار الشمس ثم القمر ثم الطالع ثم سهم السعادة وبالليل القمر ثم الشمس ثم السهم ثم الطالع³⁸ والناظر إليه من أرباب حظوظه³⁹ الكذخده ويجعلون له سنين كبرى ووسطى وصغرى من غير أن يعرف له وجه ويعتد⁴⁰ به حجة⁴¹

[10] فإن كان في الودت أعطى من العمر مثل سنيه⁴² الكبرى وإن كان فيما يلي الودت⁴³ فمثل سنيه الوسطى وإن كان في الزوائل فمثل سنيه الصغرى⁴⁴ وإذا اتصل سعد بالكذخده من الثلاث والتسديس زادة مثل سنيه الصغرى⁴⁵ أما إن⁴⁶ في الودت⁴⁷ فسنيه⁴⁸ الصغرى تامة وإن كان فيما يلي الودت⁴⁹ فثلثي سنيه الصغرى وإن كان في الزوائل فثلث سنيه الصغرى وكذلك تنقص النحس المتصل⁵⁰ بالكذخده

G35b

[11] وعطارد إذا كان ممتزجا بالسعود فهو سعد وإن⁵¹ كان ممتزجا بالنعوس فهو نحس [12] والنيران من الثلاث والتسديس سعد ومن المقابلة والمقارنة والتربيع⁵² نحس وإذا كان⁵³ الكذخده ضعيفا أو منحوسا ضعف أمر العش ويشد⁵⁴ ويخشي على المولود عند كل

³⁴ F الذي

³⁵ J الذي يخشى

³⁶ BV om.

³⁷ J المترتبة

³⁸ BV(in margin) add. على ما تقدم

³⁹ J om. ه

⁴⁰ B om. و

⁴¹ JV بحجة

⁴² V سنة passim.

⁴³ B الأوتاد

⁴⁴ BJ:FV(in margin) add. والهلاج بتسوية البيوت وكذخده بالعدد ودرج السواء

⁴⁵ V add. تامة

⁴⁶ BV add. كان

⁴⁷ J زادة ... الودت instead of الأوتاد يزداد مثل

⁴⁸ V فسنيه instead of فمثل سنة

⁴⁹ G وتدا

⁵⁰ B متصلة

⁵¹ FV وإذا

⁵² B المقابلة ... والتربيع instead of المقارنة والتربيع والمقابلة

⁵³ V وإذا كان instead of فإن

⁵⁴ J ويشد instead of وأشد BFV: والسنة

[8] The lord of the eighth place is one of the harms which terrifies <the natives> by its calamity, especially if it (the lord) is malefic or made malefic in the base nativity.

[9] Many people of this art have another method concerning this subject. It is this: they regard the Sun as the *haylāj* <both> above and below the earth when it is in the masculine quadrants or in the masculine signs except in the twelfth, sixth, and third houses (places); and they regard the Moon as the *haylāj* above and below the earth when it is in the feminine quadrants or in the feminine signs except in the twelfth, sixth, and ninth houses. The arrangement by day is the Sun, then the Moon, then the ascendant, and then the lot of fortune; and by night the Moon, then the Sun, then the lot of fortune, and then the ascendant; the <planet> aspecting it among the possessors of its shares is the *kadhkhudāh*. They regard that it has the great years, middle years, and small years without knowing the method nor providing it with proof.

[10] If <the *kadhkhudāh* is> in the cardine, it gives, as the years of life, the amount of the great years,³ and if it is in the succedent, the amount of the middle years, and if it is in the cadent, the amount of the small years. When the benefic planet aspects the *kadhkhudāh* from trine and sextile it increases the amount of the small years; if <the planet is> in the cardine, the full amount of the small years; in the succedent two thirds of the small years; in the cadent one third of the small years. Likewise the malefic applying to the *kadhkhudāh* decreases <the years>.

[11] When Mercury is mixed with the benefics, it is benefic; if it is mixed with the malefics it is malefic.

[12] The two luminaries are benefic from sextile and trine, and they are malefic from opposition and quartile. When the *kadhkhudā* is weak or made malefic, the matter of the life becomes weak and it gives hardship and fear to the native at each

³See the table on the next page.

منحسة تلقاه⁵⁵ أو تلقى الهيلاج لا ستما عند نصف سنين⁵⁶ الكذخده أو ثلثة⁵⁷ أو ثلثة⁵⁸ [13] وسنو الكذخده⁵⁹ مجموع سني⁶⁰ الكبرى والصغرى مثلاً⁶¹ الوسطى لسائر الكواكب⁶² إلا للشمس⁶³

الكواكب	الشمس	الزهرة	عطارد	القمر	زحل	المشتري	المريخ
الكبرى	قك	فب	عو	قح	نز	عط	سو
الوسطى	لط ⁶⁴	مه	مح	سو	مح	مه	م
	نصف	نصف		نصف	نصف	نصف	نصف
الصغرى	يط	ح	ك	كه	ل	يب	يه

G's gloss in margin:

نخسة و سني الكذخده فللشمس مضروب اثني عشر وهو عدد البروج في أول العشرات وهو عشرة وللقمر مضروب اثني في نهاية الأحوال وهي تسعة ولسائر الكواكب بقدر أجزائها من حدود بطليموس وأما السنون الوسطى فهو ما يجتمع من الكبرى والصغرى ويؤخذ نصف المبلغ وأما السنون الصغرى فللشمس من الاجتماع إلى أن تعود إلى الاجتماع إلى ذلك الجزء في تسعة وعشر سنة وللقمر فمن الاجتماع إلى أن تعود إلى الاجتماع إلى ذلك الوقت من الشهر وذلك في خمسة وعشرين دوراً من أدوار كل سنة ولسائر الكواكب بقدر سني عود كل واحد من مقارنة الشمس لها من موضع واحد

⁵⁵ J يلقاه

⁵⁶ FJV سني

⁵⁷ J om. أو ثلثة

⁵⁸ B instead of وهذا سنو الكواكب الكبرى والوسطى والصغرى على ما في هذا الجدول [12]; J gives the years in words instead of the table.

⁵⁹ V وسنة الكذخدا; F om. hereafter.

⁶⁰ V add. الكواكب

⁶¹ V الكبرى والصغرى مثلاً instead of مثلاً والكبرى مثل

⁶² V om. لسائر الكواكب

⁶³ V add. وفي نسخة بن الحبيب سني الوسطى الشمس تسع وثلث سنة ونصف سنة

G add. in the السنون الوسطى للقمر في غير هذا الكتاب لط ونصف كما للشمس سواء table

⁶⁴ F سط; F om. نصف throughout.

misfortune which encounters it or which encounters the *haylāj*, especially at the half or two thirds or third of the years of the *kadhkhudāh*.

[13] The years of the *kadhkhudāh*: half the sum of the great years and small years is equal to the middle years for the planets except for the Sun.⁴

planets	Sun	Venus	Mercury	Moon	Saturn	Jupiter	Mars
Great	120	82	76	108	57	79	66
Middle	39½	45½	48	66½	43½	45½	40½
Small	19	8	20	25	30	12	15

G's gloss in margin:

The copy w (?): the years of *kadhkhudāh*. For the Sun, twelve, which is the number of the signs, is multiplied by the the first of tens which is ten <thus we get 120>. For the Moon two (i.e., 12) is multiplied by the limit of units which is nine <thus we get 108>. For the rest of planets it is by the amount of their parts of the terms of Ptolemy. As for the middle years they are <derived form> the sum of the great years and small years which is halved. As for the small years: for the Sun it is from the new moon until the return to the new moon in the same point, in nineteen years;⁵ for the Moon it is from the new moon to the return to the new moon in the same time of the month, which makes one period in twenty-five rotations by the rotations of every year.⁶ For the rest of planets it is by the amount of the years of the return of each one of them from their conjunction with the Sun to one and the same place.

⁴ G adds in the table 'the great years of the Moon in the books other than this is 39 and half as that of the Sun.

⁵ I.e., Metonic cycle.

⁶ I.e., the cycle of 25 Egyptian years.

الباب السابع في الآفات والعلل العارضة للبدن

[1] يعلم¹ ذلك من المستولى على الغارب والسادس ومن زحل والمريخ واتصال هؤلاء بالمستولى على الطالع ومن البرج الذي يتصل منه² على أن الحمل للرأس³ والوجه والثور للعنق والحلقوم والجوزاء للمنكبين والمضجرين⁴ والسرطان للصدر والأضلاع والرئة والأسد للمعدة⁵ والقلب⁶ والسنبلة للبطن والأمعاء والسرة والميزان لأسفل⁷ السرة إلى العانة والعقرب للمقعدة والعورة والمذاكر والقوس للفخذين والجدي للركبتين والدلو للساقين والحوث للقدمين وكذلك⁸ على هذا الترتيب من الطالع إلى الثاني عشر

G36a

[2] زحل له من ظاهر البدن السمع الأيمن ومن باطنه الطحال والمشانة والبلغم وللمشتري⁹ اللمس¹⁰ والفواد والشيربانات والمني والمريخ¹¹ السمع الأيسر والكبد والعروق والمذاكير وللشمس¹² البصر والدماغ والمعدة والعصب وجميع الأعضاء الجانب¹³ الأيمن وللزهرة¹⁴ الشم¹⁵ واللحم والكليتان¹⁵ والمقعدة¹⁶ ولعطارد¹⁷ اللسان والنطق والفكر¹⁸ والمرارة¹⁹ وللقمر²⁰ المذاق²¹ والرئة والمري وجميع أعضاء الجانب الأيسر فأني كوكب من هذه انتحس فالآفة أو العلة²² فيما يدل عليه وقد تقدّم في المقدمة إن النحس إذا كان مشرقاً أحدث الآفة وإن²³ كان مغرباً أحدث العلل

[3] زحل يدل²⁴ على كثرة البلغم ومواد تنصب²⁵ إلى الأعضاء والقروح في الأمعاء

¹J add. من

²FJ om.

³BJ's structure: *li* + sign (gen.) + body parts (nom.)

⁴B add. اليدين; JV add. اليدين

⁵BJV المعدة

⁶BJ add. الظهر

⁷F لما هو أسفل V; لما أسفل J; لما أسفل من F

⁸B om. كذلك

⁹JV من ظاهر البدن and add. المشتري له

¹⁰J add. ومن باطنه

¹¹JV والمريخ له

¹²JV والشمس لها

¹³V om.

¹⁴JV الزهرة لها

¹⁵F والكليتين

¹⁶V المقعد

¹⁷JV عطارد له

¹⁸J والذكر V; والفكرة J

¹⁹J om.

²⁰JV القمر له

²¹V add. أعني المذئق

²²J فالعلة والآفة F; والعلة J

²³BFJV وإذا

²⁴F يدل زحل

²⁵J تنصب instead of التي ينصب V: ينصب J

Chapter Seven: On accidental Harms and Illnesses of the Body

[1] This is known from the <planets> mastering over the descendant, the sixth place, Saturn and Mars, and their application to the <planet> mastering over the ascendant, and from the sign from which it is applied, in the <following arrangement:> Aries belongs to head and face; Taurus to neck and throat; Gemini to shoulders and upper arms; Cancer to chest, breast, and lungs; Leo to stomach and heart; Virgo to belly, intestines, and navel; Libra to the lower part of navel toward pubes; Scorpio to buttocks, genitals, pudendum, and penis; Sagittarius to thighs; Capricorn to knees; Aquarius to shanks; Pisces to feet, and like this in this arrangement from the ascendant to the twelfth place.

[2] To Saturn belong right eye among the external parts of the body, spleen among the internal organs, and backbone and phlegm. To Jupiter belong touch, temple, mustaches, and semen. To Mars belong left ear, liver, Achilles tendon, and penis. To the Sun belong seeing, brain, stomach, sinew, and all the right limbs. To Venus belong smelling, flesh, kidneys, and buttocks. To Mercury belong tongue, speech, thinking, and gall bladder. To the Moon belong taste, lungs, alimentary canal, and all the limbs of the left side. Whichever planet among these is damaged, then the harm and illness are in the organs which it indicates. We have said in the introduction¹ that when the malefic is easterly it causes harm and if it is westerly it causes illnesses.

[3] Saturn indicates much phlegm and elements which go to limbs, ulcers in intestines,

¹Cf. 3.1.9.

واليرقان والسعال والقنف والقولنج وللنساء أوجاع الرحم
 [4] المريخ يدلّ على نفث الدم والاحتراقات السوداوية والجذام والجرب ومواد
 يخرج²⁶ إلى البط والكي وقروح ساعية نارية وتأكّل في الرحم
 [5] عطارد يعين²⁷ كلّ واحد منهما²⁸ على طبيعة حتّى يزيده ويعظم الأمر فيه
 [6] المشوّ هو²⁹ لخلق³⁰ يؤجّد النيران في الأمر الأكثر غير ناظرين إلى الطالع ويحتوي
 على الأوتاد الكواكب المنحسة
 [7] إذا كانت العلّة والقمر في البرج الذي كان فيه نحس في المولد أو تربيعه أو مقابلته
 فإنّها صعبة وأشدّة إن يكون³¹ العلّة من طبيعة النحس
 [8] نستشهد بهم المرض وصاحبه كما نستشهد بسائر الأدلاء المذكورة

الباب الثامن في أحوال النفس

[1] أحوال النفس تنقسم¹ إلى العقلي والخلقي أمّا العقلي فيتولاه عطارد وأمّا الخلقي فيتولاه
 القمر فبحسب قوّة هذين الكوكبين وضعفهما وسعادتهما ونحوستهما تكون الحال في هذين
 الأمرين حتّى يكون الإنسان بين حكيم ونبي وجاهل² وغبي
 [2] ينظر إلى البرج الذي فيه عطارد والقمر³ والكواكب المستولية على موضعهما فإن
 كانت منقلبة صيّرت الأنفس محبة لأموال الجمع والعامّة والمدن محبة للمدح والثناء متشبّهة⁴
 بأمور الدين⁵ ذكية محمودة الحركة ذات علم بالقضاء من النجوم والعرافة وإن كانت ذوات
 جسدین صيّرت الأنفس متفننة سهلة التغير يعسر⁶ الوقوف عليها طياشة فطنة وإن كانت
 ثابتة صيرة الأنفس عادلة غير محتدعة⁷ ثابتة رزينة فهمة صابرة⁸ محبة للتعب

²⁶ J يخرج

²⁷ J يعين V ; معين

²⁸ J om. B ; أحدهما هما

²⁹ FV هي

³⁰ BJV الخلق

³¹ BJ تكون

¹ JV ينقسم B add. إلى قسمين

² F و بين جاهل

³ B القمر وعطارد

⁴ B متشبّهة J ; متشبّهة

⁵ BFJV الله

⁶ J بعد

⁷ BJ منخدعة

⁸ J صابرة فهمة

jaundice, cough, exhaust, colic, and pain of the womb for women.

[4] Mars indicates blood-saliva, melancholic fevers, leprosy, itch, elements which go out to calf, burning and fiery ulcers, and consumption in the womb.

[5] Mercury cooperates with both of them (Saturn and Mars) in nature so that it increases it (illness) and makes the matter concerning it more serious.

[6] The purgative is the character which the two luminaries have in most matters when they are not aspecting the ascendant and enclose the malefic planets in cardines.

[7] When there is an illness while the Moon is in the sign in which the malefic planet is at the birth or in its quartile or its opposition, then it (the illness) is difficult. It is more difficult when the illness is due to the nature of the malefic planet.

[8] We should watch the lot of illness and its lord, just as we should watch indications which were explained.

Chapter Eight: On the Conditions of the Soul

[1] The conditions of the soul are divided into what is intellectual and what is moral. As for the intellectual, Mercury is in charge of it; as for the moral the Moon is in charge of it. Thus according to the strength and weakness of the two planets and their beneficence and meleficness there occur the condition in these two matters, so that a man is between the intelligent and prophet <on one side> and the ignorant and fool <on the other>.

[2] We look at the sign in which are Mercury, the Moon, and the <planet> mastering over the places of these two. Then if it is tropical, it makes the souls fond of the matters of association, folks, and cities, fond of laudation and praise, adherent to the matters of religion, intelligent, praised in action, possessing the knowledge of judgement by means of stars and omens. If it is bicorporal, it makes the souls many-sided, quick in the change which is difficult to stop, inconsistent, and clever. Then if it is fixed, it makes the souls fair, not cheating, serious, quick-witted, steadfast, and fond of toil.

[3] وإن⁹ كان المستولى على موضع¹⁰ عطارد والقمر¹¹ زحل وكان¹² حاله في ذاته قويا محمودا¹³ في العرض صير¹⁴ المولود¹⁵ قوي الرأي بعيد الفور متفردا برأيه وإن كان زحل على خلاف ذلك صير المولود وشحا حقيرا حقودا¹⁶ أدنى الهمة غير متميز¹⁷ متفردا برأيه جبانا معتزلا عن الناس شقيا¹⁸ لا سرور له

[4] فإن شاكله المشتري وهو أعني زحل على حاله¹⁹ المحمود²⁰ صيره خيرا مكرما للمشائخ هاديا جيد الرأي معوانا متميزا²¹ كبير²² الهمة ساكتا فهما وإن كان زحل على حاله المذمومة²³ صيره غير معتاد للخير ذاهب العقل يعالج²⁴ أمر الجحّ صاحب ذكاء²⁵ مبغضا للأولاد غير مختلط بالناس ولا²⁶ يؤثّق به ردي الاختيار

[5] فإن شاكله المريخ وزحل على الحالة المحمود²⁷ صير المولود غير مميّز متهورا²⁷ متقلبا في الجرأة والجبن²⁸ صعب المعاملة لا يرحم احدا²⁹ متهاونا فيما ينفع الناس خشنا مخاطرا بنفسه محبا للشغب غاشا متقلبا غاضبا³⁰ مبغضا للناس صاحب عمل واجتهاد وهو بالجملة منجح وإن كان زحل على الحالة المذمومة صير المولود سلابا قاطع الطريق³¹ مردولا دني للكسب³² لا يخاف الله ولا له مودة شريرا قتالا نباشا³³ وهو بالجملة ردي الحال

[6] فإن شاكلته الزهرة وزحل على الحالة المحمود³⁴ صير المولود مبغضا للنساء محبا للمشائخ ردي اللقاء غير محب للكرامة مبغضا للأمور الجميلة حسودا صعب المعاشرة مبغضا³⁴

⁹ B إذا V ; فإن

¹⁰ B om.

¹¹ FJV عطارد والقمر

¹² V instead of إذا كان

¹³ BF add. ; FJV add. و وكذلك

¹⁴ J om.

¹⁵ B instead of دل على أن المولود يكون

¹⁶ G puts this in margin. FV om. ; J حقير instead of حقود حقير

¹⁷ B متميز

¹⁸ V add. ولا شرف له و

¹⁹ Both الجحّ and الحالة are used in mss. Our text follows G.

²⁰ B محمود

²¹ JV مميّز

²² V كثير

²³ B مذمومة

²⁴ J معالج

²⁵ B مكر ; J ذكان ; F مكر

²⁶ BFJ om. و

²⁷ B om. ; V متعوبا

²⁸ J والجين

²⁹ FJ om.

³⁰ BJ غاصبا

³¹ B للطريق

³² J للكسب instead of في الكسب ; B الكسب

³³ J نباشا قتالا

³⁴ B منقبضا ; J منقبضا

[3] If the master over the place of Mercury and the Moon is Saturn, his (native's) condition in its essence is powerful and praised, and in accidental condition it (Saturn) makes the native powerful in view, far in deepness, and unique in his view. If Saturn is different from these, it makes the native stingy, resentful, vile, low-minded, not distinguished, unique in his view, coward, isolated from men, naughty, and having no happiness.

[4] Then if Jupiter helps it, it, namely, Saturn, while in its good condition, makes him (the native) good, noble to dignities, peaceful, outstanding in view, helpful, distinguished, great-minded, quiet, and quick-witted. If Saturn is in a bad condition, it makes him not accustomed with good things, of faded intelligence which deals with matters of demons, having trickery, hateful to children, not associating with men, with no one putting faith in him, and wicked in choice.

[5] Then if Mars helps Saturn while it is in its good condition, it (Saturn) makes the native not distinguished, careless, unsteady between courage and cowardice, difficult in social life, having mercy towards none, negligent in whatever is useful to people, rough, bold in his mind, fond of troubles, cheating, a tyrant, angry, hateful to people, having work and effort, and he is sound in general. Then if Saturn is in a bad condition, it makes the native a stealer, a highway robber, wicked, of small profit, not afraid of God; he has no love to God, he is evil, a killer, a grave digger, and he is in general bad in condition.

[6] Then if Venus helps Saturn in its good condition, it makes the native a hater of women, fond of dignities, bad in meeting, not fond of prestige, hating beautiful matters, envious, hard to associate with, disliked

عن الناس³⁵ متفردا³⁶ برأيه كاهنا متشبثا³⁷ بأمر الله³⁸ عفيفا كثير الخيال³⁹ صائنا لنفسه غيورا على النساء وإن كان زحل على الحالة⁴⁰ المذمومة صير المولود شرها في الجماع مذموما في جميع أحواله نحسا مرتكبا للقيح⁴¹ غير مميز سكيما⁴² محبا لمجاعة⁴³ من قد طعن في السن

[7] فإن شاكله عطارد وزحل على الحالة المحمودة صير المولود مفتشا بحثا⁴⁴ محبا للطب ناظرا في الأمور الخفية صاحب عجائب فطنا⁴⁵ النفس مستقصيا متيقضا⁴⁶ محبا للفهم منجحا⁴⁷ وإن كان زحل على الحالة المذمومة صير المولود حقودا مكدودا مبغضا لأقاربة محبا للشقاء لصا عرافا كاهنا⁴⁸ ساحرا صاحب تعاويد وخديعة خائنا غير منجح [8] المشتري إذا كان مستوليا على موضع القمر وعطارد وهو على الحالة المحمودة صير المولود كبير النفس سخيا ذا وقار محبا للناس جميل الأمر جدا⁴⁹ عدلا عفيفا⁵⁰ فردا في أفعاله رحيما محسنا متوددا صاحب سياسة وإذا كان على الحال المذمومة صير أحوال النفس مشبهة⁵¹ بالأحوال التي⁵² ذكرنا⁵³ إلا أنها تكون أضعف وأحمد⁵⁴ وعن غير تمييز مثل إنه⁵⁵ يكون بدل كبير النفس مبدرا⁵⁶ وبدل المستحي جبانا وبدل العفيف معجبا⁵⁷ وبدل العظيم الهمة تياها

G37b [9] وإن شاكله⁵⁸ المريخ والمشتري على الحال المحمودة صير المولود خشنا مخاصما صاحب

³⁵ F النساء

³⁶ BJV منفردا

³⁷ B متشبثا

³⁸ B add. عز وجل

³⁹ G الحياء JV; الحال

⁴⁰ J في الحال

⁴¹ J القبيح

⁴² V شكيرا

⁴³ J add. مع

⁴⁴ J مجانا

⁴⁵ J من

⁴⁶ J متيقضا

⁴⁷ V om.

⁴⁸ BFJV om.

⁴⁹ B add. حتا

⁵⁰ B add. خيرا

⁵¹ B شبيهة J; شبيهها

⁵² B بالأحوال التي instead of بالذي

⁵³ FV ذكرناها

⁵⁴ G وأخمل

⁵⁵ J إن

⁵⁶ B مبدرا

⁵⁷ B add. برأيه

⁵⁸ J om. o

by people, isolated in his view, a soothsayer, adherent to the matters of God, chaste, of many tricks, protective of his mind, and jealous towards women. Then if Saturn is in its bad condition, it makes the native greedy for sexual intercourse, bad in all his conditions, ill-fated, a perpetrator of infamous things, not distinguished, a heavy drinker, fond of meeting with the man who is advanced in age.

[7] Then if Mercury helps Saturn in its good condition, it (Saturn) makes the native an inspector, a scholar, fond of medicine, sharp-minded in hidden matters, having wonderful things, clever, sharp in mind, inquiring, watchful, fond of intelligence, and having sound judgement. Then if Saturn is in a bad condition it makes the native full of hatred, exhausted, a hater of relatives, fond of misery, a robber, a fortune teller, a divinator, an enchanter, having spell and cheating, faithless, and without sound judgement.

[8] When Jupiter is mastering over the place of the Moon and Mercury while it is in its good condition, it makes the native great-minded, generous, having dignity, fond of people, handsome, serious in matters, honest, modest, unique in his works, compassionate, charitable, friendly, and having policy. When it is in a bad condition, it makes the conditions of the soul similar to the conditions which we have described, except that they are weaker and more commendable and without deliberate intention; for example, a squanderer instead of being liberal, a coward instead of being shy, vain instead of being modest, and haughty instead of being strong and high-minded.

[9] If Mars helps it while it is in a good condition, it (Jupiter) makes the native tough, antagonist, a fighter,

حرب⁵⁹ مدبراً غير خاضع محباً للقلبة والرياسة مظفراً كبير النفس غضوباً صاحب أمر ونهى وإن كان المشتري على الحال المذمومة كان المولود شتاً مخطأ فظاً سريع الانقلاب حقيقاً صاحب ندامة لا يثبت على شيء واحد لا تميز له ولا رأي وهو بالجملة مختلف الأخلاق مضطرب الأحوال

[10] فإن شاكله الزهرة والمشتري على الحال المحمودة صير المولود تقياً⁶⁰ متنعماً محباً للنظافة⁶¹ وللصناعات⁶² والغناء والشروة⁶³ حسن الاختلاق محباً لأهل الصلاح⁶⁴ سليم القلب ودوداً وهو بالجملة خير فاضل وإن كان المشتري على الحالة المذمومة كان المولود مترفاً⁶⁵ لذيق العيش مؤثث النفس مشغوفاً بالنساء صاحب عشق كثير الجماع منهمكا فاجراً متلافاً عقله كمقل النساء⁶⁶ إلا أنه أمين خير⁶⁷ في الأحوال⁶⁸ التي يتصرف فيها

[11] فإن شاكله عطارد والمشتري على الحالة المحمودة صير المولود كثير النظر في الكتب صاحب علم الهيئة والهندسة والحساب شاعراً ذكياً خطيباً محمود الرأي حسن المشورة محمود السيرة حسن الأخلاق جيد الحُدس⁶⁹ سريع النجح حسن الديانة صاحب سياسة وإن كان المشتري على الحالة المذمومة كان المولود هذا كثير الخطأ حقيراً⁷⁰ النفس يظن بنفسه أنه حكيم وهو عديم العقل معجب محتال مضطرب الحركة صاحب تعليم

[12] المريخ إذا كان مستولياً على موضع عطارد والقمر⁷¹ وهو على الحالة المحمودة كان المولود⁷² قوياً رئيساً غضوباً محباً للسلح صاحب وقائع مخاطر بنفسه غير متواضع⁷³ مخطأ جريئاً⁷⁴ مقداماً متغلباً صاحب سيادة⁷⁵ وإن كان⁷⁶ على الحالة المذمومة كان المولود شتاً فظاً⁷⁷ سفاكاً للدماء محباً للشغب⁷⁸ سلاباً لا رحمة⁷⁹ له ردي الأفعال مضطرباً مجنوناً

G38a

⁵⁹J add. وخداع

⁶⁰B نقيا

⁶¹F om.

⁶²BJ والصناعات

⁶³BF om. ; J والشورة و

⁶⁴BFJ om. V not readable.

⁶⁵G مترفاً

⁶⁶J add. وفعل كفعل النساء

⁶⁷B حسن ; FJ add. جري

⁶⁸B الأعمال والأحوال ; V الأعمال

⁶⁹J الحرس

⁷⁰BV مز ; F مز

⁷¹FJV القمر وعطارد

⁷²J add. يكون

⁷³BV خاضع

⁷⁴J جنباً

⁷⁵BJV om.

⁷⁶B add. المريخ

⁷⁷B فظاً شتاً ; V om.

⁷⁸J للشغب

⁷⁹B رحمة

a leader, unsubmitive, fond of victory and leadership, victorious, great-minded, irritable, a ruler, and a commander. If Jupiter is in bad condition, the native is imprudent, confused, wicked, quickly changing, weak, having regret, not staying in one thing, having no discretion, having no opinion, and he is in general of varying character and of agitated conditions.

[10] Then if Venus helps it (Jupiter) while it is in a good condition, it makes the native pious, enjoyable, fond of cleanness, works, wealth, and buying, of good nature, loving men of goodness, of peaceful mind, friendly, and he is in general extremely happy. Then if Jupiter is in its bad condition, the native is luxurious, delighting in life, of feminine mind, loved by women, having passion, having much sexual intercourse, preoccupied, shameless, injurious, and his mind is like a women's mind, but he is faithful, good in conditions in which he behaves.

[11] When Mercury helps Jupiter while it is in a good condition, it makes the native having many insights in books, having the knowledge of astronomy ('ilm al-hay'a) and geometry and arithmetic, having insight, intelligent, an orator, praised in opinion, good in advice. If Jupiter is in a bad condition, the native is raving, having many faults, mean, bitter in mind, thinking himself as wise when he is without intelligence, vain, cunning, of agitated action, and a possessor

[12] When Mars is mastering over the place of Mercury and the Moon while it is in a good condition, the native is powerful, a chief, irritable, fond of weapon, a master of slander, bold in his mind, not modest, confused, bold, courageous, overcoming, having management and mastery. If it is in a bad condition, the native is imprudent, harsh, blood-shedding, fond of troubles, a robber, having no mercy, wicked in action, agitated, and mad.

[13] فإن شاكله الزهرة والمرّيح على الحالة المحمودة كان المولود⁸⁰ بشا حسن المذهب لذيد العيش مسرورا صاحب عشق سريع الميل إلى ارتكاب المحارم إلا أنه منجح متحرز عاقل صاحب تمييز وإن كان المرّيح على الحالة المذمومة كان المولود كثير الجماع منهمكا فيه مختلف الأحوال⁸¹ مستهزيا⁸² بالناس فاجرا كذابا غاشما⁸³ سريعا الميل⁸⁴ إلى الشهوات ملولا⁸⁵ صاحب حب فاسد العقل

[14] فإن شاكله عطارد والمرّيح على الحالة المحمودة كان المولود قائدا صاحب دهاء ضابطا سريع الحركة صاحب حيل ردي الأعمال⁸⁶ سريع الفهم خداعا مرائيا إلا أنه منجح وبالجملة هو⁸⁷ ضار لأعدائه محسن إلى أصدقائه⁸⁸ وإن⁸⁹ المرّيح على الحالة المذمومة كان المولود فظا⁹⁰ جريئا صاحب ندامة مبهوتا⁹¹ مضطرب الحركة كذابا لصا خبيثا⁹² مشهورا بالشرّة قاطع الطريق خداعا مشعبدا

[15] الزهرة إذا كانت مستولية على موضع القمر وعطارد وهي على الحالة المحمودة كان المولود ساكنا خيرا⁹³ متنعما ظاهرا⁹⁴ صاحب فكر شديد الغيرة مبغضا للشر محبا للصناعات ذاكر⁹⁵ الله تعالى⁹⁶ حسن الشكل والأحوال والتصرف⁹⁷ منجحا وهو بالجملة مائل إلى أمور الجماع وإن كانت على الحالة المذمومة كان المولود متوانيا صاحب عشق مؤثنا أحواله⁹⁸ شبيهة بالأحوال⁹⁸ النساء خامل الذكر

[16] فإن شاكلها عطارد وهي على الحالة المحمودة كان محبا للصناعات والحكمة⁹⁹ ذكيا شاعرا حسن الأخلاق فهما محبا للحيل¹⁰⁰ ذهنا جيّد الحدس مستقيم الطريقة يتعلّم من تلقاء نفسه يقتدى بأهل الفضل¹⁰¹ ويتشبه بالخيار من الناس ممتنعا من مجامعة النساء مائلا إلى الغلمان غيورا وإن كانت على الحالة المذمومة كان خبيثا كثير الحيل فاحش الكلام ذا وجهين

G38b

⁸⁰ J om. كان المولود

⁸¹ F الأحوال instead of الأفعال والأحوال

⁸² B مستهزيا instead of مضطربا مستهزيا J : مضطربا يستهزى

⁸³ BJ غاشا

⁸⁴ FV om.

⁸⁵ B add. لها

⁸⁶ BJ الأعمال instead of الأفعال والأعمال

⁸⁷ BV om.

⁸⁸ B لأصدقائه

⁸⁹ F add. كان

⁹⁰ B فظنا

⁹¹ B متهورا ; F متهوتا but متهورا in margin.

⁹² B خبيثا

⁹³ J om.

⁹⁴ B om.

⁹⁵ J ذكر

⁹⁶ BFJV om.

⁹⁷ B حسن ... والتصرف instead of حسن الأحوال التصرف

⁹⁸ V بأحوال

⁹⁹ GV والجملة

¹⁰⁰ B add. والصناعات

¹⁰¹ BJ الفضائل

[13] Then if Venus helps Mars in its good condition, the native is friendly, of good manner, delighting in life, happy, having love, quickly inclined to perpetration of taboos, but he is prosperous, careful, sensible, having common sense. If Mars is in a bad condition, the native is having much sexual intercourse, pre-occupied in it, having diverse conditions, a mocker of people, a liar, a swindler, unjust, quickly inclined to greed, wearied, having wicked love of intelligence.

[14] When Mercury helps Mars in its good condition, the native is a leader, having shrewdness, governor, quick in action, having tricks, wicked in actions, quick in understanding, deceitful, a hypocrite, but he is prosperous, and in general he is harmful to his enemies and charitable to his friends. When Mars is in a bad condition, the native is wicked, bold, having regret, perplexed, of confused action, a liar, a robber, an instigator, known by sin, a highway robber, deceitful, and a juggler.

[15] When Venus is mastering over the place of the Moon and Mercury while it is in its good condition, the native is calm, happy, helpful, enjoying, clear, having reflection and strong zeal, hateful of sin, fond of works, thinking about the highest God, nice in figure, conditions, and way of acting, prosperous, and he is in general inclined to the matters of sexual intercourse. When it is in a bad condition, the native is weak, possessor of love, feminine, his conditions being similar to the conditions of women, and dull in memory.

[16] When Mercury helps it in a good condition, <the native> is fond of works and knowledge, sharp-witted, intelligent, of good nature, understanding, fond of tricks, intellectual, good in guessing, right in method, studying spontaneously by himself, intimate with people of credit, imitating the best men, refraining from the association with women, inclined to youth, and zealous. When it is in a bad condition, he is evil, having many tricks, absurd in speech, having two faces

ولسانين رديي الرأي خداعا بعيد الغور في الشيء¹⁰² صاحب ذم وهجاء وتشنيع¹⁰³ كثير¹⁰⁴

[17] عطارد إذا كان مستوليا على موضعه وموضع القمر وهو الحالة¹⁰⁵ المحمودة كان المولود فطنا ذهنا¹⁰⁶ صاحب فوائد وتجارب¹⁰⁷ ونظر ذكيا جيد الحدس صاحب علم الهيئة والهندسة¹⁰⁸ والحساب كتوما للسّر منجحا وإن كان على الحالة المذمومة كان المولود مكارا سخيفا مغالطا¹⁰⁹ خفيفا سريع الانتقال أحق جاهلا كثير الخطاء كذابا مضطرب الأحوال

[18] مشالكة النيرين لهذه الكواكب وهما على الحالة المحمودة يزيدان في محمود ما يدلّ عليه الكواكب¹¹⁰ وينقصان من¹¹¹ مذموم ما يدلّ عليه¹¹² وإن كانا على الحالة¹¹³ المذمومة¹¹⁴ ينقصان من المحمود ويزيدان في المذموم¹¹⁵ فعلى ما تقدّم يقاس ويحكم ويستعان¹¹⁶ بالفكر الصافي والذهن الجيد في مزاجات الكواكب ومشاكلاتها المحمودة والمذمومة

[19] نظر القمر إلى الكوكب¹¹⁷ يحمل المولود محتركا فيما يدلّ عليه الكوكب فإن كان الكوكب قويا في ذاته دلّ على تقدّمه في ذلك الشيء وإن كان ضعيفا كانت حركته أقوى من معرفته

[20] البيت التاسع إذا كان مسعودا دلّ على العفة والورع والديانة وحسن السيرة والنية وإن¹¹⁸ كان منحوسا دلّ على الضدّ من ذلك كله¹¹⁹ وكذلك صاحب بيت التاسع وسهم الغيب وصاحبه

¹⁰² V الشر

¹⁰³ J وشفيح

¹⁰⁴ FV كثيرة ; B add. فضول

¹⁰⁵ FJ على الحال

¹⁰⁶ V om.

¹⁰⁷ B om. from here to علم الهيئة

¹⁰⁸ F علم الهندسة والهيئة

¹⁰⁹ J مجالطا

¹¹⁰ FV الكوكب

¹¹¹ F hapl. om. from here to the next من

¹¹² V add. الكوكب

¹¹³ BJ الحال

¹¹⁴ B add. فإنهما

¹¹⁵ J add. المنحوس

¹¹⁶ J وتستعان

¹¹⁷ BV الكواكب

¹¹⁸ BF وإذا

¹¹⁹ BV om. كل ذلك ; FJ كله

and two tongues, confused in view, deceptive, unfathomable in things, having blame, satire, and much defamation.

[17] When Mercury is mastering over its place and the place of the Moon in its good condition, the native is clever, intellectual, having profits, attempts, and watch, sharp-witted, good in conjecture, having knowledge of astronomy, geometry, and arithmetic, keeping secrecy, and prosperous. If it is in a bad condition the native is cunning, stupid, deceitful, weak, insignificant, quickly changing, foolish, ignorant, having many mistakes, liar, confused in conditions.

[18] The partnership of the two luminaries with these planets: these two in a good condition increase in goodness what the planets indicate and decrease whatever badness they indicate. If the two are in a bad condition, the two decrease the goodness and increase the badness. Then, according to what were described above, <the matter> is to be measured out, judged, and used with clear consideration and good intellect concerning the natures of planets and their good and bad cooperations.

[19] The aspect of the Moon to a planet makes the native movable in what the planet indicates. Then if the planet is powerful in its essence, it indicates what were described above concerning them, and if <the planet is> weak, its movement is stronger than what is known of it.

[20] When the ninth house (i.e., place) is made fortunate it indicates virtue, piety, faith, and goodness of conduct and intention. If it is malefic, it indicates the opposite of all of them. Likewise are the lord of the ninth house, the lot of the absent, and its lord.

الباب التاسع في الآفات النفسانية

- [1] عطارد والقمر إن¹ كانا غير متناظرين² ولا ناظرين³ إلى الطالع وكان تحسبهما نحوس فإنه يعرض في الحال الخاصة للنفس آفات من طبيعة الكوكب الناحس
- [2] أصحاب الصرع في أكثر الأمر هم الذين لا ينظر في مواليدهم القمر إلى عطارد ولا ينظران إلى الطالع ويكون مع ذلك في الودت بالنهار زحل وبالليل المريخ
- [3] المجانين هم الذين حال القمر وعطارد في مواليدهم كحالهما في المصروعين⁴ والمريخ بالنهار في الودت وزحل بالليل وخاصة إذا كانا في السرطان والسنبلة والحوت
- [4] المضروبون من الجن أعني الذي⁵ تغلب على رؤوسهم الرطوبة هم الذين مريخهم بالنهار في الودت وزحلهم بالليل وهو مستولى على موضع القمر والقمر بارز⁶ من تحت الشعاع أو مفارق للاستقبال⁷
- [5] النيران في بروج مذكرة للرجال⁸ يفرطون في التذكير وللنساء يميل طباعن إلى التذكير فإن كان مع ذلك المريخ أو الزهرة في برج مذكر زاد⁹ في كل واحد منهما زيادة بيّنة وإن¹⁰ كان النيران في بروج مؤنثة عكسنا القول وكذلك إن شهد المريخ أو الزهرة¹¹ بأن يكون¹² في بروج مؤنثة

الباب العاشر في أحوال الوالدين

- [1] أدلاء الأب الشمس وزحل والبيت الرابع وصاحبه وسهم الأب وصاحبه والمقدم بالنهار الشمس وبالليل زحل وأدلاء الأم القمر والزهرة والبيت العاشر وصاحبه وسهم الأم وصاحبه والمقدم بالنهار الزهرة وبالليل القمر فمن أحوال هولاء في قوتها وضعفها وسعادتها ونحوستها يستدل على أحوال الوالدين في القوة والضعف والسعادة والنحوسة والمقدم من هذه الأدلاء¹³ أقواها وأولاها بالاستيلاء

¹ إذا BJV

² ناظرين G

³ مناظرين V

⁴ المصروعين V

⁵ الذين V

⁶ J om.

⁷ الاستقبال F

⁸ J instead of. للرجال يدلان على أن الرجال

⁹ أو J

¹⁰ فإن V

¹¹ JV والزهرة

¹² BJ يكونا

¹³ B الأدلة

Chapter Nine: On Mental Diseases

[1] If Mercury and the Moon are not aspecting each other and they are not aspecting the ascendant, and if the malefics are giving harm to them, then he (the native) gets, in the condition characteristic to mind, diseases from the nature of the malefic planet.

[2] Those who have epilepsy in many cases are those in whose birth time the Moon does not aspect Mercury and the two do not aspect the ascendant and, moreover, Saturn by day and Mars by night are in a cardine.

[3] Those who are insane are those in whose birth time the condition of the Moon and Mercury are like that of those who have epilepsy, and Mars by day and Saturn by night <are in cardines>, especially when the two are in Cancer, Virgo, and Pisces.

[4] Those who are possessed by a demon, namely, those whose heads are hit by moisture — they are those whose Mars is in a cardine by day and those whose Saturn is in a cardine by night and it is mastering over the Moon's place, and the Moon is coming out from the rays or immersed <in the rays> for opposition.

[5] The man who has excessive masculinity and the woman whose nature is inclined to masculinity have the two luminaries in the masculine signs. Then if, in addition, Mars or Venus is in a masculine sign, they clearly increase each one of the two. If the two luminaries are in feminine signs we reverse what we have said, and likewise if Mars or Venus has witness as long as they are in the feminine signs.

Chapter Ten: On the Conditions of the Parents

[1] The indicators of the father are the Sun, Saturn, the fourth place and its lord, the lot of the father and its lord. The foremost by day is the Sun and by night Saturn. The indicators of the mother are the Moon, Venus, the tenth place and its lord, the lot of the mother and its lord. The foremost by day is the Moon and by night Venus. The conditions of their strength, weakness, beneficence, and maleficence indicate the conditions of the parents in their strength, weakness, happiness, and unhappiness <respectively>. The foremost of these indicators is strongest and most influential in indications.

[2] ¹⁴ نظر أدلاء الأب إلى أدلاء الأم نظرا ¹⁵ محمودا يدلّ على الاتفاق بين الوالدين وميل كلّ واحد منهما إلى الآخر وطيب عيشهما
 [3] نظر أدلاء كلّ واحد منهما بعضهما إلى بعض أيّ نظر كان يدلّ ¹⁶ على طول عمره ¹⁷ إلا أنّه إذا ¹⁸ كان نظرا ¹⁹ محمودا دلّ على طول العمر مع طيب ²⁰ العيش وإن كان نظرا مذموما دلّ على عيش نكد لا كثير لذة فيه
 [4] احتفاف السعود بأولى الأدلاء يدلّ على حسن الحال ورفع المنزلة وعظم الجاه واحتفاف النحوس بالضدّ من ذلك والكواكب المحتفة بالدليل هي التي مع ²¹ بعضها أكثر درجا منه وبعضها أقلّ والتي ²² في الثاني والثاني عشر منه
 [5] سلامة الأدلاء أو أكثرها ²³ من المناحس تدلّ على السلامة وصحة البدن ونحوستها تدلّ على السقم والمنحسة من طبيعة الكوكب الناحس
 [6] سهم السعادة وصاحبه إذا نظرا ²⁴ إلى أدلاء أحدهما دلّ له ²⁵ على المال ²⁶ واليسار وكثرة الخير والسعادات ²⁷
 [7] نظر الشمس إلى زحل نظرا محمودا مع نظر المشتري أو الزهرة إلى الشمس يدلّ على طول عمر الأب وكذلك نظر الزهرة إلى القمر نظرا محمودا مع نظر المشتري أو الزهرة إلى القمر ²⁸ يدلّ على طول عمر الأم ²⁹
 [8] ينظر ³⁰ لحال ³¹ الجدّ من السابع رابع الرابع والحال ³² العَمّ من السادس ثالث الرابع وقد تقدّم ذلك في المقالة الأولى .

¹⁴B add. إذا

¹⁵B نظر

¹⁶B دل

¹⁷J عمرها

¹⁸BJV إن

¹⁹BV نظر

²⁰J طيبة

²¹B add. في البرج و

²²B أو التي

²³J أبعدا

²⁴BJ نظر

²⁵BFV om.

²⁶J الحال

²⁷F والسعادة

²⁸BF الزهرة إلى القمر instead of إلى الزهرة أو إلى القمر JV : إلى الزهرة

²⁹J الأب

³⁰B النظر

³¹V الحال

³²B والحال

[2] <When> the aspect of the indicators of the father to the indicators of the mother is a good aspect, it indicates the agreement between the parents, and inclination of each one of them to the other and their pleasant life.

[3] Whichever is the aspect of the indicators of the each one of them (parents) to each other, it indicates long life, but when the aspect is good it indicates long life with pleasantness of life, and if the aspect is bad, it indicates unpleasant life without much joy in it.

[4] The enclosure of the benefics around the foremost of the indicators indicates the good condition, the rise in position, and high rank. The enclosure of the malefics is the opposite to it. Of the planets enclosing the indicators one has more degrees than the indicator and the other has less degrees, and <one is> in the second (sign) and <the other> in the twelfth (sign) from it (the indicator).

[5] The safety of the indicators or the majority of them from the malefic indicates the safety and health of the body, and their harm indicates illness and unhappiness from the nature of the malefic planet.

[6] When the lot of fortune and its lord aspect the indicators of one of the two (i.e., parents), it indicates his (i.e., native's) works, easiness, much joy, and happiness.

[7] When the Sun aspects Saturn in a good aspect, with Jupiter or Venus aspecting the Sun, it indicates a long life for the father. Likewise <when> Venus aspects the Moon in a good aspect, with Jupiter or Venus aspecting the Moon, it indicates a long life for the mother.

[8] One looks for the condition of ancestors, from the seventh, <namely>, the fourth from the fourth,¹ and for the condition of paternal uncles from the sixth, <namely>, the third from the fourth.² This was already described in the first chapter.

¹Since the fourth is the place of father, the fourth (inclusive) of the fourth, i.e., seventh, is the place of grandfather.

²Since the third is place of brothers, the third (inclusive) of the fourth is the place of uncle.

الباب الحادي عشر في ذكر الإخوة

[1] أدلاء إخوة المريخ وعطارد والبرج الثالث وصاحبه¹ أعني المستولى عليه وسهم الإخوة وصاحبه فمن² نظر هولاء³ الأدلاء أو الأقوى منها إلى الطالع وصاحبه يستدل على كون⁴ الإخوة إن لم يكن⁵ إخوة وعلى موافقتهم ومخالفتهم له إن كانت له إخوة ومن⁶ سعادة هذه الأدلاء⁷ ونظر بعضها إلى بعض يستدل على حال الإخوة في القوة وسعادة⁸ ومن⁹ ضدها على الضد وقلة الإخوة
[2] المريخ يدل على كبار الإخوة وعطارد دل على صغارها¹⁰

الباب الثاني عشر في المال والسعادات

G40a [1] أدلاء المال البيت¹¹ الثاني وصاحبه والمشتري وسهم السعادة وصاحبه وسهم المال وصاحبه فمن هذه الأدلاء ونظرها أو نظر الأقوى منها إلى الطالع وصاحبه ونظر بعضها إلى بعض¹² يستدل على كون المال وكثرته ومن أشكالها¹³ المحمودة يستدل على سهولة مناله ومن عكس ذلك يستدل على الحرمان وقلة المال¹⁴ أو¹⁵ صعوبة جميع المال¹⁶
[2] احتفاف الكواكب السعدود¹⁷ بأقوى دلائل المال ونظر النيرين إليه نظرا محمودا يدل على كثرة المال
[3] قوة الأدلاء وقوة المستولى على سهم السعادة خاصة وسعادتها يدل على المال والسعادات الأقوى من دلائل المال إذا كان زحل دل على أن المال¹⁸ من البناء¹⁹ والفلحة وإن كان المستري فمن الأمانة والقهرمة أو من مذاهب الأئمة وإن كان المريخ فمن القيادة والسياسة²⁰ وإن كانت الزهرة فمن عطايا الأصدقاء والنساء وإن كان عطارد فمن العلم والتجارة

¹B hapl. om. from here to the next وصاحبه

²B فمتي

³BFV هذه

⁴V الكون

⁵BJV add. له

⁶F om. و

⁷B add. وقوتها ; J add. ونحوستها

⁸G ووحادة

⁹J om. من

¹⁰B صغارهم

¹¹BFJ البرج

¹²B puts هذه الأدلاء after ونظر بعضها إلى بعض

¹³B أشكاله

¹⁴F قلة المال والحرمان المال

¹⁵FV و

¹⁶BFJV صعوبة المنال

¹⁷BFJV om.

¹⁸B add. يكون

¹⁹J البناء

²⁰B add. والسيادة ; J والسيادة instead of السياسة ; V puts Mercury before Venus.

Chapter Eleven: On the Description of Brotherhood

[1] The indicators of brotherhood¹ are Mars, Mercury, the third place and its lord, namely, its master, and the lot of brothers and its lord. Then one of these indicators which aspects the ascendant and its lord indicates the <expected> existence of brothers if <the native has> no brothers, and <it indicates> his agreement and disagreement with his brothers. If he has brothers, the goodness of these indicators and <the goodness> of their aspect to each other indicate the conditions of the brothers in power and happiness. What are opposite to them indicate few brothers.

[2] Mars indicates elder brothers and Mercury younger brothers.

Chapter Twelve: On Property and Fortunes²

[1] The indicators of property are the second place and its lord, Jupiter, the lot of fortune and its lord, the lot of Property and its lord. One of these indicators and their aspect or the aspect of the most powerful of them to the ascendant and its lord and their aspect to each other indicate the existence of property and its abundance. The benefic <planet> which helps them indicates the easiness of its acquisition. The <planet> opposite to this indicates the deprivation of property and difficulty of gathering property.

[2] The enclosure of the benefic planets around the most powerful of the indicators of property and the aspect of the two luminaries to it by good aspect indicate abundance of fortune.

[3] The power of the indicators and the power of the <planet> mastering, above all, over the lot of fortune and their beneficence indicate property. The benefics are the strongest of the indicators of property. When the most powerful of the indicators is Saturn it indicates that the property is <obtained> from building and cultivation; if it is Jupiter, from his (native's) honesty and his administration or from the management of his estate; if it is Mars, from leadership and policy; if it is Venus, from the gift of friends and women; if it is Mercury, from knowledge and trade.

¹The word (*ikhwa*) here means both brothers and sisters, as the Chinese translation suggests. I have translated it as 'brotherhood' for brevity's sake.

²Cf. *Tetrabiblos* IV.2.

[4] زحل إذا نظر إلى سهم السعادة نظرا محمودا وشاركه المشتري في النظر دلّ على مال من موارث يرثها إن أمكن ذلك وإن لم يمكن فمن وجوه لا يرجوها ولا يعلم بها [5] ²¹ صاحب الثاني في الطالع وهو مقبول في معضه أتاها المال عفوا ²² من غير طلب ولا ²³ كلفة فإن لم يكن مقبولا ²⁴ كان الطمع والرجاء فحسب وإن كان صاحب الطالع في الثاني دلّ على الطلب والسعي فيه فإن كان مقبولا في موضعه غير منحوس نال المطلوب ²⁵ وأصاب ²⁶ وإن لم يكن مقبولا ²⁷ حصل على السعي والتعب فإن ²⁸ كان مقبولا ومنحوسا ²⁹ أصاب وزهد عنه وإن كان مقبولا ومسودا ³⁰ أصاب وينفع ³¹ به وعلى هذا يقاس سائر ما يقع من اختلاف الوجوه

G40b

[6] النيران إذا كانا في بروج مذكرة وفي الأوتاد أو ³² الشمس بالنهار والقمر بالليل فوق الأرض وسائر الكواكب محتفة به أو ³³ ناظرة إليه من الأوتاد كان المولود عظيم الشأن ملكا كبيرا فإن كانت الكواكب المحتفة مسودا ³⁴ قوية في ذاتها كان أعظم لذلك وكلما نقص من هذه الأحوال نقص بقدره من الملك ³⁵ إلى ³⁶ أن يكون الكواكب بالضد مما ذكرنا كـ ³⁷ فيكون المولود في غاية الشقاء والأدبار

[7] الكواكب الثابتة التي في العظم الأول أو الثاني إذا وقعت في حقيقة ³⁸ الأوتاد أو مع أحد النيران أو مع سهم السعادة أعطى الكبر والرياسة على مزاج الكوكب ³⁹ أو الكوكبين الذي هو على مزاجه ⁴⁰ أو مزاجتهما وقد يفعل ذلك التي ⁴¹ في العظم الثالث من أكبره ⁴² إلا أنه دون الأول والثاني وإن كان ⁴³ مزاج النحوس كانت العاقبة رديّة مذمومة ⁴⁴

²¹ B add. إذا كان

²² J add. صفرا

²³ BJ om. ولا

²⁴ B add. في معضه

²⁵ B المال

²⁶ FJV add. فيه

²⁷ J add. في موضعه

²⁸ V وإن

²⁹ J om. و

³⁰ JV om. و

³¹ V وانتفع ; J om. و

³² JV و

³³ J om.

³⁴ J مسودة

³⁵ B الأموال ; J المال ; V crosses out المال and puts الملك in margin.

³⁶ F لا

³⁷ BF ذكرنا كـ instead of ذكرناه ; JV = BF but ذكرنا

³⁸ V add. درجة

³⁹ V الكواكب

⁴⁰ J add. يكون

⁴¹ B الذي ; JV الكوكب الذي

⁴² V أكثره

⁴³ BFJV add. على

⁴⁴ J om.

[4] When Saturn aspects the lot of fortune in good aspect and if Jupiter helps it in aspect, it (Saturn) indicates property from the inheritance he inherits if it is possible; if not possible, then it is by means which he does not expect nor know.

[5] <When>³ the lord of the second place in the horoscope is received in its place, the property comes spontaneously to him without effort and without trouble. If it is not received, there are expectation, hope, and calculation. If the lord of the ascendant is in the second place, it indicates pursuit and effort in it. If it is received in its place without the malefics, he will obtain what are searched and he will possess <it>. If it is not received he will get <it> by effort and toil. If it is received and made unfortunate, he will get but miss it. If it is received and made fortunate, he will get and use it. The rest of what happens by the different ways are to be judged by this.

[6] When two luminaries are in the masculine signs and in the cardines, or the Sun by day and the Moon by night are above the earth and the other planets are surrounding it or aspecting it from the cardines, then the native will be very important and a great master. If the surrounding planets are lucky and powerful in their essence, he is even greater. Whenever these conditions are diminished the ownership <of fortune> is diminished until the planets are in opposite conditions to those which we have mentioned, and <in this case> the native will be in extreme misery and backwardness.

[7] When the fixed stars in the first or second magnitude fall actually in the cardines or when they are with one of the two luminaries or with the lot of fortune, <the native> will obtain greatness and leadership according to the nature of one of two planets whose nature it (i.e., the fixed star) possesses. We can use those <stars> which are in the third magnitude but they are less <powerful> than the <stars of> first and second magnitude. If it is the nature of the malefics, the outcome is ruin and misfortune.

³Supplied by B.

الباب الثالث عشر في صناعة المولود وعمله

[1] أدلاء الصناعة¹ برج وسط السماء وصاحبه والمريخ والزهرة وعطارد وسهم العمل وصاحبه فالأقوى من هؤلاء هو المدبر في العمل فإن كان زحل دل على الحرث² والزراعة والهندسة وحفر القنى والأنهار وكل عمل دقيق يكون بابطاء وشدة وأدمان³
 [2] وإن كان المشتري دل على القضاء والتوسط⁴ والعلم وكلما فيه الصلاح⁵ بين الناس
 [3] وإن كان المريخ دل على كل عمل⁶ بالنار والحديد والقيادة والسياسة⁷ والبيطرة والحجامة
 [4] وإن كان⁸ الشمس دلت⁹ على استخراج الجواهر من معادنها وأعمال الحكمة بالنار
 [5] وإن كانت الزهرة دلت¹⁰ على السحر¹¹ والعطر وصبغ ألوان¹² الثياب وغيرها¹³
 ولعب الشطرنج والنرد¹⁴ والتصاوير والأعمال اللطيفة¹⁵
 [6] وإن كان عطارد دل على الكتابة والحساب والتجارة وقول الشعر وما شاكل ذلك
 [7] وإن كان القمر دل على الفيح والبريد والرسالة وعلى الفلاحة أيضا وتقدير المياه
 وأمر الأرض ويضاف¹⁶ إلى كل¹⁷ واحد من هذه الدلالات ما يشاكله¹⁸ بحسب مما رجة الكواكب له¹⁹ وبما يسعده وينحسه
 [8] إن²⁰ كان المستولى لأمر²¹ الصناعة صاحب وسط السماء وحده أو كوكب²² من كواكب الصناعة وهو غير مقبول في موضعه ولا ممتزج²³ بشيء من الكواكب كان المولود بطالا²⁴ لأعمال له ولأصنعة

¹ J add. المولود

² B الحرب

³ FJV وأدبار

⁴ B om.

⁵ B صلاح

⁶ B عمل instead of ما يعلم

⁷ B القيادة والسياسة instead of وعلى السياسة

⁸ JV كانت

⁹ FV دل

¹⁰ GFJV دل

¹¹ F الشجر

¹² BJV الألوان

¹³ B om. الشراب وغيره J; الثياب وغيرها

¹⁴ BFJV والنرد والشطرنج

¹⁵ B النظيفة

¹⁶ BFJV الأرضين ثم يضاف

¹⁷ J om.

¹⁸ B add. شاكله J; ويلائمه

¹⁹ B له instead of المستولى

²⁰ FJV إذا

²¹ BJV على أمر

²² GV كوكبا

²³ B يتميز

²⁴ B om.

Chapter Thirteen: On the Job and Work of the Native¹

[1] The indicators of the job are the sign of the midheaven and its lord, Mars, Venus, Mercury, and the lot of the job and its lord. The most powerful of them is the ruler of work. If it is Saturn, it indicates ploughing, peasants, engineering, digging of canals and rivers and all the delicate works which involve slowness, force, and excess.

[2] If it is Jupiter, it indicates judgement, mediation, science, and whatever peacemaking is between men.

[3] If it is Mars, it indicates all the works which use fire, iron, leadership, and administration.

[4] If it is the Sun, it indicates the extraction of gems from their mines and works of wisdom by fire.

[5] If it is Venus, it indicates enchantment, perfume, dying the colours of clothes and other things, amusement with chess and backgammon, pictures, and lovely works.

[6] If it is Mercury, it indicates writing, counting, business, and teaching of poetry and what resembles it.

[7] If it is the Moon, it indicates a runner, a messenger, letters, and cultivation again,² and management of water and work of the earth. (The Moon) is connected with each one of these indications which resembles it in accordance with the mixed nature of the planets which belongs to it (the Moon) and by whatever makes it benefic and malefic.

[8] If the master of the matter of the job is the lord of the midheaven alone, or <if it is> one of the <three> planets of the job which is not received in its place and no planets mix with it, then the native is unemployed in jobs and works.

¹ Cf. *Tetrabiblos* IV.4.

² 'again' because cultivation was mentioned in Saturn.

الباب الرابع عشر في تزويج

[1] أدلاء التزويج للرجال البيت السابع وصاحبه والزهرة وسهم التزويج للرجال وصاحبه وأدلاء التزويج¹ للنساء² البيت السابع وصاحبه والشمس وسهم التزويج للنساء وصاحبه فإذا نظرت هذه الأدلاء أو³ أقواها إلى الطالع وصاحبه تزوج المولود فإذا⁴ سقطت⁵ عن الطالع وصاحبه لم يتزوج

[2] إذا كانت الأدلاء أو⁶ أقواها في الأوتاد تزوج بأقوام معروفين وإن كانت مسعودة تزوج بأقوام موسرين وإن كان⁷ بالضد من ذلك فبالضد إذا كانت الأدلاء أو⁸ أقواها في برج ذي جسدتين أو نظر إلى أكثر من كوكب واحد تزوج بأكثر من واحدة⁹

[3] القمر في مواليد الرجال إذا كان فيما بين الاجتماع واستقبال تزوج في حديثه أو بفتاة والشمس في مواليد النساء إذا كان¹⁰ فيما بين الطالع والغارب فوق الأرض تزوجت في حديثها أو بفتي وإذا¹¹ كان القمر أو الشمس في النصف الآخر تزوج هذا على كبره أو بعجوز وتزوجت تلك على كبرها أو¹² بشيخ

[4] إذا كان طالع الزوجة سابع الطالع¹³ الزوج دامت أيامها معا¹⁴ وقد قدمنا ذلك في المقدمة

الباب الخامس عشر في الأولاد

G41b [1] أدلاء الولد¹ البرج الخامس وصاحبه والمشتري وسهم الولد وصاحبه فإن كان² بين هذه أو أقواها وبين الطالع وصاحبه مواصلة أو نظر كان الولد وإن سقطت عن الطالع وصاحبه لم يكن³ ولد⁴ فإن⁵ الاتصال أو النظر من التلث والتسديس كان بينه وبين الأولاد موافقة

¹BJ om.

²FJV النساء

³JV و

⁴BJ وإذا

⁵J سقط

⁶BJV و

⁷V كانت

⁸BJ و

⁹J واحد

¹⁰BV كانت

¹¹B J ; بفتاة وإذا

¹²J om.

¹³JV طالع

¹⁴V مع زوجها

¹J الأولاد

²BFJV كانت

³J add. له

⁴B om.

⁵BJV add. كان

Chapter Fourteen: On Marriage¹

[1] The indicators of marriage for men are the seventh place and its lord, Venus, and the lot of marriage for men and its lord. The indicators of marriage for women are the seventh place and its lord, the Sun, and the lot of marriage for women and its lord. When these indicators or the most powerful of them aspect the ascendant and its lord, the native marries. Then if they fall from the ascendant and its lord, he does not marry.

[2] When the indicators or the most powerful of them are in the cardines, he marries into famous families. If they are made lucky, he marries into rich family. If they are opposite from them, then the opposite. When the indicators or the most powerful of them are in the bicorporal signs or they aspect more than one planet, he marries more than one woman.

[3] When the Moon at the birth time of men is between conjunction and opposition (i.e., bright fortnight), he marries in his youth or in his adolescence. When the Sun at the birth time of women is between the ascendant and the descendant under the earth, she marries in her youth or in her adolescence. When the Moon or the Sun is in the remaining half, he marries in his middle age or old age, and she in her middle age or in her old age.

[4] When the ascendant of a wife is the seventh sign from the ascendant of <her> husband, the days of them together last long. I have said this before in the introduction.²

Chapter Fifteen: On Children³

[1] The indicators of a child is the fifth place and its lord, Jupiter, and the lot of fortune and its lord. If, between them or the most powerful of them and the ascendant and its lord, there is an application or aspect, there is a child. If they fall from the ascendant and its lord, there is no child. If the application or aspect is from the trine or sextile, there are agreement and love between him (native) and his children.

¹Cf. *Tetrabiblos* IV.5.

²Cf. 3.1.11.

³Cf. *Tetrabiblos* IV.6.

ومحبة وإن كان من التربع والمقابلة كانوا مخالفين له وإن كانت الأدلاء أو أقواها أو أكثرها مسعودة كانوا مسعودين
 [2] إذا⁶ كانت الأدلاء⁷ أو أكثرها في بروج ذوات جسدتين أو البروج الكثيرة الزرع وهي الحوت والسرطان والعقرب كان الولد أكثر من واحد وإن غلبت النحوس على أكثر الأدلاء وكانت في بروج عواقر وهي الأسد والسنبلة دلت على عدمهم أو قتلهم وقلة الخير فيمن⁸ كان منهم وإن كانت الأدلاء⁹ أو أكثرها في بروج مذكرة¹⁰ أو مشرقة كان ما يولد ذكورا وإن كانت في بروج إناث أو مغربة كان ما يولد إناثا
 [3] الكواكب المعطية للأولاد¹¹ القمر والمشتري والزهرة وعطارد خاصة إذا كان مشرقا والمعدمة للأولاد والمقللة منهم الشمس والمريخ وزحل وعطارد خاصة¹² إذا كان مغربا

الباب السادس عشر في الأصدقاء والأعداء

[1] أدلاء الأصدقاء البيت الحادي عشر وصاحبه وسهم الأصدقاء وصاحبه وأدلاء الأعداء البيت الثاني عشر وصاحبه وسهم الأعداء وصاحبه
 [2] كون¹ صاحب الطالع في الحادي عشر وهو مقبول في موضعه أو كون صاحب² الحادي عشر في الطالع وهو مقبول في موضعه أو اتصال بين صاحب الطالع وصاحب الحادي عشر أو صاحب السهم³ أو وقوع السهم في أحد الأوتاد وصاحب الطالع معه مقبول في موضعه فأني هذه اتفق كان صاحب أصدقاء وخلان وكذلك النظر في أمر⁴ الأعداء إلا أن القبول يقلل⁵ العداوة ويضعفها⁶
 [3] كون النيرين معا في برج واحد بعينه من مولودين⁷ أو في برجين بعينهما⁸ يدل على الصداقة الوكيدة بينهما وكذلك التثليث والتسديس⁹ إلا أنه دون ذلك¹⁰ وإن كان النيران معا

G42a

⁶ وإذا B⁷ B add. أو أقواها⁸ J منمن⁹ G om.¹⁰ FJ ذكورة¹¹ F الأولاد¹² BV om.¹ J وكون² FJ om.³ B صاحب السهم instead of صاحب السعادة⁴ F أمور⁵ J تقلل⁶ J وينقصها V add. ويضعفه⁷ J مولدين⁸ B add. من مولودين⁹ V التسديس والتثليث¹⁰ B دون ذلك instead of دونه

If they are from quartile and opposition there is disagreement of him <with children>. If the indicators or the most powerful or the majority of them are made lucky, they are happy.

[2] When the indicators or the majority of them are in the bicorporal signs or in the signs which have many seeds, i.e., Pisces, Cancer, and Scorpio, the children are more than one. If the malefics overcome the majority of indicators and they are in the signs of barrenness, i.e., Leo and Virgo, they indicate lack or scarcity of children, and scarcity of happinesses which are from them. If the indicators or the majority of them are in the masculine signs or they are easterly, those who are born are male. If they are in the feminine signs or they are westerly, those who are born are female.

[3] The planets assigned for the children are the Moon, Jupiter, Venus, and Mercury, especially when they are easterly. The <planets assigned for> deprivation and scarcity of children are the Sun, Mars, Jupiter, and Mercury, especially when they are westerly.

Chapter Sixteen: On Friends and Enemies⁴

[1] The indicators of friends are the eleventh place and its lord, and the lot of friends and its lord. The indicators of enemies are the twelfth place and its lord, and the lot of enemies and its lord.

[2] The existence of the lord of the ascendant in the eleventh place while it is received in its place, or the existence of the lord of the eleventh place in the ascendant while it is received in its place, or the application from the lord of the ascendant and the lord of the eleventh place or the lord of the lot <of fortune> or the falling of the lot in one of the cardines, while the lord of the ascendant with it is received in its place — whichever of these happens, <the native> is the possessor of friends and beloved ones. The aspect concerning the matter of the enemy is likewise except that a reception decreases and weakens the enmity.

[3] The existence of the two luminaries in one sign simultaneously at the two birth times or in their own signs indicates strong friendship between them. Trine and sextile are likewise, but they are less than that (conjunction). If the two luminaries exist simultaneously

⁴Cf. *Tetrabiblos* IV.7.

في برجين متقابلين من مولدين¹¹ يدلّ على العداوة الوكيدة بينهما وكذلك التربع إلا أنّه دون ذلك
 [4] كون سهم السعادة في برج واحد بعينه¹² من¹³ مولدين¹⁴ يدلّ على صداقة بينهما
 لطمع في منفعة وكذلك التثليث والتسدیس¹⁵ إلا أنّه دون¹⁶
 [5] كون طالع المولدين¹⁷ برجا واحدا أو على التثليث والتسدیس¹⁸ يدلّ على صداقة
 اللذة¹⁹ والمصاحبة وعشرة²⁰ والمقابلة والتربع في²¹ ذلك يدلّ على البغض

الباب السابع عشر في السفر والغربة

[1] أدلاء السفر¹ البيت التاسع وصاحبه والمريخ وسهم السفر وصاحبه فاتّصال² هذه الأدلاء
 بصاحب الطالع أو نظرهما³ يدلّ على كثرة الأسفار وسقوطها عن الطالع وصاحبه يدلّ على
 القلة⁴
 [2] كون أدلاء السفر في الأوتاد وكون صاحب الطالع في الزوائل عن الأوتاد يدلّ على
 السفر
 [3] زوال القمر عن الأوتاد يدلّ على النقلة والأسفار وكذلك كون⁵ المريخ في الأوتاد
 [4] سعادة أدلاء السفر تدلّ⁶ على نجاح المولود في الأسفار وربحه فيما يقصد له
 ورجوعه من⁷ الغربة على ما يحبّ ونحوستها تدلّ⁸ على الضدّ⁹
 [5] سهم السعادة وصاحبه أو أحدهما في البيت التاسع يدلّ على كثرة الأسفار والانتفاع
 بها على قدر سعادة صاحب السهم وسهم بنظر¹⁰ السعداء إليها

¹¹ B مولودين

¹² B om. بعينه

¹³ J في

¹⁴ B مولودين

¹⁵ V والتسدیس والتثليث

¹⁶ JV دون ذلك

¹⁷ B المولودين

¹⁸ B والتسدیس والتثليث

¹⁹ BJ مع اللذة V; الصداقة اللذيدة

²⁰ F والعشرة

²¹ V om.

¹ B add. والغربة

² J واتصال

³ B add. إليه

⁴ B add. منها

⁵ B om.

⁶ BJV يدل

⁷ V عن

⁸ BJV يدل

⁹ B add. من ذلك

¹⁰ J نظر

in the two signs which are in opposition at the two birth times, they indicate strong enmity between them. Quartile is likewise, but it is less than that (opposition).

[4] The existence of the lot of fortune in one and the same sign at the time of the two birth times indicates friendship between them due to the desire for profit.

[5] The existence of the ascendant of the two birth times in one sign or in trine and sextile indicates friendship due to enjoyment, company, and intimacy. Opposition and quartile indicate hatred.

Chapter Seventeen: On the Journey and Absence⁵

[1] The indicators of the journey are the ninth place and its lord, Mars, and the lot of journey and its lord. The application of these indicators to the lord of the ascendant or their aspect indicates the abundance of journeys, and their fall from the ascendant and its lord indicates the fewness <of journey>.

[2] The existence of the indicators of the journey in the cardines and the existence of the lord of the ascendant in the cadent from the cardines indicate a journey.

[3] The fall of the Moon from the ascendant indicates emigration and journeys and likewise is the existence of Mars in the cardines.

[4] The beneficence of the indicators of the journey indicates success in the journeys of the native and his benefit in whatever he aims for and his return from absence to what he loves. Their maleficence indicates the contrary.

[5] The lot of fortune and its lord or one of them in the ninth place indicate the abundance of journeys and their usefulness in accordance with the beneficence of the lord of the lot of the journey and the aspect of the benefics to it.

⁵ Cf. *Tetrabiblos* IV.8.

الباب الثامن عشر في حال الموت

[1] يعلم ذلك من صاحب الثامن ومن سهم الموت وصاحبه¹ ومن الكواكب الناحسة القاطعة² على العمر من السيارة والثابتة³ وجزء الاجتماع والاستقبال الذي قبل الولادة أو أحد⁴ القواطع

[2] فإن كان زحل كان حدوث الموت من⁵ أمراض مزمنة وسلّ ونزلات⁶ وذوبان والحمي التي يكون معها نافض وأوجاع الطحال والاستسقاء وعلل الأرحام وجميع العلل التي تكون عن⁷ غلبة البرد

[3] وإن كان المشتري كان الموت عن⁸ الذبحة⁹ وذات الرئة والسكتة والتشنج¹⁰ والصداع¹¹ وعلل القلب وجميع العلل التي تكون عن ريح مفرطة

[4] وإن كان المريخ كان عن¹² حميات دائمة وشطر الغبّ وعن الضربة التي¹³ تكون بغتة وأوجاع الكبد وعلل قذف¹⁴ الدم وانفجاره عن العروق¹⁵ وأسقاط الأجنة والأولاد وجميع العلل التي تكون من إفراط الحرارة

[5] وإن كانت الزهرة كان عن¹⁶ علل المقعدة والكلي والأورام التي تسمى والنواصير¹⁷ وشرب الأدوية وجميع العلل التي تكون عن¹⁸ كثرة الرطوبة أو فسادها

[6] وإن كان عطارد كان ذلك عن جنون¹⁹ وذهاب العقل والوسواس السوداوي والسعال والقذف²⁰ وجميع العلل التي²¹ عن²² فرط اليبس

¹BJV om. ومن سهم الموت وصاحبه

²F الكواكب الناحسة القاطعة instead of الكوكب الناحس القاطع

³F om. from here to the end of [1].

⁴B أو أحد instead of من إحدى

⁵FB على J ; عن

⁶V ونزلات وسلّ

⁷J على

⁸J على

⁹F ذبحة

¹⁰B والتشنج

¹¹J add. والداغ

¹²V عن الموت instead of من

¹³J om.

¹⁴JV قذف

¹⁵BV وانفجار العروق ; F وانفجار عرق ; J وانفجار العروق

¹⁶B من J ; كانت من

¹⁷JV والبواسير

¹⁸V من

¹⁹B الجنون

²⁰JV والقذف

²¹BF add. يكون ; V add. تكون

²²V من

Chapter Eighteen: On the Condition of Death¹

[1] This is known from the lord of the eighth place, from the lot of death and its lord, the malefic stars which cut life, and the degree of the new moon and full moon which precede the birth or one of the cutting <stars>.

[2] If <the indicator is> Saturn, the occurrence of death is from chronic diseases, consumption, catarrhs, dissolution, the fever with which occur trembling, pains of the spleen, dropsy, illness of wombs, and all the diseases which are caused from the attack of coldness.

[3] If it is Jupiter, the death is from diphtheria, pneumonia, apoplexy, contraction, headache, heart disease, and all the illnesses which are caused from excessive wind.

[4] If it is Mars, <the death is> from fevers which are long lasting and which occur every other day, from the damage which is caused suddenly, pains of the liver, illnesses of discharge of blood, eruptions from veins, miscarriage of foetuses and babies, and all the illnesses which are caused from the excess of heat.

[5] If it is Venus, <the death is> from the illnesses of buttocks and kidneys, swellings which spread, fistula, drinking <wrong> medicine, and all the illnesses which are caused from the abundance of moisture or its corruption.

[6] If it is Mercury, <the death is> from possession <of demons>, loss of consciousness, black melancholy, cough, discharge <of blood>, and all the illnesses which are from the excess of dryness.

¹Cf. *Tetrabiblos* IV.9.

[7] فعل²³ الشمس في ذلك يشبه فعل²⁴ المريخ وفعل القمر²⁵ فعل²⁶ الزهرة هذه الكواكب إذا كانت منحوسة من المنحسة السيارة والثابتة²⁷ القاطعة أو كان بعض القواطع في درجة²⁸ الثامن وشهد له الكواكب المنحسة كان²⁹ الميتة ميتة سوء وخرج³⁰ عن الموت الطبيعي وعن الموت³¹ بالعلل والموت الطبيعي هو الذي³² لا من علة لكن³³ انحلال القوى شيئاً بعد شيء حتى يفنى وينفد³⁴

الباب التاسع عشر في قسمة زمان¹ المولود

[1] المولود يتولّى أمره من وقت مولده القمر أربع سنين لأنّ بدن المولود حينئذ² رطب سريع النمو وأكثر غذاء³ مائي

[2] ثمّ يتولاه عطارد عشر سنين فيقوي⁴ فهم النفس ويغرس⁵ فيه غروس التعاليم ويتبين فيه أصل⁶ الأخلاق وخواصّ الأعمال التي يحدث منها⁷ العلم⁸ والأدب

[3] ثمّ تتولاه الزهرة ثمان⁹ سنين فيبتدى¹⁰ فيه حركة¹¹ مجاري المني بامتلائها وتحركت¹² إلى أمور الجماع والعشق والانحداع¹³

²³ J النيرين فعل

²⁴ JV بفعل

²⁵ B add. يشبه

²⁶ JV بفعل

²⁷ V أو الثابتة

²⁸ J الدرجة

²⁹ BFJV كانت

³⁰ B خارج

³¹ B الموت

³² B add. يكون

³³ B من FLV add. لكن instead of بل من

³⁴ BFJ om.

¹ F زمان

² BJ حينئذ instead of ح

³ BFJ غذاء

⁴ BFJV add. فيه

⁵ B ونغرس V ; يتغرس

⁶ FV أصول

⁷ V فيها

⁸ BF منه التعليم J ; التعليم

⁹ B ثماني

¹⁰ J فتبتدى

¹¹ F حركات

¹² V وبحركة

¹³ BJV انحذاء

[7] The effect of the Sun in this <matter> resembles the effect of Mars, and the effect of the Moon <resembles> the effect of Venus. When these planets are made malefic by a malefic wandering <planet> and by a cutting fixed star, or <when> one of the cutting stars is in the eighth degree <of the eighth place>,² and <when> the planets which were made malefic have witnesses to it, <then> the manner of death is the ill manner which is different from a natural death as well as from the death by illness. The natural death is not from illness but the dissolution of powers bit by bit until <the native> passes away and ceases to exist.

Chapter Nineteen: On the Division of the Time of the Native³

[1] The Moon is in charge of the life of the native for four years from his birth, because the body of the native at that time is humid, quick in growth, and having much watery nourishment.

[2] Then Mercury is in charge of it for ten years. In this <period> the perceptive faculty of mind is strong, the seed of instruction is planted in this <period>, and the foundation of character and the specific activities from which science and culture occur become manifest.

[3] Then Venus is in charge of it for eight years. In this <period> the running movement of semen begins in its fulness and he moves toward the matters of sexual intercourse and love and cheating.

² Supplied from the Chinese translation.

³ Cf. *Tetrabiblos* IV.10.

- [4] ثم يتولاه¹⁴ الشمس تسعة عشر سنة فيصير النفس مستولية على الأعمال قادرة عليها وتنقل¹⁵ من الهزل إلى الجد ومن اللعب¹⁶ إلى الوقار وصيانة النفس
- [5] ثم يتولاه المريخ خمس عشرة¹⁷ سنة فيحدث¹⁸ صعوبة المعاش والمهموم والفكر وكأته يحس بالانحطاط ويزيد¹⁹ في حرصه
- [6] ثم يتولاه المشتري اثني عشر سنة فينصرف عن مباشرة الأعمال بنفسه والكذب والاضطراب ويلزم حسن المذهب²⁰ واكتساب الذكر الجميل
- [7] ثم يتولاه زحل إلى آخر العمر فيعرض لبدنه البرد والكسل²¹ وعسر²² حركات الشهوات وسرعة الاخطا وقلّة الاحتمال
- [8] فأني²³ كوكب²⁴ من هذه²⁵ كان أقوى في أصل المولد²⁶ وأسعد كان تأثيره وما يدلّ عليه في وقت نوبته أظهر²⁷ وأبين
- [9] وهذه²⁸ سنون ومقادير اتفق عليه²⁹ أهل هذه الصناعة أجمع والفرس يسمونها³⁰ الأفرادات
- [10] ومن³¹ بعد ما يقدّم³² من الأبواب من³³ هذه المقالة يحتاج إلى تحويل السنين لتمييز³⁴ بين الدلالات الأصلية والتحويلية وأيّها من التحويل يوافق³⁵ الأصل وأيها يخالفه ليكون³⁶ الحكم عليه بحسب ذلك إن شاء الله³⁷

¹⁴J تتولاه

¹⁵J و; وينتقل F om.

¹⁶BJV الغرل واللعب F: إلا الجد ومن اللعب instead of واللعب

¹⁷F خمسة عشر

¹⁸B فتحدث

¹⁹B فيزيد

²⁰J المذاهب

²¹F كسل وبرد

²²V وعن

²³J فإن أي

²⁴J puts here. كان

²⁵BF add. الكواكب

²⁶FV المولد and om. في الأصل

²⁷B أظهر instead of وما يخص أكثر

²⁸FJ om. و

²⁹FJ عليها

³⁰G سموها J; يسمونها

³¹V in margin after this.

³²J تقدم

³³BFJV في

³⁴B ليميز J; ليميز

³⁵J توافق

³⁶J مخالفه فيكون F; يخالفه ليكون

³⁷BJ om. إن شاء الله

[4] Then the Sun is in charge of it for nineteen years and the mind comes to be occupied by important works and it changes from joking to seriousness and from amusement to dignity and maintenance of mind.

[5] Then Mars is in charge of it for fifteen years and causes the difficulty of living, anxiety, and reflection, and he begins to notice decline and he increases his desire.

[6] Then Jupiter is in charge of it for twelve years. He retires from the pursuit of his own works, hard works, and troubles. He adheres to goodness of faith and acquisition of nice memory.

[7] Then Saturn is in charge of it until the end of life. His body has coldness, cracking, difficulty of motion and carnal appetite, quickness of declination, and intolerance.⁴

[8] Whatever planet is strongest or most benefic in the base nativity is most influential, and what it indicates in the period of its turn is most manifest and evident.

[9] The men of this art <of astrology> agree on these years and the amounts, and the Persians call them 'periods' (*afrādārāt*).

[10] From what was said before in the chapters of this Part, the yearly transfer is necessary for the distinction between the base indications and those <indications> belonging to the transfer, and which of the <indicators> of the transfer agree with the base, and which disagree with it, in order to make judgement on him (the native) according to this, if God wishes.

⁴Thus the periods of man's life governed by planets are:

Moon — from birth to 4

Mercury — from 5 to 15

Venus — from 16 to 24

Sun — from 25 to 44

Mars — from 45 to 60

Jupiter — from 61 to 73

Saturn — from 74 to death

الباب العشرون في تحويل سني المواليد وتسيير الأدلاء¹ الأصلية والتحويلية

[1] التحويل عودة الشمس إلى موضعها الأصلي بدقائقة وثوانية وطالع ذلك الوقت طالع التحويل وقد يبتأ كيفية استحراجه في الزيجين الجامع والبالغ فإذا أردنا أن نعرف كم سنة أتت على المولود أخذنا سني يزدجرد مع السنة التي وقع فيها المولود ونقصناها من السنة التي وقع فيها التحويل فما بقي فهو سنون تامة أتت على المولود والتحويل لدخول السنة القابلة ولطالع² المولود وأدلائها

G43b

[2] وجوه من التسييرات فمنها تسيير درجة الطالع بمطالع البلد ودرجة الغارب بمطالع النظر ودرجة وسط السماء ووتد الأرض بمطالع الفلك المستقيم وما بين كل³ وتدين بحسب موضعه كما نبينه في الباب الذي بعد هذا⁴ فالدرجة التي ينتهي إليها التسيير تسمى درجة القسمة من الطالع أو من وسط السماء أو من كوكب كذى⁵ وصاحب حد تلك الدرجة يسمى القاسم وهو المدبر لها بمقدار ما بقي من حده لكل درجة مطلعية سنة⁶

[3] مثال ذلك⁷ الطالع السرطان عشر درج⁸ وانتهى التسيير منها في بعض السنين إلى الدرجة الثامنة عشر⁹ منه فهذه الدرجة هي درجة القسمة من طالع وصاحب حدها عطارد على أن الحدود للمصريين وهو القاسم وقد بقي من حده درجتان واثنان¹⁰ وعشرون دقيقة مطلعية لستين ومائة واثنان¹¹ وثلاثين يوما¹²

[4] ومنها تسيير برج¹³ الطالع وسائر الأدلاء لكل¹⁴ سنة برج فالبرج¹⁵ الذي ينتهي إليه التسيير¹⁶ هو¹⁷ برج الانتهاء من الطالع¹⁸ أو من وسط السماء أو من كوكب كذا وصاحب¹⁹

¹ الأدلاء B

² J الطالع

³ BV om.

⁴ وقد بينا حساب F: وقد بينا حساب ذلك في آخر هذا الكتاب بعد الدرجة الجداول J

كما نبينه في الباب الذي بعد هذا instead of ذلك وعمله في الزيج لأن ذلك من أعمال الزيج

⁵ B F J V كذا

⁶ V add. لمطالع موضع الكواكب المسير

⁷ V gives a different example. See [3'] at the end of this chapter.

⁸ J درجات

⁹ V عشرة

¹⁰ F درجتين واثنى

¹¹ F G J واثنان

¹² B ومائة ... يوما instead of وأربعة أشهر واثنى عشر يوما من بعد

¹³ J درجة

¹⁴ J وكل

¹⁵ J والبرج

¹⁶ J التسيير إليه

¹⁷ V فهو

¹⁸ V hapl. om. from here to the next من الطالع

¹⁹ B كوكب أو صاحب J: أو صاحب G: كذا وكذا وصاحب

Chapter Twenty: On the Native's Yearly Transfer and the *Tasyīr* of the Basic and Transferec Indications¹

[1] The transfer is the return of the Sun to its basic place,² in minutes and seconds. The ascendant of that time is the ascendant of the transfer. We have explained how to derive it, in the two *Zījēs*, the extensive and the abbreviated.³ When we want to know how many years have expired on the birthday, we take the years of Yazdajird at the year in which the birth took place and we subtract it from the year in which the transfer falls. Then what remains is the complete years which have elapsed on the birthday. The transfer belongs to the beginning of the next year and to the ascendant of the birthday and also to the indicators of the birthday.

[2] There are several kinds of *tasyīrs*. Among them are the *tasyīr* of the degree of the ascendant in the ascension of the city, that of the degree of the descendant in the ascension of the diametrically opposite point <to the ascendant>, and that of the degree of the midheaven and the lower culmination, <both> in the ascension of the right sphere. As to what is in between two cardines, its place is <obtained> by calculation, just as we shall explain in the chapter following this. The degree at which a *tasyīr* terminates is called 'the degree of the *qisma*' from the ascendant or from the midheaven or from such and such a planet. The lord of the term of this degree is called the *qāsim* (divisor). He presides over it in accordance with the amount which remains of the term, each degree corresponding to one year.

[3] An example of this: The ascendant is the tenth degree of Cancer. From this the *tasyīr* reaches the eighteenth degree of Cancer after some years. This degree is the degree of the *qisma* from the ascendant, of which the term belongs to Mercury according to the Egyptian <system of> the terms. Mercury is the *qāsim*. There remain two degrees and twenty-two minutes of rising of <Mercury's> term, which corresponds to two years and one hundred and thirty-two days.⁴

[4] Among them there is a *tasyīr* of the sign of the ascendant and the other indicator <which moves> one sign in each year. The sign at which the *tasyīr* arrives is the sign of the *intihā'* from the ascendant or from the midheaven or from such and such a planet. The lord

¹ Cf. *Tetrabiblos* III.10.

² 'base' or 'basic' always refers to the time of birth.

³ Referring to his own two works.

⁴ According to the Egyptian system of terms (1.16), Mercury is the ruler of the five degrees from Cancer 14° to 19°. Since the *tasyīr* of this example is in the beginning of Cancer 18°, there remain two ecliptic degrees, which, as Kūshyār says, corresponds to 2°22' of oblique ascension. Thus the local latitude was assumed to be about 35°N, which is close to the latitude of Jīlān. Since 1° is one year, 2°22' corresponds to 2 years and 132 days, provided that one year = 360 days. B: 'four months and twelve days' instead of 132 days.

برج الانتهاء من الطالع²⁰ هو السالخداه

[5] مثال ذلك الطالع السرطان عشر درجات²¹ وللمولود عشر سنين تامة والحادية عشر هي المحولة فيعد من برج السرطان أحد²² عشر برجا فينتهي²³ إلى الثور فالثور برج الانتهاء من الطالع في عشر درجات²⁴ عند أول التحويل والزهرة السالخداه وعليه معظم الاعتماد في التحويلات

[6] ومنها تسير برج الانتهاء والأدلاء لكل درجة بالسواء²⁵ اثني²⁶ عشر يوما وسدس يوم²⁷ بالتقريب فيتم ثلاثين²⁸ درجة بتمام السنة وينتهي في السنة الثانية إلى البرج الذي يليه بمثل تلك الدرجة ودقائقها ويسمى التسير السنوي وتسيرها²⁹ إلى أجساد السعد والنحوس وشعاعاتها³⁰ التي فيما بين درجة³¹ برج الانتهاء إلى مثلها من البرج³² الذي يليه فإن كان في الدرجة جسد³³ كوكب أو شعاعه فالحكم على الدرجة بحسبه وإن لم يكن فبحسب صاحب البرج إلى أن ينتهي³⁴ إلى جسد كوكب³⁵ أو شعاعه

[7] مثال ذلك الانتهاء في الثور عشر درجات³⁶ وشعاع المشتري في ست عشرة درجة منه فالحكم عليها بحسب الزهرة إلى أن ينتهي من العشر درجات³⁷ إلى ست عشرة³⁸ درجة في ثلاثة³⁹ وسبعين يوما وهو مضروب ست درجات⁴⁰ في اثني عشر وسدس ثم بحسب المشتري إلى أن ينتهي إلى جسد كوكب آخر أو شعاعه على⁴¹ هذا القياس فقد وضعت لهذا

²⁰ J add. أو من وسط السماء أو من كوكب أو صاحب برج الانتهاء من الطالع

²¹ FV درج

²² FJ إحدى

²³ J وينتهي

²⁴ FV درج

²⁵ V om. بالسوا

²⁶ FG اثنا

²⁷ J om.

²⁸ V ثلاثون

²⁹ J وتسيرها instead of ويسير

³⁰ J add. وتسير الشعاعاتها

³¹ J درج

³² V البروج

³³ J جسد instead of حينئذ

³⁴ J أن ينتهي instead of الانتهاء

³⁵ J الكوكب

³⁶ FV درج

³⁷ JLV درج

³⁸ FJV ستة عشر

³⁹ G ثلاث

⁴⁰ F ست درجات instead of ستة

⁴¹ V وعلى

of the sign of the *intihā'* from the ascendant is *sālkhudāh*.⁵

[5] An example of this: The ascendant is the tenth degree of Cancer, and ten complete years have passed at the birthday, thus the eleventh year is the *muḥawwala* (year of *taḥwīr*). Eleven signs are counted from Cancer, and <the *tasyīr*> reaches Taurus. Then Taurus is the sign of the *intihā'* from the ascendant in the tenth degree at the beginning of the transfer. Venus is the *sālkhudāh* and the greatest credit is on it in the transfer.⁶

[6] Among them there is a *tasyīr* of the sign of the *intihā'* and the indicators <which moves> one degree, in the same manner, in twelve and one sixth days approximately.⁷ At the completion of one year it completes thirty degrees, and in the second year it reaches the next sign in the same degree and minutes. This is called the yearly *tasyīr*. It arrives at the bodies of the benefics and malefics and their rays which are between the degree of the sign of the *intihā'* and the same <degree> of the next sign. If there is a body of a planet or its rays in this degree, then judgement of the degree is made by means <of the planet>. If there is no planet <or its rays>, then <the judgement> is made by means of the lord of the sign until <the *intihā'*> reaches the body of the planet or its rays.

[7] An example of this: The *intihā'* is in the tenth degree of Taurus and Jupiter's rays are in the sixteenth degree of Taurus. Then judgement of it (the degree) is made by means of Venus until it moves from the tenth to the sixteenth of Taurus in seventy-three days. This is the product of six and twelve and one sixth. Then <judgement is made> by Jupiter until <the *intihā'*> reaches another planet or its rays in the same manner.⁸ I have attached

⁵ This Persian term means 'the lord of the year'.

⁶ Because Taurus is the house of Venus.

⁷ $30^\circ/365 \text{ days} = 1^\circ/12\frac{1}{6} \text{ days}$.

⁸ Since Taurus is the house of Venus, Venus is strong, but after Taurus 16° where Jupiter aspects, its Jupiter's turn.

التسيير جدولا في كل⁴² ثلاثين يوما وفي كل يوم ليسهل مأخذه عند الحاجة إليها⁴³
 [8] ومنها تسيير برج الانتهاء والأدلاء الآخر لكل يوم درجة وأربع دقائق بالتقريب
 فيكون عند ابتداء السنة القابلة مرت بجميع الكواكب في طالع التحويل وشعاعاتها وتم⁴⁴
 الدور وزياده برج واحد وانتهى إلى برج الانتهاء الذي⁴⁵ للسنة القابلة بمثل درجات الأصل
 ويسمى التسيير الشهري وقد وضعت⁴⁶ لهذا النوع أيضا⁴⁷ من التسيير⁴⁸ جدولا في كل
 ثلاثين يوما وفي كل يوم ليسهل متناوله⁴⁹ عند ما يحتاج إليه
 [9] ومنها تسيير درجة طالع التحويل وبيوتها وكواكبها لكل يوم تسعا⁵⁰ وخمسين دقيقة
 وثمانين⁵¹ ثواني⁵² والعمل في ذلك سهل⁵³ من جداول⁵⁴ وسط الشمس في الزيج
 [10] تسيير برج الانتهاء من الطالع ودرجة بوجوه⁵⁵ التسييرات الأحوال البدن وما
 يخصه ومن برج سهم السعادة ودرجته لأحوال السعادات والمال ومن برج الشمس
 ودرجتها لأمر الرتبة والشرف ومن برج وسط السماء ودرجته لأحوال الأعمال والصناعات
 وعلى هذا كل بيت وكل كوكب لما يدل عليه
 [11] الدلائل الأصلية إذا أذنت بسعادة أو نحوسة بانتهائها إلى سعد أو نحس في سنة من
 السنين ثم سعدت أو فسدت بأحدهما في وتد من أوتاد تحويل تلك السنة وقع الوفاء بما
 أذنت به فأمّا أن يؤذن به الأصل ولم يشهد له التحويل كما قلنا فهو عارض متجاوز وما
 يؤذن⁵⁶ به التحويل ولم يشهد له الأصل فهو أخف من ذلك إلا أن يكون هناك اجتماع
 شواهد ودلائل من الأوتاد فعند ذلك يتأكد⁵⁷ الأمر فيه
 [12] كل منحة أصلية وتحويلية إذا شهدت لها السعود بنظرها أو اتصالها فإنها تحلما
 إلا أن تكون⁵⁸ المنحة قوية والسعد ضعفا⁵⁹ فيعزز⁶⁰ عن تحليلها

⁴² J لكل

⁴³ V om.

⁴⁴ J ويتم

⁴⁵ V التي

⁴⁶ J وضأنا

⁴⁷ JV puts. أيضا after من التسيير

⁴⁸ F om. من التسيير

⁴⁹ B تناوله

⁵⁰ FJ تسعة

⁵¹ J وثمان

⁵² F ثوان

⁵³ BJ أسهل

⁵⁴ J جدول

⁵⁵ V بوجوه instead of يؤخذ من

⁵⁶ J يأذن

⁵⁷ V يؤتكد

⁵⁸ V يكون

⁵⁹ J ضعيفا ; V ضعيف

⁶⁰ J فيعجز

a table for this *tasyir* for every thirty days and for each day in order to make it easy to obtain it when it is needed.⁹

[8] Among them is a *tasyir* of the sign of the *intihā'* and other indicator which moves approximately one degree and four minutes in every day. At the beginning of the next year it passes by all the planets in their horoscope of the <preceding> transfer and their rays, and completes one rotation, and one sign is added to it, thus moving to the sign of the *intihā'* belonging to the next year at the same initial degree. This is called monthly *tasyir*. I have composed a table for this sort of *tasyir* for every thirty days and for each day for the purpose of easiness of obtaining it when it is needed.¹⁰

[9] Among them there is a *tasyir* of the degree, houses, and planets of the ascendant of transfer which moves fifty-nine minutes and eight seconds in every day. The operation in this becomes easy by the tables of the mean <motion> of the Sun in the *Zīj*.¹¹

[10] Out of several kinds of *tasyirs*, the *tasyir* of the sign of the *intihā'* from the ascendant and its degree <indicates> the conditions of the body and whatever concerns it; that from the sign of the lot of fortune and its degree <indicates> the condition of happiness and wealth; that from the sign of the Sun and its degree <indicates> the matters of rank and honor; and that from the sign of the midheaven and its degree indicates the conditions of business and works. In this way each place and each planet are <used> for what they indicate.

[11] When the basic indicators announce good luck or ill luck by their arrival at the benefic or malefic <planets> in one of the years, and when they become good or bad by one of the two (i.e., good or bad planet) in one of the cardines of the transfer of this year, then there is a fulfilment of what was announced by it (indicator). As to the thing which the basic <indicator> announces and for which the transfer has no witness as I have said, this hardship can be overcome. That which the transfer announces, and for which the basic <indicator> has no witness, is more insignificant than it, unless there be a gathering of witnesses and indicators from the cardines and thus the matters in it are confirmed.

[12] When the benefic <planets> have witness to each one of the basic and transferic malefic planets by their aspect or by their application, then the benefic planets undo <their effects> except when the malefic planet is powerful and the benefic planet is weak and thus unable to undo <their effects>.

⁹ See the first table of this chapter.

¹⁰ See the second table of this chapter.

¹¹ 59; 8° per day is the mean solar motion. The Chinese translation gives this table for twelve months.

[13] أهل الصناعة أكثرهم يدقون العمل في التحاويل حتى يحولون شهرا شهرا وأسبوعا أسبوعا ويوما يوما وهذه وإن كانت⁶¹ من الصناعة فهي من الفروع التي تبعد عن⁶² الأصول ولا يمكن اطلاق القول به في الحكم عليها إلا اعتمادا⁶³ على الاتفاق وإن تحشى الأوراق بها فتتفق⁶⁴ كثيرة الهذيان⁶⁵ فيها عند صاحب التحويل ويعجبه ضخامة الجزء وكثرة أوراقه بلا فائدة ترجع⁶⁶ إليه ولا حاصل يعول عليه وليت⁶⁷ أمكنا الوفاء بما ذكرناه⁶⁸ في هذه المقالة والقيام به حتى نؤدي حقه ونستقضى في التمييز بين خيره وشره وسعادته ونحوسته ومقابلة الشهادات المحموده والمذمومة بعضها ببعض حتى نلخص من البين ما يمكن القطع عليه

[14] فإن أحد أراد⁶⁹ أن يحول الشهور استخرج⁷⁰ طالع حلول الشمس بمثل درجاتها الأصلية في كل برج فيكون ذلك طالع الشهر والكواكب المقومة لذلك الوقت كواكب الشهر وأجعل⁷¹ طالع التحويل وبرج⁷² الانتهاء دليلى الشهر الأول وثاني طالع التحويل⁷³ وثاني برج الانتهاء وطالع الشهر الثاني أدلاء الشهر الثاني وعلى هذا النسق إلى آخر الشهور⁷⁴ الاثنى عشر من السنة

[15] وتسير الأدلاء الشهر على أن لكل برج يومين وثلاث⁷⁵ فيحكم على سعادة ذلك البرج ونحوسته في ذلك اليومين والثلاث وعلى⁷⁶ البرج الثاني في اليومين والثالث الذي بعده وعلى هذا القياس إلى أن⁷⁷ تنقضي البروج الاثنى عشر في ثمانية وعشرين يوما بالتقريب⁷⁹ وهذه الأيام مساوية للتسير الشهر الذي قدمناه⁸⁰ ذكره وهو في كل يوم درجة وأربع دقائق بالتقريب

⁶¹ V om. و

⁶² V يبعد من

⁶³ V الاعتماد

⁶⁴ J فيتفق

⁶⁵ J الهذيان

⁶⁶ JV يرجع

⁶⁷ J ولين

⁶⁸ J ذكرنا

⁶⁹ BV أراد أحد

⁷⁰ J باستخراج

⁷¹ F وجعل

⁷² V وثنائي برج ; G's original hand ends. The following text is based on F.

⁷³ A second hand begins in G.

⁷⁴ BJ الشهر

⁷⁵ V ثلثا

⁷⁶ B om. و ; V add. هذا

⁷⁷ BJV إلى أن instead of حتى

⁷⁸ F الاثنا

⁷⁹ V om. فإذا عرفنا بالتقريب and skip to

⁸⁰ J قدمنا

[13] Many astrologers go into details concerning the operation of the transfer and they consider the transfer month by month, week by week, and day by day. Even if this is one of the arts of astrology, it is one of the branches which are far from foundation, and generalization in the teaching in it concerning its judgement is impossible without being dependent on accidental coincidences, even though papers are filled with them. Much foolishness concerning it occurs to the follower of the transfer, and the bulkiness of the details and the abundance of papers without any due utility appeal to him. But what happens does not depend on it. I wish I could fulfil what we have described in this chapter and its accomplishment, so that we may carry out its truth. We need distinction between welfare and disaster, happiness and misfortune, or comparison of the witnesses commendable and blameworthy to one another, then we could summarize what is evident from among what the cutting can do.

[14] If one wants the transfer of the months, one should derive the ascendant at the Sun's arrival at the same initial degree in each sign. This is the ascendant of the month. The planets which are positioned for this time will be the planets of the month. Make the ascendant at the transfer and the sign¹² of the *intihā'* as two indicators of the first month. And the second place from the ascendant of the transfer and the second sign of the *intihā'* and the ascendant of the second month are the indicators of the second month. And in this order up to the end of the twelfth month of the year.

[15] The motion (*tasyīr*) of the indicator of the month is <at the rate of> one sign in two and one third days,¹³ and it has authority on the fortune and misfortune in it for two and one third days, and on the second sign for (another) two and one third days after it, and in this manner until the exhaustion of the twelve signs approximately in twenty-eight days. These days are equal to the *tasyīr* of the month which I have mentioned before,¹⁴ and this is for each day one degree and four minutes approximately.

¹² G's original hand ends here. The following text and translation are mainly based on F.

¹³ This is approximate. Actually this *tasyīr* moves 390° per 365 days, thus 30° per $2\frac{5}{13}$ days.

¹⁴ Cf. 3.20.8.

F65b

[16] فإذا عرفنا التحويل حسبنا حسابه وأعماله على ما بيّناه في الزيج وعرفنا بروج
الانتهاءات وأربابها على ما تقدّم ذكره⁸¹ وقومنا كواكب التحويل وعرفنا شعاعاتها
واستخرجنا سهام التحويل كما استخرجناه في⁸² الأصل ثمّ حفظنا خطوط الزائجة⁸³
وأفردنا فيها⁸⁴ لكل واحد من طالع الأصل وبرج⁸⁵ الانتهاء وطالع التحويل بيوتا اثنا عشر
كما نحصّه مثالا يعقب هذا الفصل بعد الجداول⁸⁶
[17]⁸⁷ وجعلنا أول الأقسام الثلاثة لطالع الأصل وكواكبه بحسب ما يقع فيها⁸⁸ والقسم
الثاني لبرج⁸⁹ الانتهاء فقط والقسم الثالث⁹⁰ لطالع التحويل وكواكبه وهو أصل الزائجة⁹¹
ثمّ نضعه بين أيدينا ونفرغ له خاطرنا ونحكم عليه بقدر⁹² جهدنا وطاقتنا ومستعين⁹³ بالله
تعالى⁹⁴ عزّ وجلّ ونستوفقه ونستهديه⁹⁵ وبه⁹⁶ التوفيق والأرشاد إلى الصواب⁹⁷ يتلوه
جدول التسيير
[18]⁹⁸ ومثال استعمال هذه⁹⁹ الجداول الانتهاء في الثور عشرين¹⁰⁰ درجة¹⁰¹ والماضي
من السنة ثلاثة أشهر وعشرة أيام فيكون¹⁰² الانتهاء عند ذلك بالتسيير السنوي في الثور
كح يحو بالتسيير الشهور في السنبلة ون

⁸¹F ذكرها⁸²J من⁸³BFV الزائجة⁸⁴J om.⁸⁵FV وبرج⁸⁶B om. from الجداول

V om. and add. الجدول في السنة بعد الجداول

and puts [18] before [17].

⁸⁷V add. وما في الزيجة⁸⁸V فيه⁸⁹V لبرج⁹⁰B om. لبرج الانتهاء فقط والقسم الثالث⁹¹BFV الزائجة⁹²J بحسب⁹³V ومستعينا⁹⁴BJ om. تعالى⁹⁵V om. عز وجل ونستوفقه ونستهديه⁹⁶J عز ... وبه instead of مستوفقين منه F ; ومستوفضا منه⁹⁷J add. إنه على ما يشاء قد يرونا بالنجاة جدير F ends here.⁹⁸V puts this example after [16].⁹⁹B om.¹⁰⁰B عشرون¹⁰¹G puts the part of [18] after this at the bottom of the preserved diagram in a folio inserted between fol. 36 and 37.¹⁰²G om. ف

[16] If we know the transfer we make its computation. Its operation is based on what we have explained in the *Zīj*.¹⁵ We have known the signs of the *intihā'* and their lords on the basis of what we have said. And we have placed the planets of the transfer <in the horoscope diagram> and we have known their rays and we have derived the lot of fortune of the transfer, just as we have derived it for the base <horoscope>. Then we have drawn lines of the diagram (*zā'iraja*) and we have separated twelve houses for each of the following: the base ascendant, the sign of the *intihā'*, and the ascendant of the transfer, just as we have drawn in the example which comes at the end of this chapter after the table.

[17] We have assigned the first of the three divisions to the base horoscope, and its planets by the computation of what is suitable to them. The second division is for the sign of the *intihā'* only, and the third division is for the ascendant of the transfer and its planets. This is the foundation of the diagram. Then we place it in front of us, and we concentrate our attention on it, and we judge on it according to our effort and ability. We are helped by the highest God who is powerful and great and we receive Him and ask Him for guidance and success, the guidance to correctness which the table of *tasyīrs* follows.

[18] An example of the usage of these tables: *inhitā'* is Taurus twenty degrees. After three months and ten days, it is at Taurus 28°13' by yearly *tasyīr*, and by monthly *tasyīr* it is at Virgo 6°50'.

¹⁵Cf. Kūšyār's *Zīj al-jāmi'*, Berlin ms. p. 24.

التسيرات السنوي					
وهو في السنة الشمسية ¹ برج واحد					
الشهور	درج دقائق	أيام	درج دقائق	أيام	درج دقائق
ا	ب كح	ا	هـ	يو	ا
ب	د نو	ب	ي	يز	ا
ج	ز كد	ج	يه	يح	ا
د	ط نا	د	ك	يط	ا
هـ	يب يط	هـ	يه	يه	ا
و	يد مز	و	ل	كا	ا
ز	يز يه	ز	لد	كب	ا
ح	يط بح	ح	م	كج	ا
ط	كب يب	ط	مد	كد	ا
ي	كد م	ي	مط	كه	ب
يا	كز ز	يا	ند	كو	ب
يب	كط له	يب	نط	كز	ب
في سنة شمسية ² وهي سنة وربع يوم برج			د	كح	ب
			ط	كط	ب
			يد	ل	ب

التسيرات الشهري السنة									
في السنة الشمسية ³ ثلاثة عشر برجا									
الشهور		درج دقائق		أيام		درج دقائق		أيام	
ا	ب	ا	ب	ا	ب	ا	ب	ا	ب
ج	د	ج	د	ج	د	ج	د	ج	د
هـ	و	هـ	و	هـ	و	هـ	و	هـ	و
ز	ح	ز	ح	ز	ح	ز	ح	ز	ح
ط	ي	ط	ي	ط	ي	ط	ي	ط	ي
ق	ك	ق	ك	ق	ك	ق	ك	ق	ك
ر	ل	ر	ل	ر	ل	ر	ل	ر	ل
س	م	س	م	س	م	س	م	س	م
ت	ن	ت	ن	ت	ن	ت	ن	ت	ن
ث	هـ	ث	هـ	ث	هـ	ث	هـ	ث	هـ
د	و	د	و	د	و	د	و	د	و
ذ	ز	ذ	ز	ذ	ز	ذ	ز	ذ	ز
ر	ح	ر	ح	ر	ح	ر	ح	ر	ح
س	ط	س	ط	س	ط	س	ط	س	ط
ت	ي	ت	ي	ت	ي	ت	ي	ت	ي
ث	ك	ث	ك	ث	ك	ث	ك	ث	ك
د	ل	د	ل	د	ل	د	ل	د	ل
ذ	م	ذ	م	ذ	م	ذ	م	ذ	م
ر	ن	ر	ن	ر	ن	ر	ن	ر	ن
س	هـ	س	هـ	س	هـ	س	هـ	س	هـ
ت	و	ت	و	ت	و	ت	و	ت	و
ث	ز	ث	ز	ث	ز	ث	ز	ث	ز
د	ح	د	ح	د	ح	د	ح	د	ح
ذ	ط	ذ	ط	ذ	ط	ذ	ط	ذ	ط
ر	ي	ر	ي	ر	ي	ر	ي	ر	ي
س	ك	س	ك	س	ك	س	ك	س	ك
ت	ل	ت	ل	ت	ل	ت	ل	ت	ل
ث	م	ث	م	ث	م	ث	م	ث	م
د	ن	د	ن	د	ن	د	ن	د	ن
ذ	هـ	ذ	هـ	ذ	هـ	ذ	هـ	ذ	هـ
ر	و	ر	و	ر	و	ر	و	ر	و
س	ز	س	ز	س	ز	س	ز	س	ز
ت	ح	ت	ح	ت	ح	ت	ح	ت	ح
ث	ط	ث	ط	ث	ط	ث	ط	ث	ط
د	ي	د	ي	د	ي	د	ي	د	ي
ذ	ك	ذ	ك	ذ	ك	ذ	ك	ذ	ك
ر	ل	ر	ل	ر	ل	ر	ل	ر	ل
س	م	س	م	س	م	س	م	س	م
ت	ن	ت	ن	ت	ن	ت	ن	ت	ن
ث	هـ	ث	هـ	ث	هـ	ث	هـ	ث	هـ
د	و	د	و	د	و	د	و	د	و
ذ	ز	ذ	ز	ذ	ز	ذ	ز	ذ	ز
ر	ح	ر	ح	ر	ح	ر	ح	ر	ح
س	ط	س	ط	س	ط	س	ط	س	ط
ت	ي	ت	ي	ت	ي	ت	ي	ت	ي
ث	ك	ث	ك	ث	ك	ث	ك	ث	ك
د	ل	د	ل	د	ل	د	ل	د	ل
ذ	م	ذ	م	ذ	م	ذ	م	ذ	م
ر	ن	ر	ن	ر	ن	ر	ن	ر	ن
س	هـ	س	هـ	س	هـ	س	هـ	س	هـ
ت	و	ت	و	ت	و	ت	و	ت	و
ث	ز	ث	ز	ث	ز	ث	ز	ث	ز
د	ح	د	ح	د	ح	د	ح	د	ح
ذ	ط	ذ	ط	ذ	ط	ذ	ط	ذ	ط
ر	ي	ر	ي	ر	ي	ر	ي	ر	ي
س	ك	س	ك	س	ك	س	ك	س	ك
ت	ل	ت	ل	ت	ل	ت	ل	ت	ل
ث	م	ث	م	ث	م	ث	م	ث	م
د	ن	د	ن	د	ن	د	ن	د	ن
ذ	هـ	ذ	هـ	ذ	هـ	ذ	هـ	ذ	هـ
ر	و	ر	و	ر	و	ر	و	ر	و
س	ز	س	ز	س	ز	س	ز	س	ز
ت	ح	ت	ح	ت	ح	ت	ح	ت	ح
ث	ط	ث	ط	ث	ط	ث	ط	ث	ط
د	ي	د	ي	د	ي	د	ي	د	ي
ذ	ك	ذ	ك	ذ	ك	ذ	ك	ذ	ك
ر	ل	ر	ل	ر	ل	ر	ل	ر	ل
س	م	س	م	س	م	س	م	س	م
ت	ن	ت	ن	ت	ن	ت	ن	ت	ن
ث	هـ	ث	هـ	ث	هـ	ث	هـ	ث	هـ
د	و	د	و	د	و	د	و	د	و
ذ	ز	ذ	ز	ذ	ز	ذ	ز	ذ	ز
ر	ح	ر	ح	ر	ح	ر	ح	ر	ح
س	ط	س	ط	س	ط	س	ط	س	ط
ت	ي	ت	ي	ت	ي	ت	ي	ت	ي
ث	ك	ث	ك	ث	ك	ث	ك	ث	ك
د	ل	د	ل	د	ل	د	ل	د	ل
ذ	م	ذ	م	ذ	م	ذ	م	ذ	م
ر	ن	ر	ن	ر	ن	ر	ن	ر	ن
س	هـ	س	هـ	س	هـ	س	هـ	س	هـ
ت	و	ت	و	ت	و	ت	و	ت	و
ث	ز	ث	ز	ث	ز	ث	ز	ث	ز
د	ح	د	ح	د	ح	د	ح	د	ح
ذ	ط	ذ	ط	ذ	ط	ذ	ط	ذ	ط
ر	ي	ر	ي	ر	ي	ر	ي	ر	ي
س	ك	س	ك	س	ك	س	ك	س	ك
ت	ل	ت	ل	ت	ل	ت	ل	ت	ل
ث	م	ث	م	ث	م	ث	م	ث	م
د	ن	د	ن	د	ن	د	ن	د	ن
ذ	هـ	ذ	هـ	ذ	هـ	ذ	هـ	ذ	هـ
ر	و	ر	و	ر	و	ر	و	ر	و
س	ز	س	ز	س	ز	س	ز	س	ز
ت	ح	ت	ح	ت	ح	ت	ح	ت	ح
ث	ط	ث	ط	ث	ط	ث	ط	ث	ط
د	ي	د	ي	د	ي	د	ي	د	ي
ذ	ك	ذ	ك	ذ	ك	ذ	ك	ذ	ك
ر	ل	ر	ل	ر	ل	ر	ل	ر	ل
س	م	س	م	س	م	س	م	س	م
ت	ن	ت	ن	ت	ن	ت	ن	ت	ن
ث	هـ	ث	هـ	ث	هـ	ث	هـ	ث	هـ
د	و	د	و	د	و	د	و	د	و
ذ	ز	ذ	ز	ذ	ز	ذ	ز	ذ	ز
ر	ح	ر	ح	ر	ح	ر	ح	ر	ح
س	ط	س	ط	س	ط	س	ط	س	ط
ت	ي	ت	ي	ت	ي	ت	ي	ت	ي
ث	ك	ث	ك	ث	ك	ث	ك	ث	ك
د	ل	د	ل	د	ل	د	ل	د	ل
ذ	م	ذ	م	ذ	م	ذ	م	ذ	م
ر	ن	ر	ن	ر	ن	ر	ن	ر	ن
س	هـ	س	هـ	س	هـ	س	هـ	س	هـ
ت	و	ت	و	ت	و	ت	و	ت	و
ث	ز	ث	ز	ث	ز	ث	ز	ث	ز
د	ح	د	ح	د	ح	د	ح	د	ح
ذ	ط	ذ	ط	ذ	ط	ذ	ط	ذ	ط
ر	ي	ر	ي	ر	ي	ر	ي	ر	ي
س	ك	س	ك	س	ك	س	ك	س	ك
ت	ل	ت	ل	ت	ل	ت	ل	ت	ل
ث	م	ث	م	ث	م	ث	م	ث	م
د	ن	د	ن	د	ن	د	ن	د	ن
ذ	هـ	ذ	هـ	ذ	هـ	ذ	هـ	ذ	هـ
ر	و	ر	و	ر	و	ر	و	ر	و
س	ز	س	ز	س	ز	س	ز	س	ز
ت	ح	ت	ح	ت	ح	ت	ح	ت	ح
ث	ط	ث	ط	ث	ط	ث	ط	ث	ط
د	ي	د	ي	د	ي	د	ي	د	ي
ذ	ك	ذ	ك	ذ	ك	ذ	ك	ذ	ك
ر	ل	ر	ل	ر	ل	ر	ل	ر	ل
س	م	س	م	س	م	س	م	س	م
ت	ن	ت	ن	ت	ن	ت	ن	ت	ن
ث	هـ	ث	هـ	ث	هـ	ث	هـ	ث	هـ
د	و	د	و	د	و	د	و	د	و
ذ	ز	ذ	ز	ذ	ز	ذ	ز	ذ	ز
ر	ح	ر	ح	ر	ح	ر	ح	ر	ح
س	ط	س	ط	س	ط	س	ط	س	ط
ت	ي	ت	ي	ت	ي	ت	ي	ت	ي
ث	ك	ث	ك	ث	ك	ث	ك	ث	ك
د	ل	د	ل	د	ل	د	ل	د	ل
ذ	م	ذ	م	ذ	م	ذ	م	ذ	م
ر	ن	ر	ن	ر	ن	ر	ن	ر	ن
س	هـ	س	هـ	س	هـ	س	هـ	س	هـ
ت	و	ت	و	ت	و	ت	و	ت	و
ث	ز	ث	ز	ث	ز	ث	ز	ث	ز
د	ح	د	ح	د	ح	د	ح	د	ح
ذ	ط	ذ	ط	ذ	ط	ذ	ط	ذ	ط
ر	ي	ر	ي	ر	ي	ر	ي	ر	ي
س	ك	س	ك	س	ك	س	ك	س	ك
ت	ل	ت	ل	ت	ل	ت	ل	ت	ل
ث	م	ث	م	ث	م	ث	م	ث	م
د	ن	د	ن	د	ن	د	ن	د	ن
ذ	هـ	ذ	هـ	ذ	هـ	ذ	هـ	ذ	هـ
ر	و	ر	و	ر	و	ر	و	ر	و
س	ز	س	ز	س	ز	س	ز	س	ز
ت	ح	ت	ح	ت	ح	ت	ح	ت	ح
ث	ط	ث	ط	ث	ط	ث	ط	ث	ط
د	ي	د	ي	د	ي	د	ي	د	ي
ذ	ك	ذ	ك	ذ	ك	ذ	ك	ذ	ك
ر	ل	ر	ل	ر	ل	ر	ل	ر	ل
س	م	س	م	س	م	س	م	س	م
ت	ن	ت	ن	ت	ن	ت	ن	ت	ن
ث	هـ	ث	هـ	ث	هـ	ث	هـ	ث	هـ
د	و	د	و	د	و	د	و	د	و
ذ	ز	ذ	ز	ذ	ز	ذ	ز	ذ	ز
ر	ح	ر	ح	ر	ح	ر	ح	ر	ح
س	ط	س	ط	س	ط	س	ط	س	ط
ت	ي	ت	ي	ت	ي	ت	ي	ت	ي
ث	ك	ث	ك	ث	ك	ث	ك	ث	ك
د	ل	د	ل	د	ل	د	ل	د	ل
ذ	م	ذ	م	ذ	م	ذ	م	ذ	م
ر	ن	ر	ن	ر	ن	ر	ن	ر	ن
س	هـ	س	هـ	س	هـ	س	هـ	س	هـ
ت	و	ت	و	ت	و	ت	و	ت	و
ث	ز	ث	ز	ث	ز	ث	ز	ث	ز
د	ح	د	ح	د	ح	د	ح	د	ح
ذ	ط	ذ	ط	ذ	ط	ذ	ط	ذ	ط
ر	ي	ر	ي	ر	ي	ر	ي	ر	ي
س	ك	س	ك	س	ك	س	ك	س	ك
ت	ل	ت	ل	ت	ل	ت	ل	ت	ل
ث	م	ث	م	ث	م	ث	م	ث	م
د	ن	د	ن	د	ن	د	ن	د	ن
ذ	هـ	ذ	هـ	ذ	هـ	ذ	هـ	ذ	هـ
ر	و	ر	و	ر	و	ر	و	ر	و
س	ز	س	ز	س	ز	س	ز	س	ز
ت	ح	ت	ح	ت	ح	ت	ح	ت	ح
ث	ط	ث	ط	ث	ط	ث	ط	ث	ط
د	ي	د	ي	د	ي	د	ي	د	ي
ذ	ك	ذ	ك	ذ	ك	ذ	ك	ذ	ك
ر	ل	ر	ل	ر	ل	ر	ل	ر	ل
س	م	س	م	س	م	س	م	س	م
ت	ن	ت	ن	ت	ن	ت	ن	ت	ن
ث	هـ	ث	هـ	ث	هـ	ث	هـ	ث	هـ
د	و	د							

¹J om. الشمس

²This part of the table is given only in J.

³B om. في السنة الشمسية

Yearly <i>tasyīr</i> 1 sign per 1 year ¹⁶								
months	deg. min.		days	deg. min.		days	deg. min.	
1	2	28	1	0	5	16	1	19
2	4	56	2	0	10	17	1	24
3	7	24	3	0	15	18	1	29
4	9	12	4	0	20	19	1	34
5	12	19	5	0	25	15	1	39
6	14	47	6	0	30	21	1	43
7	17	15	7	0	34	22	1	48
8	19	43	8	0	40	23	1	53
9	22	12	9	0	44	24	1	58
10	24	40	10	0	49	25	2	3
11	27	7	11	0	54	26	2	8
12	29	35	12	0	59	27	2	13
In a solar year which is 365 and 1/4 days, 1 sign			13	1	4	28	2	18
			14	1	9	29	2	23
			15	1	14	30	2	28

Monthly <i>tasyīr</i> , 13 signs per year ¹⁷											
months	sig. deg. min.			days	sig. deg. min.			days	sig. deg. min.		
1	1	2	3	1	0	1	4	16	0	17	6
2	2	4	6	2	0	2	8	17	0	18	10
3	3	6	9	3	0	3	12	18	0	19	14
4	4	8	13	4	0	4	16	19	0	20	18
5	5	10	16	5	0	5	20	20	0	21	22
6	6	12	19	6	0	6	24	21	0	22	26
7	7	14	22	7	0	7	29	22	0	23	31
8	8	16	26	8	0	8	33	23	0	24	35
9	9	18	29	9	0	9	37	24	0	25	39
10	10	20	33	10	0	10	41	25	0	26	43
11	11	22	36	11	0	11	45	26	0	27	47
12	12	24	40	12	0	12	49	27	0	28	51
In a solar year which is 365 and 1/4 days, 13 sings				13	0	13	53	28	0	29	55
				14	0	14	58	29	1	0	59
				15	0	16	2	30	1	2	3

¹⁶First three columns give the motion of *tasyīr* for each 30 days.

$$365^d : 30^\circ \approx 30^d : 2; 28^\circ$$
$$365^d : 30^\circ \approx 360^d : 29; 35^\circ$$

The remaining 25 minutes are for the five day epagomena.

The next six columns give the daily motion of *tasyīr*.

Since $365/30 \approx 4.93$, the difference in adjacent lines is sometimes 4 instead of 5.

¹⁷The first four columns give the monthly *tasyīr*; $365^d : 390^\circ \approx 30^d : 1^\circ 2' 3''$.

During the epagomena it moves $5^{\circ}20'$.

The next eight columns give the daily *tasyīr*, $365^d : 390^\circ \approx 1^d : 1^\circ 4'$.

خامس الأصل	رابع الأصل	ثالث الأصل	ثاني الأصل
	ثاني عشر الانتهاء برج الانتهاء الثاني	حادي عشر الانتهاء الطالع التحويل كوكب	عشر الانتهاء الثاني عشر الاصدي
	ثاني الانتهاء الرابع	كوكب	كوكب
سادس الأصل	سادس الأصل	أرباب المثلثات	كوكب
سابع الأصل	ثالث الانتهاء الخامس	كوكب	كوكب
	سادس الانتهاء السادس	كوكب	كوكب
	سابع الانتهاء الثامن	كوكب	كوكب

V's variant example in fol. 36v.:

[3'] مثاله بلغ الانتهاء من الشمس إلى أول الدرجة الثامنة عشرة من الثور حدّ المشتري فنعرف مطالع أول الدرجة الثامنة عشر ومطالع هذا الدرجة الثانية والعشرين التي هي آخر المشتري بحسب بعد الشمس من الوند وينقص أقلّ المطالعين من أكثرهما فما بقي فكلّ درجة سنة وكلّ دقيقة ستّة أيام وسدس يوم

fifth of base	fourth of base	third of base	second of base
	twelfth of <i>intihā'</i> sign of <i>intihā'</i>	eleventh of <i>intihā'</i> ascendant of transfer planet	tenth of <i>intihā'</i> twelfth eleventh ninth of <i>intihā'</i>
	second third	planet	planet
sixth of base	second of <i>intihā'</i>	fourth planet	Lords of Triplicities planet
seventh of base	third of <i>intihā'</i>	planet	planet
	fifth sixth	seventh	ninth eighth seventh of <i>intihā'</i>
	fourth of <i>intihā'</i>	fifth of <i>intihā'</i>	sixth of <i>intihā'</i>
	eighth of base	ninth of base	tenth of base

V's variant example:

Its example: the *intihā'* arrived from the Sun to the beginning of the eighteenth degree of Taurus which is the term of Jupiter. Then we know the ascension of the beginning of the eighteenth degree and the ascension of the twenty-second degree which is the end of <the term of> Jupiter in accordance with the Sun's distance from the cardine. We subtract the less of the two from the greater of the two and what remains are one year for each degree and six and one sixth days for each minute.

Chapter Twenty One: On the Calculation of the *Tasyīr*¹

[1] This chapter belongs better to the *Zīj*, and we have recorded this <topic> there <in the *Zīj*>. We intend to provide its record in this book so that there might be everything when it is needed.

[2] There are different kinds of *tasyīrs*, all of which are easy to handle and clear to operate except this one kind, that is, <the motion which is> for each year one degree of ascension. We call it the greatest *tasyīr* because it is the slowest and the heaviest of them. It is necessary to put in advance the computational introduction, i.e., the knowledge of the seasonal hours which are between the cardine and the stars.

[3]² Should the star be between the tenth place and ascendant or between the seventh and the fourth, we take its distance from the tenth or from the fourth by <the ascension> on the equator. Should <the star> be between the ascendant and the fourth, we take the its distance from the ascendant in the ascension of the city. Should the star be between the seventh and the tenth, we take the distance of its <diametrically> opposite point from the ascendant in the ascension of the city. Then, if the star is above the earth, we divide this distance by the horary magnitude of its degree. If the star is under the earth, we divide this distance by the horary magnitude of the opposite place of the star's degree. What is obtained is the <seasonal> hours of the distance <of the star> from the cardine, and the distance of whatever precedes it (i.e., the cardine).

[4]³ As for the degree of the tenth place and the fourth and whatever is in them, we move them by the ascension of the equator, then we subtract the ascension of one of the two cardines from the ascension of the point to which we have moved, in the ascension of the equator, and what remains is: for each degree one year, and for each minute six days. As for the degree of the ascendant and whatever is in it, we subtract its ascension of the city from the ascension of the point to which we have moved. As for the degree of the descendant, we subtract the ascension of the ascendant from the ascension of the opposite of the point to which we have moved.

[5] If the degree is between two cardines, we take its ascension in the equator and that in the city, and we multiply

¹The Arabic text of this and the following chapters is mainly based on F. This is the reason that present translation is a little different from that in the previous one in Yano *et. al.* [1992].

²In this section the distance (*d*) in space of a point (simply called 'star' or 'degree' in this chapter, but according to some authors *mutaqaddima*), is converted into temporal distance (*h*) by $h = d/m$, where *m* is the horary magnitude, i.e., the length of one seasonal hour. Cf. 3.3.11. See the figure on page 235.

³This section gives the special case where the 'degree' coincides with one of the cardines. See 3.3.9.

F66a

الباب الحادي والعشرون في¹ حساب التسييرات

[1] هذا الباب بالزيجات أليق وقد ذكرناه هناك وأعدنا ذكره في هذا الكتاب ليكون أجمع لما يحتاج إليه

[2] ووجوه التسييرات كلها قريية المأخذ ظاهرة الأعمال غير هذا الوجه الواحد وهو لكل سنة درجة مطلعية ويسمى التسيير الأعظم لأنه أبطاؤها وأثقلها ويجب أن يتقدمه مقدمة حسائية وهو² معرفة الساعات الزمانية³ بين الوتد والكواكب⁴

[3] إن كان الكوكب⁵ فيما بين العاشر والطلع أو فيما بين السابع والرابع⁶ أخذنا بعده من العاشر أو الرابع بخط⁷ الاستواء وإن كان فيما بين الطالع والرابع أخذنا بعده من الطالع بمطالع البلد وإن كان فيما بين السابع والعاشر أخذنا بعد مقابلته من الطالع بمطالع البلد ثم إن كان الكوكب فوق الأرض قسمنا البعد على أجزاء ساعات درجته⁸ وإن كان⁹ تحت الأرض قسمنا البعد على أجزاء ساعات نظير درجة الكوكب فما حصل فهو¹⁰ ساعات البعد من¹¹ الوتد ومن بعد ما تقدم ذلك

[4] أمّا درجة العاشر والرابع وما فيهما فنسيّرهما¹² بمطالع الاستواء بأن ننقص¹³ مطالع أحد الوتدين من مطالع الجزء الذي نسيّر إليه بمطالع خط¹⁴ الاستواء وما بقي لكل درجة سنة¹⁵ وكل دقيقة ستة أيام وأمّا درجة الطالع وما فيها فننقص¹⁶ مطالعها بالبلد¹⁷ من مطالع الجزء الذي نسيّر إليه¹⁸ وأمّا درجة الغارب فننقص مطالع الطالع من مطالع نظير الجزء الذي نسيّر إليه

[5] وإن كانت الدرجة فيما بين وتدين أخذنا مطالعها بالاستواء¹⁹ وبالبلد ونضرب

¹ J add. معرفة

² J om. مقدمة حسائية وهو

³ BJ add. التي ; F add. الذي

⁴ J حسائية ; V add. مقدمة حسائية and add. الكوكب

⁵ J الكواكب

⁶ V الرابع والسابع

⁷ V بمطالع

⁸ J درجة الكوكب

⁹ JV add. الكوكب

¹⁰ B فهي

¹¹ J بعد الكوكب عن V ; البعد للكوكب

¹² V om. ف ; F وتسييرها

¹³ JV instead of فننقص F بأن ننقص use of the second person singular is frequent in F.

¹⁴ JV om.

¹⁵ BF لكل درجة سنة instead of وكل سنة درجة V : فلكل سنة درجة

¹⁶ JV ينقص passim.

¹⁷ J لالبلد

¹⁸ J إليها

¹⁹ V instead of بالاستواء بخط

الفضل بينهما في ساعات بعد الدرجة من الودت ونقسمه على ستة فما حصل فهو التعديل

[6] فإن كانت الدرجة فيما بين الطالع والعاشر²⁰ أو في²¹ نظيره وكان الفضل لمطالع الاستواء نقصنا منه التعديل وإلا زدنا عليه التعديل²² وإن كانت الدرجة فيما بين الطالع والرابع أو في نظيره وكان الفضل لمطالع البلد نقصنا منه التعديل وإلا زدنا عليه التعديل فما حصل فهو مطالع تلك الدرجة بحسب موضعها

[7] ثم يستخرج مطالع الدرجة التي نسير²³ إليها بمثل هذا العمل سواء أو²⁴ ساعات بعد الدرجة الأولى من الودت المذكور ثم ننقص مطالع الدرجة الأولى²⁵ من مطالع الدرجة الثانية²⁶ وما بقي فللكل²⁷ درجة سنة ولكل²⁸ دقيقة ستة أيام بالتقريب وخمس²⁹ ثواني من يوم بالتدقيق

[8] فإذا كان الزمان معلوما ونريد³⁰ أن نعلم أين³¹ بلغ الانتهاء من درجة مفروضة فإن كانت الدرجة³² العاشر أو الرابع أو درجة كوكب فيها³³ زدناه³⁴ على مطالعها بخط الاستواء عن³⁵ الزمان المعلوم لكل سنة درجة³⁶ ولكل ستة أيام وخمس دقيقة من يوم دقيقة واحدة³⁷ فما بلغ نقوسه³⁸ في مطالع خط³⁹ الاستواء فما كان فهو الانتهاء من تلك الدرجة

[9] وإن كانت الدرجة هي درجة الطالع وما⁴⁰ فيها أو درجة الغارب وما فيها زدنا على مطالع الطالع لكل سنة درجة ولكل ستة أيام وخمس دقائق من يوم دقيقة⁴¹ فما بلغ

²⁰ JV العاشر والطالع

²¹ F om.

²² J hapl. om. from here to التعديل before فما حصل

²³ V يسير ; J تسير

²⁴ V أو لكن يستعمل فيها

²⁵ F الأول

²⁶ JV الأخرى

²⁷ V فكل

²⁸ V وكل

²⁹ J puts بالتقريب after ثواني ; V om. after this to بالتدقيق

³⁰ J يريد ; V تريد

³¹ J أنت

³² BJ add. هي

³³ V فيها

³⁴ BJV om. ه

³⁵ V على

³⁶ V add. واحدة

³⁷ BF وخمس دقيقة من يوم دقيقة واحدة instead of ودقيقة

³⁸ J نقومه

³⁹ JV om.

⁴⁰ V وما أو كوكب

⁴¹ BF وخمس دقائق من يوم دقيقة instead of وخمس ثوان من يوم ودقيقة

their difference by the <seasonal> hours of the distance of the degree from the cardine, and we divide it (the product) by six. What results is the equation.⁴

[6] If the degree is between the ascendant and the tenth or in its opposite, and <thus> the excess belongs to the ascension of the right <sphere>, then we subtract the equation from it, otherwise we add the equation to it. If the degree is between the ascendant and the fourth or in its opposite, and <thus> the excess belongs to the ascension of the city, then we subtract the equation from it, otherwise we add the equation to it.⁵ What results is the ascension of this degree depending on its location.⁶

[7] Next, we obtain the ascension of the degree to which we have moved it by exactly the same operation,⁷ except that <we use the seasonal> hours of the distance of the 'first degree' from the mentioned cardine. Then we subtract the ascension of the first degree from the ascension of the second degree. What remains is: for each degree one year and for each minute six days approximately, and <six days plus> 5/60 of a day exactly.⁸

[8] If the time is given⁹ and we want to know where the *intihā'* (limit) has reached from the assumed degree, <then the following computation is made>. If the degree is the degree of the tenth or the fourth or the degree of the star in them, we add to it the ascension on the equator in the given time <in such manner that there is> one degree for each year, one minute for every six days plus 5/60 days. What is obtained we regard as the arc in the ascension of the right <sphere>. And it is the *intihā'* from that degree.

[9] If the degree is the degree of the ascendant and whatever is in it or the degree of the descendant or whatever is in it, then we increase the ascension of the ascendant: for each year by one degree and for each six and 5/60 days by one minute. What is obtained

⁴See the figure on page 235. The 'equation' (*ta'dīl*) of H (= CD = ω'_H) and that of M (= C'M = ω'_M) are obtained by:
 $\omega'_H = \frac{h}{6} \times \omega_H$, and $\omega'_M = \frac{h}{6} \times \omega_M$,
where ω_H and ω_M are the ascensional difference of H and M, respectively. See Yano *et.al.* [1992].

⁵This sentence is omitted by J.

⁶In this operation the ascension of H = ($\alpha_H \pm \omega'_H$) was obtained.

⁷The ascension M = $\alpha_M \pm \omega'_M$.

⁸*tasyīr* = H'C' = ($\alpha_H \pm \omega'_H$) - ($\alpha_M \pm \omega'_M$).

⁹The following is just a reverse problem, i.e., getting the arc of *tasyīr* from a given span of life. The process is again divided into three special cases and one general case.

نقوسه⁴² في مطالع البلد فما كان فهو الانتهاء من الطالع ونظيره⁴³ الانتهاء من الغارب
[10] وإن كانت الدرجة فيما بين وتدين زدنا على كل واحد من مطالعه⁴⁴ بالاستواء
وبالبلد الزيادة التي قلنا ونقوس كل واحد منهما في مطالعه ثم نأخذ الاختلاف بين
القوسين ونضربه في ساعات البعد⁴⁵ الذي يكون⁴⁶ لدرجة عن⁴⁷ الوند ونقسمه على ستة
فما خرج من القسمة⁴⁸ فهو التعديل

[11] وإن كانت الدرجة فيما بين العاشر والطلع أو في الرابع المقابل له⁴⁹ وكان الفضل
لقوس من مطالع⁵⁰ الاستوا نقصنا منه التعديل وإلا⁵¹ زدنا عليه التعديل وإن كانت
الدرجة⁵² فيما بين الرابع والطلع⁵³ أو في الرابع المقابل له⁵⁴ وكان الفضل لقوس⁵⁵ مطالع
البلد فنقصنا⁵⁶ منه التعديل وإلا زدنا عليه التعديل فما حصل فهو الانتهاء من تلك الدرجة
ونختم المقالة⁵⁷ بهذا الباب وبالله التوفيق وهو حسبنا ونعم الوكيل⁵⁸

⁴² تقومه J

⁴³ JV نظيرها

⁴⁴ JV مطالعها

⁴⁵ V instead of البعد بعد الدرجة

⁴⁶ J om. الذي يكون

⁴⁷ J من ; V instead of لدرجة عن الذي يكون لدرجة

⁴⁸ JV instead of حصل خرج من القسمة

⁴⁹ JV instead of نظيره الرابع المقابل له

⁵⁰ F om. خط ; V add. لقوس من مطالع instead of القوس بمطالع J : من

⁵¹ V instead of إلا أو

⁵² JV om.

⁵³ JV الطالع والرابع

⁵⁴ JV instead of نظيره الرابع المقابل له

⁵⁵ J ; V om. القوس

⁵⁶ J om. ف

⁵⁷ JV add. الثالث

⁵⁸ J والله أعلم بالصواب بسم الله الرحمن الرحيم وبه الحول والقوة V : والله المحمود

وبالله ... ولوكيل instead of

we regard as the arc in the ascension of the city. And it is the *intihā'* from the ascendant, and its opposite is the *intihā'* from the descendant.

[10] If the degree is between two cardines, then we increase both its ascension in the equator and its ascension in the city by the excess which we have mentioned, and we regard both of them as the arc in its ascension. Then we take the difference between these two arcs and we multiply the <difference> by the seasonal hours of the distance which belongs to the degree from the cardine and we divide the <product> by six. What results is the equation.¹¹

[11] If the degree is between the tenth and the ascendant or in the opposite quadrant and the excess belongs to the arc of right ascension, then we subtract the equation from it, otherwise we add the equation to it. If the degree is between the fourth and ascendant or in the opposite quadrant and the excess belongs to the arc of the ascension of the city, then we subtract the equation from it, otherwise we add the equation to it. What results is the *intihā'* from that degree. We finish the third book with this chapter. Success by God, who is our high esteem and true master.¹²

¹¹ $\omega'_M = \frac{h}{6} \times \omega_M$.

¹² I have attached a figure to facilitate the understanding.

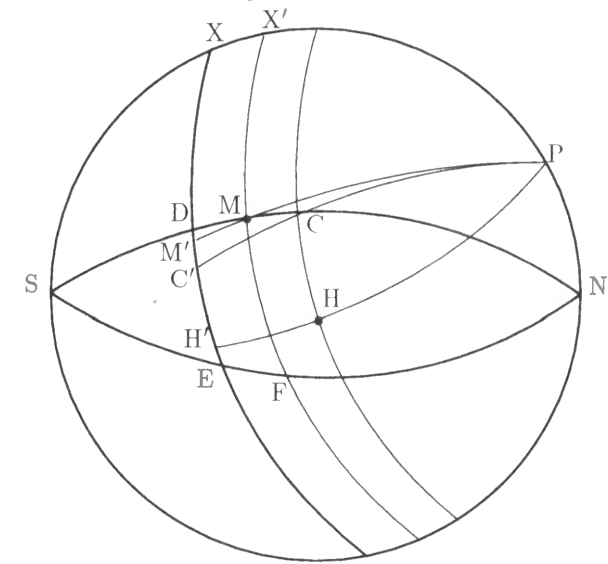
N: North

S: South

P: North Pole

M: *mutaqaddima*

H: *haylāj*



Figure

المقالة الرابع في جمل الاختيارات ثلاث أبواب

أ في جمل الاختيارات

ب في تفصيل الاختيارات على الترتيب اللائق بالبيوت الاثني عشر¹

ج في خاصة الكتاب

F67b

الباب الأول في جمل الاختيارات

[1] الاختيار² سعادة الوقت المختار وملائمته للغرض المطالوب وممازجته لصاحب الطالع امتزاجا محمودا

[2] الاختيار إذا لم يكن موافقا للأصل أو التحويل³ قل⁴ الانتفاع به⁵ وإذا⁶ كان منحوسا في الأصل والتحويل⁷ استضرّبه معما لا ينتفع به ولذلك صار⁸ اختيار واحد⁹ بعينه ينتفع به شخص دون شخص وهما يتقاربان¹⁰ في الاستعداد لقبول¹¹ قوة الاختيار¹²

[3] قوام الاختيارات كلما هو بصلاح القمر وقبوله وصلاح¹³ صاحب بيته وصلاح بيت الغرض¹⁴ المطلوب وصلاح¹⁵ صاحبه وصلاح كوكب الغرض المقصود¹⁶ وصلاح صاحب بيته وصلاح الطالع وصاحبه وصلاح¹⁷ الأوتاد الأربعة¹⁸

[4] كل أمر له نوبة يعمل في¹⁹ كل يوم أو كل أسبوع أو في²⁰ كل شهر فهو معتاد لا يحتاج فيه إلى²¹ الاختيار

¹B om. الاثني عشر على ; F om. after ; J om. الاثني عشر

²J الاختيارات

³BJ والتحويل

⁴J فقل

⁵B om. فقل الانتفاع به

⁶V وإن

⁷JV أو التحويل

⁸F صاحب

⁹JV الاختيار الواحد

¹⁰V متقاربان

¹¹J لقول

¹²V add. (in margin) إن اتفق موضع

¹³V om.

¹⁴V الأرض

¹⁵J om. المطلوب وصلاح

¹⁶B المط ; F المطلوب

¹⁷JV بيته وصلاح الطالع وصاحبه وصلاح instead of الطالع والطالع

¹⁸V add. فما نقص من هذه نقص من قوة الاختيار وسعادة

¹⁹V om.

²⁰JV om.

²¹J في

Part IV On Choices in General in Three Chapters

1. On Choices in General

2. On the Division of Choices according to the Arrangement proper to the Twelve Places

3. On the Conclusion of this Book

Chapter One: On Choices in General

[1] The 'choice' is the goodness of the selected time, its suitability to the desired object, and its getting mixed with the lord of the ascendant in a good mixture.

[2] When the choice does not fit to the base <nativity> or the transfer, [the benefits from it are scarce]¹ and when the choice is bad in the base or in the transfer it gives harm to him with what is not useful to him, and for this reason only one choice without another benefits him. The two (the base and transfer) are close to each other in readiness for receiving the efficiency of the choice.

[3] The proper condition of each one of the choices is based on the goodness of the Moon and of its reception, the goodness of the lord of the Moon's house, the goodness of the house of the desired object, the goodness of its lord, the goodness of the planet of the intended object, the goodness of the lord of its house, the goodness of the ascendant and its lord, and the goodness of the four cardines.

[4] Every matter that has a time when it is done in every day or every week or every month — for such matters it is customary that there is no need of making choices.

¹Words in [] are omitted by B.

[5] الأمور التي²² نريد الانتقال عنها سريعا والتي لا²³ نريد ثباتها زمانا طويلا اخترنا له الطالع وموضع القمر من البروج المنقلبة وأسرعها انقلابا السرطان وتكون مسعودة ليكون انقلاب الأمر إلى خير والتي²⁴ نريد أن نعملها ثم²⁵ نرجع إليها ثانيا²⁶ اخترنا لها²⁷ البروج ذوات الجسدين والتي نريد ثباتها ودوامها اخترنا لها²⁸ البروج الثابتة وأشدّها ثباتا الأسد ولتكن مسعودة أو غير منحوسة

F68a [6] البروج النهارية للاختيارات²⁹ النهارية أوفق والبروج³⁰ الليلية للاختيارات الليلية أصلح³¹ وذلك³² إذا كانت طالعة أو فيها القمر

[7] القمر في الطالع مذموم في جميع الاختيارات إلا³³ في الشراء والبيع³⁴ إذا كان مسعودا

[8] لا بأس في الاختيارات ينظر النحوس من التثليث والتسديس وينظر السعود من التربيع والمقابلة³⁵

[9] زوال صاحب بيت القمر عن الأوتاد ونحوسته تدلّ على فساد عاقبة كلّ اختيار ولا ينتفع معه بصلاح³⁶ حال القمر كثير الانتفاع

[10] إذا كان صاحب بيت الغرض³⁷ نحسا لم³⁸ يمكنه من الأوتاد لكن يجعله³⁹ في الحادي عشر أو التاسع أو الثالث أو الخامس إلا إذا كان الاختيار في طلب بالسّر⁴⁰ والفتن والحروب

[11] إذا لم يكن صلاح القمر في الاختيار جعلنا أحد السعدين في الطالع أو وسط السماء مقبولا في موضعه

²² F الذي

²³ F om.

²⁴ F الذي

²⁵ F و

²⁶ V om.

²⁷ JV له

²⁸ JV له

²⁹ V الاختيارات

³⁰ JV om.

³¹ JV أوفق

³² V om. و

³³ V add. أنه محاف له بالطالع وقد يرخص ذلك

³⁴ V أو البيع

³⁵ JV المقابلة والتربيع

³⁶ V معه بصلاح instead of فيه فصلاح

³⁷ V om.

³⁸ JV لا

³⁹ JV في يجعل مكانه and om.

⁴⁰ FV om. ب

[5] Those matters which we want to get out of quickly and whose long-term duration we do not want — for such matters we choose the ascendant and the place of the Moon from among the tropical signs, out of which the swiftest in change is Cancer. Let them be made lucky and let there be a change of the matter toward goodness. <Those matters> which we want to do and we want to come back to again — for such matters we choose the bicorporal signs. <Those matters> whose stability and duration we need — for such matters we choose the fixed signs, out of which the most effective in stability is Leo. Let there be a benefic <planet> or one which is not malefic.

[6] The diurnal signs are more suitable for the choices by day, and the nocturnal signs are better for the choices by night. This is when they (i.e., these signs) are ascending or when the Moon is in them.

[7] The Moon in the ascendant is bad in all the choices except in buying and selling when it is made fortunate.

[8] There is no hindrance to choices <when> the malefics aspect from trine and sextile and the benefics aspect from quartile and opposition.

[9] The fall of the lord of the Moon's house from the cardines as well as its maleficence indicate the badness of the consequence of each choice, and it does not take much advantage of the goodness of the Moon's condition.

[10] When the lord of the house of the <intended> object is malefic, it does not influence it from the cardines, but it effects it in the eleventh or ninth or third or fifth house except that the choice is concerning the pursuit for harm, riots, and wars.

[11] When the Moon is not good concerning the choice, we take one of the two benefics in the ascendant or in the midheaven in the place of it (the Moon).

المقالة الثاني في تفصيل الاختيارات على الترتيب اللائق¹ بالبيوت الاثني

عشر

[1] ² الاستحمام³ يستحب في دخول الحمام كون القمر في بيتي المريخ أو المشتري وفي حلق الشعر كون القمر في البروج المائية وإن⁴ لا يكون في البروج التي لها شعر ولا في السنبلة

F68b

[2] قطع الثياب ولبستها يكره في قطع الثياب الجديد⁵ ولبسه⁶ كون القمر في البروج الثابتة وأشدها الأسد وكذلك مجاسبة النحوس وتربيعاتها ومقابلاتها ويستحب اتصاله بالزهرة⁷

[3] ⁸ صفة⁹ الذهب والفضة يستحب في صفة الذهب والفضة¹⁰ كون القمر في البروج¹¹ النارية وهو ناظر إلى الشمس من الثلاث أو التسديس أو إلى المريخ كذلك أو إلى¹² السعدين كيفما اتفق

[4] الشراء يستحب في الشراء أن يكون القمر متصلاً¹³ بالسعود وسهم السعادة¹⁴ في بيت المشتري والسعدان ناظران إليه من الأوتاد أو من موضع محمود¹⁵

[5] البيع يستحب في البيع أن يكون القمر منصرفاً عن سعد متصلاً بسعد وأن اتصل بنحس لم يضّر ذلك¹⁶ البائع

[6] الشركة يستحب في الشركة كون القمر في برج ذي¹⁷ جسدين متصلاً بالسعود ومقبولاً منها¹⁸

[7] ¹⁹ توجيه المال²⁰ يستحب في توجيه المال للتجارة كون القمر متصلاً²¹ بعطارد

¹ J لائق

² V add. الطالع

³ FJ om.

⁴ J أو إن

⁵ J جد ; V om.

⁶ JV ولبسها

⁷ V add. والله أعلم

⁸ V add. البيت الثاني

⁹ V صناعة

¹⁰ V om. في صفة الذهب والفضة

¹¹ J البيوت

¹² J وإلى

¹³ V instead of كون القمر ; V follows this construction through this chapter.

¹⁴ JV add. في الأوتاد

¹⁵ J من موضع محمود instead of. مواضع محمود

¹⁶ J om.

¹⁷ F ذو

¹⁸ J منهم

¹⁹ J add. في

²⁰ J المال instead of مال إلى التجارة : V مال التجارة

²¹ JV كون القمر متصلاً instead of اتصال القمر

Chapter Two: On the Division of the Choices Based on the Arrangement Proper to the Twelve Places

<Ascendant>¹

[1] Bathing: the Moon's being in <either of> the two houses of Mars or Jupiter is desirable at the time of bathing. The Moon's being in the watery signs is desirable at the time of shaving hair, unless the Moon is in the signs which have no hair or in Virgo.

[2] Making clothes and dressing in them: concerning the making of new clothes and dressing in them, the Moon's being in the fixed signs is undesirable, the worst of them being Leo. So is the case when the Moon is with the body of the malefics, in quartile with them, and in opposition to them. Its application to Venus is desirable.

<Second place>

[3] Molding gold and silver: concerning the molding of gold and silver, what is desirable are the Moon's being in the fiery signs, and the Moon is aspecting the Sun from trine or sextile or <its aspect> to Mars in the sama way, or <aspecting> the two benefics, whatever the case may be.

[4] Buying: concerning buying, what is desirable are the Moon's application to the benefics, to the lot of fortune in the house of Jupiter, and the two benefics aspecting it from the cardines or from a good place.

[5] Selling: concerning selling, the Moon's separation from a benefic and its application to <another> benefic are desirable. The Moon's application to a malefic does not harm the buyer.

[6] Business: concerning business, the Moon's being in the bicorporal signs, its application to the benefics, and its reception by them are desirable.

[7] Transfer of property: concerning the transfer of property for trade, what is desirable are the Moon's application to Mercury,

¹ Headers for twelve places are supplied by V.

مقبولا منه وصلاح البيت الثاني وصاحبه وصلاح الحادي عشر وصاحبه
[8] ²² الركوب للفروسية ²³ يستحب فيه ²⁴ كون القمر في البروج المنقلبة على ²⁵ ثلث
المرئخ أو تسديسه ²⁶ وبنظر من المشتري

F69a [9] كشف الأمور ²⁷ وأظهارها يستحب في ذلك ²⁸ كون القمر في البروج المنقلبة نظرا إلى
الشمس وهما ينظران إلى الطالع والطالع مسعود

[10] كتمان الأمور وأسرارها يستحب فيه ²⁹ كون القمر تحت الشعاع سائرا ³⁰ إلى
الاجتماع أو كون صاحب الطالع كذلك والنيران غير ناظرين إلى الطالع هذا إذا كان سرا فأما
إذا كان شخصا ³¹ يريد أن يستتر فالمستحب فيه انصراف القمر عن الاجتماع وهو تحت
الشعاع أو كونه ³² فوق الأرض يتصل ³³ بسعد تحت الأرض وكذلك صاحب الطالع
[11] كتابة الكتب يستحب في كتابة الكتب كون القمر في البروج المنقلبة متصلا
بالكوكب الدال على طبيعة المكتوب إليه إن كان إلى السلطان فبالشمس ³⁴ وإن كان إلى عالم
أو قاض ³⁵ فالمشتري ³⁶ وليكن مقبولا منه وعلى هذا القياس

[12] التحويل من موضع إلى موضع يستحب في ذلك ³⁷ كون القمر في الثالث والثالث
وصاحبه والطالع وصاحبه ³⁸ مسعودا ³⁹

[13] ⁴⁰ البناء يستحب في البناء وذلك حين يوضع اللبن للارتفاع كون القمر في البروج
الأرضية متصلا بكوكب في شرفه أو في ⁴¹ برج هوائي وعرض القمر شمالي صاعد زائد
وكذلك عرض الكوكب والكوكب ⁴² شرقي وفي بناء الحصون زحل في الميزان أو الدلو ⁴³

²² V add. البيت الثالث

²³ JV ركوب الفرس

²⁴ J فيه instead of ركوب الفرسية

²⁵ V وعلى

²⁶ J وتسديسه

²⁷ V للأمور

²⁸ J ذلك instead of كشف الأمور وأظهارها

²⁹ J فيه instead of كتمان الأمور وأسرارها

³⁰ J سائر

³¹ FJV شخصا

³² V وكونه

³³ J متصلا

³⁴ BF فالشمس

³⁵ J إلى عالم أو قاض إلا قاض أو عالم V: إلى قاض أو إلى علم

³⁶ BF ف. V om. فالمشتري

³⁷ J ذلك instead of التحويل من موضع إلى موضع

³⁸ J om. والطالع وصاحبه

³⁹ V مسعودا

⁴⁰ V add. البيت الرابع

⁴¹ JV om.

⁴² J والكواكب

⁴³ JV في الميزان أو الدلو instead of في الميزان أو في الدلو

its reception by it, the goodness of the second place and its lord, and the goodness of the eleventh place and its lord.

<Third place>

[8] Riding a horse: what is desirable concerning riding a horse are the Moon's being in the tropical signs in trine or sextile from Mars, and aspecting Jupiter.

[9] Disclosure and revealing of matters: concerning this, what is desirable are the Moon's being in the tropical signs, its aspect to the Sun, and both of them (i.e., Sun and Moon) aspecting the ascendant, and the ascendant being lucky.

[10] The hiding of things and their secrets: concerning this, the Moon's being under the rays, its moving to conjunction, or the lord of the ascendant being likewise, and the two luminaries not aspecting the ascendant these are desirable when there is secrecy. When someone wants to keep a secret, then what is desirable in it are the separation of the Moon from conjunction, its being under the rays or its being above the earth, its aspecting a benefic under the earth, and the ascendant being likewise.

[11] Writing documents: concerning the writing of books, the Moon's being in the tropical signs, its aspecting the planet which is the indicator of the nature of the man to whom it is written. If <the writing is> to the authority <its aspected to> the Sun, and if <the writing is> to a scientist or a judge, its aspect to Jupiter <are desirable>. Let the Moon be received by it. In this way <in the other cases>.

[12] Moving from one place to place: concerning this the Moon's being in the third <place> and the third and its lord and the ascendant and its lord being made lucky are desirable.

<Fourth place>

[13] Building: concerning building, that is, when bricks are laid for the raising up <of houses>, what is desirable are the Moon's being in the earthy signs, its application to a planet in its exaltation or in an airy sign, the Moon's latitude being northern, ascending, and increasing, the planet's latitude being likewise, and the planet being easterly. Concerning the building of a fort, Saturn's being in Libra or Aquarius

وهو شرقي وفي وسط السماء

F69b

[14] الهدم يستحب في الهدم انصراف القمر عن نحس واتصاله بسعد والسعد شرقي أو يكون⁴⁴ القمر فوق الأرض متصلاً⁴⁵ بكوكب تحت الأرض وعرض القمر جنوبي هابط وفي هدم⁴⁶ الحصون نحوسة القمر وكونه في الهبوط وسقوط زحل عن⁴⁷ الأوتاد وضعفه ومنحسته

[15] شراء الأرضين يستحب في شراء⁴⁸ الأرضين كون القمر في البروج⁴⁹ الأرضية متصلاً بالسعود مقبولا منها⁵⁰ والبيت الرابع وصاحبه مسعودان⁵¹ والقمر على تسديس زحل أو تثليثه⁵² وزحل مقبول في موضعه

[16] حفر القنى والأنهار يستحب في حفر القنى والأنهار كون⁵³ القمر في الثالث والخامس في برج مائي متصلاً⁵⁴ بزحل من التثليث أو التسديس وزحل شرقي مستقيم السير⁵⁵ والبروج المائية مسعودة

[17] غرس الأشجار يستحب فيه⁵⁶ كون القمر في البروج الثابتة وذوات⁵⁷ الجسدين والطاقع برج ثابت⁵⁸ وصاحبه شرقي والقمر وصاحب الطالع متصلاً⁵⁹ بالسعود والسعود في البروج الهوائية

[18] البذر والزرع يستحب فيهما⁶⁰ كون⁶¹ القمر في السرطان أو في⁶² السنبلة أو في الجدي أو في الثور متصلاً بالسعود والطاقع أحد هذه البيوت وصاحبه مسعود [19]⁶³ طلب الولد يستحب فيه⁶⁴ كون القمر في برج ذكر⁶⁵ في تثليث الشمس

⁴⁴J ويكون

⁴⁵J متصل

⁴⁶J هذه

⁴⁷V من

⁴⁸BFV شري

⁴⁹V البرج

⁵⁰JV منهم

⁵¹JV مسعود

⁵²JV تثليث زحل أو تسديسه

⁵³V (exceptionally) كون instead of أن يكون اكون

⁵⁴J متصل

⁵⁵J om.

⁵⁶J فيه instead of في غرس الأشجار

⁵⁷J وذي

⁵⁸J om. برجا ثابتا V ; برج

⁵⁹J يتصلان V ; متصل

⁶⁰J فيهما instead of في البذر والزرع

⁶¹J يكون

⁶²J instead of وفي , also in the next two cases. V om. في in three cases.

⁶³V add. البيت الخامس

⁶⁴J فيه instead of في طلب الولد

⁶⁵J مذكر

and its being in the midheaven <are desirable>.

[14] Pulling down: concerning the pulling down <of houses>, what is desirable are the Moon's separation from a malefic and its application to a benefic and the benefic being easterly or the Moon being above the earth, its applying to a planet under the earth, the Moon's latitude being southern, and descending. Concerning the pulling down of a fort, the Moon's unluckiness, its being in dejection, Saturn's falling from the cardines, its weakness, and its misfortune <are desirable>.

[15] Buying land: concerning the buying of land, what is desirable are the Moon's being in the earthy signs, applying to a benefic, being received by it, the fourth place and its lord being made lucky, the Moon's being in sextile or trine to Saturn, and Saturn's being received in its place.

[16] Digging canals and rivers: concerning digging canals and rivers, what is desirable are the Moon's being in the third and fifth <places> in a watery sign, applying to Saturn from trine or sextile, Saturn's being easterly, being direct in motion, and the watery signs being made lucky.

[17] Planting trees: concerning this, what is desirable are the Moon's being in the fixed signs and bicorporal signs, the ascendant being the fixed sign, its lord being easterly, the Moon being the lord of the ascendant, and the two (the Moon and the lord) applying to the benefics, and the benefics being in the airy signs.

[18] Sowing and seeds: concerning them, what is desirable are the Moon's being in Cancer or in Virgo or in Capricorn or in Taurus, its applying to the benefics, the ascendant being one of these signs, and its lord being made lucky.

<Fifth place>

[19] Enquiring after children: concerning it, what is desirable are the Moon's being in a masculine sign in trine to the Sun

F70a

والطالع وصاحبه في بروج ذكور⁶⁶ مسعوده أو سليمة من المناحس والأوتاد كذلك
[20] الرضاع يستحب فيه⁶⁷ سلامة القمر واتصاله بالزهرة والزهرة مستقيمة زائدة في
السير غير منحوسة

[21] الفطام يستحب في الفطام أن يكون القمر سليما بعيدا من شعاع الشمس ومتصلا
بصاحب بيته وصاحب الطالع أو صاحب بيت القمر في البروج الأرضية الدالة على النبات
[22] تسليم الولد إلى التلميم يستحب فيه⁶⁸ كون القمر في البروج التي على صور⁶⁹
الناس وهي البروج الهوائية والسنبلة والنصف الأول من القوس مقارنا بعطارد أو متصلا
به⁷⁰ وكلاهما⁷¹ يرثيان من النحوس وعطارد شرقي وصاحب بيتها ناظر إليهما سليما⁷² من
المناحس

[23] ⁷³ علاج الرأس بألقي والغرغرة يستحب في علاج الرأس بألقي والغرغرة كون
القمر في الحمل والثور والطالع أحدهما والقمر ناقص النور مسعودا وسليم⁷⁴ من المناحس
[24] ⁷⁵ علاج المريض بالأدوية يستحب في ذلك⁷⁶ كون القمر في برج مخارف لطبيعة
المرض ومتصلا⁷⁷ بكوكب كذلك وهو على نظر من⁷⁸ السعود
[25] الحقنة يستحب فيها⁷⁹ كون القمر في الميزان أو العقرب متصلا⁸⁰ بالسعود زائدا⁸¹
في النور

[26] ⁸² الدواء⁸³ المسهل يستحب فيه⁸⁴ كون القمر في البروج المائية جنوبي العرض⁸⁵
هابطا فيه فوق الأرض ومتصلا بكوكب⁸⁶ تحت الأرض ما خلا الرابع مسعودا⁸⁷ من الزهرة

⁶⁶V البروج الذكور

⁶⁷J فيه instead of في ; V om. as usual.

⁶⁸J فيه instead of في تسليم الولد إلى التلميم

⁶⁹JV صورة

⁷⁰BF مقارنا omitting متصلا بعطارد

⁷¹F وكلاهما instead of وهما

⁷²J سليم

⁷³V add. البيت السادس

⁷⁴FJ مسعودا أو سليما ; V وسليم

⁷⁵J add. في

⁷⁶J في ذلك instead of في علاج المريض بالأدوية

⁷⁷J متصل

⁷⁸V om.

⁷⁹J فيها instead of في الحقنة

⁸⁰J متصل

⁸¹J زائد

⁸²V add. أخذ

⁸³F شرب

⁸⁴J فيه instead of في الدواء المسهل

⁸⁵J om.

⁸⁶J ومتصلا بكوكب instead of متصل كوكب

⁸⁷J مسعود

and the ascendant, and its lord being in the masculine signs, being made lucky and safe from the malefic, and the cardines being likewise.

[20] Foster relationship: concerning this, what is desirable are the Moon's safety, and its application to Venus which is in direct motion and increasing in motion without unluckiness.

[21] Weaning <a baby>: concerning weaning, what is desirable are the Moon being safe, being far from the Sun's rays, its applying to the lord of its house, and the lord of the ascendant or the lord of the Moon's house (i.e., sign) being in the earthy signs which are indicators of plants.

[22] Putting a child to learning: concerning this, what is desirable are the Moon's being in the signs which have the form of a man, namely, the airy signs, Virgo and the first half of Sagittarius, its conjunction or application to Mercury, none of them (Moon and Mercury) being aspected by a malefic, Mercury being easterly, the lord of their house aspecting them, and being safe from unluckiness.

<Sixth place>

[23] Treatment of the head by vomiting and gargling: concerning the treatment of the head by vomiting and gargling, what is desirable are the Moon's being in Aries and Taurus, the ascendant being one of these two, and the Moon waning, and its being made lucky or safe from unluckiness.

[24] Treatment of the sick by medication: concerning this, what is desirable are the Moon's being in the sign which is opposite to the nature of the disease, its application to a similar planet, and this (planet) being aspected from a benefic.

[25] Giving an enema: concerning it, the Moon's being in Libra or Scorpio, applying to the benefics, and increasing in light are desirable.

[26] Purgative medication:² : concerning it what is desirable are the Moon's being in the watery signs, of southern latitude, descending in latitude, being above the earth, applying to a planet which is below the earth except in the fourth place, and being made lucky from Venus.

²F: 'Drinking of the purgative'.

F70b ولا بأس بثليث المريخ وتسديسه فإنه يسرع عمل الدواء غير مقارن للمشتري فإنه يضعف الدواء عن عمله⁸⁸

[27] مسّ العين بالمهديد يستحبّ في مسّ العين بالحديد اتّصال القمر بالمشتري أو الزهرة⁸⁹ وهما⁹⁰ فوق الأرض والقمر زائد⁹¹ في⁹² النور بعيد من⁹³ شعاع المريخ وبمنظر⁹⁴ محمود من الشمس

[28] الفصد والحجامة يكره في ذلك⁹⁵ كون القمر في برج المصوء الذي يمسّ بالحديد إلا أن يكون معه سعد قوي للرأس الحمل⁹⁶ وليدين الجوزاء وللعنق الثور وللظهر الأسد وليكن القمر سليما من المناحس أو مسعودا⁹⁷ ناقصا في الضوء ولا بأس بثليث المريخ وتسديسه⁹⁸

[29] الختان يكره فيه⁹⁹ كون القمر في العقرب مع نظر¹⁰⁰ المريخ من حيث كان فليكن القمر في غير العقرب ناقص الضوء متّصلا بالمشتري أو الزهرة ولا بأس حينئذ¹⁰¹ بثليث المريخ وتسديسه¹⁰² فأما نظر زحل فلا

[30] شراء الرقيق يستحبّ فيه¹⁰³ كون القمر في البروج التي على صورة الناس وكذلك الطالع وليكن القمر والطالع¹⁰⁴ وصاحبهما سليمة من المناحس وصاحب السادس ممازج صاحب¹⁰⁵ الطالع ممازجة محمودة والأوتاد نقية من النحوس

[31] عتق الممالك يستحبّ فيه كون¹⁰⁶ القمر زائدا¹⁰⁷ في النور متّصلا بسعد والسعد شرقي¹⁰⁸ والطالع وصاحبه مسعودان¹⁰⁹

⁸⁸ J عمل

⁸⁹ J والزهرة

⁹⁰ F J وها

⁹¹ F زائدا

⁹² V om.

⁹³ J عن

⁹⁴ J وبمنظر instead of وينظر بنظر

⁹⁵ J في ذلك instead of في الفصد والحجامة

⁹⁶ BV om. للرأس الحمل

⁹⁷ J مسعود

⁹⁸ J om. وتسديسه

⁹⁹ J فيه instead of في الختان

¹⁰⁰ V add. القمر إلى

¹⁰¹ BF ح instead of حينئذ

¹⁰² J بثليث المريخ وتسديسه instead of بتسديس المريخ وتثليته

¹⁰³ J فيه instead of في شراء الرقيق

¹⁰⁴ J الطالع والقمر

¹⁰⁵ F بصاحب ; لصاحب V

¹⁰⁶ J فيه كون instead of في عتق الممالك أن يكون

¹⁰⁷ BJ زائد

¹⁰⁸ J add. به

¹⁰⁹ J مسعودين ; مسعود V

It does not matter if it is in trine and sextile to Mars. The Moon quickens the action of the purging if it is not conjunct with Jupiter which weaken the purgation in its action.

[27] Touching the eyes by iron:³ what is desirable concerning the touching the eyes by knife are the Moon's application to Jupiter or Venus, both of which being above the earth, the Moon increasing in light, distant from the rays of Mars and safe from the Sun.

[28] Bloodletting and cupping: concerning this, what is undesirable are the Moon's being in the sign of the limb which is touched by the knife except when the benefic with the Moon is powerful. Aries belongs to the head, Gemini to the hands, Taurus to the throat, and Leo to the back. Let the Moon be safe from the unluckiness or let it be lucky, decreasing the light. It does not matter when it is in trine and sextile from Mars.

[29] Circumcision:⁴ concerning it, what is undesirable is the Moon's being in Scorpio with an aspect to Mars in every case. So let the Moon be in <any sign> except Scorpio, reducing light, applying to Jupiter or Venus. It does not matter if it is in trine or sextile to Mars. As for the aspect of Saturn, neither <does it matter>.

[30] Buying slaves: concerning this, what is desirable are the Moon's being in the signs which have the form of a man, and the ascendant being likewise. Let the Moon and the ascendant and the lord of the two be safe from the unluckiness, the lord of the sixth <place> be of the nature of the lord of the ascendant in good nature, and the cardines be free from the malefics.

[31] Liberty of white slaves: what is desirable concerning it are the Moon's increasing in light, applying to a benefic, the benefic being easterly, and the ascendant and its lord being made lucky.

³Probably removing of cataracts.

⁴Paragraphs [29] and [31] are missing in the Chinese translation.

F71a

[32] ¹¹⁰ الأملأك يكره في الأملأك كون القمر في برج ثابت وأن يكون في الثاني عشر والسادس والثامن وفي ¹¹¹ الحمل والسرطان والجدي والدلو والبرج ¹¹² الذي فيه أحد النحسين ¹¹³ وليكن ذلك والقمر متصل ¹¹⁴ بسعد والزهرة أوفق هو ¹¹⁵ أعني السعد في مكان جيد

[33] الدخول بالمرأة يستحب فيه ¹¹⁶ كون القمر في الثور والأسد والجوزاء والسنبلة وينظر من الزهرة والزهرة في مكان جيد غير منحوسة ¹¹⁷

[34] الشخوص إلى الحرب يستحب في ذلك ¹¹⁸ كون القمر في برج منقلب والطلع أحد بيوت ¹¹⁹ الكواكب العلوية وأقواءها بيتا المريخ والمريخ على تثليه أو تسديسه وليكن صاحب الطالع في برج ثابت أو ذي جسدين أو في الطالع أو في ¹²⁰ العاشر أو في الحادي عشر وأحذر كونه في الرابع والسابع والثامن إلا أن يكون قويا وأجعل ¹²¹ صاحب السابع في الطالع أو في الثاني غير مقبول ومتصلا ¹²² بكوكب ساقط لا يقبله ويكره في الرابع لأن هناك سلطانه ويكره ¹²³ صاحب الثاني في الثامن ويستحب صاحب الثامن في الثاني لأن الثاني لأعوان ¹²⁴ الشاخص والثامن لأعوان العدو ولا بد من أصلح نجوم القتال ¹²⁵ والمريخ وعطارد ¹²⁶ واستعلاء صاحب الطالع على صاحب السابع واتصال صاحب السابع بصاحب الطالع من التثليث والتسديس ¹²⁷ وهو مقبول لمن أراد الصلاح وكون المريخ في العاشر ومعه سعد له في الطالع نصيب ¹²⁸ لمن أراد القتال ولا يكون لذلك ¹²⁹ السعد في السابع شهادة ويستحب قوة صاحب بيت صاحب الطالع وسعاده وأن يكون شرقيا ويكره أن

F71b

¹¹⁰V add. البيت السابع

¹¹¹FV om. في

¹¹²J om. و

¹¹³JV add. ويستحب في ميزان

¹¹⁴V متصلا

¹¹⁵FV وهو

¹¹⁶J instead of في الدخول بالمرأة

¹¹⁷V منحوس

¹¹⁸J instead of في الشخوص إلى الحرب

¹¹⁹J om.

¹²⁰J passim. في ; V om. وفي

¹²¹JV om. ... وأجعل

¹²²V أو متصلا

¹²³J ويكون

¹²⁴J instead of أعوان

¹²⁵F add. القمر

¹²⁶JV om. ... وعطارد

¹²⁷V أو التسديس

¹²⁸J add. في الطالع

¹²⁹J كذلك

<Seventh place>

[32] Marriage contract: what is undesirable concerning marriage contract are the Moon's being in a fixed sign, and if it is in the twelfth, sixth, and eighth places and in Aries, Cancer, Capricorn, Aquarius, and in the sign in which one of the two malefics is. Let this be when the Monn is applying to the benefic. Venus is the fittest <of the benefics> — I mean a benefic in a good place.

[33] Marriage with wife: what is desirable concerning this are the Moon's being in Taurus, Leo, Gemini, and Virgo, its being aspected from Venus, and Venus being in a good place without unluckiness.

[34] Expedition to war: what is desirable concerning this are the Moon's being in a tropical sign, the ascendant being one of the houses of the superior planets — the fittest of them being the two houses of Mars —, and Mars being in trine or in sextile with it. Let the lord of the ascendant be in a fixed or bicorporal sign or in the ascendant or in the tenth or eleventh <place>. [Its being in the fourth and seventh and eighth place is most dangerous unless it is powerful.]⁵ Let the lord of the seventh place <be> in the ascendant or in the second without being received, without applying to a planet which is falling and which is not receiving. What is undesirable is that <the lord of the descendant>⁶ is in the fourth place, because here is its power. Also it is undesirable that the lord of the second place is in the eighth place. What is desirable is the lord of the eighth place being in the second place, because the second place belongs to the helpers of expeditors and the eighth place belongs to the helpers of enemies[, definitely from the goodness of killing stars, the Moon, Mars, and Mercury.]⁷ The rulership of the lord of the ascendant over the lord of the seventh, the application of the lord of the seventh to the lord of the ascendant by trine and sextile — these are welcome to those who want peace. Mars' being in the tenth place and with it is the benefic which has a share in the ascendant — <this is welcome> — to those who want killing. This is the case when the benefic has no witness in the seventh. The power and goodness of the lord of the house of the lord of the ascendant are desirable if it is easterly. What is undesirable is that

⁵JV (also Chinese tr.) omit the words in [].

⁶Supplied according to the Chinese translation.

⁷JV omit the words in [].

يكون صاحب بيت صاحب¹³⁰ السابع بهذه الصفة

- [35] طلب الأَباق يستحب في طلب الأَباق¹³¹ نظر القمر إلى صاحب بيته متصلاً¹³² به من الثلاث أو التسديس¹³³ وهو فوق الأرض منحوس بنحس¹³⁴
- [36]¹³⁵ وصية المريض يستحب في وصية المريض كون القمر في برج ثابت والطلع وصاحبه مسعودان¹³⁶ والأوتاد نقية من النحوس¹³⁷ وهو حين يبتدى بالخروج¹³⁹ من موضعه سفر البر يستحب في سفر البر¹³⁸ أوفق لذلك صلاح الطالع وصاحبه وأدلاء كون القمر في البروج البرية اليابسة والمنقلة¹⁴⁰ أوفق لذلك صلاح الطالع وصاحبه وأدلاء السفر وأدلاء الغرض المطلوب في ذلك السفر وسعادتها أو سلامتها¹⁴¹ من المناحس وخاصة المريح
- [38] سفر البحر يستحب فيه¹⁴² كون القمر في بروج مائة وسلامتها¹⁴³ من المناحس وخاصة من زحل وسعادة الطالع وصاحبه والأوتاد
- [39] دخول البلد¹⁴⁴ يستحب في دخول البلد سعادة القمر وسعادة الثاني وصاحبه وسعادة الطالع وصاحبه وكونها في المواضع الجيدة من¹⁴⁵ الطالع وكون سهم السعادة في الطالع أو في¹⁴⁶ وسط السماء ناظراً إلى صاحب الطالع وليكن صاحب الثاني فوق الأرض والقمر أما فوق الأرض وأما متصل بكوكب فوق الأرض إلا أن يكون الدخول سراً فيجعل القمر منصرفاً عن الاجتماع غير خارج من تحت¹⁴⁷ الشعاع متصلاً¹⁴⁸ بسعد تحت الأرض غير الرابع
- [40]¹⁴⁹ البيعة والجلوس على سرير الملك يستحب في البيعة¹⁵⁰ والجلوس على سرير الملك

F72a

¹³⁰J om.

¹³¹BF الأَباق instead of طلب الأَباق

¹³²JV متصل

¹³³V والتسديس

¹³⁴F om.

¹³⁵V add. البيت الثامن

¹³⁶V مسعود

¹³⁷V add. البيت التاسع

¹³⁸F om. يستحب في سفر البر

¹³⁹JV بالخروج instead of بالشيء للخروج

¹⁴⁰J والمنقلب

¹⁴¹JV وسلامتها

¹⁴²J فيه instead of في سفر البحر

¹⁴³JV أعني المائة V add. وسلامتها instead of سلامة هذه البروج

¹⁴⁴JV الدخول إلا البلد

¹⁴⁵V add. صورة

¹⁴⁶V om.

¹⁴⁷J om.

¹⁴⁸J متصل

¹⁴⁹V add. البيت العاشر

¹⁵⁰J بالبيعة

the lord of the house of the lord of the seventh is with this property.

[35] Search for fugitives: concerning the search for fugitives what is desirable are the Moon's aspect to the lord of its house (i.e., the sign where the Moon is), its application from trine or sextile, its being above the earth and being made unlucky by the malefic.

<Eighth place>

[36] Advice to a sick person: concerning the advice to a sick person, what is desirable are the Moon's being in a fixed sign, the ascendant and its lord being made lucky, and the cardines being free from the malefic.

<Ninth place>

[37] Journey on land: concerning the journey on land, namely, when one begins going out of his place, what is desirable are the Moon's being in the signs which are wild <animals> and dry — the tropical sign being the best fitted for this — the goodness of the ascendant, its lord, the indicators of the journey, and the indicators of the things desired in this journey, and their luckiness or their safety from the malefics, especially from Mars.

[38] Journey on sea: concerning this what is desirable are the Moon's being in the watery signs, its safety from the malefics, especially from Saturn, and the goodness of the ascendant, its lord, and the cardines.

[39] Entering a city: concerning entering a city, what is desirable are the goodness of the Moon, the goodness of the second place and its lord, the goodness of the ascendant and its lord, their being in the good places of the horoscope, the lot of fortune being in the ascendant or in the midheaven aspecting the lord of the ascendant. Let the lord of the second place be above the earth, and the Moon be either above the earth or applying to a planet above the earth, except when the entry is to be made secretly, then (i.e., when it is secret) <what is desirable are> the Moon's being separated from the conjunction without going out from under the rays, and its application to a benefic below the earth except in the fourth place.

<Tenth place>

[40] Recognition <as a king> and sitting on the elected seat of the king: concerning the recognition and sitting on the elected seat of the king,

كون القمر والطلع وصاحبه في أحد بيتي المشتري وفي¹⁵¹ الأسد والعقرب والسعود على
الأوتاد وخاصة¹⁵² وسط السماء وصاحب بيت صاحب وسط السماء مسعود قوي مشرق¹⁵³
وسعادة الشمس أو سلامتها¹⁵⁴ عن¹⁵⁵ المناحس
[41] عقد اللواء يستحب فيه أن يكون¹⁵⁶ الطالع وصاحبه والقمر وصاحب بيته وكونها
في أمكنه¹⁵⁷ جيدة¹⁵⁸ مستقيمة السير سريعة فيه¹⁵⁹ شرقية وإن كان أحد هذه الكواكب
الثلاثة¹⁶⁰ على تثليث الشمس أو المريخ مقبولا¹⁶¹ منها كان أجود
[42] حلّ اللواء يستحب فيه¹⁶² كون القمر في برج ذي جسد في الأوتاد متصلا
بالسعود زائدا في الضوء صاعدا في الشمال والطلع أيضا برج ذو¹⁶³ جسد مسعود¹⁶⁴ فإن
أريد أن لا يعقد بعد ذلك لمن عقد له فليكن القمر في برج ثابت وكذلك الطالع والقمر في
الثاني عشر أو في السادس¹⁶⁵ منحوس¹⁶⁶ ببعض المناحس
F72b [43] الافتتاح الخراج يستحب فيه¹⁶⁷ كون القمر في أحد بيتي¹⁶⁸ زحل واتصاله بزحل
من التثليث أو التسديس¹⁶⁹ ووسط السماء برج¹⁷⁰ ثابت
[44] رفع الحوائج إلى الولاية يستحب في ذلك¹⁷¹ كون القمر في برج ثابت أو ذي
جسد على تثليث الطالع أو تسديسه¹⁷² ولا بأس بالتربيع أيضا والطلع برج ثابت¹⁷³ أو

¹⁵¹ V instead of أو في

¹⁵² V add. على

¹⁵³ V مسعودا قويا مشرقا

¹⁵⁴ JV سلامتها

¹⁵⁵ V من

¹⁵⁶ J فيه أن يكون instead of صلاح : في عقد اللواء صلاح

¹⁵⁷ JV وكونها في أمكنه instead of مكان في

¹⁵⁸ V add. وكونها

¹⁵⁹ JV السير سريعة فيه instead of سرعة السير

¹⁶⁰ J الثلاثة الكواكب

¹⁶¹ FV منها

¹⁶² J فيه instead of حلّ اللواء

¹⁶³ J برجا ذا V ; برجا ذو F ; ذي

¹⁶⁴ FV من المسعود JV add. مسعودا

¹⁶⁵ J أو في السادس instead of السادس

¹⁶⁶ V منحوسا

¹⁶⁷ J فيه instead of في الافتتاح الخراج

¹⁶⁸ J أحد بيتي instead of بيت V ; بيتي

¹⁶⁹ J والتسديس

¹⁷⁰ B في برج J ; وبرج

¹⁷¹ JV في ذلك instead of رفع الحوائج إلى الولاية

¹⁷² F hapl. om. from here to the next أو تسديسه

¹⁷³ V برجا ثابتا

what is desirable are the existence of the Moon and the ascendant and its lord in one of the two houses of Jupiter and in Leo and Scorpio, the benefics being in the cardines, especially in the midheaven, the lord of the house (i.e., the sign where the Moon is) being the lord of the midheaven, made lucky, powerful and easterly, and the goodness of the Sun or its safety from the malefics.

[41] Hoisting a flag: concerning this, what is desirable are the ascendant, its lord, the Moon, and the lord of its house (i.e., sign) being good,⁸ their being in good places, and their being direct and swift in motion and easterly. If one of the three <superior> planets are in trine to the Sun, or if Mars is received by the two, it is best.

[42] Lowering a flag: concerning this what is desirable are the Moon's being in a bicorporal sign in the cardines, being received by the benefics which are increasing in light and ascending to the north, the ascendant being also a bicorporal sign and made lucky. If one does not want to hoist it after this (i.e., after lowering) for the person to whom he had hoisted it, then let the Moon be in a fixed sign and, likewise, and the ascendant be the same, and the Moon be in the twelfth place or in the sixth place and made unlucky by one of the malefics.

[43] Introducing taxes: concerning this what is desirable are the Moon's being in one of the two houses of Saturn, and its application to Saturn from trine or sextile, and the midheaven being a fixed sign.

[44] Promoting a necessary person to government: concerning this, what is desirable is the Moon's being in a fixed sign or a bicorporal sign in trine or sextile to the ascendant. It does not matter if it is in quartile. The ascendant being a fixed sign or

⁸ 'begin good' is supplied by J.

ذو جسدين وصاحب الطالع¹⁷⁴ على تثليث الطالع¹⁷⁵ أو تسديسه¹⁷⁶ وقت الاجتماع وسعد في الطالع أو السابع مع سهم السعادة¹⁷⁷ جيد لطلب الأعمال مع¹⁷⁸ الولاة وكذلك وقت الاستقبال وسعد في السابع لأن سهم السعادة يقع مع سعد فإن كان مكان سعد¹⁷⁹ نحس¹⁸⁰ كان ضاراً

[45] الاستعداد إلى السلطان¹⁸¹ كون القمر فيما بين تربيع الشمس إلى المقابلة والقمر والطالع نقيان¹⁸² من النحوس وصاحب الطالع في موضع¹⁸³ جيد يتصل به صاحب السابع أو يكون¹⁸⁴ في العاشر من صاحب السابع وليكن المنصرف عنه القمر أقوى من المتصل به وسهم السعادة في الطالع أو وسط السماء

[46] المصادقة يستحب¹⁸⁵ كون القمر في برج ثابت نقياً¹⁸⁷ من النحوس والأوتاد نقية منها وصاحب الحادي عشر ينظر إلى الطالع أو يتصل بصاحب الطالع من التثليث والتسديس¹⁸⁸ والقمر متصل بالكوكب الذي هو من جنس¹⁸⁹ الصديق إن¹⁹⁰ كان من الأنثى¹⁹¹ فالزهرة وإن كان من الصبيان أو¹⁹² الكتاب فعطارد وعلى هذا القياس

F73a [47] شراء الدواب يستحب فيه¹⁹⁴ كون القمر في برج ثابت إلا الدلو والعقرب والطالع برج ذو¹⁹⁵ جسدين والقمر متصل¹⁹⁶ بسعد مستقيم السير شرقي

¹⁷⁴ J om. وصاحب الطالع

¹⁷⁵ V om.

وأيضاً : JLV add. ... تسديسه instead of صاحب الطالع أو تسديسه¹⁷⁶ J

أو السابع مع سهم السعادة¹⁷⁷ JV om.

من¹⁷⁸ J

السعد¹⁷⁹ V

نحساً¹⁸⁰ J

يستحب في الاستعداد إلى السلطان¹⁸¹ JV add.

بريان¹⁸² F ; نقيين¹⁸² V ; نقياً¹⁸² F

موضعه¹⁸³ J

ويكون¹⁸⁴ J

البيت الحادي عشر¹⁸⁵ V add.

في المصادقة¹⁸⁶ J add.

نقي¹⁸⁷ J

أو التسديس¹⁸⁸ V

جسد¹⁸⁹ J

إذا¹⁹⁰ J

الأوتاد¹⁹¹ J

من¹⁹² J add.

البيت الثاني عشر¹⁹³ V add.

فيه¹⁹⁴ J instead of في شري الدواب

برجا ذا¹⁹⁵ V

متصلاً¹⁹⁶ V

a bicorporal sign, the lord of the ascendant being in trine or sextile from the ascendant, the time being the new moon and the benefic being in the ascendant or in the seventh place with the lot of fortune – these are good in asking for the matters from the government. Likewise are the time of the full moon, and the benefic being in the seventh, because the lot of fortune occurs with the benefic. If the place of the benefic is made unfortunate, it is harmful.

[45] Appealing to the authority: what is desirable are the Moon's being in what is between the <first> quadrature to the Sun and the fullness, the Moon and the ascendant being free from the malefics, the lord of the ascendant being in a good place, the lord of the seventh place applying to it, or it is in the tenth place from the lord of the seventh place. Let the Moon be separated from it being powerful by the application to it, and the lot of fortune be in the ascendant or the midheaven.

<Eleventh place>

[46] Agreement: concerning it, what is desirable are the Moon's being in a fixed <sign>, being free from the malefics, the cardines being free from them, the lord of the eleventh place aspecting the ascendant or applying to the lord of the ascendant from trine and sextile, the Moon applying to a planet which belongs to the genre of friends, namely, if <the genre> belongs to female it is Venus, and if it belongs to children or scribes it is Mercury, and so on in this way.

<Twelfth place>

[47] Buying animals: concerning this what is desirable are the Moon's being in a fixed sign except Aquarius and Scorpio, the ascendant being a bicorporal sign, the Moon applying to a benefic which is in direct motion and easterly.

[48] الخروج إلى¹⁹⁷ صيد البرّ يستحبّ في الخروج إلى صيد¹⁹⁸ كون القمر¹⁹⁹ في برج ذي جسدین وكذلك الطالع²⁰⁰ وصاحب الطالع قوي مسعود²⁰¹ وصاحب السابع²⁰² ناقص في السير فيما يلي الودد والقمر منصرف عن المریخ والمریخ في مكان²⁰³ جيد من الطالع وصاحب بيت القمر ينظر إليه ويكره خلاء سير القمر²⁰⁴ وكونه²⁰⁵ في برج منقلب وفي آخر البروج²⁰⁶ وسقوط ربّ بيته عنه²⁰⁷ واتّصاله بزحل

[49] صيد البحر يستحبّ فيه²⁰⁸ كون الطالع²⁰⁹ برجا ذا جسدین²¹⁰ غير الحوت وصاحبه في برج مائي والقمر في برج مائي²¹¹ ناظر إلى ربّ بيته وصاحب الطالع ناظر إلى صاحب²¹² بيته والقمر²¹³ زائد في الضوء ويكره خلاء سيره واتّصاله بالمريخ وكون الطالع برجا مائيا

الباب الثالث في خاتمة الكتاب

[1] أنا لما جمعنا في هذا الكتاب من¹ أصول الصناعة ومن فروعها قدر الكفاية وأثرنا إلى طريق² التصرف³ فيها واستعمالها والكلام عليها ما بدونها⁴ يكتفي القريحة الجيدة والخاطر الذكي والفكر⁵ الصافي رأينا أن نقطع الكلام عنده

[2] فإذا حضرنا أمر من الأمور المتعلقة بالصناعة أحسنّا النظر إليه⁶ وميّزنا بين المسعود

F73b

¹⁹⁷ BF om. الخروج إلى

¹⁹⁸ BFJ om. في الخروج إلى صيد

¹⁹⁹ J add. والطالع ; V add. صاحب الطالع

²⁰⁰ JV om. وكذلك الطالع

²⁰¹ V قويا مسعودا

²⁰² BF add. نقي

²⁰³ JV موضع

²⁰⁴ J سير القمر instead of السير للقمر

²⁰⁵ F om. و

²⁰⁶ JV om. وفي آخر البروج

²⁰⁷ V om. عنه

²⁰⁸ J فيه instead of في صيد البحر

²⁰⁹ J الطالع instead of القمر في

²¹⁰ J برجا ذا جسدین instead of برج ذي جسدین من

²¹¹ J om. والقمر في برج مائي

²¹² J om.

²¹³ J بيته والقمر instead of في برج مائي وللقمر ; أو القمر

¹ J om.

إلى أقرب طريق عرفناه إلى القياس و سلكنّا فيه أوضح سبج إلى الصوب وأرشدنا² إلى طريق³ instead of إلى الطريق

³ J om.

⁴ J ما تدونه

⁵ J وعاشر

⁶ JV فيه

[48] Setting out for hunting on land: concerning setting out for hunting on land, what is desirable are the Moon's being in a bicorporal sign, the ascendant being the same, the lord of the ascendant being powerful and lucky, the lord of the seventh place diminishing in motion in the succedent, the Moon being separated from Mars, Mars being in a good place from the ascendant, and the lord of the Moon's house (i.e., sign) aspecting it. What is undesirable are the lack of the Moon's motion and its being in a tropical sign and being in the last part of signs, the fall of the lord of its house from it, and its application to Saturn.

[49] Hunting in the sea: concerning this what is desirable are the ascendant's being a bicorporal sign except Pisces, its lord being in a watery sign, the Moon being in a watery sign, aspecting the lord of its house (i.e., sign), the lord of the ascendant aspecting the lord of its house, the Moon increasing in light. What is undesirable are want of its speed, its application to Mars, and the ascendant being a watery sign.

Chapter Three: On the Conclusion of this Book

[1] Since we have collected, in this book, a sufficient amount of the fundamentals of the art <of astrology> and its branches, and we have pointed toward the way of its management and its application, and <since> the good disposition, intelligent idea, and clear view are satisfied without theological discussion (*kalām*) on it, we intended to cut off theologincal discussion belonging to it.

[2] When one of the matters which are dependent on this art comes to us, we corrected the view in it, and we separated between the lucky

والمنحوس وبیب⁷ القوي والضعيف وقابلنا الشهادات المحمودة والمذمومة بعضها ببعض
حتى نلخص من البين أغلب⁸ فنحكم عليه⁹
[3] ولا نقطع الحكم على أمر أبدا إلا بشهادتين قويتين ولا نعجل بالحكم إلا بعد الفكرة
الطويلة والنظر الكثير¹⁰ والتأمل الشافي ونختم المقالة الرابعة بهذا الباب والكتاب بهذه
المقالة¹¹
[4] والحمد لله¹² رب العالمين وصلوته¹³ على نبيه¹⁴ سيدنا محمد والبيته الطيبين¹⁵
وأصحابه آية الهوى ونجوم الاهتداء صلوة وسلاما دائماً إلى يوم الدين حسبنا¹⁶ الله ونعم
الوكيل

and the unlucky and between the strong and the weak. We confronted good evidences with bad evidences, so that we can outline what is most evident, and we can make a judgement upon it.

[3] We do not give a judgement on a matter unless there are two strong witnesses, nor do we believe in a judgement except after long reflection, many examinations, and clear consideration. We close the fourth Part (*maqāla*) with this chapter, and we close this book (*kitāb*) with this Part.

[4] Thank God, the lord of the two worlds. I ask his grace upon our leader Muḥammad, who is a good and revealing evidence, his companions, and the wonders of the sky and stars. May there be guidance, blessing, and long lasting peace until the Day of Judgement. We expect God.

⁷F ومن ; وبينا

⁸JV أغلبها

⁹J عليها

¹⁰J والنظر الكثير instead of النظر الكثير والفكرة الطويلة

¹¹V هذه المقالة ; Hereafter manuscripts instead of هذه المقالة ; J om. وبها نختم الكتاب

put different benedictions. I have followed B.

¹²F om.

¹³J وصلاته

¹⁴F om.

¹⁵F add. الخاهرين

¹⁶F om.

『明譯天文書』テキスト

凡例

- 本テキストは 台湾商務印書館發行 四部叢刊三編『明譯天文書』，及び北京天華館刊『天文寶書』による。
- 原則として四部叢刊本に基づき，北京版の異読を P の後に示した。
- 各章および節の番号は，アラビア語校訂テキストのそれである。[*] を付した部分は，原文に明確な対応箇所がないものである。また対応していても相違が大きい場合には番号の後に*印を付けた。
- 句点は大概四部叢刊本に従った。
- 字体はテキストによって異なるものがあるが統一し，できる限り旧字を用いることにした。

譯天文書序
皇上奉

天明命。撫臨華夷。車書大同。人文宣朗。爰自
洪武初。大將軍平元都。收其圖籍經傳子史。
凡若干萬卷。悉上進

京師。藏之書府。

萬幾之暇。即召儒臣進講。以資治道。其間
西域書數百冊。言殊字異。無能知者。十五
年秋九月癸亥。

上御奉天門。召翰林臣李羽¹臣吳伯宗。而諭之
曰。天道幽微。垂象以示人。人君體天行道。
乃成治功。古之帝王。仰觀天文。俯察地理。
以修人事。育萬物。由是文籍以興。彝倫攸
叙。爾來西域陰陽家。推測天象。至爲精密
有驗。其緯度之法。又中國書之所未備。此
其有關於天人甚大。宜譯其書。以時披閱庶
幾觀象。可以省躬修德。思患預防。順天心。
立民命焉。遂召欽天監靈臺郎。臣海達兒¹。
臣阿荅兀丁。回回大師。臣馬沙亦黑。臣馬
哈麻等。咸至于廷。出所藏書。擇其言天文
陰陽曆象者。次第譯之。且命之曰。爾西域
人。素習本音。兼通華語。其口以授儒。爾儒
釋其義緝成文焉。惟真述。毋藻繪。毋忽。臣
等奉

命惟謹。開局於

右順門之右。相與切摩。達厥本指。不敢有
毫髮增損。越明年二月。天文書譯既。繕写
以進。有

旨命臣伯宗爲序。臣聞伏羲畫八卦。唐堯欽曆
象。大舜齊七政。神禹叙九疇。歷代相傳。載
籍益備。其言天地之變化。陰陽之闔闢。日
月星辰之運行。寒暑晝夜之代序。與夫人
事吉凶。物理消長。微妙弘衍矣。今觀西域
天文書。與中國所伝。殊途同歸。則知至理
精微之妙。充塞宇宙。豈以華夷而有間乎。
恭惟

皇上心與天通。學稽古訓。一言一動。森若神明
在上。凡禮樂刑政。陽舒陰歛。皆法天而行。
期於七曜順度。雨暘時若。以致隆平之治。

¹P 海蒼兒

皇上敬天勤民。即伏羲堯舜禹之用心也。經傳
所載。天人感應之理。存于方寸審矣。今又
譯成此書常留

觀覽。兢兢戒愼。純亦不已。若是至哉。是書遠
出夷裔。在元世百有餘年。晦而弗顯。今遇

聖明。表而爲中國之用。備一家之言。何其幸也。

聖心廓焉大公。一視無間。超軼前代²遠矣。刻
而列之。與中國聖賢之書。並傳並用。豈惟
有補於當今。抑亦有功於萬世云。洪武十六
年。五月辛亥。翰林檢討臣吳伯宗謹序。

天文書序

天理無象。其生人也。恩厚無窮。人之感恩而報
天也。心亦罔極。然而大道在天地間。茫昧無聞。
必有聰明叡智聖人者出。心得神會斯道之妙。立
教於當世。後之賢人。接踵相承。又得上古聖人
所傳之妙。以垂教于來世也。聖人馬合麻及後賢
輩出。有功於大道者。昭然可考。逮闕識牙耳大
賢者生。闡揚至理。作爲此書。極其精妙。後人信
守尊崇。縱有明智。不能加規而過矩也。

天文書目錄

凡天文書有四類。第一類。總說題目。第二類。斷
說世事吉凶。第三類。說人命運并流年。第四類。
說一切選擇

第一類 凡二十三門

第一門 說撰此書爲始之由

第二門 說七曜性情

第三門 說七曜吉凶

第四門 說七曜所屬陰陽

第五門 說七曜所屬晝夜

第六門 說各星離太陽遠近性情

第七門 說五星東出西入

第八門 說雜星性情

第九門 說十二宮分。分爲三等

第十門 說十二宮。分陰陽晝夜

第十一門 說十二宮分性情

第十二門 說十二宮分度數相照

第十三門 說七曜所屬宮分

²P 化

第一類

第十四門 說七曜廟旺宮分度數

第十五門 說三合宮分主星

第十六門 說每宮分度數分屬五星

第十七門 說每宮分爲三分

第十八門 說每星宮度位分

第十九門 說七曜相照

第二十門 說各星力氣

第二十一門 說命宮等十二位分

第二十二門 說福德等箭

第二十三門 說各宮度主星強旺

天文書第一類

第一門 說撰此書爲始之由

[1.1.1] 凡書中緊要之理。則備言之。其說有兩等。
第一等說。要知天輪行度之法。必用渾儀并測星
之物。以算法推詳其理。爲此。已撰二書在前。若
人於此書精通。則知此爲至高至寶之文。

[1.1.2*] 第二等說。天輪七曜。有吉有凶。應世
上之吉凶。其吉凶云何。必用上文所言渾儀算法。
體驗而後知之。然非一定之理。

[1.1.3*] 間有不驗之時。不可因其不驗。遂廢
此書也。

[1.1.4*] 如太陽性熱且燥。太陰性濕潤。又如
四時不等。寒暑不同。或雨多。或雨少。因各星與
太陽相遇。或太陽與各星相遇。在何宮分。或各
星自相遇。以此故也。

[1.1.6*] 此是顯然之理。自古相傳至今。若人
參透各星性情衰旺。及相遇度數。則知四時寒暑
旱癆疾疫。

[1.1.10*] 又知人事禍福吉凶。既能先知。凡事
可以豫備。

第二門 說七曜性情

[1.2] 太陽性熱。且燥。能熱所照之物。太陰性濕
潤。所照之物亦得滋潤。土星性寒。微燥。木星性
溫和。又熱而潤。熱多潤少。火星性極燥。極熱。
金星性亦溫和。又熱而潤。潤多熱少。水星性不
定。遇熱則熱。遇寒則寒。遇潤則潤。遇燥則燥。
又說。水星屬氣生風。

第三門 說七曜吉凶

[1.3] 木星金星吉。性溫和。因性溫和。故吉。土
星火星凶。土星性極寒。火星性極燥熱。因極寒
極燥熱。故凶。太陽太陰二星吉。太陽與太陰或
與五星三合六合則吉。相衝相會并二弦相照則
凶。水星遇吉星則吉。遇凶星則凶。若水星獨在
一宮。與各星不相遇。則取所在宮分并主星。爲
吉凶。

第四門 說七曜所屬陰陽

[1.4] 太陽土星木星火星屬陽。太陰金星屬陰。此
二星潤氣多故屬陰。水星遇陽星則爲陽。遇陰星
則爲陰。又一說。水星在太陽前出爲陽。在太陽
後落爲陰。又一說。水星在人安命宮至第十宮爲
陽。對宮至第四宮亦爲陽。其餘六宮屬陰。

第五門 說七曜所屬晝夜

[1.5] 太陽木星屬晝。因二星性皆熱。故屬晝。太
陰金星屬夜。因二星皆性潤。故屬夜。水星遇晝
星則屬晝。遇夜星則屬夜。出太陽之先爲晝。落
太陽之後爲夜。土火二星。比其餘星異常。土星
性寒。却屬晝。火星性熱。却³ 屬夜。故曰異常。
然土星性寒。屬晝。晝熱。則溫。火星性熱。屬夜。
夜寒。則亦溫。因此得其平和。故萬物發生。若土
星性寒。又屬夜。則極寒。火星性熱。又屬晝。則
極熱。如此則不得平和。萬物不生。七曜中陽星
屬晝。陰星屬夜。唯火星不然。火星乃陽星。却
屬夜。

第六門 說各星離太陽遠近性情

[1.6.1] 太陰與太陽相會後至上弦。性潤。上弦至
望。性熱。望至下弦。性燥。下弦至再會。性寒。

[1.6.2] 土木火三星與太陽相會後至第一位留
處。性多潤。自第一位至與太陽相衝時。性多熱。
自⁴相衝處至第二位留處。性多燥。自第二位至
與太陽再相會時。性多寒。

[1.6.3] 金水二星。與太陽相會後至第一位留
處。性多潤。自第一位逆行後復與太陽相會時。
性多熱。自相會後至第二位留處。性多燥。自第
二位順行後復與太陽相會時。性多寒。

[1.6.4] 星有性寒性熱性濕性燥。各星或三合
六合相衝相會四正等處相遇。并有力無力。所以

³P 卻 passim.

⁴P 至

天之氣候有不同也。推算者宜子細詳之。

第七門 說五星東出西入

[1.7] 五星先太陽出者。謂之東出。後太陽而入者。謂之西入。東出時各有度數。土木火三星離太陽不過六十度。金星離太陽不過四十五度。水星離太陽不過二十五度。金水二星離太陽至遠不過如此度數。五星後太陽入者。度數亦然。土木火三星離太陽六十度之外。不在東出西入之數。

第八門 說雜星性情

[1.8.1*] 凡雜星數多。亦有與五星性情相類者。其星本無一定性情。或如金星者。或如土星者。或如木星者。或微如太陰太陽⁵性情者。雜星大小有六等。有大顯者。有微顯者。其大顯者乃第一等第二等并第三等最大之星。凡人作一事。看此時東方。是何宮分出地平環上。呼爲命宮。却看命宮。或第十宮。有何大顯雜星在其上。又遇太陽太陰或木星或福星在上。又看雜星與何星性同。大相助福也。若雜星與凶星性同者。則其事先吉後凶。若雜星與吉星性同者。則始終皆吉。

[1.8.2*] 雜星內有一等星至凶。凡一切事。或人命限。遇此星。則事不吉。人命夭。若人要行一事。看此時東方是何宮分出地平環上。以此爲命宮。却看命宮主星并太陰在何宮分。看所求何事。以何星爲主。如求官。則以太陽爲主。則看太陽與太陰并命主星或三合六合吉照。則事成矣。又看雜星得力者與太陰或命主星性情相同者。或同度。則事必成。且快利。

[1.8.3*] 今將雜星內選出光顯有力者。三十星。各星屬何宮分。係何等第。是何性情。屬何方緯度。及三十星內凶星有幾箇。具列于後。

[1.8.4] 雜星三十⁶。

(1) 其一是人座椅子象上第十二星。在白羊宮第二十度七分。屬黃道北係第三等星。有金土二星之性。

(2) 其二是金牛象上第十四星。在金牛宮二十度四十分。屬黃道南係第一等星。有火星之性。凶。

(3) 其三是人提猩猩頭象上第十二星。在金牛宮十二度四十分。屬黃道北。係第二等星。有火水二星之性。凶。

(4) 其四是人提猩猩象上第七星。在金牛宮第十七度五十分。屬黃道北。係第二等星。有火水二星之性。凶。

(5) 其五是人掌拄杖象上第一星。在陰陽宮第十度。屬黃道南。係第六等最少星。有水火二星之性。凶。

(6) 其六是人掌拄杖象上第四星。在陰陽宮第十五度。屬黃道南。係第一等星。有水土二星之性。凶。

(7) 其七是人掌拄杖象上第五星。在陰陽宮第七度五分。屬黃道南係第二等星。有土木二星之性。

(8) 其八是人掌拄杖象上第二十九星。在陰陽宮第十度二十分。屬黃道南。係第一等星。有水土二星之性。

(9) 其九是人掌拄杖象上第三十七星。在陰陽宮第二度三分。屬黃道南。係第一等星。有土木二星之性。

(10) 其十是人掌馬牽胸象上第三星。在陰陽宮第八度。屬黃道北。係第一等星。有火水二星之性。

(11) 其十一。是人掌馬牽胸象上第四星。在陰陽宮第十五度五十分。屬黃道北。係第二等星。有火水二星之性。

(12) 其十二。是大犬象上第一星。在巨蠍宮初度四十分。屬黃道南。係第一等星。有木星性。微兼火星性。

(13) 其十三。是小犬象上第二星。在巨蠍宮第十二度一十分。屬黃道南。係第一等星。有水性性。又微有火星性。

(14) 其十四。是兩童子並立象上第一星。在巨蠍宮第六度二十分。屬黃道北。係第二等星。有水性之性。

(15) 其十五是兩童子並立象上第二星。在巨蠍宮第九度四十分。屬黃道北。係第二等星。有火星之性。

(16) 其十六是大蠍象上第一星。在巨蠍宮第二十三度二十分。屬黃道北。係第六等最小星。有火星太陰之性。凶。

(17) 其十七是獅子象上第六星。在獅子宮第十五度一十分。屬黃道北。係第二等星。有土星性。又微有火星之性。凶。

(18) 其十八是獅子象上第八星。在獅子宮第十六度一十分。屬黃道北。係第一等星。有火星性。又微有木星性凶。又。云不甚凶。

第一類

(19) 其十九是獅子象上第二十七星。在雙女宮第七度三十分。屬黃道北。係第一等星。有土金二星之性。

(20) 其二十是人呼叫象外第一星。在天稱宮第十度。屬黃道北。係第一等星。有水土二星之性。

(21) 其二十一是婦人有兩翅象上第十四星。在天稱宮第九度四十分。屬黃道南。係第一等星。有金星性。微有水星之性。

(22) 其二十二是缺碗象上第一星。在天稱宮第二十七度四十分。屬黃道北。係第二等星。有金水二星之性。

(23) 其二十三是蝎子象上第八星。在天蝎宮第二十五度四十分。屬黃道南。係第二等星。有火星性。微有木星之性。

(24) 其二十四是蝎子象上第二十星。在人馬宮第十四度一十分。屬黃道南。係第六等最小星。有太陽火星之性。凶。

(25) 其二十五是人彎弓騎馬象上第七星。在人馬宮第二十八度一十分。屬黃道北。係第六等最小星。有土水二星之性。凶。

(26) 其二十六是龜象上第一星。在磨羯宮初度二十分。屬黃道北。係第一等星。有金水二星之性。

(27) 其二十七是飛禽象上第三星。在磨羯宮第十六度五十分。屬黃道北。係第二等星。有火木二星之性。

(28) 其二十八是寶瓶象上第四十二星。在寶瓶宮第二十度。屬黃道南。係第一等星。有土水二星之性。

(29) 其二十九是鷄象上第五星。在寶瓶宮第二十二度一十分。屬黃道北。係第二等星。有金水二星之性。

(30) 其三十是大馬象上第三星。在雙魚宮第十五度一十分。屬黃道北。係第二等星。有火水二星之性。凶。

[1.8.3*] 已上星數是三百九十二年之前度數如此。其星皆往東行。一年行五十四秒。十年行九分。六十六年行一度。觀者依此推之。

第九門 說十二宮分。分爲三等

[1.9.1] 白羊與天稱二宮太陽到此晝夜停。自白羊宮至雙女宮爲北六宮。天稱宮至雙魚宮爲南六宮。入白羊宮轉北。入天稱宮轉南。

[1.9.2] 太陽至巨蠍宮初度後漸轉於南。至磨羯宮初度漸轉於北。

[1.9.3] 此四宮皆呼爲轉宮。金牛宮獅子宮天蝎宮寶瓶宮此四宮呼爲定宮。陰陽宮雙女宮人馬宮雙魚宮此四宮呼爲二體宮。

[1.9.4-5*] 白羊宮金牛宮陰陽宮屬春。巨蠍宮獅子宮雙女宮屬夏。天稱宮天蝎宮人馬宮屬秋。磨羯宮寶瓶宮雙魚宮屬冬。

第十門 說十二宮分陰陽晝夜

[1.10] 白羊宮屬陽屬晝。金牛宮屬陰屬夜。陰陽宮屬陽屬晝。巨蠍宮屬陰屬夜。獅子宮屬陽屬晝。雙女宮屬陰屬夜。天稱宮屬陽屬晝。天蝎宮屬陰屬夜。人馬宮屬陽屬晝。磨羯宮屬陰屬夜。寶瓶宮屬陽屬晝。雙魚宮屬陰屬夜。又一云。命宮至第十宮爲陽。第七宮至第四宮亦爲陽。其余六宮屬陰。

第十一門 說十二宮分性情

[1.11] 白羊宮獅子宮人馬宮三宮屬火。金牛宮雙女宮磨羯宮三宮屬土。陰陽宮天稱宮寶瓶宮三宮屬風。巨蠍宮天蝎宮雙魚宮三宮屬水。火與風屬陽。屬晝。土與水屬陰。屬夜。

第十二門 說十二宮分度數相照

[1.12.1] 凡宮分相照者。隔六宮一百八十度。呼爲相衝。隔四宮一百二十度。呼爲三合。隔三宮九十度。呼爲二弦。隔兩宮六十度。呼爲六合。相衝照。係相離離恨凶。二弦照。比相衝減半凶。三合照。主和睦親厚吉。六合照。比三合減半吉。

[1.12.2] 若一星在白羊宮二度。與雙魚宮二十八度同。

[1.12.3] 一星在人馬宮二十八度。與磨羯宮二度同。

[1.12.4] 一星在陰陽宮二十八度。與巨蠍宮二度同。一星在雙女宮二十八度。與天稱宮二度同。

[1.12.5] 白羊宮初度。至雙女宮末度。屬北道。高係升上。天稱宮初度。至雙魚宮末度。屬南道。低係降下。

第十三門 說七曜所屬宮分

[1.13.1] 獅子宮屬太陽。巨蠍宮屬太陰。與二宮相對者寶瓶宮磨羯宮屬土星。因土星性情與太陽

⁵P 太陽太陰

⁶P om. 雜星三十

太陰相拗。土星輪下是木星。因此人馬宮緊依磨羯宮。雙魚宮緊依寶瓶宮。此二宮屬木星。白羊宮與天蠍宮屬火星。天蠍宮緊依人馬宮。白羊宮緊依雙魚宮。金牛宮與天稱宮屬金星。金牛宮緊依白羊宮。天稱宮緊依天蠍宮。陰陽宮與雙女宮屬水星。陰陽宮緊依金牛宮。雙女宮緊依天稱宮。

[1.13.2]⁷木星二宮與太陰太陽宮分三合照。金星二宮與太陰太陽宮分六合照。⁸土星二宮與太陰太陽宮分相衝照。火星二宮與太陰太陽二弦相照。各星在本宮有力。在對宮無力。

第十四門 說七曜廟旺宮分度數

[1.14.1] 自古論七曜廟旺度數並無不同。太陽在白羊宮第十九度。太陰在金牛宮第三度。土星在天稱宮二十一度。木星在巨蠍宮十五度。火星在磨羯宮二十八度。金星在雙魚宮二十七度。水星在雙女宮十五度。計都在陰陽宮第三度。羅侯在人馬宮第三度。

[1.14.2] 已上各星皆為廟旺各星在廟旺宮分。固旺。到本度數上。為極旺。各星離旺度則無力。

[1.14*] 如太陽在白羊宮十九度至二十五度。為廟旺有力。到二十六度則無力。太陰在金牛宮第三度至二十三度。為廟旺有力。到二十四度。則無力。木星在巨蠍宮十五度至二十六度。為廟旺有力。到二十七度。則無力。火星在磨羯宮二十八度至三十度。為廟旺有力。金星在雙魚宮二十七度至白羊宮十二度。為廟旺有力。水星在雙女宮十五度至二十一度。為廟旺有力。

[1.14.2.] 過此皆無力。何為旺宮旺度。言各星到本位上。高貴有力。與旺宮旺度對照者。是各星無力弱處。

第十五門 說三合宮分主星

[1.15.1] 凡十二宮分。均分作四分。每分三宮。呼為三合。

[1.15.4] 白羊宮獅子宮人馬宮屬火。屬東北方。主星晝太陽木星。夜木星太陽。晝夜相助者土星。

[1.15.5] 金牛宮雙女宮磨羯宮屬土。屬東南方。主星晝金星太陰。夜太陰金星。晝夜相助者火星。

[1.15.6] 陰陽宮天稱宮寶瓶宮屬風。屬西南方。主星晝土星水星。夜水星土星。晝夜相助者木星。

[1.15.7] 巨蠍宮天蠍宮雙魚宮屬水。屬西北方。主星晝火星金星。夜金星火星。晝夜相助者太陰。

[1.15*] 三合主星。如火局。太陽性熱燥。木星熱潤。土星性寒燥。故以解太陽木星之性。寒以解熱。燥以解潤。故平和。土局。金星性熱而潤。潤多於熱。太陰性潤。火星性極燥。燥以解潤。故平和。風局。土星性寒燥。木星性熱而潤。水星性隨土木之性。木性熱潤。解土星寒燥。以此平和。水局。火性極燥。金星性熱而潤。潤多於熱。太陰性極潤。以解火金之燥熱。故平和。

[1.15.2] 又但是有人煙生物之處。亦分作四分。從中道上緯度往北分起。至緯度六十六度處止。經度自東海邊至西海邊一百八十度。經緯取中處。緯度三十三度。經度九十度。東西南北共分為四分。

[1.15.3] 但是地方。緯度三十三度以下經度九十度以下者。此一分屬東南。若緯度三十三度以下經度九十度之上者。此一分屬西南。若緯度三十三度以上經度九十度之下者。此一分屬東北。若緯度三十三度之上經度九十度之上者。此一分屬西北。

第十六門 說每宮分度數分屬五星

[1.16.table] 凡每宮分度數。分屬五星。但多寡不同。白羊宮。初度至第六度屬木星。第七度至第十二度屬金星。第十三度至第二十度屬水星。第二十一度至二十五度屬火星。第二十六度至第三十度屬土星。金牛宮。初度至第八度屬金星。第九度至第十四度屬水星。第十五度至第二十二度屬木星。第二十三度至第二十七度屬土星。第二十八度至第三十度屬火星。陰陽宮。初度至第六度屬水星。第七度至第十二度木星。第十三度至第十七度屬金星。第十八度至第二十四度屬火星。第二十五度至第三十度屬土星。巨蠍宮。初度至第七度屬火星。第八度至第十三度屬金星。第十四度至第十九度屬水星。第二十度至第二十六度屬木星。第二十七度至三十度屬土星。獅子宮。初度至第六度屬木星。第七度至第十一度屬金星。第十二度至第十八度屬土星。第十九度至第二十七度屬水星。第二十八度至第三十度屬火星。雙女宮。初度至第七度屬水星。第八度至第十六度屬金星。第十七度至第二十一度屬木星。第二十二度至第二十八度屬火星。第二

十九度至第三十度屬土星。天稱宮。初度至第六度屬土星。第七度至第十四度屬水星。第十五度至第二十一度屬木星。第二十二度至第二十八度屬金星。第二十九度至第三十度屬火星。天蠍宮。初度至第七度屬火星。第八度至第十一度屬金星。第十二度至第十九度屬水星。第二十度至第二十五度屬木星。第二十六度至第三十度屬土星。人馬宮。初度至第十二度屬木星。第十三度至第十七度屬金星。第一八度至第二十一度屬水星。第二十二度至第二十四度屬土星。第二十五度至第三十度屬火星。磨羯宮。初度至第七度屬水星。第八度至第十四度屬木星。第十五度至第二十二度屬金星。第二十三度至第二十七度屬土星。第二十八度至第三十度屬火星。寶瓶宮。初度至第七度屬水星。第八度至第十三度屬金星。第十四度至第二十度屬木星。第二十一度至二十五度屬火星。第二十六度至第三十度屬土星。雙魚宮。初度至第十二度屬金星。第十三度至第十六度屬木星。第十七度至第十九度屬水星。第二十度至第二十八度屬火星。第二十九度至第三十度屬土星。

[1.16.1-2] 如本星行至所屬度上。則有力。不言太陽太陰者。若木星到所屬度上。則有太陽之力。金星到所屬度上。則有太陰之力。每宮度數分屬五星者。有六家說。今特選此一家之說。

第十七門 說每宮分為三分⁹

[1.17*] 凡十二宮每宮分為三分。每分一十度。每十度為一面。每一面分與一星。自白羊宮起。白羊宮。一度至十度。分與火星。¹⁰ 火星係本宮主星。故為始。其後依天輪次第排去。周而復始。十一度至二十度。分與太陽。二十一度至三十度。分與金星。金牛宮。一度至十度。分與水星。十一度至二十度。分與太陰。二十一度至三十度。分與土星。陰陽宮。一度至十度。分與木星。十一度至二十度。分與火星。二十一度至三十度。分與太陽。巨蠍宮。一度至十度。分與金星。十一度至二十度。分與水星。二十一度至三十度。分與太陰。獅子宮。一度至十度。分與土星。十一度至二十度。分與木星。二十一度至三十度。分與火星。雙女宮。一度至十度。分與太陽。十一度至二十度。分與金星。二十一度至三十度。分與水星。天

⁹No corresponding chapter in Arabic mss.

¹⁰P puts from here to 復始 after 白羊宮。

稱宮。一度至十度。分與太陰。十一度至二十度。分與土星。二十一度至三十度。分與木星。天蠍宮。一度至十度。分與火星。十一度至二十度。分與太陽。二十一度至三十度。分與金星。人馬宮。一度至十度。分與水星。十一度至二十度。分與太陰。二十一度至三十度。分與土星。磨羯宮。一度至十度。分與木星。十一度至二十度。分與火星。二十一度至三十度。分與太陽。寶瓶宮。一度至十度。分與金星。十一度至二十度。分與水星。二十一度至三十度。分與太陰。雙魚宮。一度至十度。分與土星。十一度至二十度。分與木星。二十一度至三十度分與火星。

第十八門 說各星宮度位分

[1.17.1] 凡各星有宮度位分。并喜樂位分。及看各星離太陰太陽遠近度數。又看各星在何宮分度數。何謂宮度位分。屬陽屬晝之星。晝在地上。夜在地下。屬陰屬夜之星。夜在地上。晝在地下。

[1.17.2] 何謂喜樂位分。水星在命宮。太陰在第三宮。金星在第五宮。火星在第六宮。太陽在第九宮。木星在第十一宮。土星在第十二宮。皆為喜樂宮分。

[1.17.3-4*] 各星若在本宮。看與太陰或太陽相離幾度。如金星在金牛宮。太陽在巨蠍宮。又金星在天稱宮。太陽在獅子宮。皆是本宮位分。六合相照。極旺有力。又說。各星在本宮。或在廟旺宮。或在四正。又與吉星相照。十分有力。如金星在命。居天稱宮。或土星在命。居磨羯宮。或土星居天稱宮。或火星在磨羯宮。則十分有力。

[1.17.5] 又每一宮三十度。將三十度。均分作十二分。每分二度半。不問何宮。以第一分。分與本宮主星。第二分。分與第二宮主星。第三分。分與第三宮主星。餘依此例分去。要知安命宮度數。在十二分內第幾分。每一度作十二度。每一分作十二分。將惣合度數。以三十除之。看餘剩若干。

[1.17.6-7*] 如安命在人馬宮二十六度一十五分。將此兩數。用十二乘之。該三百一十五度。從人馬宮向磨羯宮數去。每宮散與三十度。至天稱宮。則與十五度。天稱宮第一分二度半。分與金星。第二分二度半。分與火星。第三分二度半。分與木星。第四分二度半。分與土星。第五分二度半。亦分與土星。第六分二度半。分與木星。若別一星。到此木星分定度數上。同相照一般。遇吉

⁷P add. 水星二宮與太陽太陰宮分六合照

⁸P om. 金星二宮與太陰太陽宮分六合照

則吉。遇凶則凶。餘星皆同此論。此木星是每宮分十二分的主星。極餘命宮出力。其餘財帛等宮。依上例取用。

第十九門 說七曜相照

[1.18.1] 凡七曜相照。在經度上。有八等。一相會。一相衝。二弦。二六合。二三合。共八等。太陽前後光一十五度。太陰一十二度。土木火三星各九度。金水二星各七度。

[1.18.2] 假如火星追逮土星。相離九度。則二星沾光。呼爲初會。凡星光度數均者。初會則各星度數減半同沾光。若星光度數多少不同者。初會時。度數多者先沾光。少者光未沾。及少者度數相及。則二星同沾光。爲正會。凡二星同度爲相會。但過一分。爲相離。雖相離力尚在。爲二星後光未盡也。若二星相會後相離一分。或二分。却再有一星在後追及。星雖未到。光已相沾。則與後星又爲初會。各星相會。並同此例。此是論各星經度。

[1.18.3] 若各星在緯度相會。或黃道南。或黃道北。尤爲緊要。如二星緯度同經度亦同。則下星掩却上星。故相會爲尤緊。再說二星相遇。若二星東出度數與對黃道的赤道度數相同。

[1.18*] 如雙魚宮二十五度。與白羊宮五度同。或二星在兩處。日長短同。如一星在陰陽宮二十五度。一星在巨蠍宮五度。似此之類。亦呼爲相遇。

[1.18.4] 若二星相會後。一星前去追及一星。即將先會星光移向後相會之星。如火星在白羊宮。木星在雙女宮。金星在陰陽宮。金星離火星追及木星。却將火星之光移向木星。似此。火星與木星亦爲相遇。爲金星先與火星六合照。後與木星相弦照也。

[1.18.5] 又火星在白羊宮。木星在雙女宮。土星在陰陽宮。土星與火星六合。與木星相弦照。土星將木火二星光聚於一處。似此。亦爲相遇。

[1.18.6] 若一星在本宮。或旺宮。或在分定度數上。却有一星來與相會。或三合照。則主星受客星之喜吉。如木星在雙魚宮。太陰與之同度。木星與土星在天稱宮同度。即主星受客星之喜也。若不在本宮及旺宮及分定度數上。則無力。若一星在本宮。又在分定度數上。與一星或三合或六合或對衝二弦相照。主星喜受相照星之力。

比上文所言之星其力稍輕。若金水二星在白羊宮。或在獅子宮。與太陽雖無相照。太陽亦喜受二星在其宮也。言喜受之理者。不問大小一切事。皆成就順快。

[1.18.7] 若一星與一星同宮同度。一星逆行或在太陽光下。主星無力。則阻客星。若主星在四正分定度數上。雖阻不甚。若本星不在四正并本宮及分定度數上。則甚阻客星。不吉。阻者凡一應事務不能成就。有損傷敗壞之理。不吉。

第二十門 說各星力氣

[1.19.1] 凡各星氣有三等。一等是本體之力。一等是相助之力。一等是福氣之力。

[1.19.2] 本體力者。各星在本宮。或廟旺宮。或三合。或在分定度數。或在喜樂宮。或一宮均分作三分每分十度。其星在本度上。皆是各星本體有力氣處位分。此是總論如此。若人求見君上。或求名分。或干係官事。其星在廟旺宮。勝如在本宮。利且吉。其餘一切求請。皆依此論。凡星在本宮。如人在本宅房屋內安居。若星在廟旺宮。如人在高貴位上坐。若星在三合。如人得志。諸事吉。得人相助。若星在各宮分定度數上。如人在親戚處居住。若星在每宮分三分之一度數上。如人在自己田產內。若星在喜樂宮。如人在喜樂之處。若屬陽之星晝在地上。屬陰之星夜在地上。如人與親戚朋友相會之喜。此各星本體之力也。

[1.19.3] 又一說。如各星在升高度數上。有力。九十度之下爲升高。有力。九十度以上爲降無力。如太陽在巨蠍宮初度。爲最高處。木星在天稱宮第二度。爲最高處之類。其餘以此推之。又一說。各星順行疾。爲有力。土木火光太陽東出。有力。金水後太陽西入。有力。又星在緯度黃道北漸往北行時。有力。以上皆說各星本體之力。

[1.19.4] 次言相助之力者。若一星在四正中之一位。其第二位。係相助本星之位。若星在四正宮或相助之宮。爲有力。最有力者是命宮。其次第十宮。其次第七宮。其次第四宮。其次第十一宮。其次第五宮。其次第九宮。其次第三宮。其次第二宮。其次第八宮。唯第六宮并第十二宮。是至弱宮。無力。以上亦是總說。若人求一公事。官祿宮主星。有力於命宮主星者吉。其餘宮分。以此例推之。

[1.19.5] 第三言福氣之力者。若一星遇吉星。

其吉星又順行。或吉星遇本星。皆爲受喜。又前後宮分或度數。又遇吉星。此爲全吉。若一星在命宮。又有吉星在第二宮。又有吉星在第十二宮。謂之拱挾有力。吉。本體與相助者。皆有力也。凡人命入此格。爲大貴大賢之人。若人命宮前後遇凶星拱挾者。爲低微至賤之人。

[1.19.6] 大凡要知人有聰明識見并身體安寧者。須看命主星有本體之力。要見人有聲名者。須看命主星有助之力。要論財帛。却看財帛宮主星。若財帛宮主星有本體之力。主有財。得受用。若得相助之力。亦主有財。其財不得受用。

[1.19.7] 若一星在命宮。一星在第十宮。第十宮之星旺。高於命宮之星。若星在第十一宮。雖高且旺。比第十宮爲次也。若一星在本輪小輪上。近高。比其餘星。在小輪下者。爲有力。

第二十一門 說命宮等十二位分

[1.20.1] 凡看各星在何宮分。一命宮者何謂。言人初生時。看東方是何宮分。出地平環上。即爲命宮。命宮係人性體壽數一切創生之事。

[1.20.2] 第二宮。係人生財帛衣祿生理相濟助并未來之事。

[1.20.3] 第三宮。係親近并相助之人及兄弟姊妹親戚及近出攤移之事。

[1.20.4] 第四宮。主父并田宅并一切結末之事。

[1.20.5] 第五宮。主男女喜樂使客信息慶賀并收成五穀菓木之類。

[1.20.6] 第六宮。係疾病奴僕并小畜孳生。

[1.20.7] 第七宮。主祖并妻妾婚姻火伴并離隙。

[1.20.8] 第八宮。係死亡。凶險并妻財。

[1.20.9] 第九宮。係遷移遠方諸事更改并才學識見夢寐之類。

[1.20.10] 第十宮。主官祿高貴并母。

[1.20.11] 第十一宮。主福祿并想望之事又朋友之事。

[1.20.12] 第十二宮。係讎人爭競并牢獄及大畜頭匹等類。

[1.20.13-14*] 若一星在命宮前離安命度數五度以下。屬命宮。五度以上。不屬命宮。屬第十二宮。其餘宮分。一體推之。此取用之法。前賢多曾體驗如此。

第二十二門 說福德等箭

[1.21.1*] 凡論福德箭。箭者言其疾也。

[1.21.2] 第一。福德之箭。晝生人。從太陽數至太陰幾度。夜生人。從太陰數至太陽幾度。又將安命度數。添在其上。看總計幾度。命宮分與三十度。其餘財帛等宮。每宮各分餘三十度。餘剩零數有幾度在何宮分。此爲福德之箭。

[1.21.3-4*] 如人安命在白羊宮第十度。太陽在獅子宮二十度。太陰在天稱宮第十五度。¹¹夜生人從太陰數起。至太陽處。三百零五度。將命宮十度添於此處。合爲三百一十五度。命宮分與三十度。金牛宮至磨羯宮。各分與三十度。餘一十五度在寶瓶宮。則寶瓶宮第十五度上。乃是夜生人福德之箭。他皆倣此。

[1.21.5] 又一等。聰明遠識出衆之箭。晝生人。從太陰數起至太陽是幾度。將安命度數合爲一處。總該多少度數。從命宮分與三十度。財帛等宮各分與三十度。至何宮分。餘下幾度。便是晝生人聰明遠識出衆之箭。夜生人。從太陽數起至太陰是幾度。將安命度數合爲一處。總該多少。命宮分與三十度。財帛等宮各分與三十度。餘數幾度在何宮分。便是夜生人聰明遠識出衆之箭。

[1.21.6-10*] 第二等言財帛宮之箭。不分晝夜。看財帛主星在何宮度。自主星宮度數起。至財帛宮是幾度。將安命度數合爲一處。從命宮向財帛宮。各分與三十度。至何宮分。餘下幾度。便是財帛宮之箭。

第三言兄弟宮之箭。不分晝夜。看兄弟宮主星在何宮度自主星數起至兄弟宮是幾度。將安命度數合爲一處。總該多少。從命宮向財帛宮分。各分與三十度。至何宮分。餘下幾度。便是兄弟宮之箭。

第四言父親宮之箭。晝生人從太陽數至上星。夜生人從土星數至太陽看得幾度。添上安命度數。自命宮向財帛宮各分與三十度。至何宮分。餘下幾度。便是父親宮之箭。

又言母親宮之箭。晝生人自金星數至太陰。夜生人自太陰數至金星。看得幾度。添上安命度數。從命宮向財帛宮。各分與三十度。至何宮分。餘下幾度。便是母親宮之箭。

第五言男女宮之箭。不分晝夜。看男女宮主星。在何宮度。自主星數起至男女宮得幾度。添上安命度數。從命宮向財帛宮。各與三十度。至何宮

¹¹Chinese text agrees only with B.

分。餘下幾度。便是男女宮之箭。

第六言疾病宮之箭。不分晝夜。看本宮主星在何宮度。自主星處數起至本宮該幾度。添上安命度數。從命宮向財帛宮。各分與三十度。餘下幾度。在何宮分便疾病宮之箭。

又言奴僕宮之箭。亦不分晝夜。看水星在何宮度。自水星數起至太陰該幾度。添上安命度數。從命宮向財帛宮。各分與三十度。餘下幾度。在何宮分。便是奴僕宮之箭。

第七言婚姻宮之箭。不分晝夜。男自太陽數至金星。女自金星數至太陽。看得幾度。添上安命度數。從命宮向財帛等宮。各分與三十度。餘下幾度。在何宮分。便是婚姻宮之箭。

第八言死亡凶險宮之箭。不分晝夜。看本宮主星。在何宮度。自宮主星數起至本宮。是幾度。添上命宮度數。從命宮向財帛宮。每分各分與三十度。至何宮分。餘下幾度。便是死亡凶險宮之箭。

第九言遷移遠方宮之箭。不分晝夜。看本宮主星在何宮度。自宮主星數起至本宮。是幾度。添上安命度數。從命宮向財帛宮。各分與三十度。至何宮分。餘下幾度。便是遷移遠方宮之箭。第十言官祿宮之箭。

第十一言朋友并想望宮之箭。

第十二言讎恨并囚獄大畜宮之箭。並同此例。

第二十三門 說各宮度主星強旺

[1.22.1] 凡各宮度主星取氣力多者爲上。本宮主星有四分氣力。廟旺宮主星有三分氣力。三合宮主星有二等。第一等有二分氣力。第二等有一分氣力。分定度數主星有一分氣力。

[1.22.2] 若此等主星遇在本宮或廟旺宮或兩等三合宮或分定度數上則氣力加倍。如火星在白羊宮。則有八分氣力之類。其餘一切主星。取氣力多者爲之主星。

[1.22.3] 若一星比此主星氣力微少者。與此主星爲助。若二星氣力同者。取宮主星爲先。第二星爲相助。

[1.22.4] 如晝生人。安命在白羊宮第十度。火星是宮主星。太陽是廟旺宮主并第一等三合宮主星。木星是第二等三合主星。金星是分定度數主星。若此諸星皆不在加倍氣力宮度上。則取太陽爲主。爲何。蓋太陽本是廟旺宮主星。有三分氣力。又是第一等三合宮主星。有二分氣力。共

得五分氣力。因此取爲主星。火星雖是宮主星。只有四分氣力。比太陽氣力少一分。故與太陽爲相助。其餘有力氣主星。各照前例推之。

天文書目錄

第二類 凡十二門 斷說世事吉凶

第一門 總論題目

第二門 論上等第應驗

第三門 說災禍征戰之事

第四門 說天災疫病

第五門 說天時寒熱風雨

第六門 說陰雨濕潤

第七門 說天地顯象之事

第八門 斷說天象

第九門 說物價貴賤

第十門 說日月交食

第十一門 說土木二星同度相纏

第十二門 說世運

天文書第二類

第一門 總論題目

[2.1.1] 凡七曜見吉凶。皆應於人間。若各星廟旺升降。或在本宮或在分定度數或在三合或順或逆。一切皆應驗於人。若在廟旺本宮。主其人高貴。若在降宮。則其人低微。若在升宮。主其人發達。遇吉星必吉。凶星必凶。若星順行。主諸事順遂。若星逆行。則凡事顛倒。不遂意。一切星象皆照此例推之。

[2.1.2] 蓋天上白羊等四十八象。每一象。地下必有一物象應之。地下之象。應上象之吉凶。凡交新年。必有安年命之理。太陽交白羊宮初秒。看此時東方。是何宮度出地平環上。將此宮度。便作安年命度數。

[2.1.3] 若安年命在定宮。一年禍福皆依此宮。分斷之。定宮者金牛宮獅子宮天蠍宮寶瓶宮是也。若年命在二體宮。此年禍福只斷得上半年。候太陽交天稱宮初秒時。又看是何宮度出地平環上。安下半年之命。却斷下半年禍福。二體宮者陰陽宮雙女宮人馬宮雙魚宮是也。若此年安命在轉宮者。則分於四季。初斷春季禍福。待太陽至巨蠍宮初秒時。看是何宮度出地平環上。即是安夏季之命。太陽至天稱宮初秒。看是何宮度

出地平環上。即是安秋季之命。太陽至磨羯宮初秒。看是何宮度出地平環上。即爲安冬季之命。每季禍福皆依安命宮分斷之。

[2.1.4] 凡一大聖人或大賢人出世。即將本年年命宮爲主。斷其吉凶。若看人主之命。不得知年月日時者。即看入城之時。或登位之時。是何宮度出地平環上。即安命宮以斷其終始吉凶。

[2.1.5] 若太陰與太陽相會相衝或在二弦。呼爲四柱。

[2.1.6] 若吉星在太陽光下。或逆行。則減吉。若凶星在本宮。或在廟旺宮。或在分定度數上。則凶不爲凶。

[2.1.7] 凡四¹²柱。主成全創立之事。顯驗有力。若四輔柱宮分。則望事欲成。創立顯驗之事。并氣力。皆減半。若四弱柱宮分。則凡事曾¹³登不成。全無氣力

第二門 論上下等第應驗

[2.2.1] 凡論人間禍福。看本年安命宮。七曜中最旺的星辰爲主。將當年禍福。從旺星上斷說。若命宮是定宮者。斷一年之禍福。若命宮是二體宮者。將禍福上下半年斷之。若命宮是轉宮者。將禍福四季斷之。

[2.2.2] 若要知國家一歲之事。其安年命在晝者。看太陽并第十宮并第十宮主星。若安年命在夜者。看太陰并第十宮并第十宮主星。若要知民間一歲之事。看安年命宮。取最¹³旺有力之星并太陰爲主。若論臣宰并吏人公使人等。看水星。若論賢德君子之人。看木星。若論有名望故家并老人農人。看土星。若論軍官軍人軍器并一切軍務。看火星。若論陰人樂人。看金星。若論快行人并使臣。看太陰。

[2.2.3] 已上看各星辰衰旺。斷其人吉凶。若論人身體安寧。看本星得本體之力。若論官貴興旺。看本星得相助之力。若論福祿并財。看本星兼得本體相助之力。若論經商財利。看第二宮。又看第二宮主星。又看福德箭在何宮并宮主星。已上各星。與命宮。或命宮主星相照者。各得順受之力。

[2.2.4] 若太陽入白羊宮或巨蠍宮或天稱宮或磨羯宮初度。看此時各星。除相衝外。但照廟旺宮度數者。此季主高貴興旺吉。

¹²P add. 正

¹³P 數

[2.2.5] 若福德箭。并聰明遠識出衆之箭。其宮主星并三合宮主星。在有力吉位。又互相吉照者。諸事皆吉。若已上星在無力位分。又與各星惡照者。諸事皆不吉也。

[2.2.6] 聰明遠識出衆之箭者。主君王志氣識見方略。若此箭在吉照旺宮。則行事聰明皆全。若在凶照弱宮。則行事聰明不全也。若年命第九遷移宮。有一二星。係廟旺。或三合。或分定度數。則其年人多出外。

[2.2.7] 凡地理分爲七界。每一界分一主星。從南起。第一界。是土星。第二界。是太陽。第三界。是木星。第四界。是金星。第五界。是金星。第六界。是太陽。第七界。是火星。

[2.2*] 看其年安命宮在何處。各星中何星有力強旺。則其界人諸事皆吉。若其星無力衰敗。則其界人諸事皆不吉也。

[2.2.9] 凡當年安命在何宮何度。看命前宮分有何吉凶雜星。從安命度上數起。依太陽所行中道。每一日五十九分八秒。看幾日。到前項雜星上。吉星。則諸事皆吉。凶星。則諸事不吉。應在其時。

[2.2*] 假若安年命在獅子宮第十度。有一吉雜星在雙女宮第十二度。相離安命處三十二度。從命度數起。三十二日有零。至其處。當有吉應。餘同比例。

[2.2*] 又看當年七曜在命前後何宮何度。亦從安命處數起。該幾日到其星處。則應其星吉凶。如木星則應賢德君子。土星則應農人老人之類。

[2.2.10] 若看君主登位時。東方是何宮分度數出地平環上。將此作命宮。又看命宮度數并主星并太陽太陰在何宮分。又看命宮出地幾度。對黃道的赤道度數幾度。看命宮前有何吉雜星。及看吉星出地幾度。對黃道的赤道度數幾度。其命宮赤道度數與雜星赤道度數多寡不同。將多者配少者之數。余剩幾度。一度准一年。該幾年至吉星之度。則其年大興旺也。若此星係雜星內第一等第二等吉星者。主開拓疆宇。爲福甚大。若雜星係凶星者。則心神不寧。又多憂慮事不如意也。

[2.2.11] 若安年命宮數至小限在何宮分。看此宮分有何星。假如此宮分有土星。則年尊位高者有災。若有木星。則臣宰賢德有學之人災。若有火星。則軍官軍人災。若有金星。則陰人災。若有水星。則吏人災。若有太陰。則陰貴人災。

第三門 說災禍征戰之事

[2.4.1.] 先看交年命宮并四季命宮，坐何宮分。若火土二星相衝，或二弦照，則有災禍征戰之事。若此二星在四柱宮，則其事尤大且急。若不在四柱上，看離四柱內一柱幾度，或二星內一星行到四柱內一柱上或四柱內一柱度數排到二星內一星上，則其禍應驗，每排度數，一日該五十九分八秒。

[2.4.2] 若安年命宮之時，火星在太陽光下，則其年有災禍征戰之事。若每季安命宮時，火星在太陽光下，則其季有災禍征戰之事。若太陰與太陽相會或相衝時，取一命宮，此時若火星在太陽光下，則其月有災禍征戰之事。相會時，應上半月，相衝時，應下半月。假如在四柱或轉宮，則災禍征戰之應更甚且大也。

[2.4.3] 若安年命在晝，火星與太陽相衝或二弦照又在轉宮，則小人反叛。

[2.4.4] 火星若是當年主星，又逆行到不得力至弱宮度，又無吉星相照，則必有姦人詭計，侵亂國政，因此兵興。

[2.4.5] 若火星當年與福德箭并聰明遠識出衆之箭或相衝及四柱照者，則有惡人生發戰爭¹⁴之事。

[2.4.6] 又云征戰之事，取兩箭之法，一爲征戰之箭，二爲殺戮之箭。第一征戰之箭者，取用之法，不分晝夜，看年命星盤，太陽在何宮度，從太陽所在宮度上數起至第七宮，計幾度，將年命度數合爲一處，總計多少，從命宮分與三十度，財帛等宮各分與三十度，至何宮分，餘剩幾度，便是征戰之箭。第二殺戮之箭者，取用之法，不分晝夜，看當年火星在何宮度，從火星數起至太陰幾度，又將太陽所行度數合爲一處，總計多少，從太陽所在宮分，分與三十度，以次順數，每宮各分與三十度，到何宮分，餘剩幾度，便是殺戮之箭。若安年命宮內或四季命宮內或朔望命宮內火星與二箭內一箭相遇在一處，又兼其宮分屬火，亦應其時災禍征戰。若在其餘宮分，亦應其禍比上減輕。若火星與太陽相衝或二弦照或與太陽所到宮分主星相衝二弦照者，看其三合在何處，則其處地方聲息，君上之心不寧。

[2.4.7] 又一說，看人君命宮，或入城時安命宮或登位時安命宮，看小限到何宮，從小限數至第

十宮，若火星在四柱惡照者，則有刀兵征戰。

第四門 說天災疫病

[2.5.1] 先定當年安年命宮，又當年交年之前太陽與太陰相會或相望時，取一命宮，看此二命宮并命主星，俱要看太陰，若二命宮并命主星并太陰六件，皆居吉位，又無凶星相照，主其年人民安樂無病。若此六件內吉多凶少，亦主安樂。若此六件不得地，又有惡星相照，其年必有天災，人多疾病，此是安年命如此，其四季每季命宮亦依此例。

[2.5.2] 若年命宮主星與第六宮主星相遇相照，太陰又不得地，其年必有天災人病，其太陽與太陰相會或相望時命宮及四季安命宮，亦同此例。若年命宮主星與第八宮主星相遇相照，太陰又不得地，其年人多死亡，凡人病因各星與太陰惡照而然。

[2.5.3] 若土星與太陰惡照，則有久病，淹連歲月，肌肉羸瘦，痞滿，又婦人小腹氣疾，蠱證，一切冷燥證候。

[2.5.4] 若木星與太陰惡照，則有肺病喉證中風昏暈頭疼心疼一切風證。

[2.5.5] 若火星與太陰惡照，則發熱并肝胃證候并吐血及婦人墮胎并一切熱證。

[2.5.6] 若金星與太陽惡照，則心氣疼腎經病虛腫浮游不定痔瘡服藥不効之疾及一切濕證。

[2.5.7] 若水星與太陰惡照，則有心風失智恍惚驚恐從高墜下暗風喉痛吐血一切乾燥之證。

[2.5.8] 若太陽與太陰惡照，則與火星性同，若太陰自不得地，別無各星惡照，則同金星之性。

[2.5.9] 若土星與福德箭或聰明遠識出衆之箭惡照者，則一切人災與上文土星與太陰惡照災同。

第五門 說天時寒熱風雨

[2.6.1] 凡太陰先與一星相照，及相離後別與一星相照後相照之星却是太陰所在宮主星，此星所在宮分，又與太陰宮分相對，主潤澤并風，如太陰離火星與金星相照，或離太陽與土星相照，或離土星與太陽相照。

[2.6.2] 太陽木星水星屬風，其宮分則陰陽申，天稱辰，寶瓶子，皆屬風。

[2.6.3] 若年命星盤是火宮，土星在內，則減熱，火星在內，則添熱。若年命星盤是土宮，土星在

第二類

內，則添寒，火星在內，則減寒。若年命星盤是風宮，土星在內，則減熱，火星在內，則添熱。若年命星盤是水宮，土星在內，則添寒，火星在內，則減寒。

[2.6.4] 若太陽木星水星或三星或兩星在風宮，則多風。若近安年命之前或近四季安命宮之前或近朔望安命宮之前七曜內一星在申子辰宮或與申子辰宮相照，則多風，看星何性，其風隨其性也，觀風自何方來，看本星緯度屬何方。

[2.6.5] 若火星在其宮，則有惡風，天色紅雲氣，若土星在內，則風不急而寒，若木星在內，則有和風，比土星之風微急，若金星在內，則和風帶潤，若水星在內，則有清風。

[2.6.6] 若太陽在陰陽宮，太陰在人馬宮，看此時有和風，則一年之風皆善，若有惡風，則一年之風皆惡。

[2.6.7] 若土星在申子辰或亥卯未宮分內，主天寒雨雪霧暗，若火星在內，主天熱并熱風，又主天旱井泉水少，若木星在內，則有和風，若金星在內，則和風不急，若水星在內，則清風頻轉方位。

[2.6.8] 若近安年命宮之前，或近四季安命之前，或近朔望安命之前，土星在寅午戌宮分內，則減熱，若在亥卯未宮分內，則天氣極寒，若火星在寅午戌宮分內，主天色極熱，若在亥卯未宮分內，則天色減寒，若太陽交巨蠛宮初度，此時火星先太陽出，主天色極熱，若太陽交磨羯宮初度，此時金星先太陽出，主天色極寒。

[2.6.9] 若太陰與土星同度後離了土星，在巳酉丑三宮內，主冬季天極寒，有雪，若太陰與火星相衝後離了火星，火星又在寅午戌宮分內，主夏季極熱。

[2.6.10] 若太陰在安年命或四季命宮或朔望命宮，太陰與太陽相會時或二弦時或相望時，遇火星後離了火星，又遇金星，或先遇金星後遇火星，主雨水多，若太陰在巳上四處，遇土星後離土星，却遇太陽，主夏季極熱，冬季極寒，若太陰在巳上四處，與土星相照，主冬季極寒，多雪，若在夏季，主減熱，若太陰與木水二星相照，則多風。

第六門 說陰雨濕潤

[2.7.1] 凡雙魚亥，巨蠛未，天蠋卯，三宮係水局，

獅子午，寶瓶子，二宮并太陰，皆主大雨水，金星亦主雨并霧露，水星主雲風微雨。

[2.7.2] 若當年安命主星并四季安命主星并朔望命主星是太陰，或金星，或水星，又在亥卯未子午宮分內一宮，三星內一星爲命主星，二星與之相照，主依時雨水多，若命主星是太陰，主大雨水，多且廣，若命主星是金星，則有風雲陰暗雨水，若命宮主星是水星，則風雲多雨少，若已上星在所在位分不係作雨時節，則陰暗風起微雨。

[2.7.3] 凡水星，每交一宮，主天色更改，晴則陰，陰則晴，若水星行遲時，不問在何宮分，亦主天色更改并陰霧，若水星行遲，或太陰或金星在亥卯未宮，主雨水連陰。

[2.7.4] 若太陰在水星宮分內，與金星相照，主雨多陰重，若水星又與金星相照，則陰雨又大且多。

[2.7.5] 凡太陰金星水星初交亥卯未三宮，主及時雨，若不當雨時，則天昏暗風起揚塵。

[2.7.6-7*] 若太陽太陰相會，或相望時，安命主星，與第七宮主星相照，或移光相沾，或聚光，似此，亦主雨時有雨，不當雨時，則天暗起風，熱時則極熱，冷時則極冷，又云，若太陰與金星火星相照，主雨，若太陰與木星水星相照，則風，若太陰與土星相照，則極寒風雪。

[2.7.8] 凡金星後太陽而入，在亥卯未三宮內一宮，主當雨時有雨，若又有太陰水星相照，主有雨尤多，但一件不全，則雨稍減。

[2.7.9] 若此三星皆在雙魚亥宮，或亥宮三合內，則雨多，有水災，甚廣，凡太陰主雨水之事甚多。

[2.7.10] 一件，若太陰行疾，度數漸增，則雨水多，又一件，太陰或近朔或近望時，亦主雨水，又一件，太陰在小輪上，自下往上升高時，主雨水，從上弦至望日，是太陰升高之時，從下弦至朔日，亦是升高之時，若安年命宮，或四季命宮，或朔望命宮，太陰在四柱上，主大水，年命見之，應在其年，四季命宮見之，應在各季，朔望命宮見之，應在其月朔係上半月，望係下半月。

[2.7*] 若太陰在當年安年命宮星盤內第十宮第九宮第八宮第四宮第三宮第二宮六陰宮分，主多大水，若在此六宮相對宮分係陽宮，主雨水少。

[2.7.11] 若當年命宮主星是火星，遇太陰金星水星在亥卯未宮分，與火星相照，火星又在第十

¹⁴P 爭戰

宮。或在命宮。第十宮又或是亥卯未宮分。主無限大水。若金星水星又是逆行。又遇惡星相照。則水災尤甚。若安年命宮主星是土星。如此。土星又當降下之時。亦主大水。若安年命宮主星是金星或木星或太陰。如此。亦主雨水頻。比上文稍減。不爲災。

第七門 說天地顯象之事

[2.3.1] 凡天上所顯之象。與地上所應之事。如地震山移等事。若火星在安年命第十宮或四季命并朔望命第十宮。主天上有紅氣如火并彗星。若第十宮是風局。主已上所應之事愈重。又兼水星與火星相會或相衝。則已上所應之事尤重。若此時火星與太陰惡照。則已上所應之事亦重。

[2.3.2] 若土星在安年命。或四季命。或¹⁵朔望命。第四宮。主天色黑暗并地震。若第四宮是土局。此事愈重。若土星與水星同度或相衝。則已上所應之事亦重。若太陰與土星惡照。則已上事亦甚重。

[2.3.3] 若火星在小輪上升上時。則彗星顯大。若土星在小輪上升上時。則天暗。地震甚重。

[2.3.4] 若火星在安年命或四季命或朔望命內第四宮。又是土局。無吉星與之相照却有水星相照。則地上有火災并地震地裂廢鑛。

[2.3.5] 若安年命。或四季命。或朔望命內第十宮。是風局。或火土二星在此或太陰在此與惡星惡照。則彗星甚大如火。又流星多。若此第四宮。是土局。又有惡星惡照。又太陰在此。則天暗地震。

第八門 斷說天象

[2.10.1*] 凡彗星有四等。第一等尾向上指。第二等尾向下垂。第三等其象似鎗竿。第四等其象似鬚髮身細頭大。其星之性與水火二星同。若此等彗星見時。世上所應之事有刀兵征戰火災地震等事。然其事亦有輕重。按宮分說所應方位。若在寅午戌宮分上顯時。應在東北方。若在巳酉丑宮分上顯時。應在東南方。若在申子辰宮分上顯時。應在西南方。若在亥卯未宮分上顯時。應在西北方。若此星東出地平環上。微升高者。所應之事止在東方災禍微輕。顯驗在近。過疾。若西方見者。其應亦如此。但過遲。若此星升高到午

位前者。其應驗寬大。若太陽東出西入時。晴朗無雲翳者。主清明。若太陽東出西入時。有雲霧遮掩。或雲色不等。圍繞太陽。及太陽色紅似火。光顯長者。必有狂風。若色黑青¹⁶又有雲氣。又太陽周圍有暈者。則天色陰暗霧雨。

[2.10.2] 若太陰朔望之前三日或上下二弦之前三日。近太陰周圍清淨無雲霧氣色者。主天色清明。若太陰色紅光環不定。則有風。若色黑暗青。則天陰有雨。

[2.10.3] 若雜星比常時明朗顯大者。必有風。

[2.10.4] 其星光偏一邊者。應其方有風。若星光四散者。有亂風。

[2.10.5] 若虹見在天晴時見者。主雲起有雨。若天陰時見者。主清明。

第九門 說物價貴賤

[2.8.1] 凡物價貴賤。看各月朔望安命宮主星。最緊要的是當年安命之前朔望命宮。并四季安命之前朔望命宮。又看命宮主星。又看太陰。

[2.8.2] 若宮分是土局。主一切五穀之類。若宮分是水局。主一切水中所產之物。若宮分是火局。主一切鑛中所產之物。若宮分是風局。則干係奴僕六畜之類。

[2.8.3] 凡七曜。土星主烏香瀝青。但藥材黑色¹⁷者。木星主五穀并一切味甜之物。金星與木星同。又主銀并婦人首飾。香貨。奴僕。火星主一切辣物。兵器。水星主金并一切花樣之物。及淺色之物。太陽與水星同。太陰與金星同。已上各星若力重。又在本輪上往上升時。及出地平環往上升時。主所屬之物貴。若各星力弱又在本輪上降下。及西落時。則所屬之物賤。

[2.8.4] 若木星在當月朔望命宮內。又有力。又與朔望命宮主星相照。或金星相照。命宮第四位宮主星有力。無凶照。第二宮主星與命宮主星吉照。主百物豐阜。值賤。若此朔望命宮在安年命之前。則一年物賤。若在一季之前。則一季物賤。若宮分星曜異此。則百物皆貴。

[2.8.5] 若太陰朔望與土星相照。土星在小輪上升高時。主百物皆貴。若又有水星與土星相照。則物添價湧貴。如土星在土局。則五穀之類貴。土星在水局。則魚鱉之類貴。在火局。則一切鑛中之物貴。在風局。則奴僕六畜之類貴。

¹⁶P 青黑

¹⁷P 色黑

[2.8.6] 若安年命宮主星在四柱內一柱上。又行疾比前度數漸增。則物添價。若在命宮。物貴。在春分至夏至。若在第十宮。貴在夏至至秋分。若在第七宮。貴在秋分至冬至。若在第四宮。貴在冬至至春分。

[2.8.7] 若太陰或朔望命主星看二星何者有力。其有力之星在命宮或在第十宮或第十一宮或在第五宮又在分定度數上或在三面度數上。又比前行度增。或在廟旺官度上。或與一星相照。是增價之星。則諸物增價。此二星。若在第四宮并第七宮。或第四宮第七宮中間。相遇一星。其星有力。則物價不增。人買者多。若此星無力。則物價不增。人買者少。若有力之星在第三宮第九宮強旺。則物價減。賣疾。若其星無力。則物價減。又賣遲。

[2.8.8] 凡木星主物價賤。若無力時。極賤。土星主物價貴。若又在廟旺有力處。則愈貴。若土星在四柱內一處。又在升上時。主物極貴難得。若在分度數上并三面度數上有力處。則物實快。

[2.8.9] 若安年命宮四柱上并四季命宮四柱上何星所管有力者。其星又在本輪上升高處。又在分定度數上。則其星所屬之物貴而稀少。若本星行疾。則物愈貴添價難得。若行遲。則物亦少其價不增。若行度又減時。則物依前稀少。却減價。

第十門 說日月交食

[2.9.1] 凡日月交食。其應一同。但太陰所應之事稍輕。太陽所應之事重。其說有七。第一。說應各處地方城池。第二。說災禍日期多寡。第三。說災禍最重處在何時。第四。說五星中是何星主虧食之災。第五。說應在何人物上。第六。說應何等災禍。第七。說禍應有多寡。

[2.9.2] 第一說應各處地方城池者。凡各處城池創立之時。定一安命宮。以安命宮爲主。看日月虧食在何宮分。其宮分屬何局。其宮分下屬何處城池。其禍應於彼處。

[2.9.3] 若不知各城池安命宮時。看日月虧食在何宮分。是何局。其局屬何方。其禍應於彼。上古人多體驗來。如一城池命宮屬白羊宮。其年日月虧食在白羊宮分。則災禍應在白羊宮所屬城池。其餘一體推之。

[2.9.21] 第二說禍應日期多寡者。凡日月虧食。看初食時至生光時時刻多少。若太陽虧食。每一

時准¹⁸一年。其禍應在一年之內。若太陰虧食。每一時准一月。其禍應在一月之內。

[2.9.22*] 第三說災禍最重處在何時。看日月虧食分數至極處。是正食。看初食時至食盡時幾箇時辰。太陽一時准一年。太陰一時准一月。應在其時。

[2.9.23] 第四看虧食在何宮分。看此宮主星。又看虧食安命宮并宮主星。看二星何者力強。若二星力同。以虧食宮主星爲主。安命宮主星相助。若安命宮主星力大。將此星爲主。其餘星。比此星力微少者爲助。若雜星內有一星在虧食宮分度數上。或在安命宮分度數上。或在安命星盤第十宮。并五星中有一星。先太陽出地平環微高者。又看土木火三星。在順行時。將已上有力星。或一星。或二星。或雜星內一星。作虧食之主。

[2.9.24] 第五說日月虧食。應在何人物上。看取用主星在何宮分。又看宮分是何體象。其禍應在其象上。

[2.9.25] 若在陰陽宮雙女宮天稱宮人馬宮上半宮寶瓶宮。此五宮。應在人事上。若在白羊宮金牛宮磨羯宮。此三宮。應在六畜。若在巨蠚宮雙魚宮。此二宮。應在水中之物。若在天蝎宮。其應在蛇蝎蜈蚣等類。若在獅子宮。其應在猛獸之類。

[2.9.27] 若其宮分有一雜星。按何等之象。其應在其象上。其象在黃道南。則有大風雨水大。其象在黃道北。則地震并地裂地陷。

[2.9.26] 若虧食主星在土局內。其應在土中一切所產之物。若在風局內。應在人事并六畜。若在水局之內。應在水中之物。若在火局內。應在金銀銅鉄等鑛。并寶貝之類。

[2.9.28] 若虧食主星在白羊宮。應春季所產之物有損傷。若虧食主星在巨蠚宮。則夏季一應所產之物有損傷。若虧食主星在天稱宮。則秋季一應所產之物有損傷。若虧食主星在磨羯宮。則冬季一應所產之物有損傷。

[2.9.29] 若虧食主星在白羊宮。或天稱宮。其災禍應在寺觀菴院。若虧食主星在巨蠚宮或磨羯宮。則人之性格改移不定。

[2.9.30] 若虧食主星在定宮者。應人間房舍損壞。若虧食主星在二體宮者。應在人事上。日食則關係君王。月食則關係后妃并臣宰。若虧食主星在轉宮者。其應在庶民并小人輩。

¹⁸P 準 passim.

¹⁵P 并

[2.9.31] 若太陽虧食主星在西入時，太陰虧食主星在東出時，已上所言災禍減輕。若虧食主星與太陽太陰相衝時，已上所言災禍減半。若太陽虧食主星東出，太陰虧食主星西入時，已上所言災禍應重。

[2.9.32] 第六說應何等災禍，看虧食主星是何星，依其星之性斷之。若二星三星者，將各星之性相合斷之。

[2.9.33] 若虧食主星是土星者，主極寒傷百物，論人事，則人多害冷證，纏綿日久，并愁悶恐懼，論六畜，則有災病損傷，論天色，則極寒結凍天昏雲暗，天氣不正，人多災，因此地下生傷人之物，如蛇虫之類，論水類，則主江河湖泊，泛漲傷物，海中惡風損船。

[2.9.34] 若虧食主星是木星者，主萬物滋長，人事高貴安寧，諸物價賤，食用豐足，六畜蕃息，天氣平和，江河不溢。

[2.9.35] 若火星是虧食主星，則燥熱傷物，人事中有爭鬭征戰，人患卒證，暴死，瘟疫，熱病，吐血，強竊賊人生發，天氣極熱，起熱風，雨少，井泉水缺乾旱，有火災，天色紅，流星多，海中有狂風傷船，五穀果木之類，亦有損傷。

[2.9.36] 若虧食主星是金星者，其應如木星之應，又人事中得陰人，濟人之所好，亦多偏於陰人，多成全婚姻之事，人添子嗣，天色清朗明潤，江河水增。

[2.9.37] 若虧食主星是水星者，看與何一星相照，隋相照之星性情，若不遇星照者，比別星起多事，論人事，則性急有機變，能知未來之事，又強竊盜中，發謀造意，人生乾燥病證，如常發熱咳嗽，怯弱吐血，論天色，因本星性躁，動靜輕，必有狂風雷震霹靂地動，一應孳畜有傷。

[2.9.38] 第七說禍應有多寡者，何以知之，日食時看日月相會是何宮分，月食時看相望是何宮分，相會與相望時是何命宮，又看虧食主星在何宮分，若虧食主星是吉星，又與上所言宮分吉照者，已上所言災禍雖應稍少，若虧食主星是凶星，又與宮分惡照者，已上所言禍應凶重，又一云，若虧食主星，與上文所言宮分相照，先太陽從東出或留者，目下災禍增，若與宮分相照，西落或逆行或與太陽相衝，則已上所言凶禍減。

[2.9.39] 又交食在各人命宮四柱內，則所臨之處有災，假若在人命宮，則本身有災，在第十宮，則官祿事不順，在七宮，則妻妾有災，在第四宮，

則田宅耕種有損傷。

[2.9.40] 又各人安命星盤，看太陽在何宮分，若此宮分內日食，或太陽所在宮分相衝處日食，則其人必有災禍，或太陰所在宮分內日食，或太陰所在宮分相衝處日食時，其人亦有災禍。

第十一門 說土木二星同度相纏

[2.11.1*] 上古陰陽人取用一法，斷天下吉凶之事，其法說土木二星同宮同度，土星行中道近三十年一周天，木星行中道近十二年一周天，似此二星行二十年一次同宮度，何則，土星二十年行八宮，木星二十年行一周天又行八宮，第九宮二星同度相纏，又行二十年，又同度相纏，先從火局起次至土局，次至風局，次至水局，每一局十二次同度，或十三次同度，然後交別局。

[2.11*] 土星行中道二十九年一百一十五日十五箇時辰零三十四分行一周天，木星行中道十一年三百一十三日六箇時辰零一十八分行一周天，土木二星同宮同度時一十九年三百一十四日一十四箇時辰零一十七分相遇一處，此為一次相會，十二次計二百三十八年一百一十四日零一十四分，若十三次，計二百五十八年六十四日零三箇時辰。

[2.11*] 假如二星初與同度時，是火局從白羊宮初度起，第二次又是火局，在人馬宮第二度二十五分，第三次又是火局，在獅子宮第四度五十一分，第四次又在白羊宮，第五次又在人馬宮，第六次又在獅子宮，似此，相會十二次，或十三次，然後交土局，土局第一次，在金牛宮，第二次在磨羯宮，第三次在雙女宮，似此相會十二次，或十三次，然後交風局，風局第一次在陰陽宮，第二次在寶瓶宮，第三次在天稱宮，似此相會十二次，或十三次，然後交水局，水局第一次在巨蠍宮，第二次在雙魚宮，第三次在天蝎宮，似此相會十二次，或十三次，前後共四十九次相會，第四十九次是雙魚宮二十八度四十一分，相會皆遍，然後又從火局起，第一次，却在人馬宮第一度七分，餘依前例推之，此是陰陽家緊要之理。

[2.11.2*] 自古以來一切禍福皆從此斷，凡斷禍福必取一命宮，若將土木二星同宮同度時取一命宮，緣二星行遲，恐不得準。

[2.11.3*] 只將二星同宮同度之年安命宮為主。

[2.11.4*] 其同宮同度之故云何，二星行中道，

土星小輪與木星小輪正相對時謂之同度，此二星內看何星在小輪最高處或近小輪高處，以其星為旺為主，若木星為主，則天下安寧，年歲豐稔，有福祿善事，若土星為主，則歲歉事務不成，人多憂愁。

[2.11.5] 却看當年安年命宮內何星最強旺有力，若是木星，主年歲豐稔，人皆安寧事務順快，若是土星，則年歉災傷人多愁悶，事務不順，若是火星，則盜賊生發，刀兵征戰，及國政枉民，有火災，若是金星，則陰人事盛，人間有喜樂婚姻音樂等事，若是水星，則吏人經商技藝等吉，若是太陽，主國家興旺，一切事務皆吉，及大小貴人皆利於仕，若是太陰，則人民安樂，凡事皆吉，各處有好音至，已上所言一星強旺有力者如此。

[2.11.6*] 若二星強旺有力者，將二星之性相合，斷之，如太陽與木星皆有力，主國有善政，四海安寧，若太陽與火星皆有力，則國家失政，民多受害，若太陽與土星皆有力，則與火星有力同斷，若太陽與金星皆有力，則國家荒淫酒色音樂極樂之事，又陰人所事吉，若太陽與水星皆有力，則君主明聖，識見遠大，語言文學皆進益，若太陽與太陰皆有力，則各國來朝，萬民感戴，若金星與土星皆有力，則陰人淫亂，小口有損，若金星與木星皆有力，主安樂豐足，貴人吉，又陰人吉，人間行善事，若金星與火星皆有力，則陰人淫亂，若金星與太陽皆有力，如上文所言太陽與金星皆有力同，若金星與水星皆有力，則人多好音樂詩辭等事，若金星與太陰皆有力，則多添子嗣，有喜信，若水星與土星皆有力，則多生奸詐妄談是非，若水星與木星皆有力，則多行善事，好學明理性，又利經商，若水星與火星皆有力，如上文所言，水星與土星皆有力同，若水星與太陽皆有力，如上文，太陽與水星皆有力同，若水星與金星皆有力，如上文金星與水星皆有力同，若太陰與土星皆有力，則生謠言驚恐，人多憂懼，諸物湧貴，若太陰與木星皆有力，則人間安寧，利出外，四方有好音，人多行善事，若太陰與火星皆有力，則有爭鬭詞訟妄言，多生疾病，若太陰與太陽或金星或水星皆有力，各與上文所斷同，若木星與土星或火星皆有力，則善人改常為惡，若土星與火星皆有力，則有征戰，創生一切惡事，已上將土木二星同宮度，并當年安年命宮為主，斷其禍福在前。

[2.11.7] 若論人品，已說見第二門，隨各星所

關係之人應驗，但此應驗比前說，年歲遠又大。

[2.11.8*] 若論禍福初起時，先從土木二星同宮同度宮分，并¹⁹當年安年命宮分起，第二年論第二宮，第三年論第三宮，至十二宮畢，第十三年又從兩命宮起，依前排去。

[2.11.9*] 又看二命宮主星，并逐年流年安年命宮主星，與吉星照，或凶星照，於此詳其各星強弱，以強旺者為主，斷其各年吉凶。

[2.11.10] 又看土木二星同宮同度，并安年命宮主星，何星有力廟旺，又有吉星相照，則尤有力，如此主王者出世，其性依旺星之性，若旺星在四柱上或四輔柱上，則後代子孫中不當得位者出而奪之，若在三宮或第六宮或第九宮或第十二宮，則應外人起而奪之，若強旺之星是土星，出世之人年老見識遠大，亦主故家，若是木星，主其人有學有德，若是火星，主其人性剛好殺，若是金星，主其人性善修德，若是水星，主其人能言語多機謀，若是太陰，主其人家富且貴，又有才能，若是太陽，主帝王興旺，諸國來降，凡土木二星同宮度所應之事，已云於上。

[2.11.11] 要知其人何時出，應看當年安年命宮度數至二星同度處計幾宮幾度，或看當年安年命宮度數至強旺星所在度數計幾宮幾度，每一宮該一年，每一度該一十二日餘六分之一，却看其人出應之年，將本年命宮為主，又將土木二星同宮度之年，安年命宮小限參看，其人一切吉凶，依此二宮推之，凡土木二星二十年一次同度，禍福應驗，其最應驗處在二百四十年交局時。

第十二門 說世運

[2.12.1] 凡世運有兩等說，第一等說，推算取用，上古智人，曾推究一切天下大事，斷決精詳，名曰世運，凡一運該三百六十年，每一年分四季。

[2.12.2] 春季初起處，依曆法所定，太陽在雙魚宮二十度一十四分，太陽正行，在磨羯宮初度，即太陽極增之數，太陽中行，在雙魚宮一十八度，將極增數，二度一十四分，添入中行度數內，合前曆法之數共二十度一十四分，自此太陽漸漸上升，此春季之數也。

[2.12.3] 夏季初起處太陽到陰陽宮一十八度，太陽正行在白羊宮初秒，此處無增，似此太陽中行，則是曆法一十八度之數，此為太陽在最高處，

¹⁹P 並 passim.

[2.12.4] 秋季初起處太陽到雙女宮一十五度四十六分。太陽正行在巨蠍宮初秒。到此爲至增處。太陽中行在雙女宮一十八度。將極增數二度一十四分。於中行數內減去。合前數一十五度四十六分。至此後太陽漸漸下降。

[2.12.5] 冬季初起處太陽到人馬宮一十八度。太陽正行在天稱宮初秒。至此數亦無增。此數合前數一十八度。此爲太陽最低處。

[2.12.6] 自春起度數至夏起度數計八十七度四十五分。自夏起度數至秋起度數亦八十七度四十五分。自秋起度數至冬起度數計九十二度一十五分。自冬起度數至春起度數亦九十二度一十五分。總計三百六十日。此是太陽地心外輪所行度數。依上古曆法一年分四季。將一運亦分四季。凡年一日准運一年。

[2.12.7] 上古智人先於洪水滔天時二百七十六年前。將土木二星同宮同度之年。作世運初起之首。其世運主星是土星。宮分是巨蠍宮。此一時土星正在巨蠍宮。洪水滔天正在此一運中。其行限每年交一宮。從巨蠍宮起次年到獅子宮。又次年到雙女宮。後以排之。是年行限亦到巨蠍宮。若論世運每²⁰一宮三十度。均分作三百六十年。每一年該度數五分。三百六十年後土星運滿。交木星主運。宮分是獅子宮。依上。主三百六十年。次交火星主運。宮分是雙女宮。[*]次交太陽主運。宮分是天稱宮。次交金星主運。宮分是天蝎宮。次交水星主運。宮分是人馬宮。次交太陰主運。宮分是磨羯宮。依上每運各三百六十年。又交土星主運。以次排去。

[2.12.8*] 每一運初起時。以太陽到雙魚宮二十度一十四分爲首。依着西域紀年六百一十五年間說。從世運初起時至此年計四千六百二十三年。以三百六十年爲一運除之。計一十二運。該四千三百二十年。餘三百零三年。係水星主運。已過三百零三年。初起時宮分是巨蠍宮初度。至六百一十五年間。是二十五度一十五分。小限每一年交一宮。水星主運初起時在巨蠍宮。至六百一十五年間。小限到天稱宮。七曜逐年交一星。初起時。是水星。至六百一十五年間。是土星。每一運分四季。每一季有一主星。

[2.12.9*] 不問何運。第一季是火星。與運主星同伴。第二季是太陽。第三季是水星。第四季是

土星。並與運主星同伴。凡世運并世運四季并當年各有安命宮。若取世運命宮。待太陽到雙魚宮二十度一十四分。看東方是何宮度出地平環上。就將此宮度爲世運命宮。

[2.12*] 其世運四季命宮。第一季并第二季每季該八十七年零二百七十日。第三季并第四季每季該九十二年零九十日。取命宮之法。與上同。

[2.12*] 若依着²¹上古。取世運安命宮并四季并當年安命宮之法。並看太陽到雙魚宮二十度一十四分。此時東方是何宮度出地平環上。即此是安命宮度數。

[2.12.10] 凡世運每運初起時。從雙魚宮二十度一十四分起。每一年排一度。三百六十年排滿三百六十度。又係交運。又從頭排起。凡排到一宮幾度處。看其度是何星分定度數。以其星爲主斷其吉凶。

[2.12.11*] 又看安世運命宮是何宮度出地平環上。將對黃道的赤道度數爲則數去。每一度該一年。只數赤道度數。看行到何宮度上遇着何星。以其星之吉凶斷其吉凶。若論小限時從命宮起一年交一宮。

[2.12.13] 第二等說。上文所言。已行詳盡。後論斷決之理。凡交世運或季運必有更改之事。若世運并季運主星皆吉強旺。又有吉星相助。主出世之人興旺福隆大吉。若世運主星已是旺吉。又有吉星相助。後季運內若有凶星相遇。終不能作凶。依舊興旺。若又一季運主星強旺有力吉。又有吉星相助。主國家福大。疆宇開廣。四海來朝。若又一季運主星凶弱。則國家不寧。有外境相侵。緣世運主星吉旺。終不爲凶。若一運內四季交遍。再交一運。其世運主星強旺有力。無凶星相照。并四季主星亦強旺。無凶照者。主國家依舊興旺。世祚長遠。若又交一運其世運主星強旺有力。無凶星相照。并四季主星亦強旺。無凶照者。主國家運祚綿遠。無更改。若世運主星凶弱。又有凶星相照。則其國家力小。事繁。外境相侵。擾攘不寧。若遇交季。其一季運主星又凶弱。又有凶星相照。則必有革命之事。若運主有力之星是土木火三星內一星。主外姓興起。其事業制度一切所爲並與前代不同。

[2.12.14] 若世運主星是金水太陰三星內一星。則更改只在本枝葉內。不屬外姓。却有刀兵爭競。

[2.12.15] 若世運主星是土木火三星內一星。在本宮或在廟旺宮。主國祚綿遠。一運之內。人壽長。一切事務皆堅久。如世運主星是土星在寶瓶宮。或在天稱宮。則是本宮廟旺。

[2.12.16] 若世運主星是金水太陰三星內一星。又弱無力。又在陷宮或在太陽光下或遇凶星。則國祚年促。凡事不久。人壽短。所作事業。微留蹟迹。

[2.12.17] 若世運主星是土木火三星內一星。在本宮或在廟旺宮。又那二星在世運主星宮分內。或在廟旺宮內。又與世運主星吉照。主國家疆土廣遠。四海一統。假如世運主星是火星。宮分是磨羯宮。火星又在磨羯宮。世運年命宮是白羊宮。木星土星又在天蝎宮。與火星吉照。火星順受土木二星則吉應如上所云也。

[2.12.18] 若世運主星強旺。又爲季主星。主世運一季內國家大興旺。若世運主星是土星。主國家興旺之福後勝於前。爲第四季主星是土星。又世運主星亦是土星。所以後勝於前也。

[2.12.19] 若世運主星并世季主星強旺。行小限到火星或與火星相衝四正照。又火星是當年主命星。其年有反叛刀兵起。十年方定。國家依舊。

[2.12.20] 若已上二運小限與火星相衝或四正照。在風局。火星又是主命星。又世運主星。亦在風局。主其年。天上顯妖象紅氣流星。地上有大火災。若已上二運行限到土星。又土星是主命星。在水局。主其年大水。若土星在土局。則其年地震地陷。若在風局。主天色極寒風雪大。

[2.12.21] 若世運主星是土星或火星。其宮分又是本星宮分。又小限遇凶星。則四方橫事起。其橫事最重處。在何城池。假若有日食。看日食宮分是何城池安年命宮。或第四宮或第七宮或第十宮或安年命時。太陽太陰所在宮分交食者。此處城池。已上所言災禍甚重。其應疾。又其年主命星是凶星。小限行到弱宮。太陰在命。又與凶星照。則已上所言災禍愈重。遠且大也。

[2.12.22] 凡一應大事更變。但看土木二星同宮同度時爲主。若交運之際。遇土木二星同宮度者最重。故凡事以此爲主。²²

天文書目錄

²²P add. 原註 回回曆開皇己未爲元。至明洪武甲子七百八十六算較差一百七十一年

第三類 凡二十門 說人命運并流年

第一門 總論題目

第二門 說人生受胎未生之前事

第三門 說安命宮度備細

第四門 說人生幼時皆有星辰照管

第五門 說人生相稟氣

第六門 說人壽數短長

第七門 說人內外病證

第八門 說人生性智識

第九門 說人風證病患

第十門 論人父母

第十一門 論人兄弟姊妹

第十二門 說財帛福祿

第十三門 說人生何藝立身

第十四門 說婚姻

第十五門 說男女

第十六門 說朋友并讎人

第十七門 說遷移

第十八門 說人壽終緣故

第十九門 說人生每一星主幾年

第二十門 說流年。并小限

付 星盤 小限流年度數表

天文書第三類

第一門 總論題目

[3.1.1] 凡陰陽之理專論禍福。若是吉星斷作吉。凶星斷作凶。

[3.1.2] 若各星吉照主身安諸事順快歡樂。若各星惡照則凡事艱難滯滯。若各星全順受者主一應事皆成就。若各星着中順受者。凡事亦成就。但着中。各星不在順受中。則一應所望之事皆不得成就。

[3.1.3] 凡事若遇吉星不敢便作吉斷。若遇凶星亦不敢便作凶斷。看遇吉星時又有吉星相助。遇凶星時又有凶星相照。然後斷其吉凶。遇吉星則事皆成全。遇凶星則事皆不成又凶。若吉星逆行或在太陽光下則不能爲福。若凶星順受者亦不爲凶。

[3.1.4] 凡四正柱爲有力能成全一切事。四輔柱則所望之事一半成就。四弱柱則一切事皆不成。

[3.1.5] 若一星先於太陽東出者與四正柱同。若一星後於太陽西入者與四輔柱同。若一星在太陽光下者與四弱柱同。若太陰與一星相照後離此一星主一切過去事。若太陰正與一星相遇

²⁰P 運

²¹P 著

或相照主一切未來事。又看太陰在何宮分將那宮分主星為主。斷一切結末之事。與人命宮第四位所主同。

[3.1.6] 若二星並行一星在前一星在後。其後者追及前星相遇。主一切創求之事。又命主星與第二宮主星相照主求財事。若第二宮主星遇命主星者。其財不求自至。

[3.1.7] 若吉星到陷宮或陷度則於好人處受憂慮。若凶星到廟旺宮度上則於歹人處得恩惠。若凶星到陷宮度上則於歹人處受害。若吉星到廟旺宮度上主吉人又遇吉人處有恩惠。

[3.1.8] 太陽最怕與火星同宮同度與土星相衝。太陰最怕與土星同宮同度與火星相衝。

[3.1.9] 若是凶星先太陽東出者其人有傷損。若凶星後太陽西入者其人累有災病或驟有患難。

[3.1.10] 太陽最怕火土二星東方先出。太陰最怕火土二星東方後出。凡人一切身體氣力皆太陽所主。一切稟性皆太陰所主。土星主收聚之力。木星主生長之力。火星主惱怒。金星主色欲。水星主思慮記性。

[3.1.11] 若人安命在天稱宮其妻安命在白羊宮主夫婦和順又且久遠。餘倣此。若人奴僕宮內是奴僕安命宮者主得奴僕之力亦順且久。

[3.1.12] 若二人安命宮同。一命有吉星一命有凶星。二人同交往。其吉星人受凶星人之禍。

[3.1.13] 若看人命宮主星。或財帛宮主星。或田宅宮主星。或官祿宮主星。專看強旺取用。其餘宮分主星。一體推之。

第二門 說人生受胎未生之前事

[3.2.1] 凡人初受胎時。精血相凝聚。其形如和成麵剂。甚小且圓。胎宮極熱。將外膚蒸乾。後爲胎衣。此爲成胎初變時。如五穀之粒種於地上。

[3.2.2] 其人稟性并氣力。皆定於受胎時。從受胎時則安箇命宮。上古陰陽人說。受胎後每一月有一星照。

[3.2.3] 初一月土星照。何則。精性寒潤稍遲。不輕改動。若土星其月強旺。主生人聰明誠實識見遠。與人和睦。

[3.2.4] 第二月木星照。其胎色變紅。似一塊肉。却有熱氣。比初微大。若此時木星在受胎命宮又強旺。主其人有才能文學。

[3.2.5] 第三月火星照。此時胎中心肝腦生成。

其餘肢體微顯迹。若其月火星強旺。主其人生而有力勇猛有膽氣。

[3.2.6] 第四月太陽照。此時胎身體全生成。微有力。天賦與性命活動。若太陽在受胎命宮。又當月太陽強旺有力。主其人至貴有機謀。

[3.2.7] 第五月金星照。其胎中毛髮皆生。規模已定。此時金星若在安胎命宮或強旺。主生人聰明美貌好奢華。

[3.2.8] 第六月水星照。其胎中舌動口開。若此時水星在安胎命宮或水星強旺。主其人有智謀有才能舌辯能言語。

[3.2.9] 第七月太陰照。此時胎中成人有力。若太陰在坐胎命宮或強旺。主其人好農種。若此月生者。養得成。

[3.2.10] 第八月又是土星照。土星性寒燥。以此胎氣重。兒氣脉昏沈。不如第七月精神。若八箇月生者。養不成。

[3.2.11] 九月又是木星照。木星性熱潤。主胎氣旺。兒有力。轉動。九月既足。胎氣全乃生。

第三門 說安命宮度備細

[3.3.1] 凡安命宮之理。即係創生之事。人生一切貧富貴賤壽夭賢愚。皆定於有生之初。當初生時。取一命宮。最爲緊要。若要知初生時辰。須用定時辰牌。待子生下地之時。若是晝間。即將定時辰牌。看太陽取則。若是夜間。看雜星取則。

[3.3.2] 時辰既真。然後安命宮度有準。斷說禍福無差。若用銅壺滴漏。亦不如定時辰牌之準。若無定時辰牌及銅壺滴漏者。別有法度取用。取用之法多有。今選出幾等可通用者。

[3.3.3-4*] 一等是先賢八替列本思²³說。若人口說箇時辰。未爲準的。或前或後。不過差二刻。且將此時辰。安箇命宮。又依此命宮。取箇四柱。將七曜宮分度數排定。却看當生人。在月半前生者。看太陽與太陰相會宮分度數。若在月半後生者。看太陰與太陽相望宮分度數。若相望時刻在晝。看太陽在何宮度。相望時刻在夜。看太陰在何宮度。看此相會相望宮分度數。屬何星強旺。若強旺星度數比四柱內一柱度數相同。則安命宮度數真了。若強旺星度數與四柱度數前後多少不同時。却將四柱內一柱度數與強旺星度數最近者取同。

²³ Ptolemaios.

[3.3.5*] 如強旺星二十度。四柱中一柱二十五度。將五度減去。與強旺星度數同。如強旺星二十五度。四柱內一柱二十度。將四柱中一柱增五度。與強旺星度數同。就此度數再安一命宮。似此定時辰真矣。

[3.3.6] 又一云。定受胎度數之法。先賢亦的里思²⁴說。若人生下時節。看太陰在何宮度。只此宮度。便是受胎安命度數。受胎安命時太陰宮度。則便是人生的安命度數。凡人懷胎有三等。日月有多有少。有得中的。最少者。是太陰行周天九遭半。計二百五十九日近一十三箇時辰。中等者。是太陰行周天一十遭。計二百七十三日又近五箇時辰。最多者。是太陰行周天一十遭半。計二百八十六日又近二十一箇時辰。

[3.3.7] 凡人生時。看太陰在地平環上。或地平環下。若在地平環下。從命宮數至太陰計幾宮幾度。若在地平環上。從太陰數至命宮計幾宮幾度。將此度數以太陰所行中道一晝夜行一十三度一十一分除之。看該幾日幾時。若太陰在地平環下。將此日時加於懷胎中等月日內。若太陰在地平環上。將此日時於懷胎中等月日內減去。此數正是懷胎月日之數。

[3.3.8] 將此懷胎月日之數。從生時日期。以大月日退除。到除盡時。則知是此時受胎。此受胎時太陰所在宮度與生時安命宮度同。則知此安命時辰真。或微有爭差亦同。但前後不過差一日。如前一日與命宮同。則用前一日。如後一日與命宮同。則用後一日。又看此時太陰東出地平環是晝是夜。若是晝時將那爭差的日辰。看太陽午時在何宮度。又看對黃道的赤道度數。又看太陰的赤道度數。將太陽赤道度數。於太陰赤道度數內減去。餘剩度數便是太陽東出時至太陰出地平環處度數。若是夜時看太陽子時在何宮度。將此宮度對衝的赤道度數於太陰赤道度數內減去。餘剩度數便是太陽西入時至太陰東出的度數。將已上度數。每十五度作一箇時辰。如太陽出地離太陰三十度。作兩箇時辰算。若在夜看太陽西入至太陰東出的度數。亦每三十度作兩箇時辰算。將此兩箇時辰。看太陰在何宮度。此宮度便是人生的安命宮度數。時辰真矣。已上兩說。或有不同。看兩說的度數。爭差幾度。將多的度數減半。添與少的度數。似此增減。則度數真矣。

²⁴ Yi-di-li-su (亦的里思) Idris?.

第四門 說人生幼時皆有星辰照管

[3.4.1] 凡人生下不能食乳者。三日之內不得活。何故。

[3.4.2] 爲太陽或太陰在四柱內一柱。遇火星或土星相衝或四正照。

[3.4.3] 或命宮前後有火土二星相夾。又無吉星相照者。所以不能食乳。三日之內不得活矣。

[3.4.4] 又云。晝生人看太陽。夜生人看太陰。在何宮度數。其宮度主星何星強旺。看強旺星。若是凶星或凶星照。似此與前一般論斷。又一說。人生下。要見養成與養不成。或止活得四歲者。何故。凡人生皆有星辰照管。其照管星辰數多。一箇是度主星。一箇是宮主星。又看太陽太陰。看福德箭。看三合主星。最緊要的。是三合主星。晝生人看太陽。夜生人看太陰。所說已上星辰。若在四正柱或在四輔柱。又在分定度數。又有吉星相照無凶星照者。所生人養得成易長大。若已上星辰在四弱柱。又不在分定度數。又有凶星相照者。所生人養不到長成。若已上星辰得其中者。看吉星旺。可以養成。若凶星旺。難以養成。

[3.4.5] 若初生三日。至七日。看太陰在廟旺宮。或有吉星照者。主其母乳多能養大。若太陰在弱宮。或有凶星相照者。主其母乳少或絕無。

第五門 說人生相稟性

[3.5.1] 論人生相稟性。要看安命宮度強旺星。又看太陰宮度強旺星。又看何星在廟旺宮。或在分定度數。又看何星力氣多。已上數等星。取一箇最強旺者。爲主。

[3.5.2] 若強旺星是土星。又比太陽先東出者。主其人身體十全。髮黑。顏貌黃白似蜜色。胸前有毛。眼生得中。稟性寒潤。若土星比太陽後西入者。主其人顏貌如小麥色。髮稀。身瘦。上下相稱。目黑。稟性乾燥。

[3.5.3] 若強旺星是木星。比太陽先東出者。主其人容貌白色。有光彩。身體長大。髮生得中。美好。目亦得中。動靜安詳。稟性熱潤。若木星比太陽後西入者。主其人容貌淡白。無光彩。髮稀直。乾燥。目生得中。身矮小。稟性潤。

[3.5.4] 若強旺星是火星。比太陽先東出者。主其人容貌紅白。身體十全。上下相均。目色青。髮生得中。稟性熱潤。若火星比太陽後西入者。主其人貌紅。身矮小。目亦小。髮稀。稟性乾燥。

[3.5.5] 若強旺星是金星，比太陽先東出者，主其人生相，與木星所論一同，稍更清秀滋潤，貌嫩，似婦人，日生秀美。

[3.5.6] 若強旺星是水星，比太陽先東出者，主其人容貌清白，身體得中，目小，頭髮得中，稟性熱，若水星比太陽後西入者，主其人容貌黃白色，身體上下得中，瘦小，聲細，目深陷，又似山羊眼，白色稟性燥。

[3.5.7] 凡太陽太陰與各星相助，得太陽相助者，身體十全，容貌甚好，得太陰相助者，身體十全，脩長得中，稟性潤。

[3.5.8] 若各強旺星比太陽先東出相離近者，主其人身體肥大，若此星在初留，主其人爽利，靈變，若在逆行，主其人身體得中，精神稍鈍，若在第二留，則其人體弱，若在太陽光下，則其人最低微賤，又常有災，若人命宮主星在小輪極高處，主其人身體甚長，若命主星在小輪最低處，則其人矮短。

第六門 說人壽數短長

[3.6.1*] 凡看人壽數，專看壽星并壽主星，要知壽數長短，有兩等說，一是正，一是輔，正亦有兩等，一等說人性命，一等說人身體，性命，壽星主之，身體，壽主星主之，取用壽星之法不等。

[3.6.2*] 晝生人，取太陽，若太陽無力且弱，却選太陰，若太陰又弱無力，取福德箭，若福德箭又弱無力，取命宮度數主星，夜生人，取太陰為壽星，若太陰無力，却取太陽，若太陽無力，却取福德箭，若福德箭無力，却取命宮度數主星，已上所說取用壽星之法，晝生取太陽，夜生取太陰。

[3.6.1*] 若第十宮，或在命宮，或在第十一宮，或在第七宮，或在第九宮，在已上宮分，可為壽星，若一星在命宮前，離安命度數五度以下，屬命宮，五度以上，不屬命宮，屬第十二宮，其餘宮分一體推之。

[3.6.2*] 若太陽是壽星，又在廟旺宮度上，壽主星即是太陽，若太陰是壽星，又在廟旺宮度上，壽主星亦是太陰。

[3.6.4] 若命宮壽星多又有力，又自相吉照，主其一世身安，聰明有機變，又有壽。

[3.6.5] 若壽星或壽主星在第七位第十位兩中間，從十位逆排去，至七位，看星在何宮度上，取對衝宮分赤道度數，將命宮赤道度數，於本星

對衝宮分赤道度數內，除之，餘剩度數，每一度准²⁵一年，每一分准六日。

[3.6*] 假如安命在金牛宮十二度，對黃道的赤道度數是二十三度五十四分，第七位是天蝎宮十二度，太陰為壽主星，在人馬宮十二度，其對衝是陰陽宮十二度，對黃道的赤道度數是五十四度三十七分，以命宮赤道度數二十三度五十四分於此數內除之，餘剩三十度四十三分，該三十年八箇月零一十八日，則是人之壽數，此是從第十位至七位，如此。

[3.6.6*] 若在別箇位分，順排去，第十位至命宮，命宮至第四位，第四位至第七位，已上皆為順排位分，將排去的度數算之，可見人生壽數，若壽星并壽主星與金木星相照，主增人壽，若壽星并壽主星與凶星同度，則減人壽。

[3.6.12] 凡各星所主壽數，有上中下三等，太陽所主，上等一百二十年，中等六十九年，下等一十九年，太陰所主，上等一百單八年，中等六十六年，下等二十五年，土星所主，上等五十七年，中等四十二年，下等三十年，木星所主，上等七十九年，中等四十五年，下等一十二年，火星所主，上等六十六年，中等四十年，下等一十五年，金星所主，上等八十二年，中等四十五年，下等八年，水星所主，上等七十六年，中等四十八年，下等二十年。

[3.6.7*] 若壽星并壽主星行限到第七宮，或遇土木二星，或遇太陽太陰相衝四正照，或遇雜星內一凶星，似此其人壽數危險，又看流年命宮內或四柱上有凶星者，其人壽數危險尤甚，若當生命星強旺，流年又是本星強旺，此星照限，其人雖有災禍不至隕²⁶命，若壽星并壽主星當生力弱，遇流年強旺，或當生強旺，流年力弱，有災禍輕。

[3.6.8] 流年第第八位宮主星若是土星或火星，必凶，又兼當生本是凶星，又遇凶星相照者，其凶禍至重。

[3.6.9] 上古先賢將太陽為壽星者，看太陽在六陽宮，或命宮至十位一角，七位至四位一角，皆屬陽，在此宮位，則為壽星也，取太陰為壽星者，看太陰在六陰宮，或十位至七位一角，四位至命宮一角，皆屬陰，在此宮位，則為壽星也，若太陽太陰在第三第六第九第十二四弱位，則不

²⁵ P 準

²⁶ P 殞

堪為壽星，若晝生人，先看太陽，次看太陰，後看命宮，後又看福德箭，若夜生人，先看太陰，次看太陽，後看福德箭，後又看命宮，看已上四²⁷星內，選一強旺者，為壽星，又看壽星所在宮分主星，若廟旺力強，則為壽主星。

[3.6.10] 若壽主星在四正柱上，則有上等壽數，若在四輔柱上，則有中等壽數，若在四弱柱上，則有下等壽數，若吉星在四正柱上吉照廟旺星者，則增與下等壽數，若吉星在四輔柱上吉照者，則增與下等壽數內三分之二，若吉星在四弱柱上吉照者，則增與下等壽數內三分之一，若凶星似已上照者，依此數例，於原得的壽數內減之。

[3.6.11] 水星遇吉星則吉，遇凶星則凶。

[3.6.12] 又太陽在三合六合吉照者，則增，若相衝二弦惡照者，則減，若壽主星力弱者，亦有壽，但難難過日，若壽星并壽主星遇凶星相照者，其人必有驚恐險峻之事，若其人在中年遇之，尤重，此以上論正，若論輔者，詳見後門。

第七門 說人內外病證

[3.7.1] 凡論人暴得病證，看第七位宮主星是何星強旺，又看第六位宮主星是何星強旺，看土星火星與命主強旺星相照，又看何宮分相照，在白羊宮相照者，病證生在頭面，在金牛宮相照者，病證生在頸項咽喉，在陰陽宮相照者，病證生在肩膊并手，在巨蠍宮相照者，病證生在胸脇并肺，在獅子宮相照者，病證生在心經脊背胃脘，在雙女宮相照者，病證生在腸肚腹中，在天稱宮相照者，病證生在臍下，在天蝎宮相照者，病證生在肛門并腎，在人馬宮相照者，病證生在兩腿，在磨羯宮相照者，病證生在兩膝，在寶瓶宮相照者，病證生於兩腋，在雙魚宮相照者，病證生於兩足，又一說，從人命宮排起，依前例次第推之。

[3.7.2] 凡人所生之證，又看各星所主，土星所主，外則右耳，內則脾，及膀胱，又生痰，木星所主，外則皮膚，內則心血精神，火星所主，外則左耳，內則肝及血脘，太陽所主，外則眼目，內則腦，胃，筋，并右邊身體，一切證候，金星所主，外則鼻塞，內則腎，并肉及肛門，水星所主，舌膽，太陰所主，飲食無味，內則肺，并食嚥，又左邊身體內外一切證候，前項各星，若有力弱，又有凶星照，則其星所主之證，受病，若病證凶星，先

²⁷ P 壽

太陽東出者，其人有暴病，後太陽西入者，其人得病纏綿。

[3.7.3] 若病證凶星是土星者，多生痰，并積聚證候，又腸內生瘡，發黃，喉痛，吐血，結燥，婦人胎中生病。

[3.7.4] 若是火星者，有血旺證候，黑血盛，并內腎病證，并疥癬，犯鍼灸之證，一切惡瘡，婦人患胎疳。

[3.7.5] 若水星遇火星或土星，皆助其星之力。

[3.7.6 7*] 若病人當生命內火土二星在何宮分，得證時太陰到火土二星之宮，或相衝或四正照，則患人病重，若其病是火土所主之證，則其病尤重也。

第八門 說人生性智識

[3.8.1] 凡論人生智識有兩等，一等說人之智識，一等說人生成之性，說人之智識，有聰明遠大者，有識見淺短者，說人生成之性，有緩急憂樂忘氣高遠卑微之分，智識水星主之，生性太陰主之。

[3.8.2] 看此二星力氣強弱吉凶斷之，則賢愚可見，若太陰水星在轉宮，其宮主星亦在轉宮強旺，主其人好積聚，好人獎譽，喜修善，動止安詳，通性理，二星若在二體宮，其宮主星強旺，亦在二體宮，主其人諸事通曉，性不定，動止輕狂，作事不久，若二星在定宮，其宮主星強旺，亦在定宮，主其人正大聰明，守分，能忍，好作勞役之事。

[3.8.3] 若太陰水星宮主強旺星是土星，又在廟旺，主其人識見遠，思慮多，行事有主張，合道理，若土星陷弱無力，則其人昏愚低微，無志氣，作事昧心，與人不和，長²⁸有憂容，若木星與土星相助，土星又在廟旺宮度，主其人至誠，有信行，敬老，慈幼，勸人為善，又肯與人分別是非，又肯與人為事，志氣高，動止安詳，見事顯悟。

[3.8.4] 若木星與土星相助，土星陷弱，則其人智識淺短，輕視人為善，好作師巫，不愛惜兒女，與人不和，凡事不可倚託，喜為惡事，不善為善事。

[3.8.5] 若火星助土星，土星又在廟旺，則其人性勇，心毒，不能分別是非，長有口舌災禍，與人交易不明白，無慈心，不助人為善，所為皆凶險之事，好爭鬪昧心，憎嫌人，凡事所求，却能遂意，若火星助土星，土星陷弱無力，則其人必為

²⁸ P 常

盜賊，所作生理皆低微，不敬神天，不畏王法，一世極貧賤。

[3.8.6] 若金星助土星，土星廟旺，則其人敬老人，寡色欲，却長被人憎惡，不喜人爲善事，嫉妬人富貴，其性至慳吝，出行常避人，凡事自尊，若金星助土星，土星陷弱無力，則其人好酒，與年長婦人爲婚，不能分別是非。

[3.8.7] 若水星助土星，土星強旺，則其人聰明，性急，愛搜求暗昧，好爲驚世駭俗之事，凡事皆遂意，若水星助土星，土星陷弱無力，則其人詭譎，有盜心，爲魘魅，巨賺，與親人外人皆不和，常與人結讎恨，一世凡事多不遂意。

[3.8.8] 若太陰水星宮主強旺星是木星，又強旺有力，主其人高貴輕財重義，守志，安詳，有廉恥，好賢納士，肯爲善事，正直，心慈，有紀綱，得人敬重，若木星陷弱無力，其人雖貴相，有善事，但比上文所言稍減，用財不得其當，膽小怕事，凡事自誇。

[3.8.9] 若火星助木星，木星又強旺有力，則其人勇猛，好爭鬪，喜武藝，有方略，好勝，自高傲，有作爲，諸事遂意，心常多怒，能主張人爲事，若木星陷弱無力，則其人口讒，傷人，凡事無忍耐，不開懷，作事多悔，不久長，不能分別，無運智，平日爲事多增登不遂意。

[3.8.10] 若金星助木星，木星又強旺有力，主其人守分，好受用，好潔淨，好音律，好藝業，有仁德，愛親戚，心慈，與人和睦，衆人亦相敬重，至誠，有學，若木星陷弱無力，則其人好受用，費財物，好與婦人起坐，多淫慾，不肯爲善事，識見短淺，人難得託，凡事有調弄。

[3.8.11] 若水星助木星，木星強旺有力，其人好性格，凡事有商量，聰明，好學，有文才，通陰陽，精書算詩詞，見識遠，至誠，有紀綱，多有稱意事，若木星陷弱無力，其人生得低微，言語不合理，作事顛倒，如常心焦，無才學，自誇有能，多使小見識，自尊傲人，輕狂。

[3.8.12] 若太陰水星宮主強旺是火星，火星又強旺有力，則其人高貴，性勇猛剛強，好兵器，爲事多險，常受災禍，高傲，不伏人，力能服衆，作事不定，有刑殺之權，若火星陷弱無力，則其人與衆不和，好傷人，好殺伐爭鬪，無慈心，行歹事，心術不正，作事癡呆。

[3.8.13] 若金星助火星，火星強旺有力，則其人好受用，心常喜悅，好音律，貧心重，多計較，

聰明，能分別事務，平日凡事遂意，若火星陷弱無力，則其人性強虛詐，平日愛圖賴人，見識淺，又諂佞，喜作非違，淫亂，所好之事不久長。

[3.8.14] 若水星助火星，火星強旺有力，則其人聰明出衆，見識疾，有機謀，爽利，好積聚，巨賺人，行歹事，面是背非，喜朋友，害讎人，所爲之事皆稱意，若火星陷弱無力，則其人性勇，愚濁，爲事過後多悔，不安詳，動靜恍惚，行詐偽之事，要強於人。

[3.8.15] 若太陰水星宮主強旺星是金星，金星又強旺有力，則其人至誠，守道，顏貌端莊，動止詳雅，好受用，喜潔淨，多思慮，有志氣，不喜人爲非，喜諸般技藝，一世平安，用財合理，事多遂意，又好音律，色欲，若金星陷弱無力，則其人動靜如婦人，常患勞怯之病，衆中不顯。

[3.8.16] 若水星助金星，金星強旺有力，則其人有志氣聰明，好性格，見事疾，有機謀，微曉性理，好諸般技藝，喜吟詩詞，好學問，作事正當，不疑人，若金星陷弱無力，則其人多穢語，好爭競，傷人，面是背非，凡事懷惡，使人憎嫌。

[3.8.17] 若太陰水星宮主強旺星是水星，水星又強旺有力，則其人聰明遠見，本身有文學德行，能及於人，思慮深遠，凡前所慮之事，後皆有驗，通陰陽書算，能容忍事，平日凡事遂意，若水星陷弱無力，則其人愚濁，性不歸一，於人前小意取勝，言語多不實，動靜輕狂，作事顛倒。

[3.8.18] 若已上各星，強旺有力，又得太陽或太陰強旺相助，主已上所言吉事又增，若各星陷弱無力，得太陽或太陰強旺相助，則已上所言不善之事稍減，若太陽太陰陷弱無力，與已上各星相助，各星雖強旺有力，其所主吉事皆減，若太陽太陰陷弱無力，與各星相助，兼各星亦無力，則所言凶事益凶，凡各星所主吉凶之事，備陳於前，在人子細參詳，斷之，若人命宮太陰與各星相照，則其星所主之事又勤謹加勉。

[3.8.19] 若太陰所照之星本身有力，則其人於星所主之事通曉且明，其事能力爲之，若其星力弱，太陰雖相照其事欲爲而不成。

[3.8.20] 凡人命第九位若有吉星，或吉星相照，主其人好修善，有德行，第九位若有凶星，或凶星相照，則其人爲惡事，無德行，又看第九位主星，又看聰明遠識出衆之箭并宮主星。

[*] 若已上二星皆吉有力，則所斷之事如上所云，若無力凶，則其事與吉星所主者相異，凡第

九位所主者，修行好善文學德行等事，若其位吉，所照之星亦吉，則所主之事皆吉，若其位凶，所照之星亦凶，則所主之事亦皆凶也。

第九門 說人風證病患

[3.9.1] 凡太陰與水星不相照，其太陰水星又與命宮不相照，却有惡星與二星相照者，則其人有災，又看何凶星相照，則其災如其星之性所主也。

[3.9.2] 若太陰與水星不相照，又與命宮不相照，晝生人，土星在四柱上，夜生人，火星在四柱上，則其人得暗風之證。

[3.9.3] 若晝生人，火星在四柱上，夜生人，土星在四柱上，則其人心風之證，若在巨蠭宮雙女宮雙魚宮者，其心風之證尤大。

[3.9.4] 若晝生人，火星在正四柱上，夜生人，土星在四正柱上，又土星是太陰宮度主星，又強旺，又太陰與太陽相會後離太陽，或相望後離太陽，則其人風癡之證，如着鬼，因其腦濕潤之盛，故有是證也。

[3.9.5] 若人命內太陽太陰在陽宮，其人是陽人，則有精神身健力旺，若是陰人，則有悍性，似此已上二命，若火星金星又在陽宮，則其事愈甚又且顯著，若太陽太陰在陰宮，則與上文所言之事相異，若金火二星又在陰宮，則相異之事尤重。

第十門 論人父母

[3.10.1] 凡論人之父，先看太陽，次看土星，又看第四位并第四位宮主星，又看父箭并宮主星，晝生人，先看太陽後看土星，夜生人，先看土星後看太陽，若論人之母，先看太陰，次看金星，又看第十位并第十位宮主星，又看母箭并宮主星，晝生人，先看金星後看太陰，夜生人，先看太陰後看金星，看已上各星吉凶強弱，將父母之事斷之。

[3.10.2-3] 若各星內一星最強旺有力，將此星爲重。

[3.10.4] 若其星前後，又有吉二星相拱夾者，主父母和順豐足過日，又貴顯，若其星前後有二凶星相拱夾者，則其父母不和，與上文相異。

[3.10.5] 已上所云各星若在廟旺宮分并有力之處，主父母身安，諸事皆吉，若在陷宮無力，又與凶星相照，則父母災病，凡事不順，又看何凶星照，患其星所主之病也。

[3.10.6] 又看福德箭并宮主星，與太陽或土星相照，則其父增添財物福祿。

[3.10.7] 若太陽與土星吉照，又有木星或金星亦相照，主其父壽長，若太陰與金星吉照，或木星吉照，或金星却與木星吉照，主其母壽長。

[3.10.8] 若論人祖，看第七宮，若論伯叔，看第六宮，已上二宮主星強旺，則祖并伯叔皆吉，若陷弱無力，則凶，凡命宮第四位，是父，從第四位數至七位，亦是四位，故爲祖，從第七位數至第十位，亦是四位，故爲曾祖，命宮第三位，是兄弟，從第四位數至第六位，亦是三位，故爲伯叔，其餘宮分，依此例推之。

第十一門 論人兄弟姊妹

[3.11.1 2] 凡論兄弟姊妹，看火星水星，火星主兄姊，水星主弟妹，又看第三位宮主星強旺有力，又看兄弟箭并宮主星，已上之星，若與命宮吉照，或與第三位宮主星吉照，主有兄弟姊妹，又相和睦，若惡照時，亦有兄弟姊妹，却不和，若已上星與命宮并命宮主星不相照者，其兄弟姊妹少，或無，若已上各星自相吉照者，主兄弟姊妹有力，又有福祿，若惡照，則無力，又貧賤。

第十二門 說財帛福祿

[3.12.1] 凡論財帛福祿，看第二位并第二位宮主星，又看木星并福德箭及本箭主星，又看財帛箭并本箭主星，若已上各星內有力強旺者，與命宮或命宮主星吉照，主有財易得，若已上星與命宮或命宮主星惡照時，雖得財，甚艱難，若已上各星與命宮并命宮主星不相照，則無財，求亦不得。

[3.12.2] 若已上強旺之星前後有吉星拱夾，又有太陽或太陰吉照者，主廣有財。

[3.12.3] 若強旺有力之星并福德箭位強旺主星有力，又有吉星相照者，主極有財有福祿，若凶星相照，則貧賤求財不得。

[3.12.4] 若強旺有力之星是土星，主田產房舍農種等項上得財，若是木星，則使人經營得財，却用財吝嗇，又不望其財人自供送，若是火星，則因領兵或掌刑罰，此上得財，若是金星，則得朋友或陰人，相助送之財，若是水星，則因學問，或經商上得財，若土星與福德箭吉照，又有木星相助，則得父祖遺留之財，或得不想望之財。

[3.12.5] 若第二位主星入命又命宮順受，則其

財不求而至。若不順受。則空想不得。若命宮主星在第二位。第二位順受。又無凶照者。求在必得。若不順受。又有凶照。則徒費心力。求財不得。若順受。却有凶照者。得財却不聚。若順受。又有吉星照者。求財易得。又得用。

[3.12.6] 若太陽或太陰在陽宮。又在正四柱上。晝生人太陽在地平環上。夜生人太陰在地平環上。又前後有星拱夾。或有吉星在四柱相照者。主其人致富極貴。已上拱夾之星并相照吉星強旺有力。則富貴尤大。若已上之星力弱。則其人富貴。比上所言減少。若太陽太陰在陰宮。又在四弱柱上。又前後有凶星拱夾。則其人至貧賤。

[3.12.7] 若雜星內第一等第二等星在人命宮四正柱宮度上。或與太陽太陰同度。或在福德箭度數上。主其人大貴且富。得雜星力氣相助。隨各星之性所主。而富貴之。若雜星是第三等內上等星時。其人亦富貴。比上稍減。若雜星是凶星者。亦得富貴。但後終凶。若雜星性情是吉星。富貴始終如一。

第十三門 說人生何藝立身

[3.13.1] 凡看人何藝立身。看第十宮并宮主星。又看火星金星水星。又看技藝箭并箭宮主星。已上數星選一強旺有力者為主。其人於此星所主之事上立身。若是土星。則為農夫或土工石匠或花果菜園為生。

[3.13.2] 若是木星。則其人仕宦。儒吏兼通。

[3.13.3] 若是火星。則其人行兇。好鬪。作爐冶之事。或為獸醫。或與人針灸為生。

[3.13.4] 若是太陽。則有官祿又能採取金銀寶貝鑽內等物。又能燒煉金丹。

[3.13.5] 若是金星。則其人好修合香貨。能小術。能造酒。好博戲。塑畫并諸藝精巧。

[3.13.6] 若是水星。則為人善書能算。又好吟詠詩詞。或能經商。

[3.13.7] 若是太陰。則其人或長為使客快行之類。又能種植。又通水利。若已上各星。又與吉星相助相照。則其事尤盛。若是凶星。則其事皆不善也。

[3.13.8] 若所主藝業之星強旺。又是第十位宮主星。獨立無相助者。或所主之星不順受。則其人無才能無用也。

第十四門 說婚姻

[3.14.1] 凡論人婚姻。男看第七宮并宮主星。又看金星。又看婚姻箭并箭主星。女亦看第七宮并宮主星。又看太陽又看婚姻箭并箭主星。已上各星看何星強旺有力。與命宮并命宮主星相照。主婚姻事成。夫婦和睦。若已上各星與命宮并命宮主星惡照者。婚姻亦成。但夫婦不和。若已上各星與命宮并命宮主星不相照者。婚姻事難成。

[3.14.2] 若已上星有力。在四正柱上。則與有名望之家結婚。若已上星有力。又有吉星相助者。則與豪富之家結婚。若凶星相助。則與下等貧賤之家為婚。若已上各星自相照。則多婚。又吉。若已上各星有力。在二體宮分。又有一二吉星相照。則重婚。

[3.14.3] 若命宮內在太陰生光時。則其人早婚。若在太陰減光時。則婚遲。或娶年長者為妻。女命晝生者婚早。若遲時。則嫁年幼者。若女命夜生者婚遲。或嫁年長者。

[3.14.4] 若女安命宮與夫命第七宮同時。主夫婦和睦又久遠。

第十五門 說男女

[3.15.1] 凡論男女。看第五宮并宮主星。又看木星。又看男女箭并箭主星。已上各星若強旺有力。與命宮并命宮主星吉照。主有男女。父慈子孝。若已上各星與命宮并命宮主星惡照。則子不孝。父不慈。若已上各星與命宮并命宮主星不相照者。則男女稀少或無。若已上各星有力又有吉星相助者。主有貴子。其子又孝。若已上各星無力。又凶星相照者。則子不孝又貧賤。若已上各星互相吉照者。主男女多又相和順。若互相惡照者。有男女不和。

[3.15.2] 若已上各星在二體宮。或在十二宮象內子多宮分。則男女多。如天蝎雙魚宮是也。若已上各星陷弱無力。又有火土二星強盛相照。又各星在子少宮分。則無子或稀少。縱有子亦不孝。不得力。子少宮分。獅子雙女宮是也。若已上各星主子嗣星多者。則子多。若主子嗣星先太陽東出者。比上文所云子嗣更多。

[3.15.3] 主子嗣星太陰木星金星水星是也。若已上各星不係子嗣星者。則無子。或子少。又比太陽後西入者。則全無。不係子嗣星者太陽土星

火星²⁹水星是也。若已上各星在陽宮或比太陽先東出者。多生男。若已上各星在陰宮或比太陽後西入者。多生女。

第十六門 說朋友并讎人

[3.16.1*] 凡論朋友。看第十一位并第十一位宮主星。又看朋友箭。并箭主星。

[3.16.2*] 若已上各星與命宮及命宮主星吉照者。則交好朋友。又相契合。若惡照者。雖有朋友心不相孚。若已上各星與命宮及命宮主星不相照者。則朋友少。若已上各星強旺又有吉星相照。則與上等人為友。若已上各星陷弱無力。又有凶星惡照者。則與³⁰低微人為友。若已上各星互相照者。廣有朋友。若命宮主星在第十一位又順受。或第十一位宮主星在命宮亦順受。或朋友箭主星與命宮主星相照。或命宮主星與第十一位宮主星相照。或朋友箭在四正柱上。與命宮主星同度。已上各星。但一處應者。主多有朋友。皆相契合。

[3.16.3*] 若二人命內太陽太陰皆同宮。或二人命內太陽皆在午。太陰皆在西。則結交至密。如同氣親。又二人命內太陰太陽或三合照或六合照。其應與上文同。若二人安命宮在三合六合者。主朋友酒食之交。

[3.16.4*] 若二人命內福德箭皆同宮者。朋友上互相希望。若吉照者。希望稍輕。

[3.16.1*] 凡論讎人。看第十二位。并十二位宮主星。又看讎人箭并箭主星。

[3.16.2*] 已上各星。看何一星強旺有力。或在命宮或與命宮主星相照。則多有讎人。若吉照者。其讎輕。不能為害。若惡照者。其讎重。若已上各星與命宮或命宮主星不相照者。則讎人多。若已上星皆強旺。則讎人多。強盛。能為害。若已上各星陷弱無力。則讎人力弱。不能侵害。若已上各星互相照者。則多有讎人。若命宮主星在第十二位順受。或第十二位宮主星在命宮順受。或讎人箭與命宮主星相照。或讎人箭與命宮主星同度。在正四柱上。又順受。已上但有一星在命內者。雖有讎人。其讎人力弱。漸亦消也。

[3.16.3*] 若二人命內太陽太陰皆相衝者。則讎恨重結。若太陽太陰皆在四正照者。讎恨比上稍輕。

²⁹ P 火星土星

³⁰ P 無

[3.16.5*] 若安命宮各相衝者。則讎恨亦重。若在四正照者。則讎恨比上亦稍輕。

第十七門 說遷移

[3.17.1] 凡論遷移。看第九位并第九位宮主星。又看火星。又看遷移箭并箭主星。已上各星與命宮或命宮主星相照者。其人多出外。若吉照者。宜出外。凡事皆順。若惡照者。不宜出外。凡事不吉。若已上各星與命宮及命宮主星不相照者。則出外少。

[3.17.4] 若已上各星強旺有力者。其人出外。諸事遂意。又得財。身安還家。若已上各星陷弱無力。則其人出外。凡事艱難不遂意。若已上各星互相照者。則其人久遠在外。

[3.17.2] 若已上各星在四正柱上。命主星又在四弱柱上。則其人多出外。

[3.17.3] 若太陰在四弱柱上。亦多出外。若火星在四正柱上。所主與上文同。

[3.17.5] 若福德箭或箭主星在第九宮者。多出外。有福祿。若遷移箭并箭主星有吉星照者。亦多出外。有福祿。

第十八門 說人壽終緣故

[3.18.1] 凡論人壽命終時。看第八宮并宮主星。又看凶惡星。又看雜星內凶惡星。

[3.18.2] 若第八位宮主星。是土星。則病疲怯。羸瘦久遠之證。或水蟲之證。婦人胎氣。及一切冷證。因此等證喪命。

[3.18.3] 若第八位宮主星是木星。則得喉肺之證。及麻風筋縮頭疼心氣并一切風氣病證。因此等證喪命。

[3.18.4] 若是火星。則病發熱并肝經疼痛吐血之證。及刀斧所傷。一切熱證。并血院傷敗。婦人損胎之證。因此等證喪命。

[3.18.5] 若是金星。則病內腎并走氣痛及患痔漏肛門。一切濕氣之證。因此等證。服藥差誤喪命。

[3.18.6] 若是水星。則病風魔恍惚驚懼嗽吐血一切乾燥之證。因此等證喪命。

[3.18.7] 若是太陽。與火星同斷。若是太陰。與金星同斷。若已上各星有惡星照。或雜星內凶星照。或第八宮第八度上有一雜凶星照。又有凶星相助者。其人不能善終。已上所說。各因惡星相

照。得病證而喪命。又一等無病證而喪命者。因年老。血脈不通。飲食不進。自然而終。又一說。看死亡箭在何宮位。因此宮位所主之事喪命。若此箭在遷移宮。則因出外喪命。餘依此例推之。

第十九門 說人生每一星主幾年

[3.19.1] 凡人命。自始至四歲。是太陰主養之。為初生下時。嫩小濕潤。故所食者亦濕潤之物。得快長。

[3.19.2] 自四歲以後至十四歲。乃水星主養之。漸通世事。智量日增。生性格諸事向學。

[3.19.3] 十五歲至二十二歲八年。金星主養之。精氣長盛。陰陽配合。

[3.19.4] 二十三歲至四十一歲一十九年。太陽主養之。諸事通曉。立志敢為。幼年戲謔之事皆棄去。歷練老成。

[3.19.5] 四十二歲至五十六歲一十五年。火星主養之。其人思慮多。貪心盛。常憂壽終之事。

[3.19.6] 五十七歲至六十八歲一十二年。木星主養之。凡善事肯為。欲留名於後。但勞力之事不作。

[3.19.7] 六十九歲至壽終時。土星主養之。其人身體困倦。精神衰減。色欲絕少。

[3.19.8] 凡人命內先看何星強旺。行限至其星所主之時。則其事亦興旺。若命內星弱行限至此時。則其事亦弱也。

第二十門 說流年。并小限

[3.20.1*] 凡論流年之法。看當生安命太陽在何宮幾度幾分幾秒上。却看流年太陽到此宮幾度幾分幾秒時。看此時東方是何宮度出地平環上。以此宮度分秒為流年安命宮也。

[*] 若論小限。從當生安命宮生日後數起。一歲命宮。二歲財帛宮。三歲兄弟宮之類是也。

[3.20.2*] 小限主一年之事。若其位有吉星或有吉星相照。則一年身安。凡事遂意。若遇凶星。或凶星相照。則一年不順。凡事曾蹉。又一論。排限之法。將當生命宮對黃道的赤道度數為主。至何吉凶星幾度。每一度准一年。從安命宮赤道度數上數之。則知幾年至其星處也。假如第二位是財帛宮。以此宮赤道度數為主。看至吉星幾度。至凶星幾度。至吉星時。則財帛增添。至凶星時。則財帛減損。其餘宮分依此例推之。又排定度數。

行限至何宮度。其度屬何星。以其星為主。吉凶禍福。以此星斷之。

[3.20.3] 假如安命在巨蠬宮第十度。流年排至第十八度。係水星為主。水星再有一度至二十度。則交木星為主。又看小限到何宮。其宮主星屬何星。若宮主星強旺。則一年順利。若宮主星陷弱。則一年不順。

[3.20.4] 凡小限一年一宮。若細分之。每一宮三十度。每一度管十二日零六分之一。逐度排去。遇吉星則吉。遇凶星則凶。若行限不遇吉凶星。看宮主星是何星。其星吉則吉。凶則凶。

[3.20.5] 假如安命在巨蠬宮第十度十一歲。小限到金牛宮第十度。金牛宮第十六度有木星相照。自金牛宮第十度至第十六度。屬金星管。該七十三日。禍福依金星推斷。至第十六度。却以木星主斷。逐度排去。看遇何星相照。則以其星斷之。

[3.20.10*] 凡論小限。排定年月日時。甚為詳細。具見于³¹圖。論小限緣故。為當年身體之事。并財帛等事。又福德箭。亦每年交一宮。看排到何宮。以此福德箭并箭主星強弱。斷其吉凶。若論貴福。看太陽。亦一年排一宮。看排到何宮。遇何星。以其星之吉凶為斷。

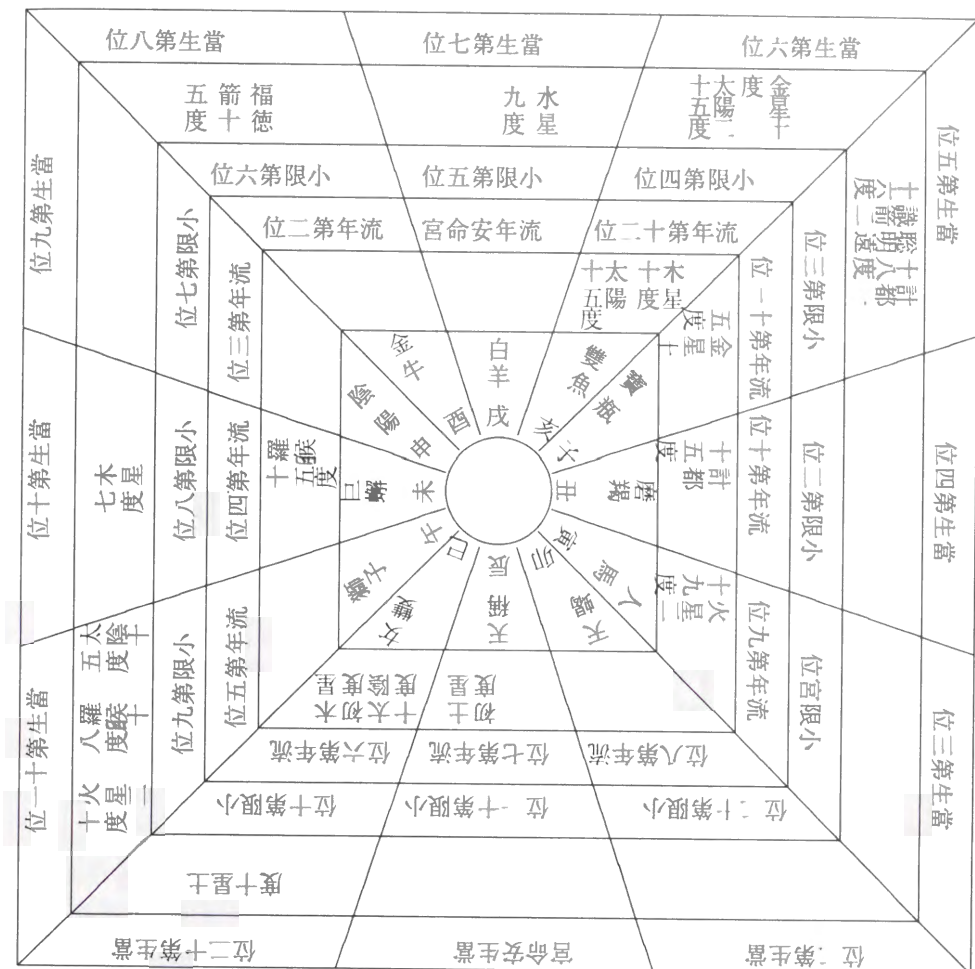
[3.20.11*] 若人當生有一吉星。欲知應在何時。看小限行到其星之處。又在四正柱上。則吉應發福。若當生有一凶星。欲知應在何時。亦看小限行到其星之處。又在四正柱上。則凶應有禍。若當生命內有凶星。該幾年內合頭。及小限行至其處。小限主星有力。又當年流年命宮主星。亦有力。則已上凶星所主之事減輕。若當生命內有吉星。該幾年內合頭。及小限行至其處。小限主星無力。又當年流年主星亦無力。則已上吉星所主之事亦減輕。若當生有凶星。或流年有凶星。但遇金木星相照。則凶事解輕。

[3.20.14-15*] 若吉星弱凶星旺。則凶事不能解。若詳細論之。將太陽所到宮度。每月安一命宮。每宮管二日餘三分之一。則禍福可見也。今將當生安命宮并小限并流年安命宮。其列星盤圖于後³²。

³¹P 於

³²P om. 今將當生安命宮 ... 列星盤圖于後

圖星限小年流生當



再加五日有零	十一月	十月	九月	八月	七月	六月	五月	四月	三月	二月	一月	每月三十日
一宮	二十九度三十五分	二十七度七分	二十四度三十九分	二十二度一十一分	十九度四十三分	十七度一十五分	十四度四十七分	十二度一十九分	九度五十二分	七度二十四分	四度五十六分	排年當生度數
一宮	初宮二十四度二十四分	十一宮二十二度二十分	十宮二十度二十分	九宮十八度十八分	八宮十六度十六分	七宮十四度十四分	六宮十二度十二分	五宮十度十分	四宮八度八分	三宮六度六分	二宮四度四分	排月小限度數
一宮	十宮二十七度六分	八宮二十四度四十一分	六宮二十二度一十六分	四宮二十度一十一分	三宮一十八度八分	一宮一十六度五十分	十一宮一十四度三十三分	九宮一十二度八分	七宮一十度四十二分	五宮一十八度一十六分	三宮一十六度一十一分	排日度數
初初初	十一宮二十四度五十分	十宮二十二度一十六分	九宮二十度一十二分	八宮一十八度八分	七宮一十六度三十三分	六宮一十四度五十九分	五宮一十二度三十分	四宮一十度五十分	三宮一十八度一十七分	二宮一十六度四十三分	一宮一十四度一十八分	排流年度數

天文書目錄

第四類 凡三門 說一切選擇

- 第一門 總論選擇
- 第二門 細分選擇條件
- 第三門 總結推用此書之理

第一門 總論選擇

[4.1.1-2] 凡論選擇，必選一時辰，看東方是何宮度出地平環上，以此宮度為主，安一命宮，又將其人當生命宮并流年命宮與選擇時安命宮相合看之，若當生命宮并流年命宮與此時安命宮皆吉，則凡事成就，若當生命宮并流年命宮皆吉，所選之時命宮與上不相合者，則所求之事雖行不能成就，若當生命宮并流年命宮凶，其選時與上相拗不合，則所求之事祈福却致禍也。

[4.1.3] 凡一切選擇吉凶，專看太陰并太陰所在宮主星，又看所求之事干係何位并其位宮主星，又看其事所主之星要吉，又看所選時安命宮并宮主星及四正柱皆要吉。

[4.1.5] 若求一事快疾結絕，不欲纏綿者，所選時安命要在轉宮，太陰亦要在轉宮，又要吉星相照，若欲修造起蓋久遠堅固者，所選時安命要在定宮，太陰亦要在定宮。

[4.1.6*] 若要作顯明事者，選太陰在陽宮，若作隱密事者，選太陰在陽宮，凡一切選擇不喜太陰在所選時安命宮內。

[4.1.7-8] 唯交易則喜太陰在命宮旺相，又凡一切選擇，凶星吉照可用，若吉星惡照亦可用。

[4.1.9] 若太陰所到宮主星在四弱柱上，又太陰與凶星相照，則所行之事久後不吉。

[4.1.10] 又所求之事主星，不喜在四正柱上，所喜者在第十一位，或第九位，或第三位，或第五位，皆可，若要選出征及爭訟之事，則其主星喜在四正柱上。

[4.1.11] 又凡選擇欲行一事，若太陰不在吉位，却看木星或金星在命宮或第十位順受者可用。

第二門 細分選擇條件

[4.2.1] 凡選擇條件，各有所係，若要沐浴，必擇

太陰在火星宮分，或在木星宮分，又太陰與木星相吉照，若選剃頭，必擇太陰在水局。

[4.2.2] 若選裁衣，要太陰在二體宮，或轉宮皆可，又要金星吉照，忌太陰在定宮，最忌土星火星惡照。

[4.2.3] 若要作金銀器皿，擇太陰在火局，與太陽吉照，或火星或金星木星皆與太陰吉照。

[4.2.4] 若要買物，看太陰在二體宮至人馬宮，又要金木二星照，又要福德箭在四正柱上，及寅亥二宮，又有吉星相照。

[4.2.5] 若要賣物，看太陰在磨羯宮至陰陽宮，離一吉星，却又遇一吉星，則賣物快疾，又有利息，若太陰遇凶星時，則賣者遲滯，縱賣亦無利折本。

[4.2.6] 若要與人合本作經商，看太陰在二體宮，與吉星相照順受。

[4.2.7] 若要自行規辦本錢作買賣，要太陰與水星吉照，又看第二位，并第二宮主星有力，又要看第十一位，并宮主星有力，則事能成就。

[4.2.8] 若人平日不曾出行忽然上馬到一處，要取一時辰，要太陰在轉宮，與火星吉照，又要木星相照，得吉。

[4.2.9] 若人行一事要顯名而出者，取太陰在轉宮，與太陽相照，又要太陽太陰與命宮相照。

[4.2.10] 若人要行隱暗事者，選取太陰在太陽光下，近與太陽相會，又要命主星在太陽光下，忌太陽太陰與命宮相照，若人要藏一物，或自要藏身，取太陰與太陽會後相離時節，又太陰在太陽光下，或太陰在地平環上，與地平環下吉星相照，又要命主星，亦然如此吉照。

[4.2.11] 若修書信，要太陰在轉宮，又看寄書與何等人關係何星相照順受，如寄書與貴人，要看太陽，寄書與文學人，要看木星，寄書與軍官軍人，要看火星相照順受，餘依此例推之。

[4.2.12] 若人移屋居住，要太陰在有力度數上，或遇吉星相照，又在第三位，要第三位宮主星吉照，又看命宮，并命宮主星吉照。

[4.2.13] 若人起蓋房舍，取太陰在土宮，或在風局，又看太陰與一星相照，正遇其星在廟旺宮分吉照，其星又在黃道北，先太陽東出，又太陰在黃道北，取增光，升上時，則吉，忌太陰與羅候或土星同度，又忌土星在命宮。

[4.2.14] 若要毀拆房舍，看太陰屬南方宮分，離一凶星，遇一吉星，吉星又比太陽先出東方。

或太陰在地平環上，與地平環下一星相照，又要太陰在黃道南下降，若要築城，取太陰在定宮吉位，又與吉星相照，又要命宮并宮主星吉，四正柱上，不要凶星照，若拆毀城牆，要太陰力弱，又下降，又要土星陷弱無力，不在四正柱上。

[4.2.15] 若買田地，要太陰在土局，與木星金星相照順受，又與土星吉照，土星又要順受有力，又要第四位，并宮主星吉。

[4.2.16] 若開河渠，要太陰在水局，與土星吉照，土星又先太陽東出順行，又要太陰在命宮第三位，或第五位，則吉。

[4.2.17] 若栽植樹株，要太陰在定宮或二體宮，又要此時安命在定宮，其命宮主星又比太陽先東出，又要與吉星相照，亦要太陰與木星金星在風局相照，却不要火星與命宮相照，又看太陰所在宮主星有力，又與太陰相照，如此則栽植茂盛。

[4.2.18] 若選擇農種，要太陰在巨蠛宮，或雙女金牛磨羯等宮又要與吉星相照，又要安命宮亦在已上四宮內一宮，又要宮主星吉，或吉星相照。

[4.2.19] 若求子嗣，要太陰在陽宮，與太陽三合，又要太陽有力，又安命宮要在陽宮，命宮主星亦要在陽宮，又要吉星照，其四正柱上，並不要有凶星照，却要有吉星照。

[4.2.20] 若求乳母，要太陰在金星度數上，又要太陰與金星相照，金星要有力，又順行，所行度數漸增，又太陰無凶星相照相遇，如此則乳母嬰兒皆吉。

[4.2.21] 若小兒斷乳，要太陰離太陽光遠，不要凶星相照，又要太陰所在宮分宮主星與吉星相照，又要命宮主星與太陰所在宮主星相吉照，又太陰要在定宮或二體宮。

[4.2.22] 若選入學要太陰在人馬宮，雙女宮陰陽宮三宮內一宮與水星吉照，水星又先太陽東出，其太陽太陰不要與凶星相照，又當時安命宮亦在已上三宮內一宮，或在雙魚宮，命宮主星又與太陰水星吉照，又要木星與命宮相照，又要水星在命宮，又太陰在第三位或第五位，則吉。

[4.2.25-26*] 若醫治諸病看所患之証，或寒或熱或濕或燥，如病寒，則用太陰在火局，又與吉星相照，如病熱，則用太陰在水局，亦與吉星相照，其相照星之性，亦要與所患之病相拗。

[4.2.23] 若醫治頭痛須用吐者，要太陰在白羊宮或金牛宮與吉星相照，忌凶星照，亦要太陰陰後減光時，命宮亦要在白羊宮或金牛宮。

[4.2.24] 若醫病須服藥者，要太陰在水局下降，又要太陰在地平環上，與地平環下一星吉照，又要金星與太陰相照，又要火星與太陰吉照，忌太陰與木星同度，如此用藥有効。

[4.2.28] 若用針³³出血者，忌太陰在所管穴道宮分，喜吉星照，忌惡星照，用太陰減光時，若火星吉照太陰亦無妨。

[4.2.27] 若用針³⁴刀治眼者，要太陰與木星，或金星吉照，又要金木二星在地平環上，又要太陰在增光時，忌太陰與凶星照，又要太陰與太陽吉照。

[4.2.32] 若選擇嫁娶，要太陰在金牛宮或獅子宮雙女宮陰陽宮，又用金星照，要在吉處，不要惡星照。

[4.2.33] 若選擇結婚，要太陰在金牛宮或獅子宮，忌太陰在第六位第八位第十二位，又忌太陰在白羊宮巨蠛宮寶瓶宮磨羯宮，又忌太陰與凶星同宮，要與吉星相照，與金星相照最吉，又要金星在吉處。

[4.2.34] 若選出征之日，要太陰在轉宮，出征之時看東方土木火三星宮分內一宮出地平環，即為命宮，最緊的是火星宮分，又要火星與命宮三合或六合照，又要命宮主星在定宮，或二體宮，又要命宮主星在命宮，或在第十位，或第十一位，又要第七位宮主星力弱，別與一星相照，其星與命宮絕不相干係，又不順受，此星或與一星又相照，彼星又在太陽光下，又忌第七位宮主星在第四位，又忌第二位宮主星在第八位，若第八位宮主星在第二位可也，又要命主星強旺如第七位主星，如此則征戰之事勝旺，若要知出征，遇敵不遇敵，看火星在第十位，則遇敵又交鋒，若出征時火星在第十位，與吉星同度，又吉星與出征時命宮相干係占，縱相遇，無交鋒之事，若第七位宮主星與命宮主星吉照又順受，則敵人自求講和，又看命宮主星在何宮，看所在宮分主星有力吉，順受，又比太陽先東出，如此則征戰勝旺，其第七宮主星，不要如命宮主星強旺。

[4.2.35] 若要根尋逃走人，并尋覓失物，看太陰在何宮分，及宮主星與太陰吉照，又要太陰在地平環上與凶星相照。

[4.2.36] 若病人遺囑子孫，要太陰在定宮與吉星相照，又要命宮吉，并宮主星吉，又要四正柱

³³P 鍼

³⁴P 鍼

上無惡星照，則子孫能遵守遺留之言。

[4.2.37] 若人陸地出行，要太陰在轉宮或在土局，出行時安命宮，亦要在轉宮或土局，又要太陰與遷移宮主星吉照，又看所求之事關係何星，要太陰與之相照，在吉處，忌與火星相照，并火星所在宮主星相照，又看太陰并遷移宮主星及所求之事宮主星，並要與吉星相照，不要凶星相照，最忌者火星。

[4.2.38] 若水路出行，要太陰在水局，不要凶星照，最忌者土星，又要出行時安命宮吉，並宮主星亦吉，四正柱上不要凶星照，如此則吉。

[4.2.39] 若選入城之日，有二等，如明白入城時，要太陰在巨蠛宮或雙女宮或金牛宮或磨羯宮，又要與吉星相照，入城時安命宮亦要在已上四宮內一宮，又要吉星照，又要命宮主星亦與吉星照，若暗地入城者看太陰與吉星照，又要吉星在地平環下，不要在第四位，又要太陰與太陽會後相離，仍在太陽光下。

[4.2.40] 若君王登位時，選取太陰在人馬宮或雙魚宮或天蠋宮或獅子宮，此時安命亦要在四宮內一宮，又要太陰與太陽木星相照，與火星吉照，皆要順受，太陽要有力，不要與凶星照，命宮主星亦要在已上四宮內一宮有力，又要木星金星在四正柱上，又要第十位宮主星吉又與吉星相照，又比太陽先東出，如此則久遠得吉。[4.2.40*] 若官員到任，或受官職，要安命在定宮，命宮主星要在吉位，又要與太陽吉照，又要第十位宮主星吉，無凶星照，不要第十位并第十一位宮主星惡照，又要太陰所在宮分與宮主星吉照，第四位宮主星與吉星照，又在吉位上，四正柱上，不要凶星照，命宮主星不要與第八位宮主星照，忌太陰與羅侯計都相遇。

[4.2.41] 若國家祭旗之日，選太陰在吉位上，又要本位宮主星有力，順行，又要比太陽先東出，又取太陰增光行疾升上時，與太陽三合照，或火星三合照，又吉位順受，又要此時安命宮吉，并命宮主星亦吉有力順行，比太陽先東出，最要火星強旺。

[4.2.42] 若收旗之時，選太陰在二體宮與吉星相照，又取太陰增光升上時，安命亦要在二體宮與吉星相照，又要命宮主星有力。

[4.2.43] 若收藏五穀，選太陰在土星宮分與土星吉照，又要第十位是定宮。

[4.2.44] 若求見貴人成事，選太陰在定宮或二

體宮要與所在宮主星吉照，并安命宮吉照，安命亦要在定宮或二體宮。

[4.2.45*] 若求仕者，選太陰在二體宮，又看太陽與太陰相會之時，用一吉星在命宮，若太陽與太陰相衝之時，用一吉星在第七位，凡求一切事，皆依此例推選，若進貢求見君主，選太陰與吉星照，忌凶星照，又與一吉星相遇後離了，再遇一吉星，其後遇之星比前所遇星又要有力。

[4.2.46*] 若結交朋友，選太陰在定宮，又看何一等人結交關係何星，要本星與太陰相照，忌四正柱上凶星照，又要第十一位宮主星與命宮相照，或與命宮主星相照順受。

[4.2.47] 若買頭匹，選太陰在金牛宮或獅子宮與吉星相照，此星要順行，先太陽東出，又要此時安命在二體宮，命宮主星亦要在二體宮。

[4.2.48] 若選圍獵之日，要太陰在二體宮，安命亦要在二體宮，宮主星要吉星照，又要有力，又要第七位宮主星在四輔柱上，漸漸行遲，又要太陰在增光時相離火星，太陰所在宮主星却與火星相照，火星要吉，要在旺處，忌太陰無星相照，又忌太陰在轉宮，及與所在宮主星不相照，又忌土星相照。

[4.2.49] 若採捕水中之物，要太陰在水局增光時與太陰所在宮主星吉照，忌凶星照，安命要在二體宮，忌在水局，命宮主星却要在水局，與命宮相照，又要命宮主星在水局，與水局宮主星吉照，忌金水二星與火星相照，却要金水二星與太陰相照。

第三門 總結推用此書之理

[4.3] 凡論天文形象陰陽吉凶之理，備載於前，至矣盡矣，所應禍福，依此書逐一推断可也，若一切斷決人事吉凶，看星象強弱衰旺，宜子細詳之，凡遇一吉星，不可便作吉斷，遇一凶星，不可便作凶斷，須看再有吉凶星相助，然後斷其凶吉。

索引および訳語の対照

- 本索引はアラビア語の術語を中心とするのであり，アラビア語の語根の順序に並べた。
- 女性形，複数形を示した場合もあるが，規則的な変化形の場合は男性単数形のみをあげた。
- 出典箇所の数字は巻 (*maqāla*)，章 (*bāb*)，節の順であるが，節に分けていない章では巻，章である。
- 対応する中国語訳は必ずしも当該箇所で用いられているわけではない。
- 英訳も常に同じ形であるとは限らない。

eleventh place	第十一位/第十一宮	1.17.2; 1.19.4; 1.19.7; 1.20.11; 2.8.7; 2.9.37; 2.11.10; 3.6.1; 3.16.1; 4.1.10; 4.2.7; 4.2.34; 4.2.46
earthy	屬土	1.11; 1.15.5; 2.2.8; 2.3.2; 2.3.5; 2.6.3; 2.8.2; 2.8.5; 2.9.5; 2.9.26; 2.12.20; 4.2.13; 4.2.15; 4.2.21
Leo	獅子宮	1.8.4; 1.9.3-5; 1.11; 1.12.3 4; 1.13.1; 1.15.4; 1.17.3; 2.1.2; 2.7.1; 2.9.4; 2.9.12; 2.9.25; 2.12.7; 2.12.22; 3.7.1; 3.15.2; 4.1.5; 4.2.2; 4.2.28; 4.2.33; 4.2.40
base/base nativity	當生	2.2.10; 2.12.14; 3.6.7 8; 3.19.8; 3.20FIG; 4.1.2
horizon	地平環	1.4; 1.8.5; 2.8.3
clime	人煙生物之處/七界	2.2.7; 2.12.17; 2.12.21
time instruments	定時辰牌	3.3.2
water instruments	銅壺滴漏	3.3.2
feminine/female	屬陰	1.10; 1.17.1; 2.12.15; 3.15.2
feminine	屬陰	1.4; 1.5; 1.10; 1.11; 3.6.9; 3.9.5
apogee	最高處	1.19.3; 2.3.3; 2.7.10 11; 2.8.5; 2.12.2-3
beginning of eclipse	初食	2.9.22
body	身體	1.19.6; 2.2.3; 2.9.39; 2.11.5; 3.5.2; 3.5.4-7; 3.7.2; 3.10.5; 3.19.1; 3.19.7; 3.20.10
cold/coldness	寒	1.1.7-8; 1.3; 1.5; 1.6.1 2; 1.11; 2.5.3; 2.6.3; 2.6.5; 2.6.7 10; 2.7.6-7; 2.9.33; 2.12.20; 3.5.2; 3.18.2; 3.19.7
sign	宮	passim
fixed sign	定宮	1.9.3-4; 2.1.3; 2.2.1; 2.9.30; 4.1.5; 4.2.2; 4.2.17; 4.2.32; 4.2.36; 4.2.42-44; 4.2.47

حادي عشر

أرضي

أسد

أصل/أصل المولد

أفق

إقليم

آلات الساعات

آلات الماء

أنثى/إناث

مؤث

أوج

ابتداء الكسوف

بدن/أبدان

برد/برودة/باردة/مبرد

برج/بروج

برج ثابت

feminine sign	陰宮	1.10; 1.11; 2.12.15; 3.6.9; 3.9.5; 3.15.2	برج مؤث/برج أنثى
masculine sign	陽宮	1.10; 1.11; 2.12.15; 3.6.9; 3.9.5; 3.12.6; 3.15.2; 4.2.19	برج مذكر/برج ذكر
two equinoctial signs	***	2.9.29	برجي الاعتدالين
two solstitial signs	***	2.9.29	برجي الانقلابين
tropical (moving) sign	轉宮	1.9.3-4; 2.1.3; 2.4.2 3; 2.9.30; 3.8.2; 4.1.5; 4.2.8 9; 4.2.11; 4.2.34; 4.2.37; 4.2.48	برج منقلب
lightning	雷震	2.9.37	بروق
proof		1.1.2 5	برهان/براهين
slow in motion	行遲	2.8.9	بطئ السير
Ptolemy	八替列木思	1.15.8; 1.16.2 3; 1.17.3; 3.3.3-4	بطليموس
Hippocrates	***	3.2.3 6	بقراط
countries/cities	城池	1.1.8; 2.9.1 13; 2.9.16 20	بلد/بلدان/بلاد
house/place	宮/十二位分	1.13.1 2; 1.17.3 4; 1.17.7; 1.18.6; 1.19.2; 1.22.1 4; 2.2.6; 2.2.8; 2.6.1; 2.7.4; 2.12.15; 2.12.17; 2.12.21; 3.1.13; 3.3.4; 3.6.1; 3.6.9; 3.8.20; 3.20.9; 3.20.16; 4.1.3; 4.1.9 10; 4.2.1; 4.2.4; 4.2.21 22; 4.2.34 35; 4.2.40 41; 4.2.43; 4.2.48 49	بيت/بيوت
(panet's) own house	本宮/所屬宮	1.17.4	بيته/بيت الكوكب
under the rays	太陽光下	2.4.2; 3.1.5; 4.2.10; 4.2.39	تحت الشعاع
quartile	四相照/二弦照/二弦 相照	1.3; 1.12.1; 1.13.2; 1.18.1; 2.4.1; 2.4.3; 2.12.19; 3.7.7; 3.15.1; 3.16.5; 4.1.8; 4.2.2; 4.2.44	تربيع
ninth place	第九位/第九宮	1.17.2; 1.19.4; 1.20.9; 2.8.7; 2.9.37; 2.11.10; 3.6.1; 3.6.9; 3.8.20; 3.17.1; 3.17.5; 4.1.10	تاسع
trine	三合	1.3; 1.12.1; 1.13.2; 3.6.10; 3.6.12; 3.15.1; 3.16.5; 4.1.8; 4.2.3; 4.2.8; 4.2.15 16; 4.2.26; 4.2.28 29; 4.2.34-35; 4.2.41; 4.2.43-44; 4.2.46	تثليث

third place	第三位/第三宮	1.17.2; 1.19.4; 1.20.3; 2.8.7; 2.11.10; 3.6.9; 3.10.8; 3.11.1; 4.1.10; 4.2.12; 4.2.16	ثالث
triplicity	三合	1.15.1; 1.15.4-8; 1.16.5; 1.18.6; 1.19.2; 1.22.1; 1.22.4; 2.6.3; 2.7.9; 2.9.2 7; 2.11.1 2; 2.11.12; 3.3.4; 3.4.4	مثلثة
earthy triplicity	土局	1.15.5; 2.6.3; 2.9.5	مثلثة أرضية
watery triplicity	水局	1.15.7; 2.6.3; 2.9.7; 2.11.12	مثلثة مائية
fiery triplicity	火局	1.15.4; 2.6.3; 2.9.4	مثلثة نارية
airy triplicity	風局	1.15.6; 2.6.3; 2.9.6	مثلثة هوائية
snow	雪	2.6.9; 2.7.6	ثلج
eighth place	第八位/第八宮	1.19.4; 1.20.8; 1.21.11; 2.5.2; 3.6.8; 3.18.1; 4.2.32; 4.2.34	ثامن
second place	第二位/第二宮/	1.10; 1.19.4 5; 1.20.2; 2.2.3; 2.8.4; 3.1.6; 3.6.1; 3.10.4; 3.12.1; 3.12.5; 3.20.14; 4.2.7; 4.2.34; 4.2.39	ثاني
second	秒	1.8.3; 2.2.9; 2.4.1; 3.3.6; 3.20.1	ثانية/ثواني
twelfth place	第十二位/第十二宮	1.17.2; 1.19.4 5; 1.20.12; 1.20.14; 2.11.10; 3.6.9; 3.7.1; 3.10.4; 3.16.1; 4.2.32; 4.2.42	ثاني عشر
dodecatemorion	十二分/每宮分十二分	1.17.5-7	اثنا عشرية
Taurus	金牛宮	1.8.4; 1.9.3 5; 1.11; 1.12.3-4; 1.14.1; 1.15.5; 1.17.3; 1.21.3; 2.9.5; 2.9.9; 2.9.25; 3.7.1; 3.20.5; 3.20.7; 3.20.18; 4.2.18; 4.2.23; 4.2.28; 4.2.33	ثور
body	***	1.14.2; 1.18.2	جرم/أجرام
time degree	赤道度数	3.6.6; 3.21.3	جزء الساعات
body		2.6.9; 2.12.19; 4.2.2	جسد/مجاسد
dryness	燥	1.2	تجفيف
ice	結凍	2.6.7	جليد
clearance from eclipse	生光	2.9.21	انجلاء الكسوف
collection	聚於一處	1.18.5; 2.7.7	جمع
new moon	朔	passim	اجتماع

southern	屬黃道南	1.8.4; 4.2.14; 4.2.26	جنوبي
Gemini	陰陽宮	1.8.4; 1.9.3 5; 1.11; 1.12.2 4; 1.14.1; 1.15.6; 1.16.6; 1.18.4 5; 1.21.3; 2.6.6; 2.9.10; 2.9.25; 2.12.3; 3.7.1; 4.2.28; 4.2.33	جوزاء
term	分度数/界	1.16.1 6; 1.18.6; 1.19.2; 1.22.1; 1.22.4; 2.9.33-37; 3.3.4; 3.3.6; 3.6.1; 3.20.2-3	حدّ
descending	降下	2.8.3	انحدر
perigee	最低處	2.12.4-5; 3.5.8	حضيض
perigee of the epicycle	小輪最低處	3.5.8	حضيض فلك التدوير
heat	熱/暑	1.1.4; 1.1.7-8; 1.3; 1.5; 1.6.1; 2.6.3; 2.6.7 10; 2.7.7; 2.9.35; 3.5.3; 3.5.6; 3.18.4	حرّ/حرارة/حارة
wars	戰爭	2.4.1 2; 2.4.4 7; 2.9.35; 2.10.1; 4.1.10; 4.2.34	حرب/حروب
combusted	太陽光下	1.18.7; 2.1.6; 3.1.3	محترق
combustion	太陽光下	2.12.16	احتراق
computation	算法	1.1.1; 3.20.16-17	حساب
enclosed	相夾	3.4.3	محصور
share	氣力	1.18.6-7; 1.19.2; 1.22.1; 2.2.6; 2.8.8-9; 3.3.4 5; 3.4.4; 3.5.1; 3.6.9	حظّ/حظوظ
Aries	白羊宮	1.18.4-5; 1.21.3; 1.22.4; 2.1.3; 2.2.1; 2.9.4; 2.9.8; 2.9.25; 2.11.12; 2.12.17; 3.7.1; 4.2.23; 4.2.28; 4.2.32	حمل
transfer of the year	流年	0.2; 2.2.1; 2.2.11; 2.3.5; 2.4.1 2; 2.4.6; 2.5.2; 2.6.3; 2.6.5; 2.7.10; 2.8.1; 3.6.7; 3.19.10; 3.20.1; 3.20.11	تحويل السنة
domain	宮度位分	1.5; 1.17.1; 1.17.4; 1.19.2; 1.19.5	حيّز
anomaly	正行	2.12.2-5	خاصّة
autumn	秋/秋季	1.9.1; 1.9.5; 2.1.3; 2.9.28	خريف/خريفي
lunar eclipse	天暗	2.3.2; 2.3.5; 2.9.31	خسوف

	生成之性	3.8.1
formation (of embryo)	受胎	3.2.1-2; 3.3.8
fifth place	第五位/第五宮	1.17.2; 1.19.4; 1.20.5; 2.8.7; 3.15.1; 4.1.10; 4.2.16
(place of) fear	陷宮/陷度	1.20.8; 3.1.7
choice	選擇	0.2; 4.1.1-4; 4.1.6 11
ruler	***	2.9.23-4; 2.9.26-32; 2.9.38; 2.11.4; 3.8.9; 3.13.1; 3.20.2
degree	度/度數	passim
pushing	***	2.7.11
minute	分	passim
indicator	***	1.21.1; 2.2.10; 2.8.1; 2.11.8-9; 3.1.3; 3.4.4; 3.10.1 6; 3.11.1; 3.12.1 3; 3.13.1; 3.14.1 2; 3.15.1-2; 3.16.1; 3.17.1 2; 3.17.4; 3.19.10; 3.20.1; 3.20.4; 3.20.6; 3.20.8; 3.20.11; 3.20.14-15; 4.2.37
indication	***	2.3.1; 2.3.2; 2.7.10; 2.8.3; 2.11.6-7; 3.13.7; 3.19.10
Period	世運	2.12.1; 2.12.6 11; 2.12.13 15; 2.12.17-22
apogee of the orb of the epicycle	小輪極高處	2.11.4; 3.5.8
masculine	屬陽	1.4; 1.5; 1.10; 1.11; 1.17.1; 2.12.15; 3.6.9; 3.9.5; 3.12.6; 3.15.2; 4.2.19
Tail (of Dragon)	計都	1.14.1
bicorporal	二體宮	1.9.3-4; 2.1.3; 2.2.1; 2.9.30; 3.8.2; 3.14.2; 3.15.2; 4.1.5; 4.2.6; 4.2.17; 4.2.34; 4.2.42; 4.2.44; 4.2.47-49
Head (of Dragon)	羅候	1.14.1
spring	春/春季	1.9.5; 2.1.3; 2.9.28
fourth place	第四位/第四宮	1.19.4; 1.20.4; 1.20.13; 2.3.2; 2.3.5; 2.8.4; 2.8.6-7; 3.1.5; 3.3.9- 10; 3.10.1; 3.10.8; 3.21.3-4; 3.21.6; 3.21.8; 3.21.11; 4.2.15; 4.2.26; 4.2.34; 4.2.39

خلفي
خلقة
خامس
خوف
اختيار
مدبر
درج
دافع
دقيقة
دليل/أدلاء

دلالة

دور/أدوار

نروة/ذرى فلك التدوير

ذكر/مذكر

ذنب
نوء/ذوات جسدین

رأس
ربيع/ربيعي
رابع

in retrogradation	逆行	1.6.3; 1.18.7; 2.1.1; 2.1.6; 2.4.4; 2.7.11; 2.9.38; 3.1.3; 3.5.8
quakes	地裂	2.3.4
returning	阻	1.18.7
humid	湿润	1.11; 3.19.1
humidity	潤氣	1.2; 1.3; 1.4; 1.6.1; 3.5.2 3; 3.5.7
thunder	雷	2.9.37
four central places	四柱	2.1.5; 2.6.10; 2.7.6
wind	風	1.1.7; 1.2; 2.5.4; 2.6.2; 2.6.4 7; 2.6.10; 2.7.2; 2.7.5 7; 2.9.35; 2.9.37; 2.10.1 3; 3.2.4; 3.18.3
Saturn	土星	passim
dignity	***	2.8.4
earthquake	地震/地動	2.3.2-5; 2.9.27; 2.9.37; 2.10.1; 2.12.20
Venus	金星	passim
increasing in motion	行疾比前	2.8.6-7; 4.2.20
diagram		3.20.16-17
cadent	弱柱	2.1.7; 3.1.5; 3.6.10; 3.17.2
seventh place	第七位/第七宮	1.19.4; 1.20.7; 1.20.13; 2.8.6 7; 3.1.11; 3.3.9-10; 3.6.1; 3.6.5-6; 3.10.8; 3.14.1; 3.14.4; 3.21.3; 4.2.34; 4.2.44 45; 4.2.48
warmth	熱	1.2
sixth place	第六位/第六宮	1.17.2; 1.19.4; 1.20.6; 1.20.13; 2.5.2; 2.11.10; 3.1.11; 3.6.9; 3.7.1; 3.10.8; 4.2.30; 4.2.32; 4.2.42
sextile	六合/六合照	1.3; 1.12.1; 1.13.2; 1.18.1; 3.1.2; 3.6.10; 3.6.12; 3.15.1; 3.16.3; 3.16.5; 4.1.8; 4.2.3; 4.2.8; 4.2.15 16; 4.2.19; 4.2.26; 4.2.28-29; 4.2.34 35; 4.2.43-44; 4.2.46

رجع/راجع

رجفات
ردّ

رطب
رطوبة

رعود
مراكز

ريح/رياح

زحل
مزاغة
زلازل

زهرة
زائد في المسير
زائجة
زائل/زوائل

سابع

سخن/تسخين
سادس

تسدیس

Cancer	巨蠍宮	1.8.4; 1.9.2 5; 1.11; 1.12.2 4; 1.13.1; 1.14.1; 1.15.7; 1.15.9; 1.17.3; 2.1.3; 2.6.1; 2.6.8; 2.9.7; 2.9.11; 2.9.25; 2.12.7 8; 2.12.12; 3.7.1; 3.9.3; 3.15.2; 3.20.3; 3.20.5; 4.1.5; 4.2.18; 4.2.32
swift/swiftness	疾	1.19.3; 2.8.9; 2.9.37; 3.2.10; 4.2.41
benefic	吉星	1.3 and passim
beneficness/happiness	吉	1.19.5; 1.20.11; 2.1.1; 2.1.6; 2.2.3; 2.11.4; 2.11.9; 2.12.13– 14; 3.1.3; 3.1.7; 3.4.5; 3.10.1; 3.11.1; 3.17.4–5; 3.20.11; 3.20.15; 4.1.1; 4.2.38 39
lucky/made lucky	吉	2.12.13–14; 3.4.4; 3.8.20; 3.14.2; 3.15.1; 4.1.5; 4.1.7; 4.2.9; 4.2.12; 4.2.15 16; 4.2.18–19; 4.2.23; 4.2.26; 4.2.28; 4.2.31; 4.2.36; 4.2.40; .4.2.42; 4.2.48; 4.3.2
price	物價	2.8.6–7; 2.8.9; 2.9.34
journey	遷移	1.21.10; 3.17.1 5; 4.2.37
cadent	弱柱	1.18.7; 2.1.7; 2.3.4; 3.1.4–5; 4.2.34
conception	受胎	3.3.3; 3.3.6
hour	時辰	2.9.21–22; 3.2.1; 3.3.4; 3.3.6 8; 3.6.6; 3.21.2–3; 3.21.5; 3.21.10
authority	君上/君王/人君/帝王/貴人	1.18.2; 1.19.2; 1.19.4; 1.19.6; 1.20.10; 2.2.2; 2.2.6; 2.4.4; 2.4.7; 2.11.10; 4.2.11; 4.2.45
sālkhudāh	***	2.2.2; 2.11.8; 3.20.4 5
hot wind	熱風	2.6.7
Virgo	雙女宮	1.8.4; 1.9.3–5; 1.11; 1.12.3–4; 1.14.1; 1.15.5; 1.18.4 5; 2.9.5; 2.9.13; 2.9.25; 2.12.4; 2.12.7; 3.7.1; 3.9.3; 3.15.2; 3.20.18; 4.2.1; 4.2.18; 4.2.22; 4.2.33

lot	箭	
lot of father	父親宮之箭	1.21.6; 3.10.1
lot of brothers	兄弟箭	1.20.11; 1.21.10; 3.11.11
lot of mother	母親宮之箭	1.21.7; 3.10.1
lot of marriage	婚姻宮之箭	1.21.9; 3.14.1
lot of journey	遷移遠方宮之箭	1.21.10; 3.17.1
lot of fortune	福德箭	1.8.1; 1.21.1 5; 1.21.10; 2.2.5; 2.4.5; 2.5.9; 3.4.4; 3.6.2; 3.6.9; 3.10.6; 3.12.1; 3.12.3 4; 3.12.7; 3.16.4; 3.17.5; 3.20.10; 4.2.4; 4.2.39; 4.2.44 45
lot of friends	朋友并想望宮之箭	1.21.10; 3.16.1
lot of slaves	奴僕宮之箭	1.21.8
lot of enemies	讎恨宮之箭	1.21.10; 3.16.1
lot of the job	技藝箭/官禄宮之箭	1.21.10; 3.13.1
lot of the absent	聰明遠識出衆之	1.21.1; 1.21.5; 2.2.5 6; 2.4.5; 2.5.9; 3.8.20
lot of illnesses	疾病宮之箭	1.21.10; 3.7.8
lot of death	死亡凶險宮之箭	1.21.11; 3.18.1
lot of wealth	財帛箭	1.21.10
lot of children	男女宮之箭	1.21.10
tasyīr	行限/命限	1.8.2; 1.8.5; 2.4.1; 2.12.7; 2.12.10; 2.12.19 21; 3.3.9; 3.6.7; 3.20.2 4; 3.20.6 10; 3.20.15; 3.20.18; 3.21.2 2.7.2; 2.9.27
flood	大水	
winter	冬/冬季	1.1.8; 1.9.2; 1.9.5; 2.1.3; 2.9.28
exaltation	廟旺宮	1.14.1 2; 1.17.4; 1.18.6; 1.19.2; 1.22.4; 2.1.1; 2.2.4; 2.2.6; 2.8.7; 2.12.15; 2.12.17; 3.3.4; 4.2.13
easterly/easterliness	先於太陽東出者/太陽前出	1.7; 1.19.3; 2.6.8; 2.9.23; 2.9.38; 3.1.5; 3.1.9; 3.5.2 4; 3.5.6; 3.5.8; 3.7.2; 3.15.2 3; 4.2.13–14; 4.2.16 17; 4.2.22; ¹ 4.2.31; 4.2.34; 4.2.40 41; 4.2.47

northern	屬黃道北	1.8.4; 4.2.13	شمالي
meteors	彗星	2.3.1; 2.3.3; 2.9.35; 2.12.20	شهب
witness	星力	1.22.1 4; 2.9.23; 2.11.5; 2.11.9; 3.1.2; 3.20.13; 4.2.34; 4.3.3	شهادة
Jupiter	木星	passim	مشتري
Lord	主	passim	صاحب
cloudlessness	晴明	2.10.1 2; 2.10.4	صحو
Lord of the year	當年主星	2.4.4; 2.7.11	صاحب السنة
separation	相離	1.18.2; 2.6.1; 4.2.10; 4.2.14	انصراف
ascending	上升/升高	1.19.3; 2.3.3; 2.7.10; 2.8.3; 2.8.5; 2.8.8-9; 4.2.13; 4.2.42	صعد/صعود/صاعد
thunderbolts	霹靂	2.9.37	صواعق
summer	夏/夏季	1.1.8; 1.9.2; 1.9.5; 2.1.3; 2.9.28	صيف/صيفي
fog	雲暗	2.6.7; 2.9.33	ضباب
weakness	弱	3.4.4; 3.8.1; 3.10.1; 4.2.14	ضعف
nature	性情	1.1.6; 1.2; 1.6; 1.11; 2.9.32; 2.9.37; 2.10.1; 3.2.9; 3.9.5	طبيعة/طبائع
ascendant	命宮/安命	passim	طالع
horoscope	星盤	1.17.7; 2.2.2; 2.3.1 2; 2.3.5; 2.8.9; 2.9.23; 2.9.39; 2.11.10; 3.3.11; 3.6.7; 3.12.5; 3.20.8; 3.20.17	طالع
ascension	對黃道的赤道度數	1.12.3; 2.12.10; 3.3.8-11; 3.6.5; 3.20.2-3; 3.21.2-11	مطالع
ascendant of the new moon and full moon	朔望命 (宮)	2.5.1-2; 2.7.2; 2.7.7; 2.8.1; 2.8.4; 2.9.38	طالع الاجتماع والاستقبال
ascendant of the year-transfer	流年安命宮	3.20.1	طالع التحويل
ascendant of the year	安年命 (宮)	2.1.3; 2.2.1; 2.7.2; 2.8.6; 2.11.3; 2.11.8; 2.11.11	طالع السنة
ascendant of the season	四季命 (宮)	2.2.1; 2.7.2	طالع الفصل
Flood	洪水滔天	2.11.12add; 2.12.7; 2.12.20	طوفان
longitude	經度	1.15.1; 1.15.3; 1.18.1; 1.18.3	طول

dough	麵剂	3.2.1	عجين
equation	増數	2.11.2; 2.12.2-5; 3.3.11; 3.21.5-6; 3.21.10-11	تعديل
moderate/moderateness	温和	1.1.9; 1.2; 1.3; 2.9.34; 3.5.7 8	معتدل/اعتدال
two equinoxes	***	1.12.2	اعتدالين
vernal equinox	春分	1.9.1; 2.9.28	اعتدال ربيعي
autumnal	秋分	1.9.1; 2.9.28	اعتدال خريفي
latitude	緯度	1.15.1; 1.15.3; 1.18.3; 1.19.3; 2.6.5; 2.9.27; 4.2.13-14; 4.2.26	عرض
tenth (place)	第十位/第十宮/官禄宮	1.8.1; 1.10; 1.19.4; 1.19.7; 2.3.1; 2.3.5; 2.8.7; 2.9.37; 2.11.10; 3.1.11; 3.3.9 10; 3.6.5-6; 3.10.1; 3.21.3 4; 3.21.6; 3.21.8; 3.21.11; 4.2.34; 4.2.45	عاشر
Mercury	水星	passim	عطارد
Scorpio	天蝎宮	1.8.4; 1.9.3-5; 1.11; 1.12.3 4; 1.15.7; 2.1.2; 2.9.7; 2.9.15; 2.9.25; 2.12.17; 3.7.1; 4.2.25; 4.2.29; 4.2.40; 4.2.47	عقرب
intelligence/intelligent	智識	1.1.3; 1.19.6; 3.8.4; 3.8.11; 3.8.13	عقل/عقلي
superiority	***	1.19.7	استعلاء
astronomy	***	3.8.11	علم الهيئة
life span	壽數	2.12.16; 3.3.9; 3.6.2	عمر
alien/absent/absence	陷宮	1.18.6; 2.4.4; 2.12.16	غريب/غريبة
descendant	第七位	3.6.3; 3.6.5-6; 3.7.1; 3.14.3; 3.20.2; 3.21.4; 3.21.9	غارب
westerly/westerliness	於太陽西入者/太陽後落	1.4; 1.7; 2.7.8; 3.1.5; 3.1.9; 3.5.2 4; 3.5.6; 3.7.2; 3.15.2 3	مغرب/تغريب
opening the door	***	2.6.1; 2.6.10; 2.7.6-7	فتح الباب
riots	惡人生發	2.4.1 2; 2.4.5 7; 2.9.35; 2.12.14	فتن
joy	喜樂位分	1.17.2; 1.17.4; 1.19.2; 1.19.5	فرح
period (of life)	***	3.19.9	أفرادارات
Persians		2.11.1; 3.19.9	الفرس

pollution of minerals season	廢鐵季	2.3.4
Part (of the Period)	季運	passim
		2.12.6; 2.12.9; 2.12.13 14; 2.12.18–19
sphere/orb	輪/本輪	1.1.1–2; 1.13.1; 1.15.1 2; 2.8.3; 2.8.9; 2.11.3; 2.12.4 5; 3.2.1; 3.3.8 9; 3.20.2
orb of apogee	小輪上升高	1.19.3; 2.3.3; 2.7.10 11; 2.8.5
sphere of the epicycle	小輪	1.19.7; 2.8.5; 2.11.3
reception	受	1.18.6; 1.19.5; 2.2.3; 2.8.7 8; 3.1.2; 3.5.5; 3.16.2; 4.1.3; 4.2.6–7
complete reception	全順受	3.1.2
medium reception	中順受	3.1.2
full moon	望	passim
opposition	相衝	passim
conjunction	相會	passim
conjunction	同度相纏	2.11.1–5; 2.11.8; 2.11.10–12; 2.12.7; 2.12.22
qisma	***	2.12.10; 2.12.19–21; 3.20.2–3
qāsim	***	3.20.2–3
storms of stars	流星	2.3.5
cutter	凶星	1.8.2–4; 2.2.10; 3.6.3
winter solstice	冬至	1.9.2
summer solstice	夏至	1.9.2; 2.9.28
Moon	太陰	passim
rainbow	虹	2.10.4
progressive	順行	1.19.3; 2.9.23
power/strength	力/強/力氣	1.1.2; 1.1.6; 1.1.9; 1.2; 1.6.4; 1.10; 1.14.2; 1.18.2; 1.19.2; 1.19.4; 1.19.6; 1.20.1; 1.20.7; 2.1.7; 2.2.3; 2.8.8; 2.11.5; 2.11.9; 2.12.13–14; 3.1.3–4; 3.2.2; 3.2.11; 3.6.4; 3.11.1; 3.12.3; 3.18.7; 4.2.34
essential power	本體之力	1.19.1–3; 1.19.6; 2.2.3; 2.9.37; 2.11.10

فساد المعادن
نصل
نصل

نلك/أفلاك

نلك أوج
نلك التدوير

نبل/مقبول

نبل تمام
نبل وسط
استقبال
مقابلة
مقارنة
فران

نسة

نالم

انقراض الكواكب
قاطع

انقلاب شتوي

انقلاب صيفي

نمر

نوس قزح

مستقيم

نوة/قوى

قوى ذاتية

non-essential power	相助之力	1.19.1; 1.19.4; 1.19.6; 2.2.3; 2.9.37; 2.11.10
mental power	稟性氣力	3.2.2; 3.3.1
analogy/regularity	***	0.1; 1.1.2; 1.1.5–6; 1.4; 1.15.8; 1.16.3–5; 1.18.2; 1.19.2; 1.19.4; 1.20.13 14; 2.1.1 2; 2.11.3; 2.12.12; 2.12.12'; 3.1.7; 3.1.11; 3.20.7; 3.20.15; 4.2.11; 4.2.46
kadhkhudāh	寿主星	3.6.13
eclipse	交食/虧食	2.9.1–3; 2.9.21–24; 2.9.31; 2.9.38–40; 2.12.20
solar eclipse	日食	2.9.21; 2.9.31; 2.9.40
lunar eclipse	月食	2.9.21; 2.9.40
Chaldeans	****	1.16.2; 1.16.5
star/stars/seven planets	星/七曜	passim
fixed star	雜星	1.8.1; 2.9.23–25; 2.10.3; 3.6.3; 3.12.7
comet	彗星	2.3.5; 2.10.1
Kūšyār	闊識牙耳	0.1
night	夜	passim
nocturnal	屬夜	1.5; 1.10; 1.11; 1.17.1; 4.1.6
succedent	輔柱	1.19.4; 2.1.7; 2.11.10; 3.1.5; 3.4.4; 3.6.10; 4.2.48
watery	屬水	1.11; 1.15.7; 2.2.8; 2.6.3; 2.6.7; 2.7.1; 2.7.11; 2.8.2; 2.8.5; 2.9.7; 2.9.25–26; 2.11.12; 2.12.20; 3.19.1; 4.2.1; 4.2.16; 4.2.26; 4.2.38; 4.2.49
Mars	火星	passim
complexion/temperament	性情	1.1.2; 1.1.7; 1.5; 1.6.4; 1.8.1 4; 2.11.6; 3.5.2–4; 3.5.6
Egyptians	***	1.16.2; 1.16.4
calamities caused by men	人災	2.5.9
rain	雨	1.1.4; 1.1.7; 2.6.10; 2.7.1 8; 2.9.33; 2.9.35; 2.10.1 2

قوى عرضية

قوى نفسانية
قياس

كذخده

كسوف

كسوف الشمس

كسوف القمر

الكلدانيين

كوكب/كواكب

كوكب ثابت

كوكب ذي الأذنان

كوشيار

ليل

ليلية

ما يلي الوند

مائي

مريخ

مزاج/امتزاج

مصريين

أمراض رجلية

مطر/أمطار

fullness Libra	望 天稱宮	passim 1.8.4; 1.9.1; 1.9.3 5; 1.11; 1.12.3; 1.14.1; 1.15.6; 1.15.9; 1.17.3-4; 1.17.6; 2.1.3; 2.2.1; 2.9.6; 2.9.14; 2.9.25; 2.12.15; 2.12.17; 3.7.1; 4.2.13; 4.2.25
malefic maleficness unlucky/made unlucky	凶星/惡星 凶 凶	1.3 and passim 1.3; 3.1.3; 3.10.1; 3.17.4; 4.1.9 2.3.1 2; 2.3.5; 2.4.7; 2.7.11; 2.12.13-14; 2.12.21; 3.4.3; 3.6.8; 3.6.10; 3.8.20; 3.12.5; 3.18.7; 4.1.2; 4.1.5; 4.2.20; 4.2.33; 4.2.35; 4.2.42; 4.3.2
moistures aspect	濕潤 看/相照	1.1.4; 2.7.6; 3.9.4 1.3; 1.12.1-2; 1.17.4; 2.2.4- 5; 2.2.8; 2.4.5; 2.5.9; 2.6.5; 2.7.2; 2.7.7-8; 2.9.23; 2.9.38; 2.11.10; 2.12.17; 3.1.3; 3.4.3; 3.6.2; 3.6.4; 3.6.6-7; 3.6.9 10; 3.7.6; 3.8.19; 3.9.1-2; 3.10.2- 3; 3.10.6-7; 3.11.1; 3.12.1- 2; 3.12.4; 3.12.6; 3.14.1 2; 3.15.1; 3.16.2; 3.17.1; 3.17.5; 3.20.12; 4.1.8; 4.2.3 4; 4.2.8- 11; 4.2.22; 4.2.24; 4.2.29; 4.2.33; 4.2.35; 4.2.39; 4.2.46; 4.2.48; 4.2.49
translation indicator day diurnal intihā'	移光 *** 晝 屬晝 小限	1.18.4; 2.7.7 3.3.2-6; 3.3.9 passim 1.5; 1.10; 1.11; 1.17.1; 4.1.6 2.2.11; 2.4.7; 2.11.8; 2.11.11; 2.12.10-12; 2.12.19 20; 2.12. 22; 3.20.4-8; 3.20.10; 3.20.14; 3.20.16-17; 3.21.8-9; 3.21.11 1.11; 1.15.4; 2.2.8; 2.4.6; 2.6.3; 2.6.9; 2.8.2; 2.8.5; 2.9.4; 2.9.26; 2.10.1; 3.7.4; 4.2.3
fiery	屬火	

امتلاء
ميزاننحس/نحوس
نحوسة
منحسأنداء
نظرنقل
نموذار
نهار
نهارية
انتهاء

ناري

conflagrations	紅氣	2.3.1; 2.3.4 5; 2.6.5; 2.9.35; 2.12.20
descending dejection new moon India/Indians airy	降下 無力弱處/降宮 太陰與太陽相會 *** 屬風	2.7.11; 4.2.14; 4.2.26 1.14.2; 2.1.1; 4.2.14 passim 1.16.2; 1.16.5; 2.9.5; 2.9.7 1.2; 1.11; 1.15.6; 2.2.8; 2.3.1; 2.3.5; 2.6.1; 2.6.3 5; 2.6.7; 2.8.2; 2.8.5; 2.9.6; 2.9.26; 2.12.20; 4.2.13; 4.2.17; 4.2.22
halo haylāj	暈 壽星	2.10.1 1.21.11; 3.3.9 11; 3.6.1 2; 3.6.4 7; 3.6.9; 3.6.12
cardine decan midheaven	正柱/四柱 面/三面/ -宮均分作 三分每分十度 第十宮	passim 1.19.2; 1.19.6 1.4; 2.2.2; 2.4.7; 2.7.10 11; 2.8.6; 2.9.23; 2.10.1; 3.3.9; 3.6.1; 3.13.1; 3.13.8; 3.20.2; 3.20.4; 3.20.10; 3.21.3; 4.1.11; 4.2.13; 4.2.39 40; 4.2.43; 4.2.45
mean motion application	中道/中行 相遇	2.11.1; 2.11.4; 2.11.12 1.1.4; 1.8.2; 1.18.1 7; 2.5.2; 2.6.1; 2.7.7; 2.11.10; 3.1.6; 3.7.1; 3.15.1; 3.16.2; 3.17.1; 3.20.12; 4.2.2; 4.2.14; 4.2.20; 4.2.24; 4.2.27; 4.2.34; 4.2.43; 4.2.48-49
application in latitude in application	緯度相會 相遇	1.18.3 1.17.7; 3.1.5; 3.6.6; 4.2.4 7; 4.2.13; 4.2.22; 4.2.34-35; 4.2.39; 4.2.45;
station birthday native	留 生下時 當生	1.6.2 3; 2.9.38; 3.5.8 3.19.1 0.2; 2.9.39-40; 3.2.3 9; 3.3.6; 3.4.1 3; 3.5.2; 3.6.4; 3.6. 12; 3.8.3 19; 3.12.6; 3.14.1; 3.17.4

نيران

هابط
هبوط
مستهلة
الهند
هوائيهالة
هيلاجوتد/أوتاد
وجه

وسط السماء

وسط المسيرة
اتصالاتصال العرض
متصلوقوف
مولد
مولود/مواليد

governor	寿主星	3.5.2 4; 3.5.6; 3.6.2; 3.6.5 7
mastership	***	1.22.3
mastering (planet)	強旺星/主星	1.22.1 2; 1.22.4; 2.2.2; 2.8.9; 2.9.23; 2.11.4; 3.1.13; 3.4.3; 3.5.1; 3.6.1-2; 3.7.1 3; 3.8.2; 3.8.8; 3.8.12; 3.8.15; 3.8.17; 3.9.4; 3.11.1; 3.12.3; 3.13.8; 3.19.4
dry/drying/dryness	燥	1.2; 1.3; 1.4; 1.5; 1.6.1 2; 1.11; 2.5.7; 2.9.35; 2.9.37; 3.5.2; 3.5.4; 3.5.6; 3.18.6; 4.2.37
day	日	passim

والي
استيلاء
مستولى

يبس/يابس/يبوسة

يوم/أيام